

平成 2 9 年度

福井市民意識調査報告書

～ あなたの声を福井の未来に ～



福 井 市

報告書の見方

- 1 グラフ中の「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を示す。
- 2 グラフ中の「N」は、その設問における回答者数を表す。
- 3 単一回答では、構成比の数値を少数第2位で四捨五入したため、合計が100.0%に過不足することがある。
- 4 複数回答では、回答の割合の合計は100.0%を超える。

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査の項目	1
4 回収結果	2
II 調査対象者の属性	4
III 調査結果(総合計画調査)	7
◆市のまちづくりについて	7
施策の満足度・重要度について	27
◆福井市に対する意識について	76
IV 調査結果(所属調査)	78
◆観光客受け入れについて	78
◆ボランティア活動について	80
◆食育及び福井市農産物のブランド化について	84
◆交通に対する意識について	90
◆「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について	96
◆ごみ収集車によるアナウンスについて	102
◆福井市の環境について	104
◆選挙当日の移動手段について	107
◆男女共同参画について	108
◆健康づくりに対する意識について	111
◆耐震について	114
IV 自由意見	117
V 調査票	122

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、第七次福井市総合計画に係る各施策等について、今後の市政運営の方向性を探り、事業の効果及び進捗状況並びに市民ニーズを把握することを目的に実施する。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 福井市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女5,000人
(総合計画調査2,500人、所属調査2,500人)
- (3) 抽出方法 平成29年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
(地区人口比率、男女、年齢等の属性を考慮)
- (4) 調査方法 郵便送付(郵便又はインターネット回答)
- (5) 調査期間 平成29年6月1日(木)～平成29年6月27日(火)

3 調査の項目

《総合計画調査》

- (1) 回答者自身の属性(性別、年齢、職業、居住年数、家族構成、居住ブロック)
- (2) 市のまちづくりについて 施策の満足度・重要度(40問)
- (3) 福井市に対する意識について(3問)

《所属調査》

- (4) 回答者自身の属性(性別、年齢、職業、居住年数、家族構成、居住ブロック)
- (5) 観光客受け入れについて(2問)
- (6) ボランティア活動について(4問)
- (7) 食育及び福井市農産物のブランド化について(6問)
- (8) 交通に対する意識について(10問)
- (9) 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について(6問)
- (10) ごみ収集車によるアナウンスについて(2問)
- (11) 福井市の環境について(3問)
- (12) 選挙当日の移動手段について(2問)
- (13) 男女共同参画について(3問)
- (14) 健康づくりに対する意識について(3問)
- (15) 耐震について(4問)

4 回収結果

《総合計画調査》 回収数（率） 904（36.2%）

		標本数	回収数			回収率
			全 体	郵便（割合）	インターネット（割合）	
全 体		2,500	904	790（87.4%）	114（12.6%）	36.2%
性 別	男 性	1,204	365	303（83.0%）	62（17.0%）	30.3%
	女 性	1,296	513	461（89.9%）	52（10.1%）	39.6%
	無回答	—	26	26（100.0%）	0（0.0%）	—
年 齢 別	18～29 歳	396	83	60（72.3%）	23（27.7%）	21.0%
	30～39 歳	364	94	76（80.9%）	18（19.1%）	25.8%
	40～49 歳	485	179	139（77.7%）	40（22.3%）	36.9%
	50～59 歳	435	161	137（85.1%）	24（14.9%）	37.0%
	60～69 歳	441	191	183（95.8%）	8（4.2%）	43.3%
	70 歳以上	379	175	174（99.4%）	1（0.6%）	46.2%
	無回答	—	21	21（100.0%）	0（0.0%）	—
居 住 ブ ロ ッ ク 別	あたごブロック	382	128	128（100.0%）	—（0.0%）	33.5%
	不死鳥ブロック	438	151	151（100.0%）	—（0.0%）	34.5%
	みなみブロック	486	138	138（100.0%）	—（0.0%）	28.4%
	あずまブロック	311	88	88（100.0%）	—（0.0%）	28.3%
	九頭竜ブロック	488	151	151（100.0%）	—（0.0%）	30.9%
	光ブロック	129	47	47（100.0%）	—（0.0%）	36.4%
	川西ブロック	96	31	31（100.0%）	—（0.0%）	32.3%
	足羽ブロック	170	53	53（100.0%）	—（0.0%）	31.2%
	無回答 （インターネット）	—	117	3（2.6%）	114（97.4%）	—

※（ ）内は構成比を表しています。

《所属調査》 回収数（率） 1, 0 3 4 （4 1. 4 %）

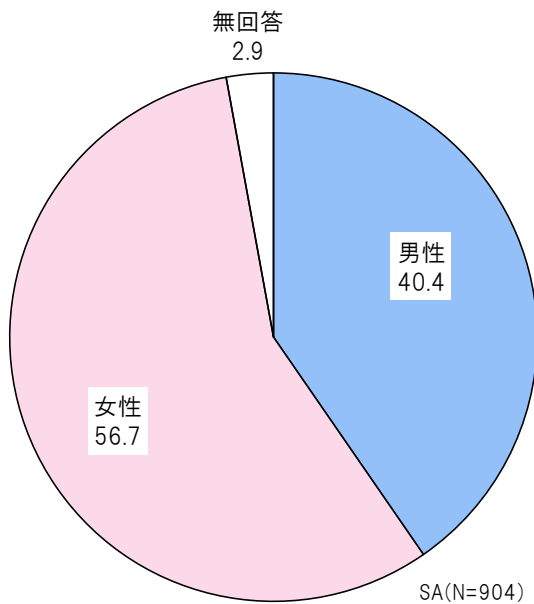
		標本数	回収数			回収率
			全 体	郵便（割合）	インターネット(割合)	
全 体		2, 500	1, 034	903 （ 87. 3%）	131 （ 12. 7%）	41. 4%
性 別	男 性	1, 269	446	368 （ 82. 5%）	78 （ 17. 5%）	35. 1%
	女 性	1, 231	575	522 （ 90. 8%）	53 （ 9. 2%）	46. 7%
	無回答	—	13	13 (100. 0%)	0 （ 0. 0%）	—
年 齢 別	18～29 歳	406	90	67 （ 74. 4%）	23 （ 25. 6%）	22. 2%
	30～39 歳	371	121	93 （ 76. 9%）	28 （ 23. 1%）	32. 6%
	40～49 歳	488	175	139 （ 79. 4%）	36 （ 20. 6%）	35. 9%
	50～59 歳	411	187	160 （ 85. 6%）	27 （ 14. 4%）	45. 5%
	60～69 歳	481	270	254 （ 94. 1%）	16 （ 5. 9%）	56. 1%
	70 歳以上	343	178	177 （ 99. 4%）	1 （ 0. 6%）	51. 9%
	無回答	—	13	13 (100. 0%)	0 （ 0. 0%）	—
居 住 ブ ロ ッ ク 別	あたごブロック	389	144	144 (100. 0%)	— （ 0. 0%）	37. 0%
	不死鳥ブロック	391	139	139 (100. 0%)	— （ 0. 0%）	35. 5%
	みなみブロック	474	160	160 (100. 0%)	— （ 0. 0%）	33. 8%
	あずまブロック	320	116	116 (100. 0%)	— （ 0. 0%）	36. 3%
	九頭竜ブロック	476	164	164 (100. 0%)	— （ 0. 0%）	34. 5%
	光ブロック	151	60	60 (100. 0%)	— （ 0. 0%）	39. 7%
	川西ブロック	118	42	42 (100. 0%)	— （ 0. 0%）	35. 6%
	足羽ブロック	181	78	78 (100. 0%)	— （ 0. 0%）	43. 1%
	無回答 (インターネット)	—	131	0 （ 0. 0%）	131 (100. 0%)	—

※（ ）内は構成比を表しています。

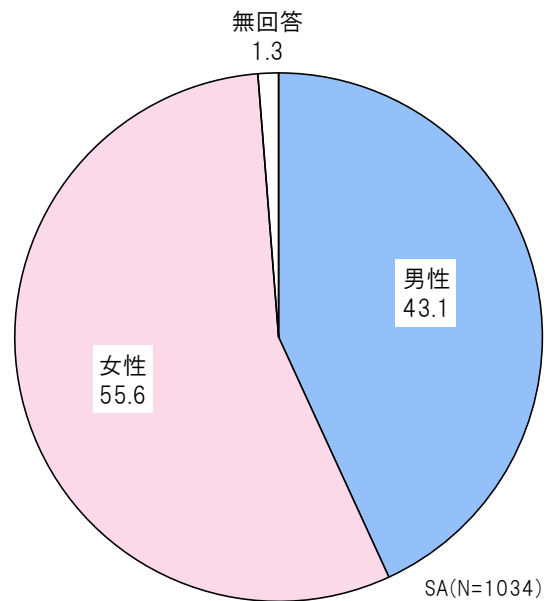
Ⅱ 調査対象者の属性

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

《総合計画調査》

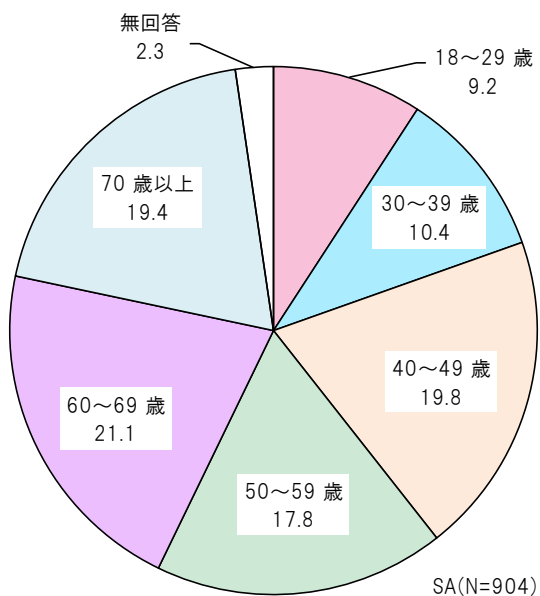


《所属調査》

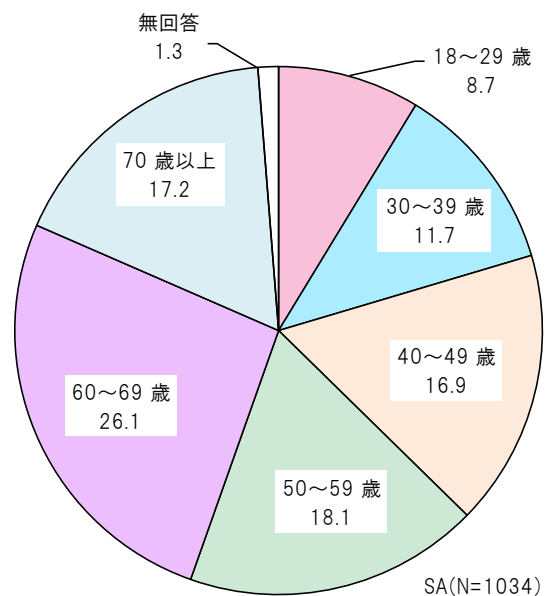


F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)

《総合計画調査》

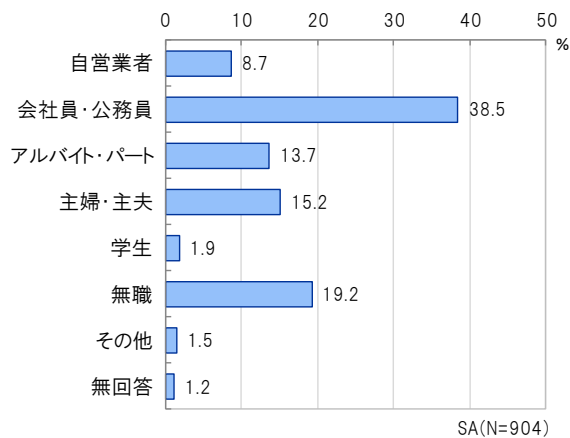


《所属調査》

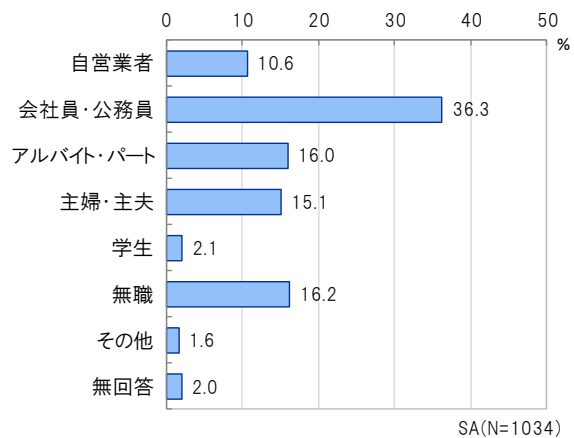


F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)

《総合計画調査》

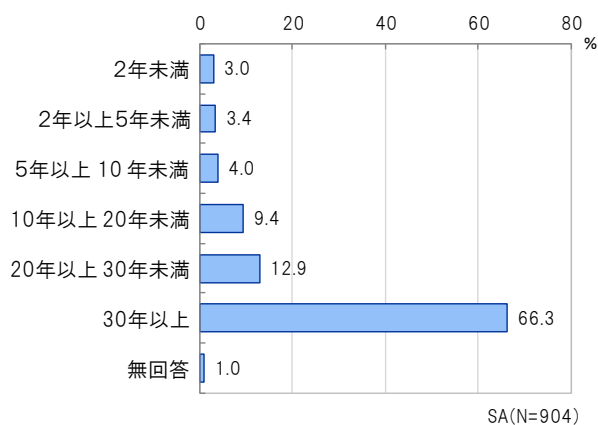


《所属調査》

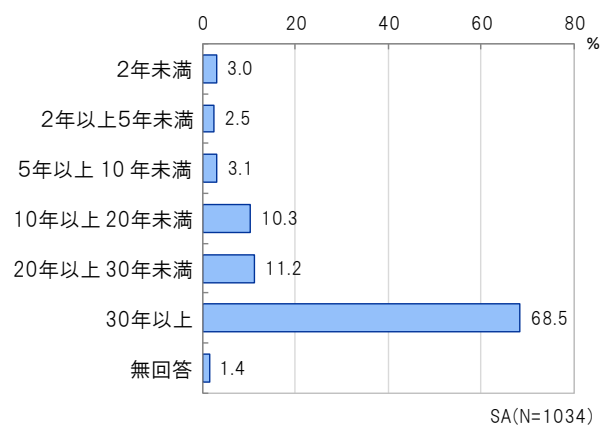


F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)

《総合計画調査》

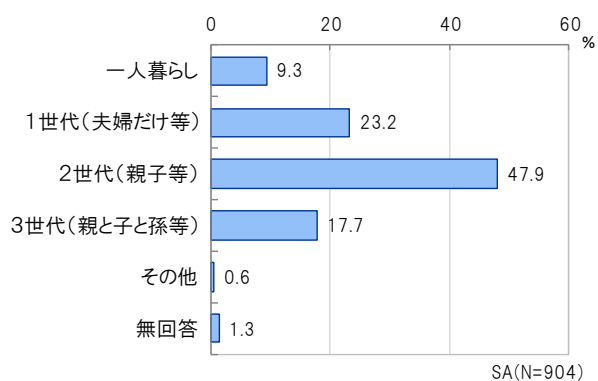


《所属調査》

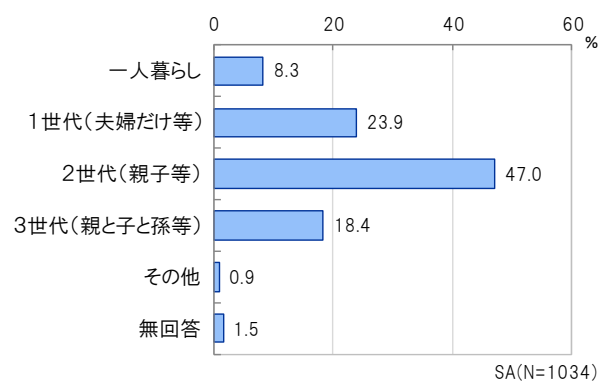


F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

《総合計画調査》

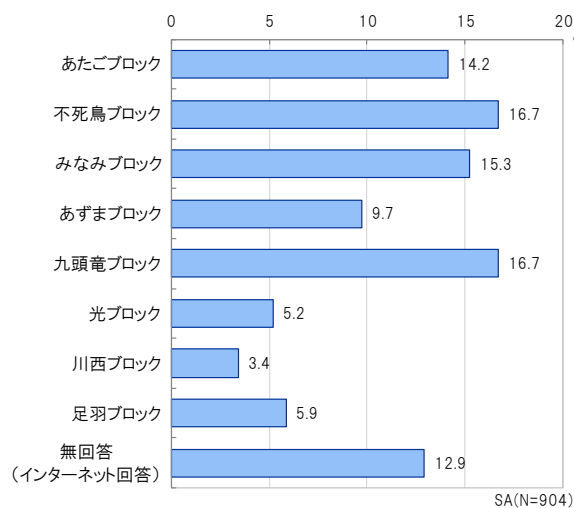


《所属調査》

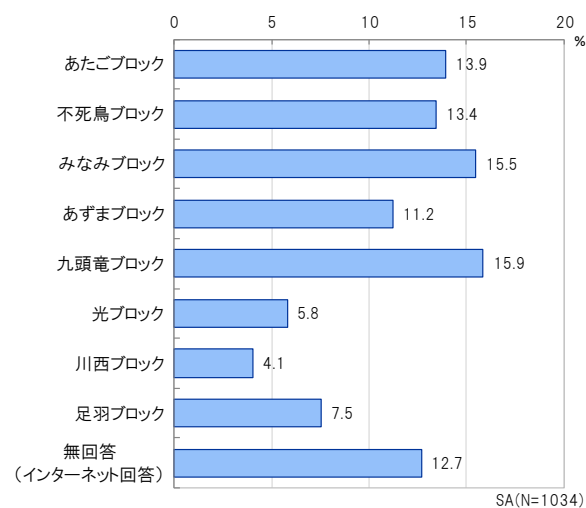


6 居住ブロック

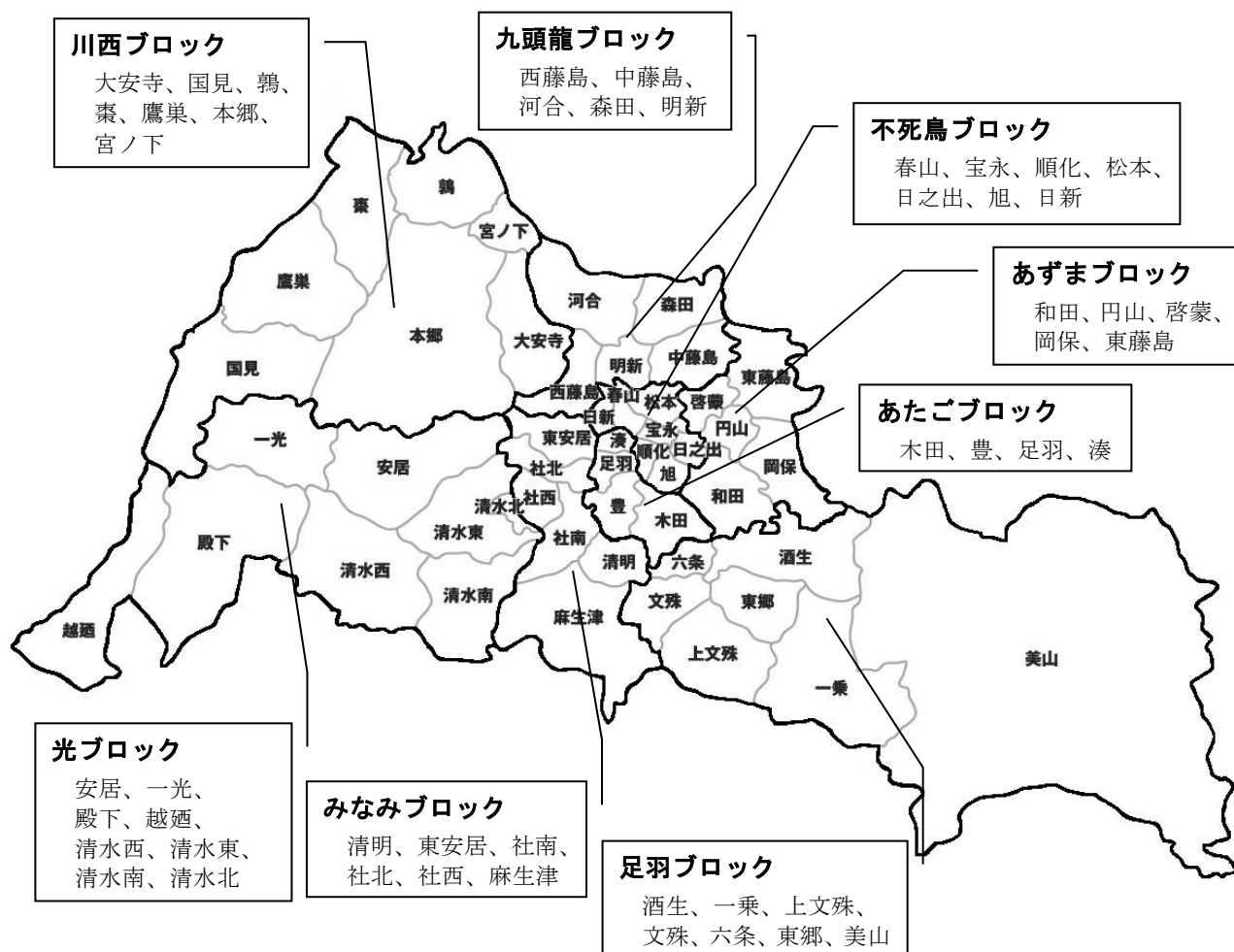
《総合計画調査》



《所属調査》



※各ブロックに含まれる地区名は、次のとおり



Ⅲ 調査結果（総合計画調査）

◆市のまちづくりについて

問 1 福井市が取り組んでいる施策について、あなたの満足度と重要度をお聞きます。
表中の「施策のポイント」を参考にいただき、施策全体としての満足度と重要度について、あなたのお考えに最も近い番号に○を付けてください。（それぞれ1つ）

No	施策	施策のポイント
I 快適に暮らすまち		
1	県都の顔にふさわしい都市空間形成（県都）	・足羽山公園遊園地のリニューアル、園路やサイン、眺望スポットの整備 ・中央公園と周辺の再整備による、福井城址との一体性の向上 ・えちぜん鉄道の高架化にあわせた福井駅周辺の道路整備
2	中心市街地の活性化（中心市街地）	・ハビリンを拠点とした賑わい創出や、まちなかのイベント実施 ・まちなかのリノベーションと、出店や開業、創業支援 ・電動アシスト自転車「ふくチャリ」のレンタルなど、回遊性の向上
3	北陸新幹線の福井開業準備（北陸新幹線）	・北陸新幹線福井開業に向けた整備 ・並行在来線の開業準備
4	移住定住の促進（移住定住）	・本市の魅力をPRすることによる、都市圏からのUターンへの促進 ・空き家の購入や、住宅リフォームへの補助 ・多世帯同居や近居、若年夫婦世帯への住宅支援
5	公共交通機関の利便性向上（公共交通）	・公共交通空白地域におけるバス運行支援 ・新たなバス利用者の掘り起こし ・えちぜん鉄道、福井鉄道の運営支援
6	公園の整備・維持管理（公園）	・市内公園の広場や遊具、トイレ等のリニューアル ・国体に向けた総合運動公園の駐車場等の施設の整備 ・団体が行う草花や樹木の育成活動への支援
7	市道の整備・維持管理（市道）	・市道の整備と維持管理 ・橋りょうの補修や耐震補強
8	建築物の安全性向上と住環境の整備（住環境）	・木造住宅の耐震診断及び工事に要する費用の支援 ・森田北東部における土地区画整理事業 ・市営住宅東安居団地の建替え
9	治水環境の整備（治水）	・河川や水路の整備と維持管理
10	生活排水の適切な処理（生活排水）	・公共下水道の普及 ・浄化槽維持管理への補助 ・下水管路施設の点検及び改築、污水处理場設備の更新
11	おいしい水の安定供給（おいしい水）	・安全でおいしい水の安定供給 ・水道事業の健全経営
12	都市ガスの安定供給（都市ガス）	・都市ガスの安定供給と保安の確保 ・ガス事業の健全経営
II 住みよいまち		
13	女性が活躍できる環境づくり（女性）	・幅広い年代の市民や企業への意識啓発による、女性が輝く環境整備 ・地域における男女共同参画意識の啓発
14	多文化共生と国際交流の推進（多文化共生）	・在住外国人への分かりやすい行政サービスの提供 ・姉妹友好都市との相互交流
15	協働のまちづくり（協働）	・市民のボランティアへの関心や意欲を高める啓発や情報提供 ・市民と行政の協働に向けた取組の推進
16	地域コミュニティの活性化（地域コミュニティ）	・自治会及び地区自治会連合会等が行う地域活動への支援 ・中山間地域の活性化を図る地域おこし協力隊の活動への支援 ・地域が取り組む地域課題の解決や魅力発信事業への支援
17	健康づくり支援（健康づくり）	・認知症初期段階での支援チーム（医療や福祉の専門職）による集中支援 ・健康診査の実施 ・運動や食を通じた健康づくりの普及啓発
18	子育て環境の充実（子育て環境）	・子どもの医療費助成や、一時保育及び家事代行などの生活支援 ・老朽化した保育園の改修、認定こども園への移行のための増改築 ・放課後児童会及び放課後児童クラブの運営

19	高齢者の活躍支援（高齢者）	・ひとり暮らし高齢者への必要なサービスの提供や見守り支援 ・地域包括支援センターの運営 ・地区が実施する敬老会や生きがい事業への支援
20	障がい者の活躍支援（障がい者）	・障がい福祉サービスの実施 ・障がい者への就労支援
21	環境保全の推進（環境保全）	・地域住民や市民団体等が行う自然保護及び再生事業への支援 ・環境汚染や水質汚濁等に係る環境監視や調査指導 ・環境問題に関心と理解を深めるための講座やイベントによる啓発
22	ごみの適正な処理（ごみ）	・市民団体が実施する雑がみの分別、古紙回収への支援 ・ごみ収集、資源ごみの有効利用の推進
23	地域の防災力・防犯力を高める（防災防犯）	・備蓄倉庫の非常食の入れ替えや災害時マンホールトイレの整備 ・自主防災組織の活動支援や災害時に支援が必要な人への支援体制づくり
24	消防・救急体制の強化（消防救急）	・女性消防団員の養成 ・防火水槽の整備 ・自治会等を対象とした防火教室の実施
25	消費者保護の推進（消費者保護）	・消費者相談や消費生活に関する情報提供
26	交通安全の推進（交通安全）	・交通安全の指導及び啓発、運転免許証の自主返納の推進

Ⅲ 活き活きと働くまち

27	農林水産業の推進（農林水産業）	・農地集積、集落営農の組織化や法人化の促進 ・農業生産基盤の整備や人材確保、大都市圏への販路開拓 ・UIターン者の農林水産業への就業支援と定住の促進
28	農産物の需要拡大（農産物）	・金福すいか、きゅうふく（サラダ人参）に続く農産物のブランド化 ・農林漁業者による加工及び販売の取組への支援 ・地産地消の拡大による食育の推進
29	農山漁村の生活環境を守る（農山漁村）	・地域が行う農地の維持活動や土地改良事業への支援 ・集落排水施設の整備 ・イノシシやシカ等の有害鳥獣による農作物被害の防止
30	商工業の振興（商工業）	・企業の新技術や新製品開発等への支援と繊維産業の活性化 ・企業立地や雇用に対する支援 ・起業家の育成や事業承継の支援
31	福井で働くことを応援する（労働）	・学生や社会人へのUIターン就職や正規雇用促進への支援 ・ワークライフバランスの推進に取り組む企業への支援
32	観光の振興とおもてなしの充実（観光）	・一乗谷朝倉氏遺跡の更なるイメージアップ ・ふくい春まつりや福井フェニックス祭りの開催 ・まちなかへの観光誘客 ・越前海岸ならではの食や体験を活かした観光活性化 ・市民総ぐるみの「観光おもてなし市民運動」の推進

Ⅳ 学び成長するまち

33	文化芸術の振興（文化芸術）	・市美展や魅力ある企画展の開催 ・文化会館の整備
34	歴史・文化遺産の保存・活用（歴史文化）	・一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園など、郷土の文化財の保存と活用 ・郷土歴史博物館の企画展の開催
35	自然科学教育の充実（自然科学）	・自然史博物館の企画展の開催 ・自然史博物館分館（セーレンブラネット）の管理運営
36	学校教育の充実（学校教育）	・ALT等を活用した小学校の英語活動の推進 ・学校と地域や企業をつなぐキャリアコーディネーターの配置
37	子どもの健全育成（子ども）	・指導者の部活動への派遣やトップアスリートの実技講習会の実施 ・国内の姉妹友好都市との交流体験の実施 ・少年自然の家での様々な体験活動の実施
38	学校環境の整備（学校環境）	・小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策や学校トイレの洋式化 ・通学路の点検や安全対策の実施
39	生涯学習の支援（生涯学習）	・公民館の建設及び改修と活動支援 ・市立図書館の大規模改修
40	生涯スポーツの支援（生涯スポーツ）	・各種スポーツ事業への助成 ・「福井しあわせ元気」国体、障害者スポーツ大会に向けた機運醸成と大会の円滑な開催

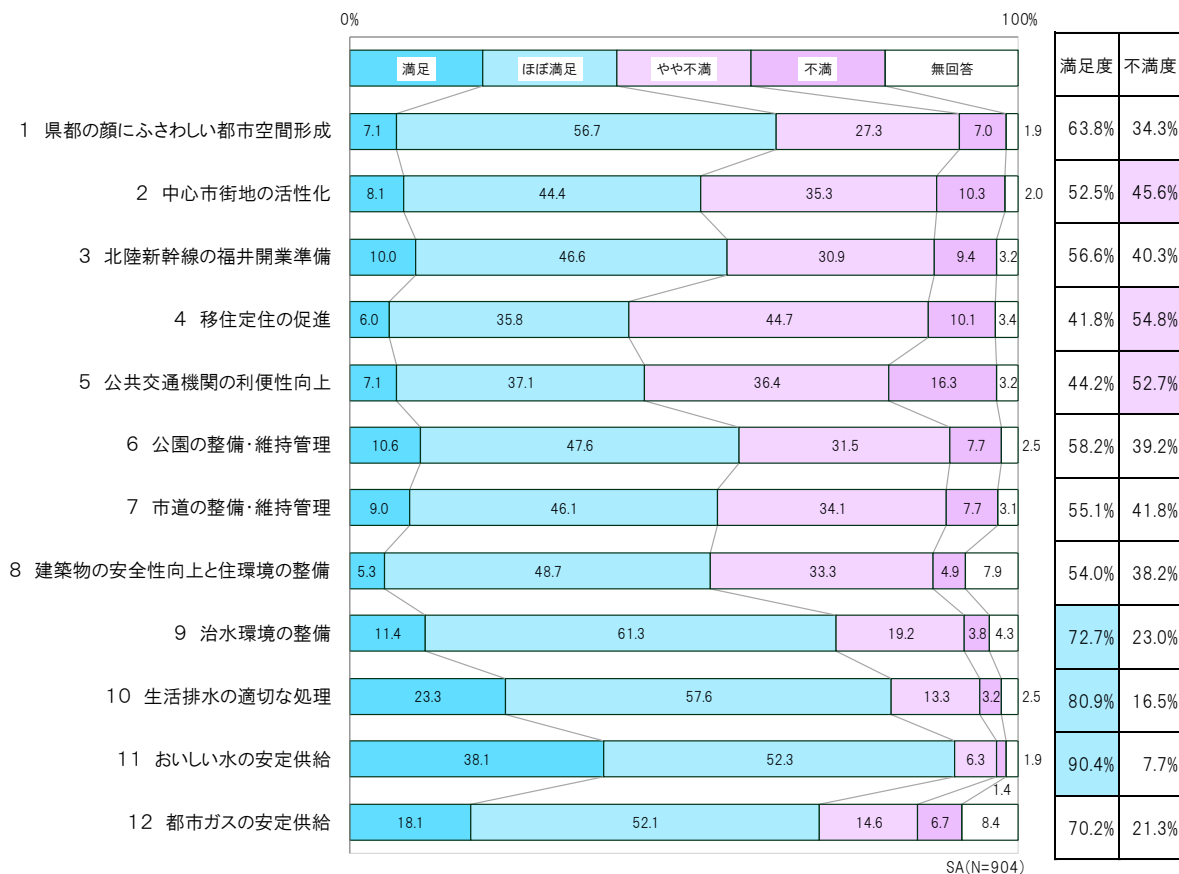
※この報告書では、施策名をカッコ内の略称で表記する場合があります。

満足度と不満度について

I 快適に暮らすまち

満足度（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の上位3位は、高い順に「11 おいしい水の安定供給」（90.4%）、「10 生活排水の適切な処理」（80.9%）、「9 治水環境の整備」（72.7%）となっている（カッコ内は満足度の割合）。

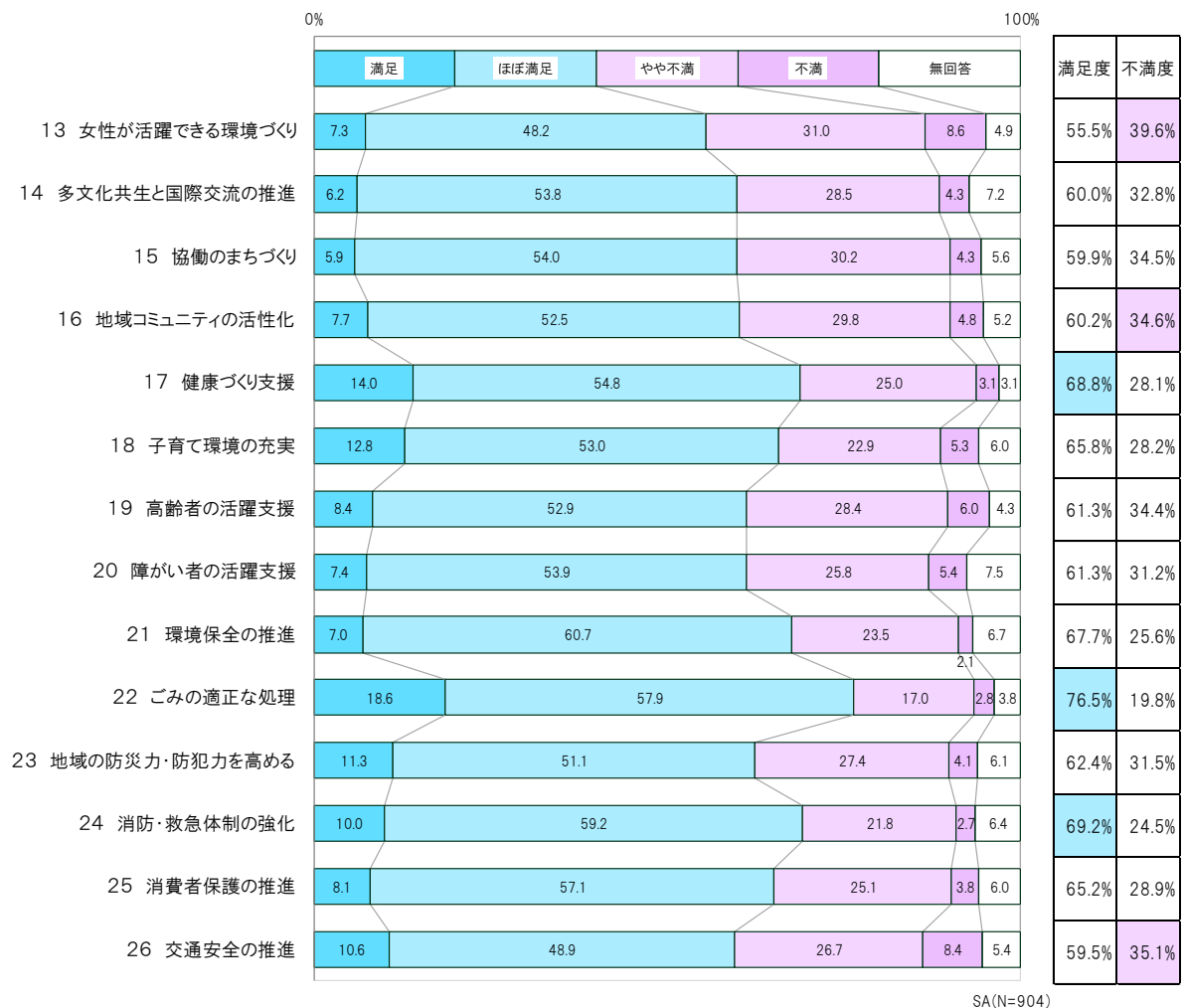
また、不満度（「不満」と「やや不満」の合計）の上位3位は、高い順に「4 移住定住の促進」（54.8%）、「5 公共交通機関の利便性の向上」（52.7%）、「2 中心市街地の活性化」（45.6%）となっている（カッコ内は不満度の割合）。



Ⅱ 住みよいまち

満足度の上位3位は、高い順に「22 ごみの適正な処理」(76.5%)、「24 消防・救急体制の強化」(69.2%)、「17 健康づくり支援」(68.8%)となっている。

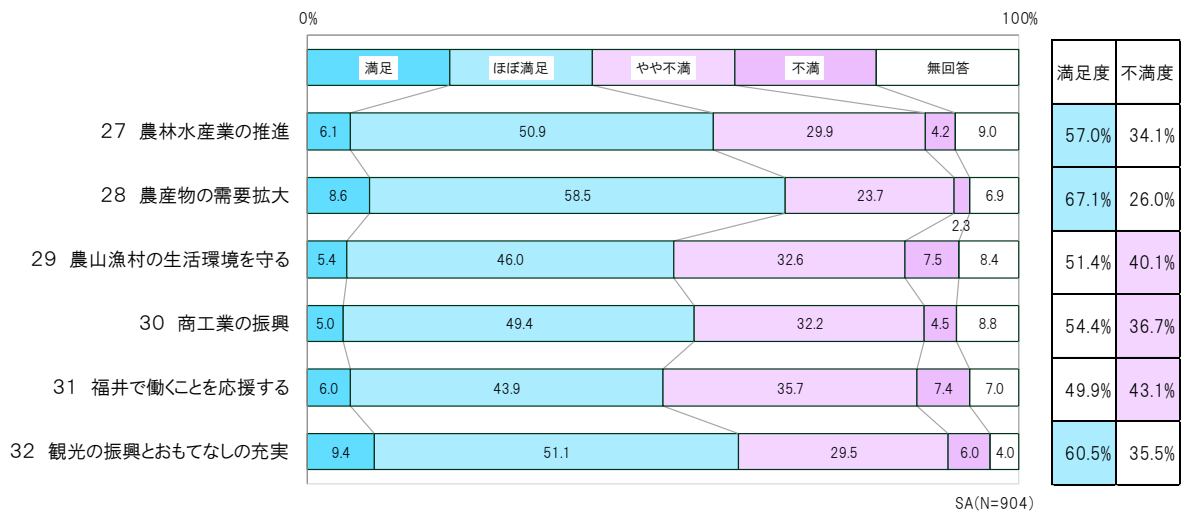
また、不満度の上位3位は、高い順に「13 女性が活躍できる環境づくり」(39.6%)、「26 交通安全の推進」(35.1%)、「16 地域コミュニティの活性化」(34.6%)となっている。



Ⅲ 生き活きと働くまち

満足度の上位3位は、高い順に「28 農産物の需要拡大」(67.1%)、「32 観光の振興とおもてなしの充実」(60.5%)、「27 農林水産業の推進」(57.0%)となっている。

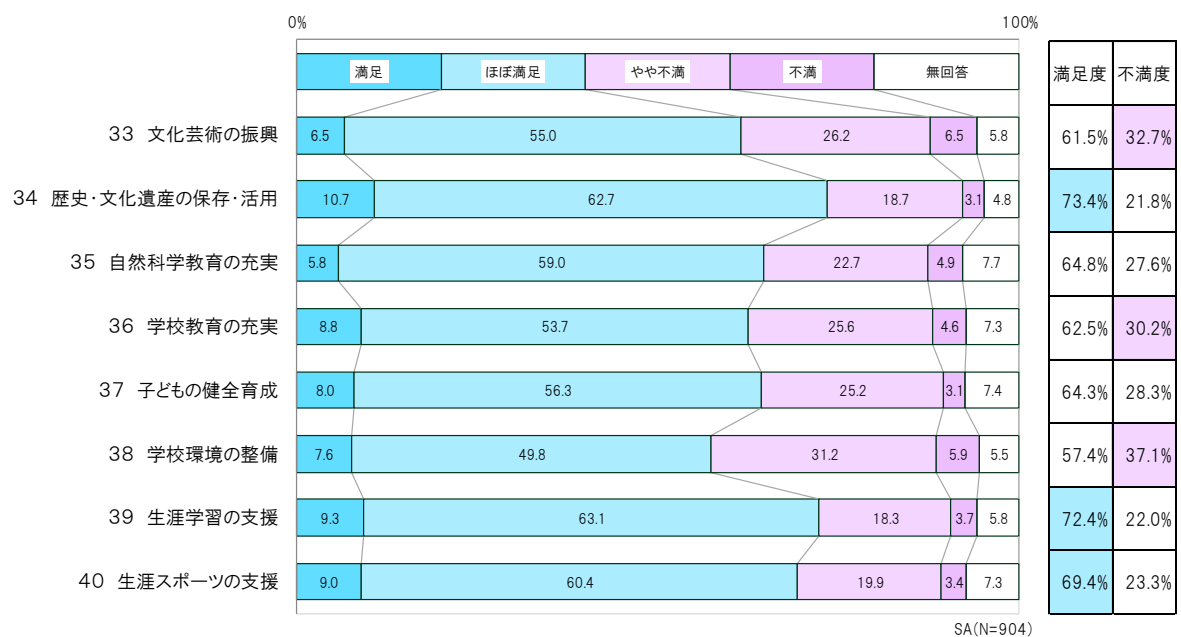
また、不満度の上位3位は、高い順に「31 福井で働くことを応援する」(43.1%)、「29 農山漁村の生活環境を守る」(40.1%)、「30 商工業の振興」(36.7%)となっている。



Ⅳ 学び成長するまち

満足度の上位3位は、高い順に「34 歴史・文化遺産の保存・活用」(73.4%)、「39 生涯学習の支援」(72.4%)、「40 生涯スポーツの支援」(69.4%)となっている。

また、不満度の上位3位は、高い順に「38 学校環境の整備」(37.1%)、「33 文化芸術の振興」(32.7%)、「36 学校教育の充実」(30.2%)となっている。

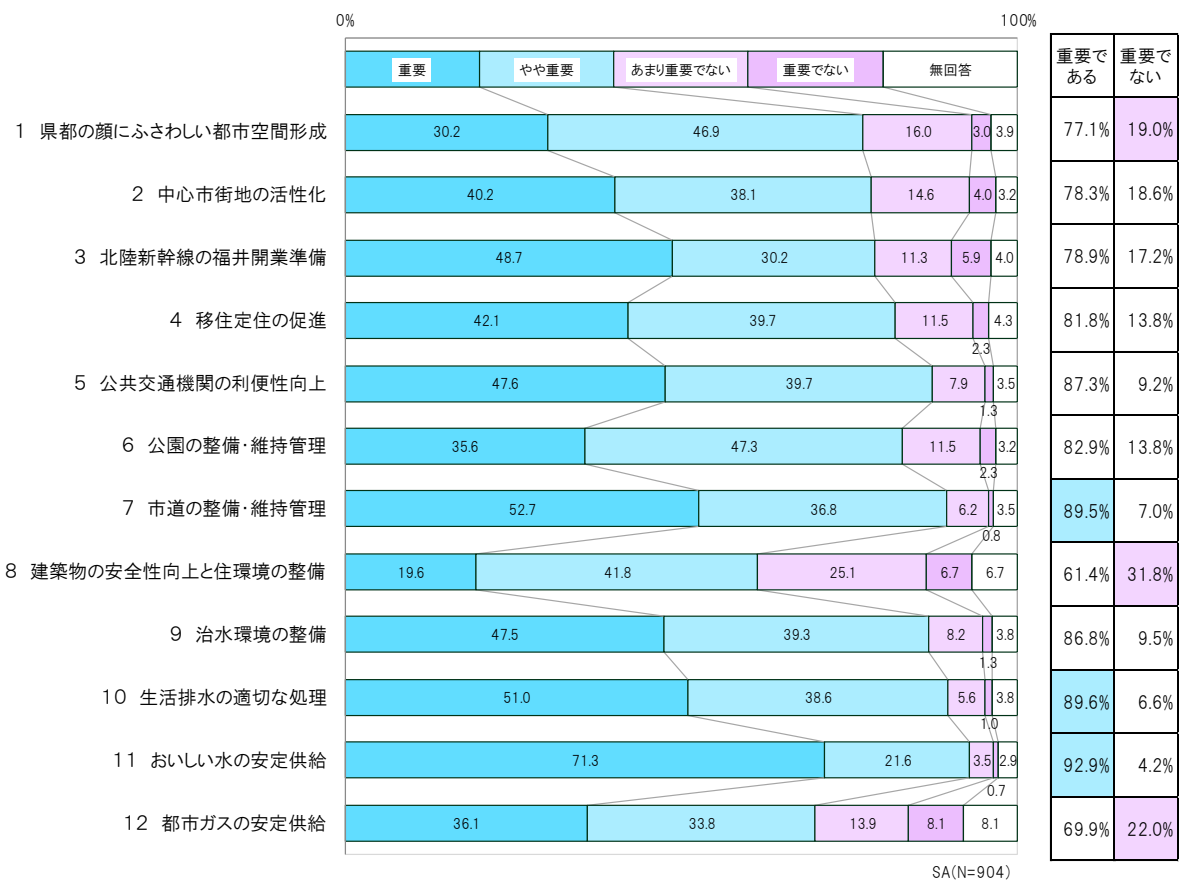


「重要である」と「重要でない」について

I 快適に暮らすまち

「重要である」（「重要」と「やや重要」の合計）の上位3位は、高い順に「11 おいしい水の安定供給」（92.9%）、「10 生活排水の適切な処理」（89.6%）、「7 市道の整備・維持管理」（89.5%）となっている（カッコ内は「重要である」の割合）。

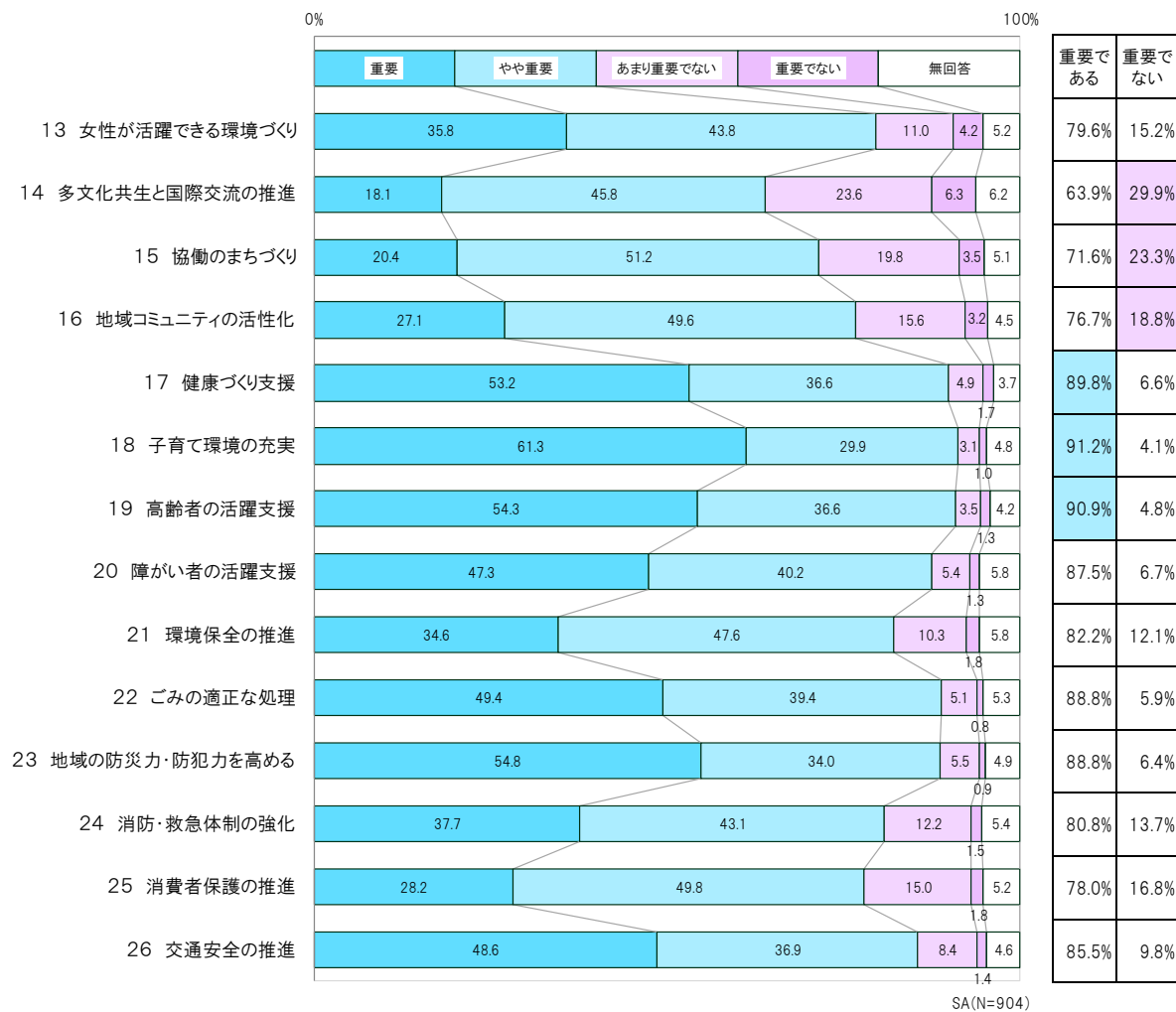
また「重要でない」（「あまり重要でない」と「重要でない」の合計）の上位3位は、高い順に「8 建築物の安全性向上と住環境の整備」（31.8%）、「12 都市ガスの安定供給」（22.0%）、「1 県都の顔にふさわしい都市空間形成」（19.0%）となっている（カッコ内は「重要でない」の割合）。



Ⅱ 住みよいまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「17 子育て環境の充実」(91.2%)、「19 高齢者の活躍支援」(90.9%)、「17 健康づくり支援」(89.8%)となっている。

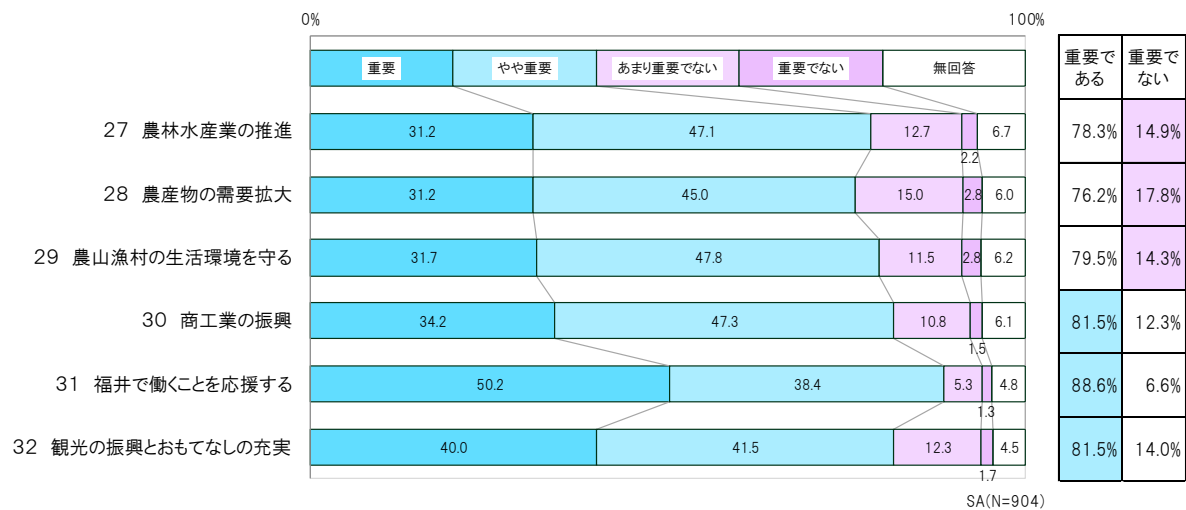
また「重要でない」の上位3位は、高い順に「14 多文化共生と国際交流の推進」(29.9%)、「15 協働のまちづくり」(23.3%)、「16 地域コミュニティの活性化」(18.8%)となっている。



Ⅲ 生き生きと働くまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「31 福井で働くことを応援する」(88.6%)、「30 商工業の振興」(81.5%)、「32 観光の振興とおもてなしの充実」(81.5%)となっている。

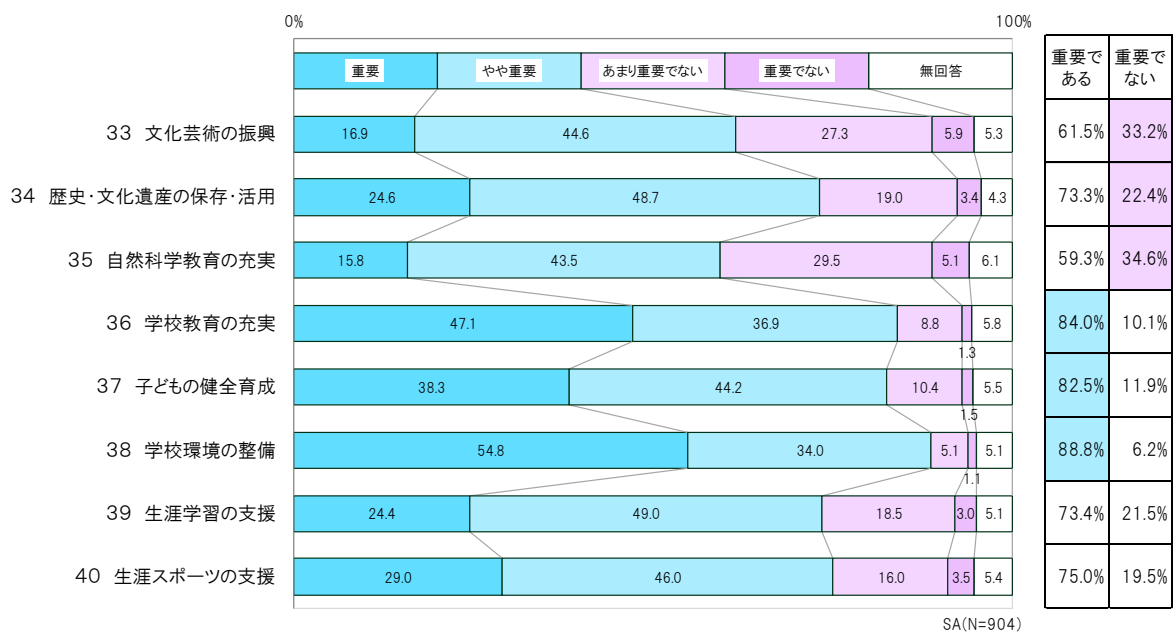
また「重要でない」の上位3位は、高い順に「28 農産物の需要拡大」(17.8%)、「27 農林水産業の推進」(14.9%)、「29 農山漁村の生活環境を守る」(14.3%)となっている。



Ⅳ 学び成長するまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「38 学校環境の整備」(88.8%)、「36 学校教育の充実」(84.0%)、「37 子どもの健全育成」(82.5%)となっている。

また「重要でない」の上位3位は、高い順に「35 自然科学教育の充実」(34.6%)、「33 文化芸術の振興」(33.2%)、「34 歴史・文化遺産の保存・活用」(22.4%)となっている。



属性別満足度順位

《全体》

《性別》

順位	全体		男性		女性	
1	11	おいしい水	90.4	11	おいしい水	90.5
2	10	生活排水	80.9	10	生活排水	80.5
3	22	ごみ	76.5	22	ごみ	77.2
4	34	歴史文化	73.4	09	治水	75.9
5	09	治水	72.7	34	歴史文化	75.5

《年齢別》

順位	18～29 歳		30～39 歳		40～49 歳	
1	11	おいしい水	92.8	11	おいしい水	93.3
2	10	生活排水	86.7	09	治水	81.0
3	39	生涯学習	82.0	10	生活排水	77.1
4	09	治水	81.9	24	消防救急	76.6
5	12	都市ガス	80.7	28	農産物	76.0

順位	50～59 歳		60～69 歳		70 歳以上	
1	11	おいしい水	93.1	11	おいしい水	91.4
2	10	生活排水	82.0	22	ごみ	80.5
3	12	都市ガス	74.6	10	生活排水	80.0
4	34	歴史文化	74.0	34	歴史文化	74.3
5	24	消防救急	72.6	39	生涯学習	73.1

《地区別》

順位	あたごブロック		不死鳥ブロック		みなみブロック		あずまブロック	
1	11	おいしい水	89.0	11	おいしい水	90.6	11	おいしい水
2	10	生活排水	79.7	10	生活排水	78.2	10	生活排水
3	22	ごみ	78.9	12	都市ガス	76.8	09	治水
4	39	生涯学習	75.8	22	ごみ	75.3	22	ごみ
5	12	都市ガス	75.0	34	歴史文化	72.5	39	生涯学習

順位	九頭竜ブロック		光ブロック		川西ブロック		足羽ブロック	
1	11	おいしい水	86.1	11	おいしい水	83.9	11	おいしい水
2	10	生活排水	82.1	10	生活排水	83.9	22	ごみ
3	09	治水	75.5	22	ごみ	80.7	10	生活排水
4	22	ごみ	75.5	17	健康づくり	80.6	34	歴史文化
5	34	歴史文化	75.5	12	都市ガス	80.6	17	健康づくり

属性別不満度順位

《全体》

《性別》

順位	全体		男性		女性	
1	04 移住定住	54.8	04 移住定住	56.5	04 移住定住	52.6
2	05 公共交通	52.7	05 公共交通	53.7	05 公共交通	51.9
3	02 中心市街地	45.6	31 労働	49.9	02 中心市街地	44.1
4	31 労働	43.1	02 中心市街地	47.6	07 市道	41.7
5	07 市道	41.8	29 農山漁村	43.0	03 北陸新幹線	39.5

《年齢別》

順位	18～29 歳		30～39 歳		40～49 歳	
1	05 公共交通	59.0	04 移住定住	56.4	05 公共交通	54.2
2	02 中心市街地	57.9	05 公共交通	55.3	04 移住定住	52.0
3	04 移住定住	51.8	02 中心市街地	53.2	02 中心市街地	44.1
4	32 観光	43.3	14 多文化共生	42.6	03 北陸新幹線	40.8
5	07 市道	42.1	03 北陸新幹線	40.5	26 交通安全	40.8

順位	50～59 歳		60～69 歳		70 歳以上	
1	05 公共交通	59.0	04 移住定住	61.8	04 移住定住	48.0
2	04 移住定住	54.7	05 公共交通	51.3	29 農山漁村	47.4
3	02 中心市街地	50.3	29 農山漁村	50.8	07 市道	42.3
4	31 労働	47.8	31 労働	50.2	05 公共交通	41.7
5	03 北陸新幹線	46.5	07 市道	47.6	06 公園	39.4

《地区別》

順位	あたごブロック		不死鳥ブロック		みなみブロック		あずまブロック	
1	04 移住定住	54.7	04 移住定住	58.9	05 公共交通	55.8	05 公共交通	60.2
2	05 公共交通	46.9	02 中心市街地	45.6	04 移住定住	52.9	04 移住定住	54.5
3	06 公園	45.3	07 市道	43.7	31 労働	45.0	06 公園	48.8
4	38 学校環境	42.2	08 住環境	43.1	30 商工業	44.9	31 労働	47.7
5	29 農山漁村	41.4	03 北陸新幹線	42.3	29 農山漁村	43.4	02 中心市街地	45.5

順位	九頭竜ブロック		光ブロック		川西ブロック		足羽ブロック	
1	04 移住定住	56.9	29 農山漁村	70.2	05 公共交通	61.3	04 移住定住	56.6
2	05 公共交通	52.9	05 公共交通	57.5	04 移住定住	54.9	29 農山漁村	54.7
3	02 中心市街地	50.3	31 労働	53.2	29 農山漁村	51.6	05 公共交通	50.9
4	07 市道	45.0	04 移住定住	51.0	38 学校環境	51.6	31 労働	43.4
5	06 公園	43.1	07 市道	49.0	27 農林水産業	48.4	02 中心市街地	41.5

属性別「重要である」順位

《全体》

《性別》

順位	全体		男性		女性	
1	11 おいしい水	92.9	11 おいしい水	93.1	11 おいしい水	93.2
2	18 子育て環境	91.2	18 子育て環境	91.8	17 健康づくり	91.6
3	19 高齢者	90.9	19 高齢者	91.3	18 子育て環境	91.6
4	17 健康づくり	89.8	07 市道	90.1	19 高齢者	91.6
5	10 生活排水	89.6	38 学校環境	89.8	10 生活排水	90.5

《年齢別》

順位	18～29 歳		30～39 歳		40～49 歳	
1	18 子育て環境	98.8	18 子育て環境	94.7	11 おいしい水	94.9
2	38 学校環境	95.2	38 学校環境	94.7	18 子育て環境	93.3
3	11 おいしい水	92.8	11 おいしい水	92.6	07 市道	92.7
4	05 公共交通	91.6	19 高齢者	92.6	23 防災防犯	91.6
5	07 市道	91.6	22 ごみ	91.5	31 労働	91.0

順位	50～59 歳		60～69 歳		70 歳以上	
1	11 おいしい水	94.4	11 おいしい水	93.7	11 おいしい水	88.6
2	19 高齢者	94.4	19 高齢者	92.2	17 健康づくり	88.6
3	20 障がい者	93.8	31 労働	91.7	19 高齢者	88.6
4	17 健康づくり	92.6	10 生活排水	91.1	07 市道	87.4
5	23 防災防犯	92.5	18 子育て環境	90.6	09 治水	86.3

《地区別》

順位	あたごブロック		不死鳥ブロック		みなみブロック		あずまブロック	
1	11 おいしい水	96.1	11 おいしい水	91.4	11 おいしい水	93.4	38 学校環境	93.2
2	18 子育て環境	93.7	19 高齢者	90.8	17 健康づくり	92.0	07 市道	90.9
3	19 高齢者	92.2	18 子育て環境	88.1	19 高齢者	92.0	11 おいしい水	90.9
4	10 生活排水	91.4	05 公共交通	87.4	18 子育て環境	91.3	19 高齢者	90.9
5	17 健康づくり	91.4	20 障がい者	87.4	31 労働	89.9	20 障がい者	90.9

順位	九頭竜ブロック		光ブロック		川西ブロック		足羽ブロック	
1	11 おいしい水	92.1	11 おいしい水	97.9	10 生活排水	96.8	10 生活排水	90.6
2	18 子育て環境	91.4	17 健康づくり	97.9	23 防災防犯	96.8	17 健康づくり	90.5
3	07 市道	90.7	10 生活排水	95.8	30 商工業	96.8	07 市道	88.7
4	20 障がい者	90.7	19 高齢者	95.7	18 子育て環境	96.8	11 おいしい水	88.7
5	22 ごみ	90.0	18 子育て環境	93.6	38 学校環境	96.7	19 高齢者	88.7

属性別「重要でない」順位

《全体》

《性別》

順位	全体		男性		女性	
1	35 自然科学	34.6	33 文化芸術	40.0	35 自然科学	31.2
2	33 文化芸術	33.2	35 自然科学	38.9	08 住環境	29.6
3	08 住環境	31.8	08 住環境	34.8	33 文化芸術	28.2
4	14 多文化共生	29.9	14 多文化共生	33.4	14 多文化共生	27.1
5	15 協働	23.3	12 都市ガス	31.3	15 協働	20.7

《年齢別》

順位	18～29 歳		30～39 歳		40～49 歳	
1	35 自然科学	39.8	33 文化芸術	42.6	35 自然科学	41.9
2	14 多文化共生	32.5	35 自然科学	37.3	08 住環境	41.3
3	33 文化芸術	32.5	08 住環境	36.2	33 文化芸術	38.5
4	08 住環境	31.3	14 多文化共生	35.1	14 多文化共生	32.4
5	15 協働	28.9	12 都市ガス	34.1	12 都市ガス	31.3

順位	50～59 歳		60～69 歳		70 歳以上	
1	33 文化芸術	36.7	33 文化芸術	37.2	35 自然科学	18.9
2	35 自然科学	36.7	35 自然科学	37.1	14 多文化共生	16.5
3	14 多文化共生	34.8	08 住環境	35.1	33 文化芸術	16.5
4	08 住環境	33.6	14 多文化共生	30.9	08 住環境	14.8
5	39 生涯学習	26.7	40 生涯スポーツ	22.5	02 中心市街地	12.6

《地区別》

順位	あたごブロック		不死鳥ブロック		みなみブロック		あずまブロック	
1	08 住環境	34.4	08 住環境	32.4	35 自然科学	31.1	35 自然科学	36.4
2	35 自然科学	32.0	35 自然科学	29.2	08 住環境	30.4	33 文化芸術	36.3
3	14 多文化共生	30.5	33 文化芸術	27.8	33 文化芸術	29.7	08 住環境	27.3
4	33 文化芸術	30.5	14 多文化共生	22.5	14 多文化共生	27.5	12 都市ガス	25.0
5	15 協働	21.1	28 農産物	20.5	12 都市ガス	22.5	34 歴史文化	25.0

順位	九頭竜ブロック		光ブロック		川西ブロック		足羽ブロック	
1	33 文化芸術	40.4	35 自然科学	44.7	01 県都	32.3	14 多文化共生	39.6
2	35 自然科学	37.8	33 文化芸術	38.3	33 文化芸術	32.3	33 文化芸術	37.8
3	14 多文化共生	33.8	14 多文化共生	32.0	35 自然科学	32.2	15 協働	34.0
4	08 住環境	31.2	08 住環境	29.8	02 中心市街地	25.9	35 自然科学	34.0
5	15 協働	31.1	34 歴史文化	29.8	03 北陸新幹線	25.8	08 住環境	33.9

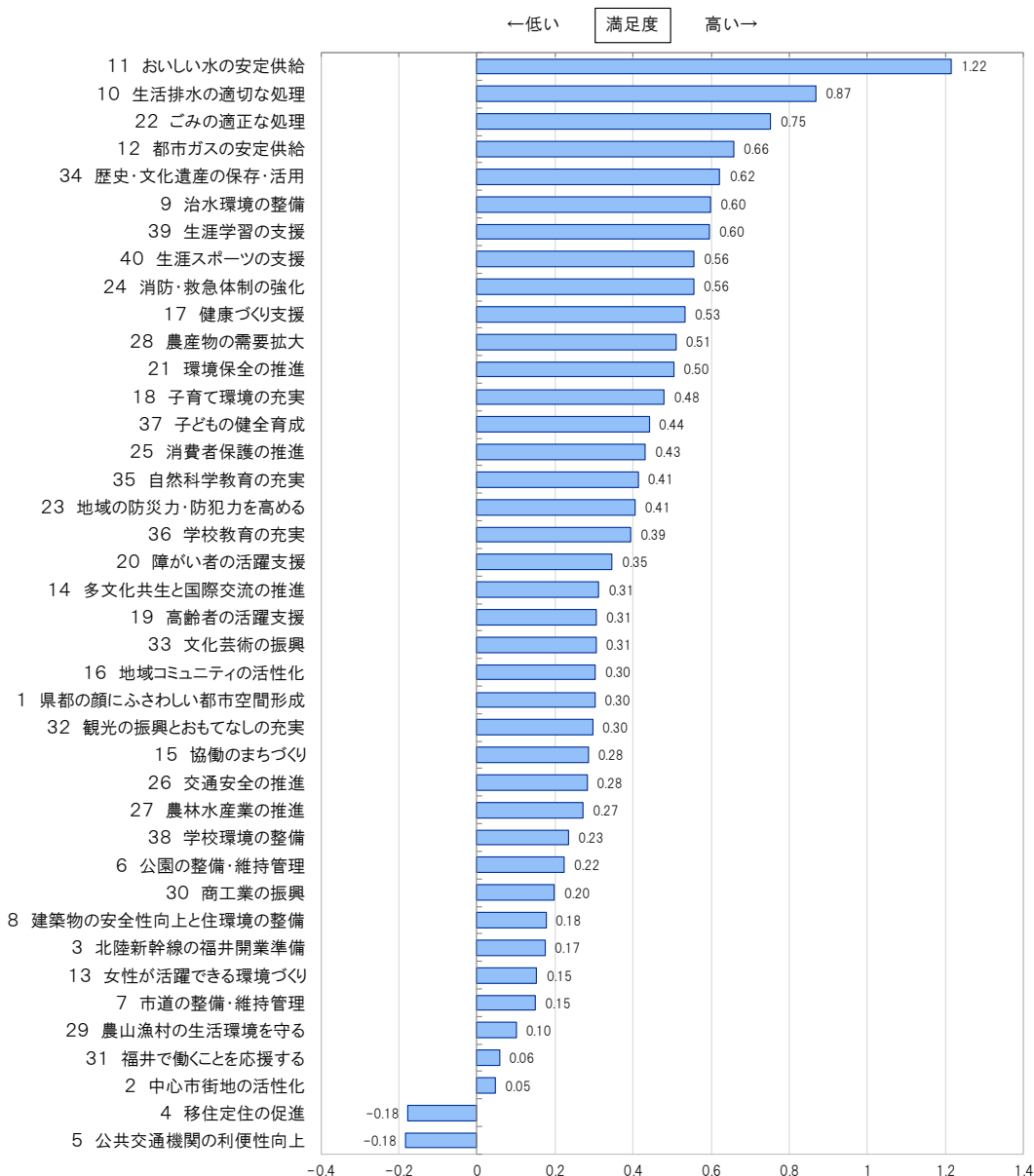
満足度の評価点

満足度を総合的に評価するため、以下のように満足度に点数をつけ、項目ごとに平均値を算出した結果が次のグラフである。

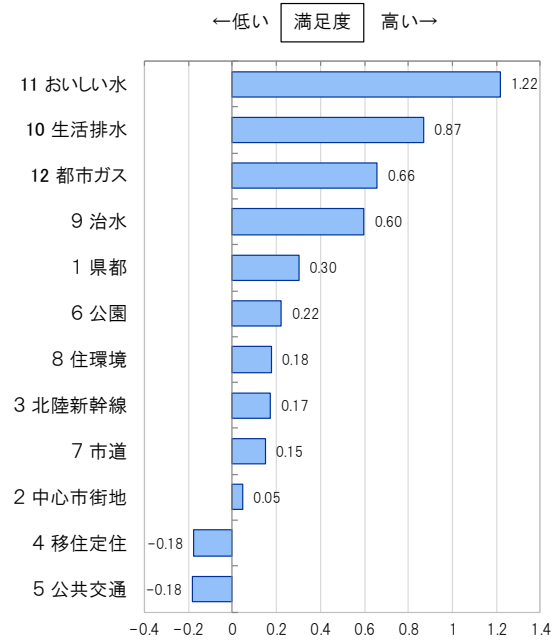
満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点

評価点の上位をみると、高い順に「11 おいしい水の安定供給」(1.22)、「10 生活排水の適切な処理」(0.87)、「22 ごみの適正な処理」(0.75)となっている。

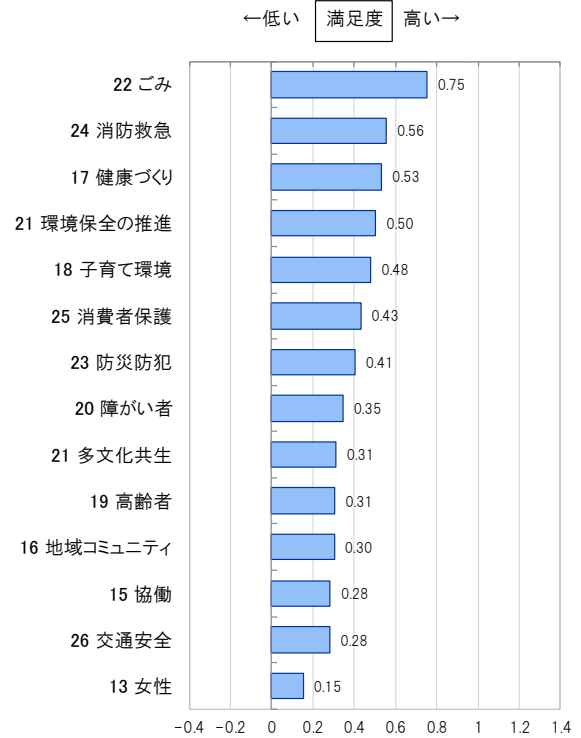
また下位は、低い順に「5 公共交通機関の利便性向上」(-0.18)、「4 移住定住の促進」(-0.18)、「2 中心市街地の活性化」(0.05)となっている（カッコ内は評価点）。ただし、評価点の順位は、「満足度」の順位とは必ずしも一致しない。



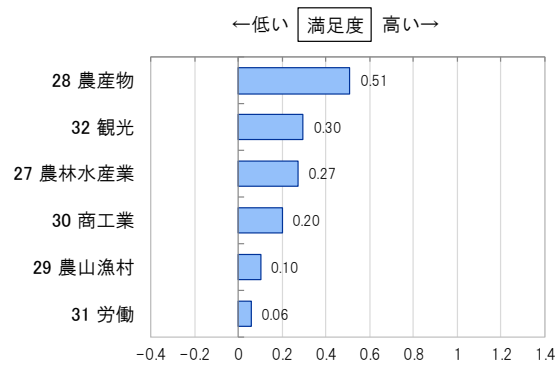
I 快適に暮らすまち



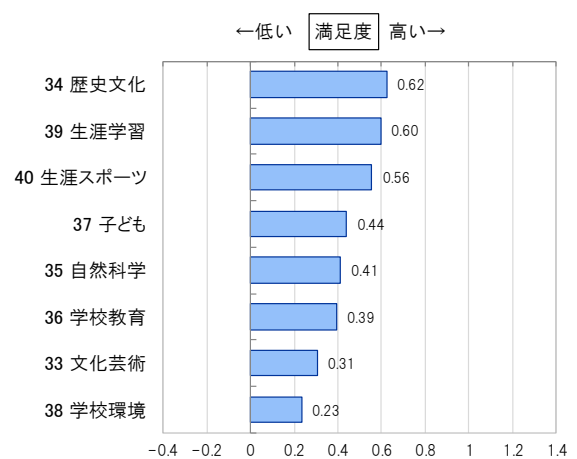
II 住みよいまち



III 生き活きと働くまち



IV 学び成長するまち



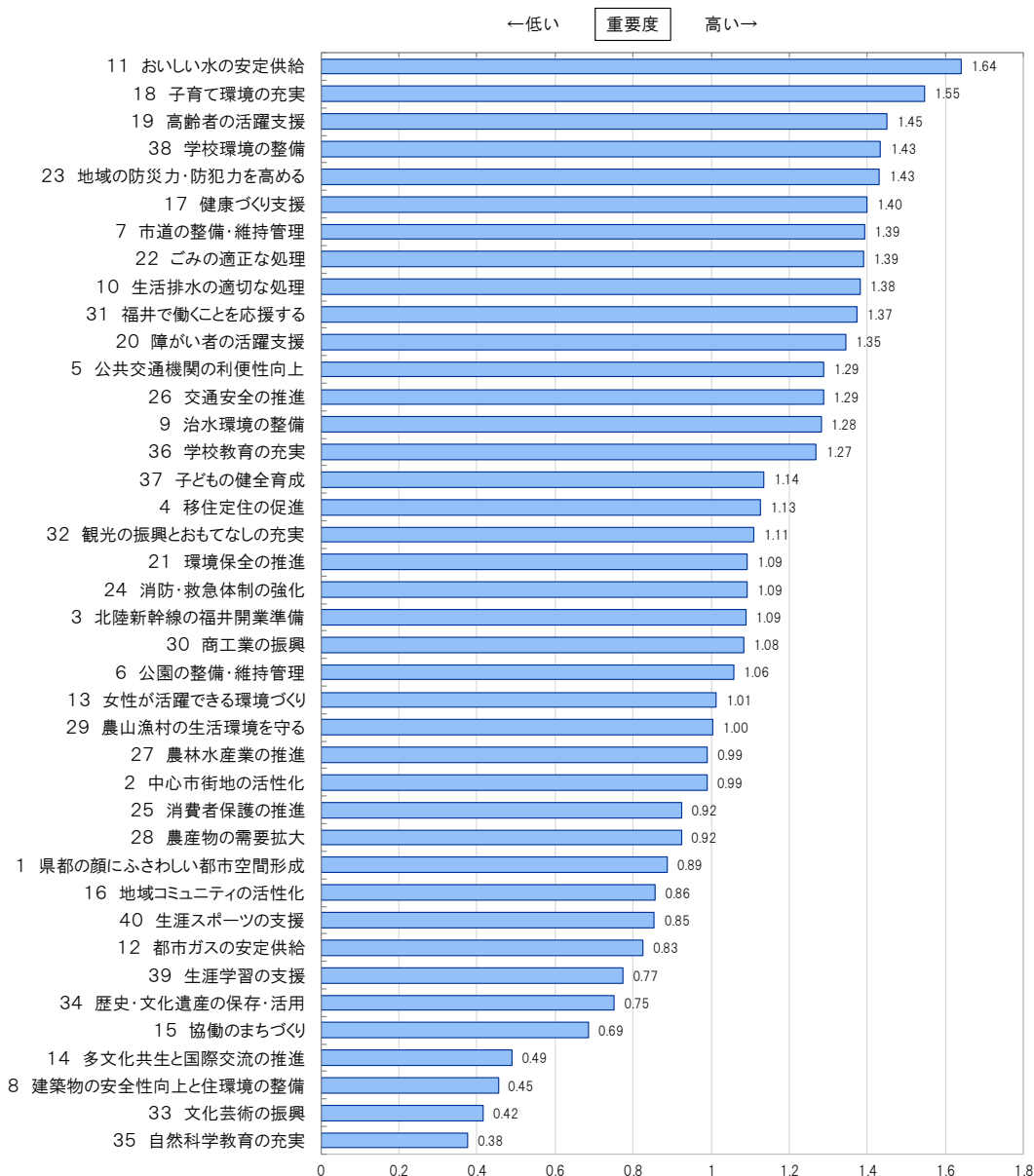
重要度の評価点

重要度を総合的に評価するため、以下のように重要度に点数をつけ、項目ごとに平均値を算出した結果が次のグラフである。

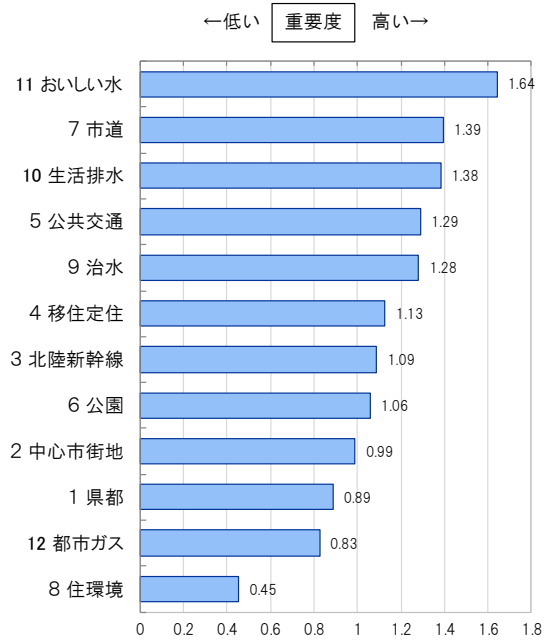
重要：2点、やや重要：1点、あまり重要でない：－1点、重要でない：－2点

評価点の上位をみると、高い順に「11 おいしい水の安定供給」(1.64)、「18 子育て環境の充実」(1.55)、「19 高齢者の活躍支援」(1.45)となっている。

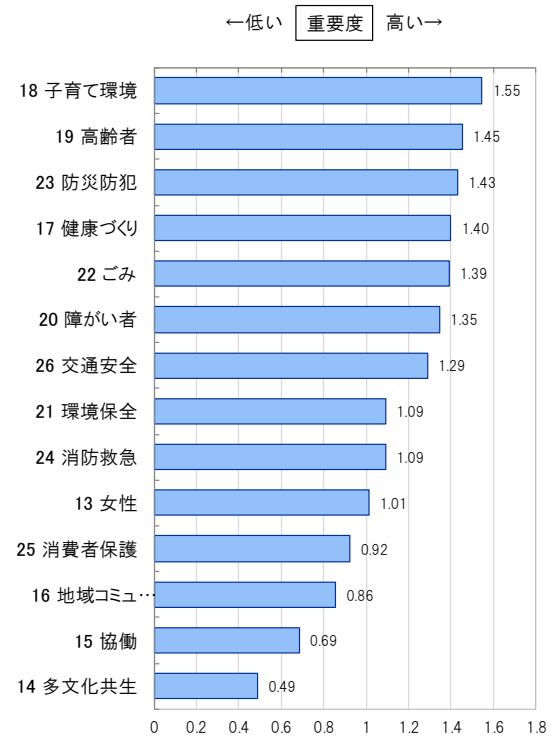
また下位は、低い順に「35 自然科学教育の充実」(0.38)、「33 文化芸術の振興」(0.42)、「8 建築物の安全性向上と住環境の整備」(0.45)となっている（カッコ内は評価点）。ただし、評価点の順位は、「重要度」の順位とは必ずしも一致しない。



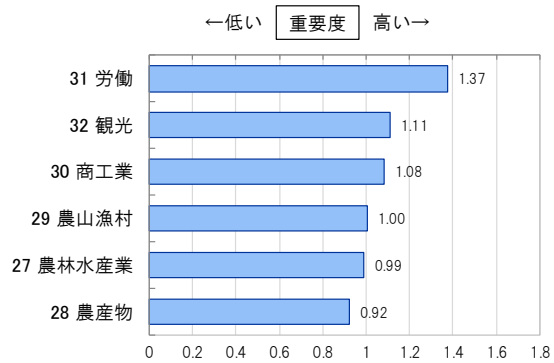
I 快適に暮らすまち



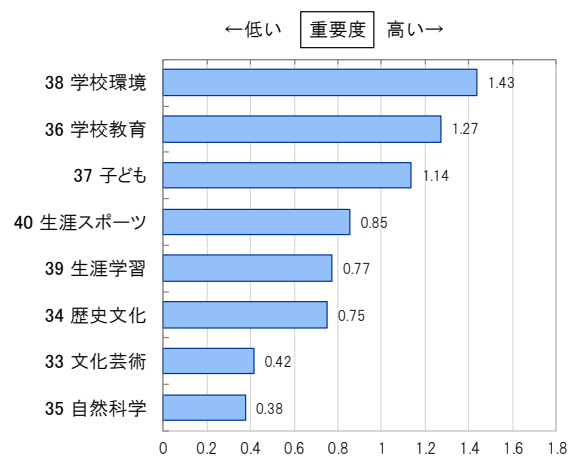
II 住みよいまち



III 生き活きと働くまち



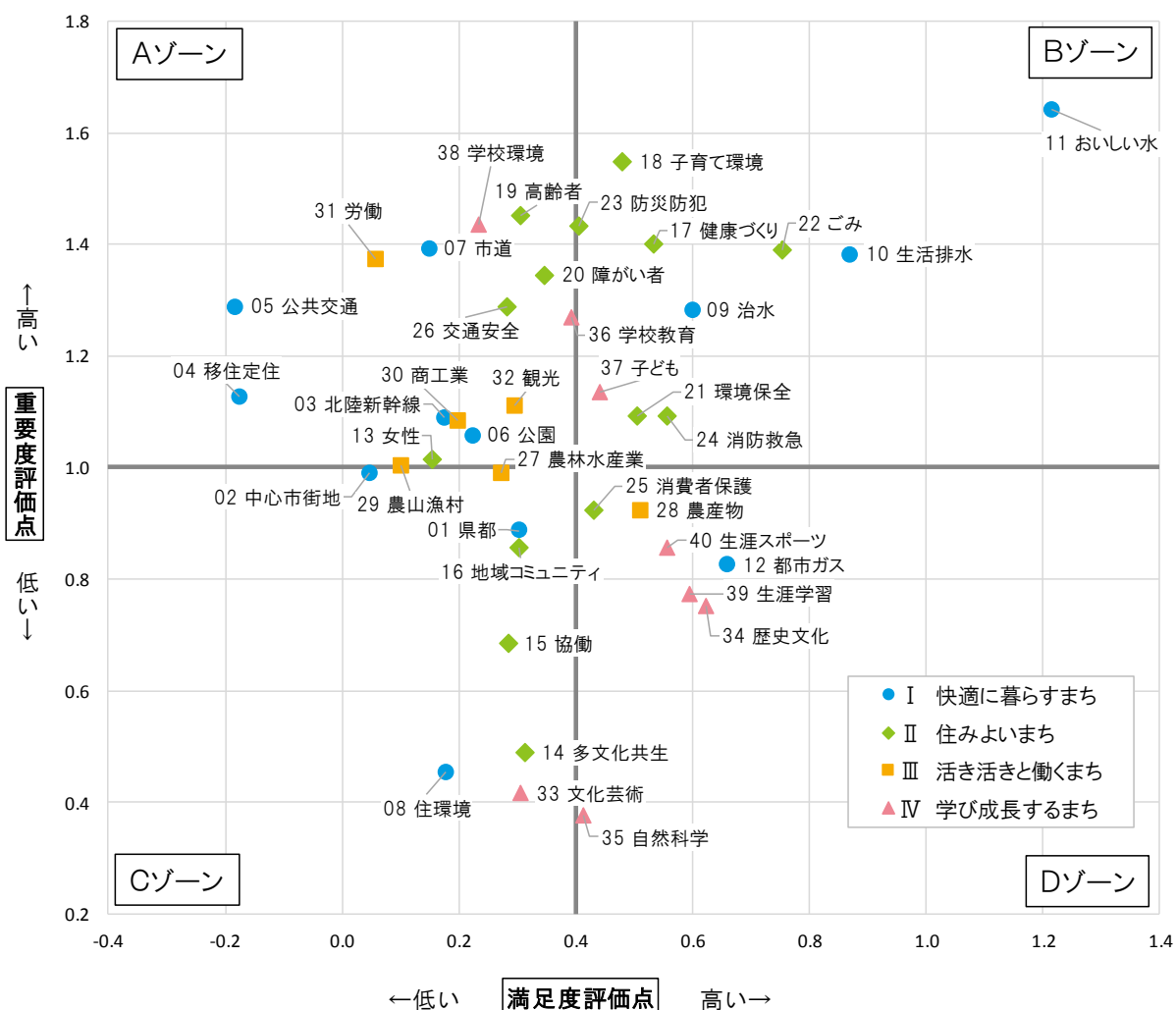
IV 学び成長するまち



満足度評価点と重要度評価点の関係

満足度評価点を横軸に、重要度評価点を縦軸にとり、各施策の位置を表したのが次のグラフである。2つの評価点の関係によって各施策を相対的に表すために、グラフ中、太字で示された縦横の中心線でAからDの4つのゾーンに分け、各施策を分類した。しかしながら、中心線に近くなるほど隣接するゾーンの要素も含まれてくることになるため、これをもって今後の施策の方向性を明確に分類するものではない。

満足度評価点と重要度評価点の相関図



全体では、満足度評価点は40施策のうち38施策がプラスとなっており、今回の調査においては、市の施策についておおむね満足の評価が得られたといえる。

また、重要度評価点は、全ての施策がプラスとなっている。

各ゾーンに分布する施策を見ると、Aゾーンに位置する施策は、重要度は高いが、満足度は低いとされた施策である。

「北陸新幹線」「公共交通」「商工業」「観光」といった、注目度の高い15施策がこのゾーンに位置している。

市民の関心が高いことから、今後、満足度を高めていく必要がある。

Bゾーンに位置する施策は、満足度と重要度が共に高い施策である。

「おいしい水」「健康づくり」「子育て環境」「防災防犯」といった、生活に密着した10施策がこのゾーンに位置している。

今後も継続的に施策の改善を図り、更に満足度を高めていく必要がある。

Cゾーンに位置する施策は、満足度と重要度が共に低い施策である。

「県都」「多文化共生」「農林水産業」「文化芸術」といった、8施策がこのゾーンに位置している。

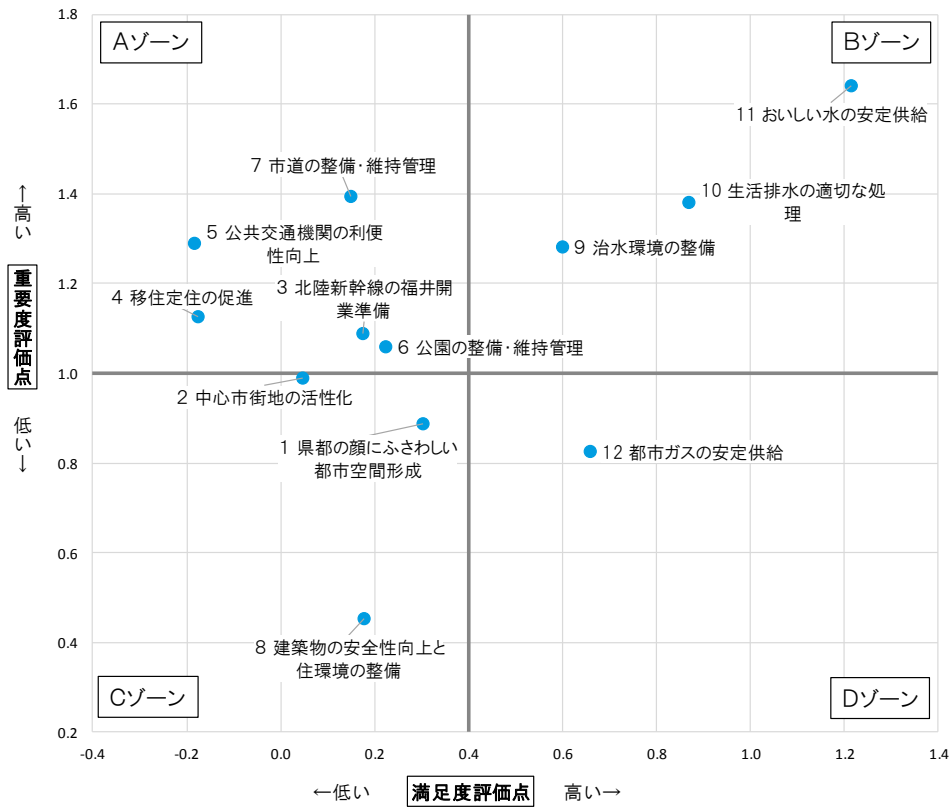
中心市街地や外国人など、施策の対象が限られているため、まずは市民全体の認識を高め、施策の重要性を理解していただくことが先決である。

Dゾーンに位置する施策は、重要度は低いが、満足度は高いとされた施策である。

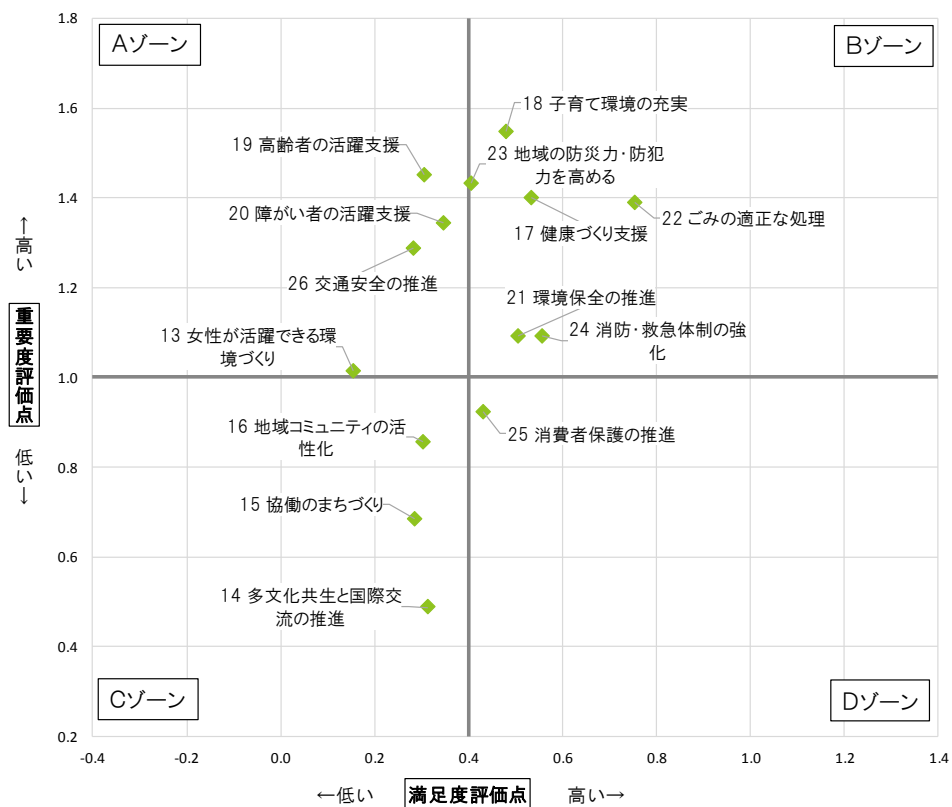
「都市ガス」「消費者保護」「自然科学」「生涯スポーツ」といった、7施策がこのゾーンに位置している。

一定の満足度は得られているが、認知度の低さが重要度に表れている可能性があるため、着実に施策を推進する中で、重要性についても認識を高めていく必要がある。

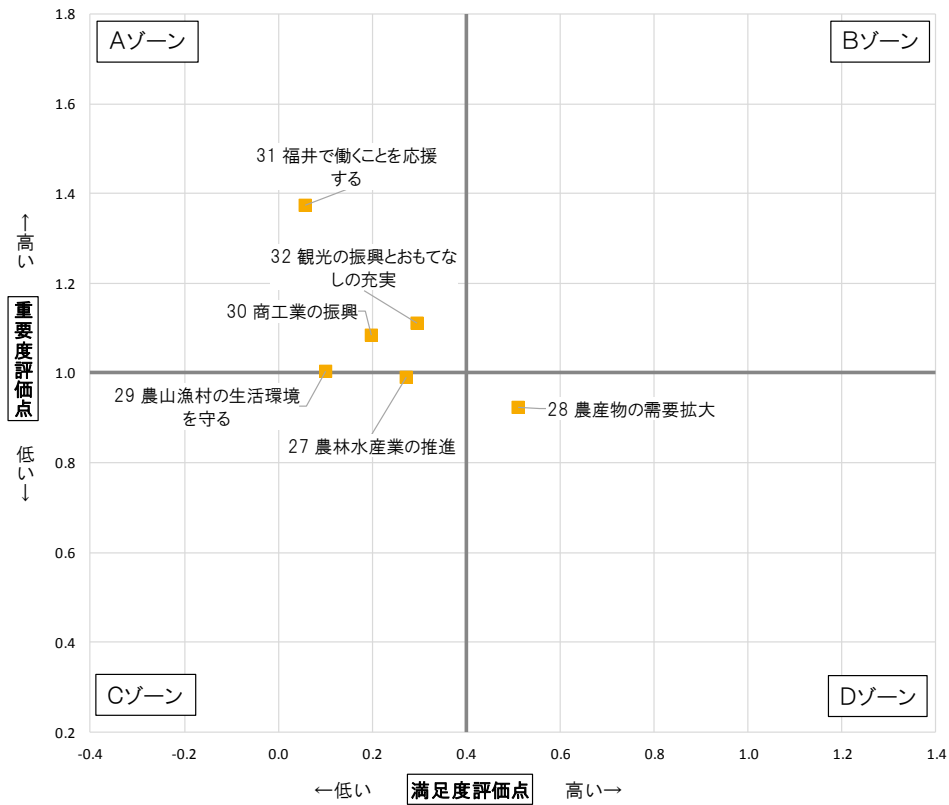
● I 快適に暮らすまち



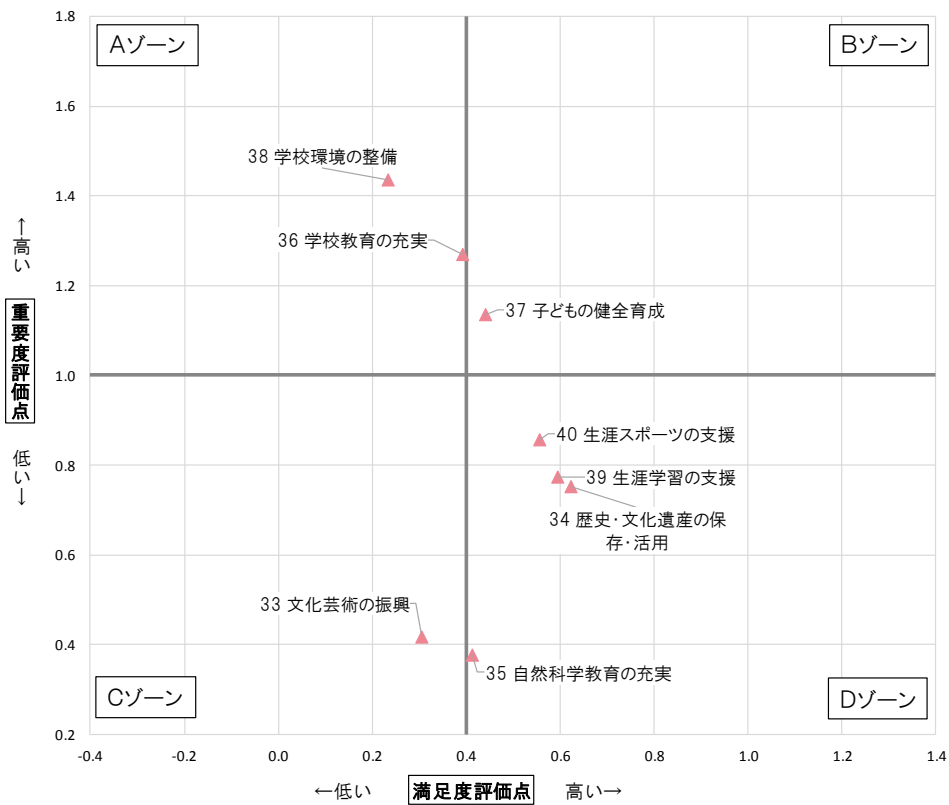
◆ II 住みよいまち



■ Ⅲ 生き活きと働くまち



▲ Ⅳ 学び成長するまち



施策の満足度・重要度について

以下のカテゴリーごとに、満足度、不満度、「重要である」及び「重要でない」それぞれ上位3位までの施策の集計分析結果を掲載している。

- I 快適に暮らすまち
- II 住みよいまち
- III 生き活きと働くまち
- IV 学び成長するまち

本文中の「重要である」は、「重要」と「やや重要」との合計を指すのに対し、“重要”は、「重要である」のうち「重要」のみの部分を指す。

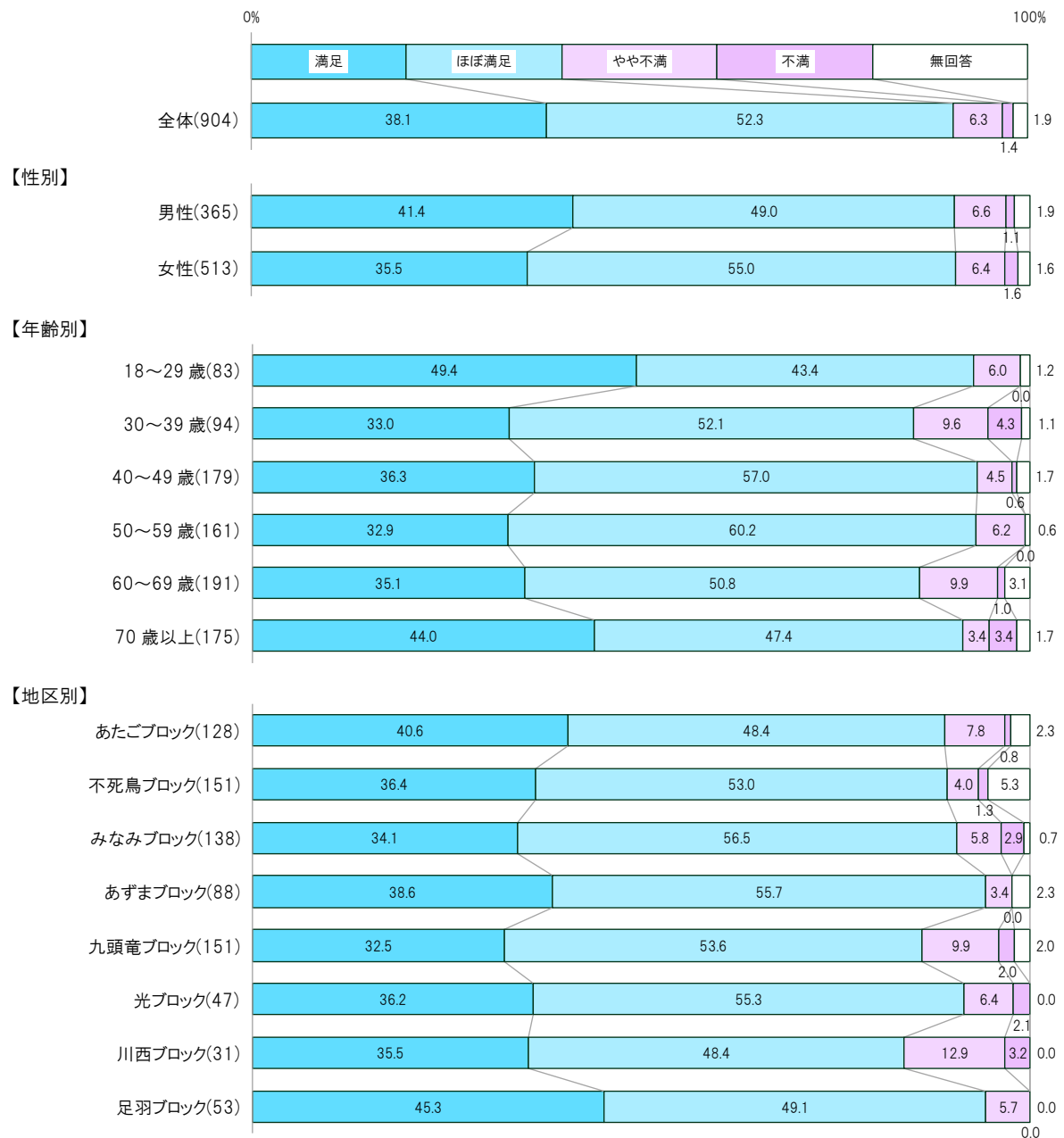
I 快適に暮らすまち 満足度 1 位

1 1 おいしい水の安定供給

全体的に高い満足度

満足度は 90.4%、不満度は 7.7%と、満足度が不満度より 82.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、60～69 歳（85.9%）と 30～39 歳（85.1%）が他の年代より低くなっている。性別、地区別では、満足度に有意差は見られない。



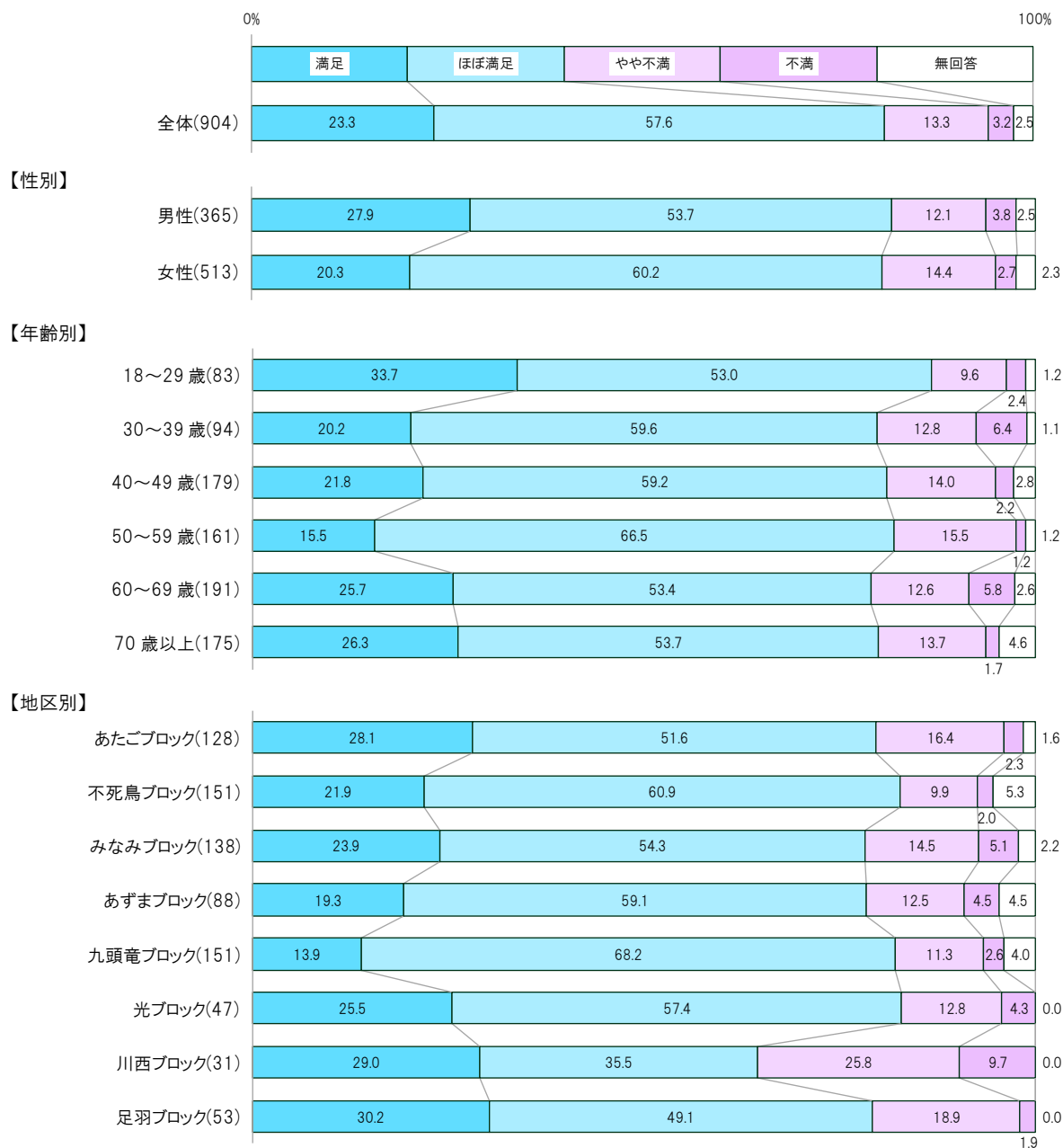
I 快適に暮らすまち 満足度 2 位

10 生活排水の適切な処理

全体的に高い満足度

満足度は 80.9%、不満度は 16.5%と、満足度が不満度より 64.4 ポイント高くなっている。

地区別では、満足度は、川西ブロック（64.5%）が他の地区より 13.7～18.4 ポイント低い。
性別、年齢別では、満足度に有意差は見られない。



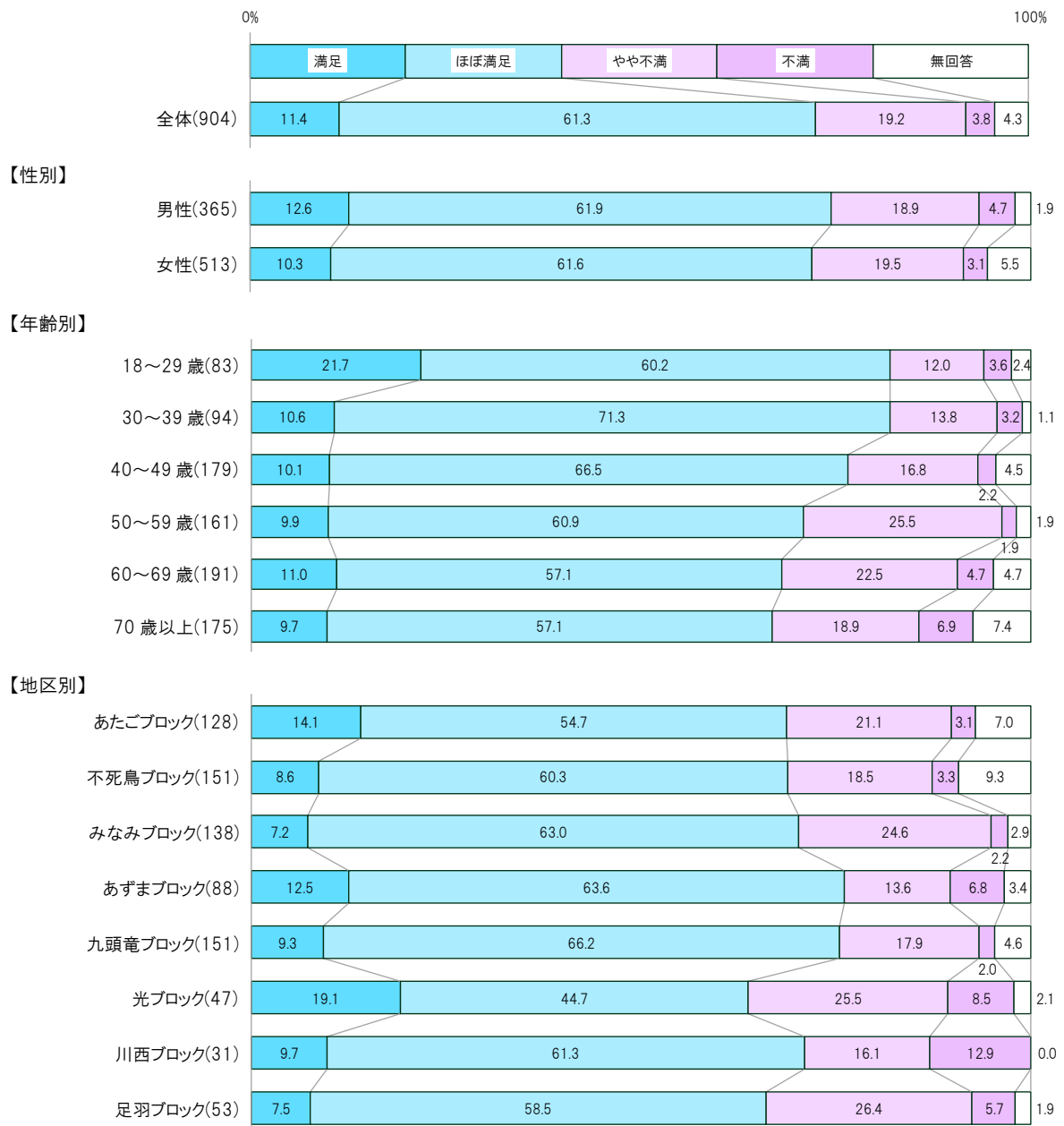
I 快適に暮らすまち 満足度3位

9 治水環境の整備

「若い世代」ほど満足度が高い

満足度は72.7%、不満度は23.0%と、満足度が不満度より49.7ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29歳（81.9%）と30～39歳（81.9%）が高く、若い世代ほどその割合が高くなっている。性別、地区別では、満足度に有意差は見られない。



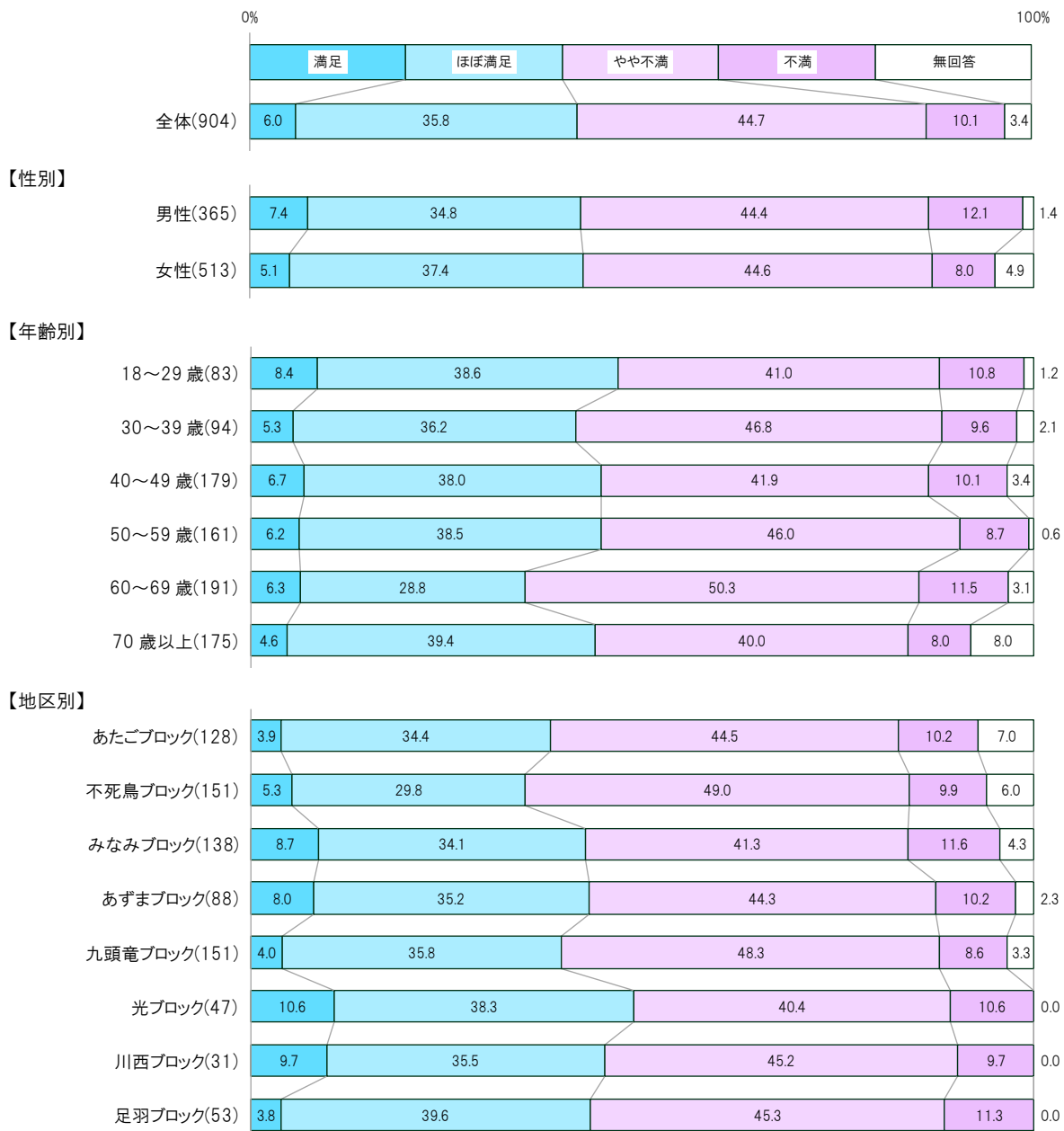
I 快適に暮らすまち 不満度 1 位

4 移住定住の促進

半数以上が満足しておらず、特に「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 41.8%、不満度は 54.8%と、不満度が満足度より 13.0 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（61.8%）が他の年代より 5.4～13.8 ポイント高くなっている。性別、地区別では、不満度に有意差は見られない。



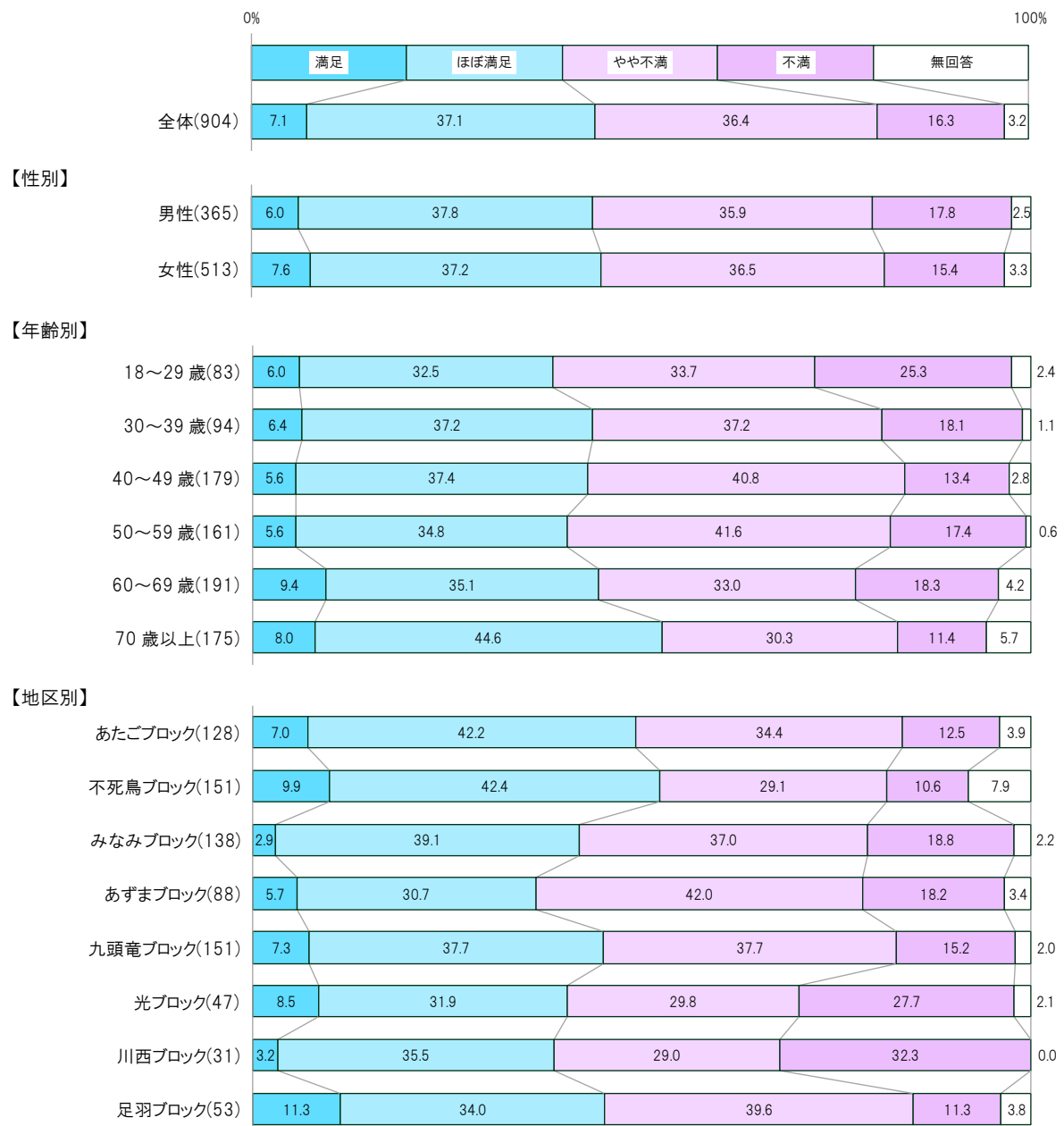
I 快適に暮らすまち 不満度 2 位

5 公共交通機関の利便性向上

半数以上が満足していない

満足度は 44.2%、不満度は 52.7%と、不満度が満足度より 8.5 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、70 歳以上（41.7%）が他の年代より 9.6～17.3 ポイント低くなっている。地区別では、不満度は不死鳥ブロック（39.7%）が最も低い。性別では、不満度に有意差は見られない。



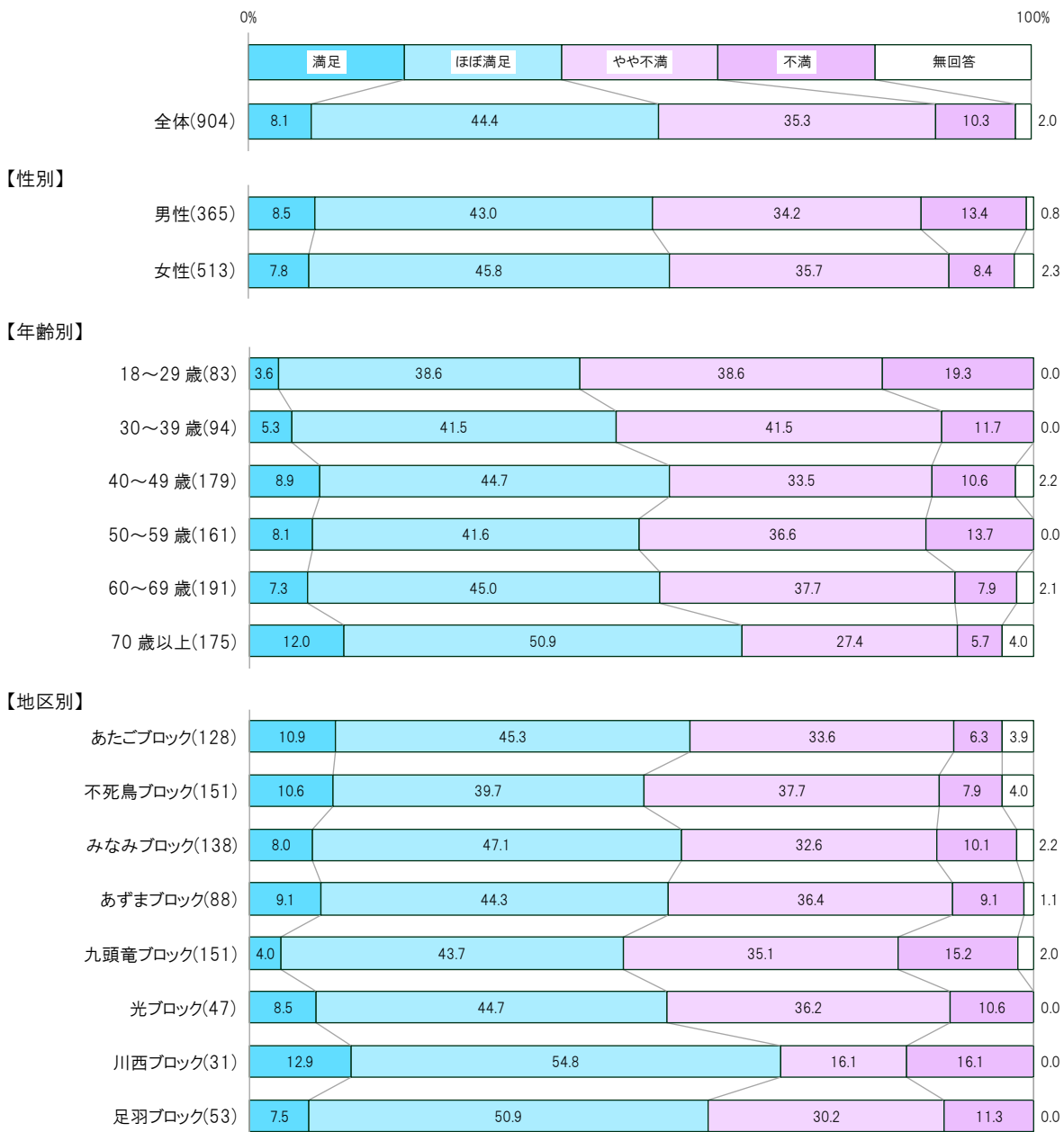
I 快適に暮らすまち 不満度 3 位

2 中心市街地の活性化

「若い世代」の不満度が高い

満足度は 52.5%、不満度は 45.6%と、満足度が不満度より 6.9 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、18～29 歳（57.9%）が最も高く、若い世代の不満度が高くなっている。性別、地区別では、不満度に有意差は見られない。



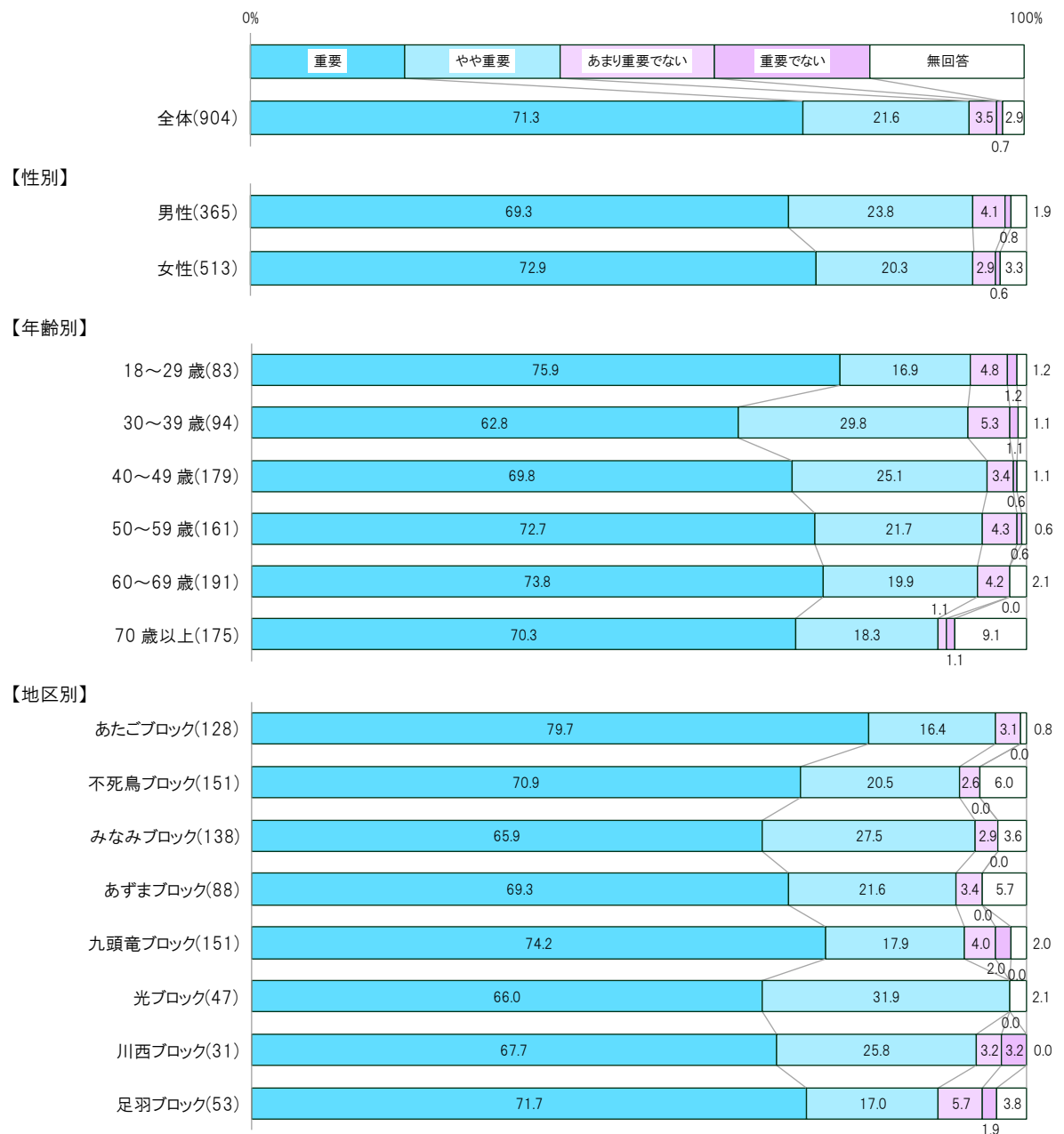
I 快適に暮らすまち 「重要である」 1 位

1 1 おいしい水の安定供給

全体的に高い重要度

「重要である」は 92.9%、「重要でない」は 4.2%と、「重要である」が「重要でない」より 88.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、70 歳以上（88.6%）が最も低くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



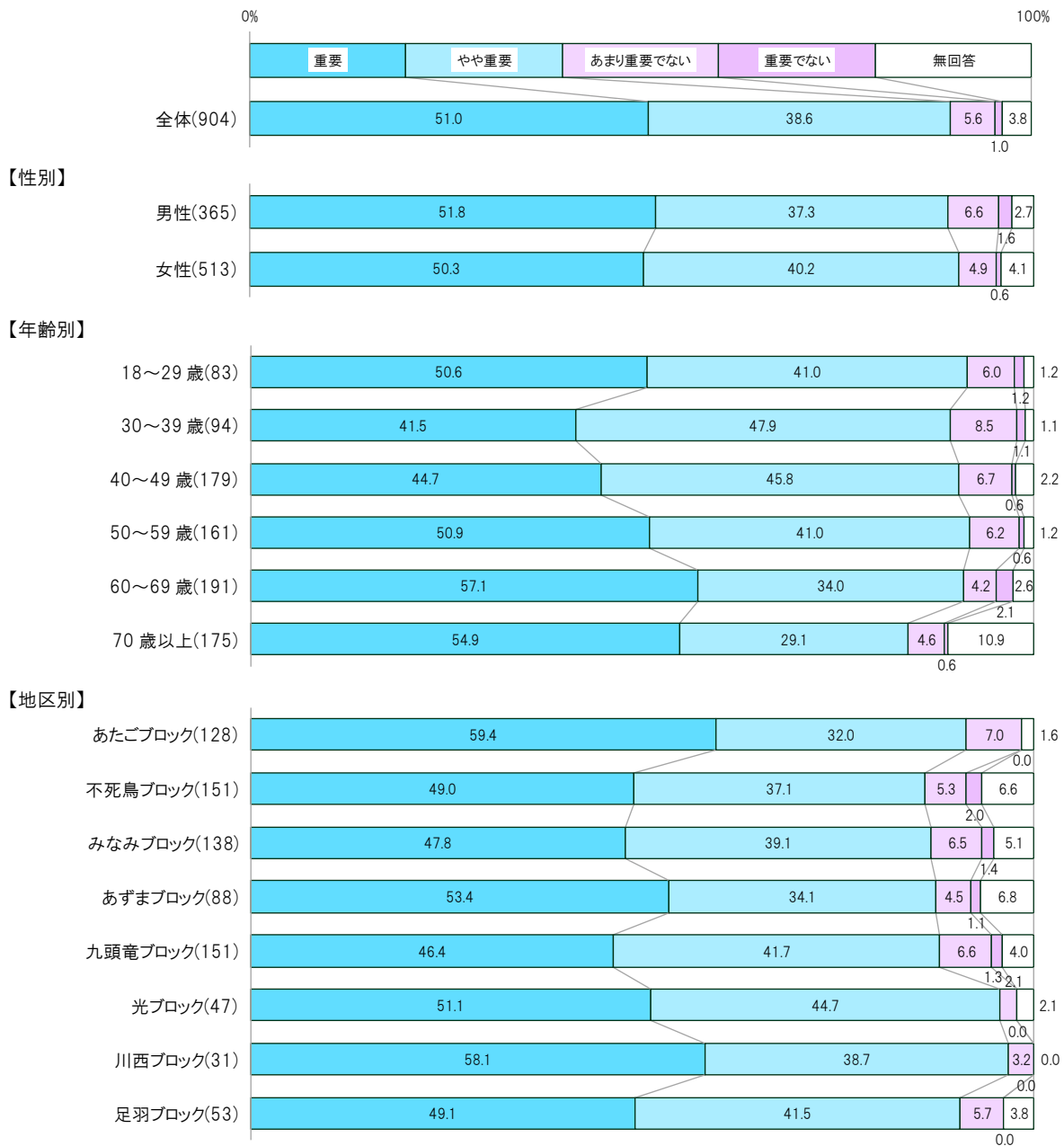
I 快適に暮らすまち 「重要である」 2 位

10 生活排水の適切な処理

全体的に高い重要度

「重要である」は 89.6%、「重要でない」は 6.6%と、「重要である」が「重要でない」より 83.0 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、70 歳以上（84.0%）が最も低くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



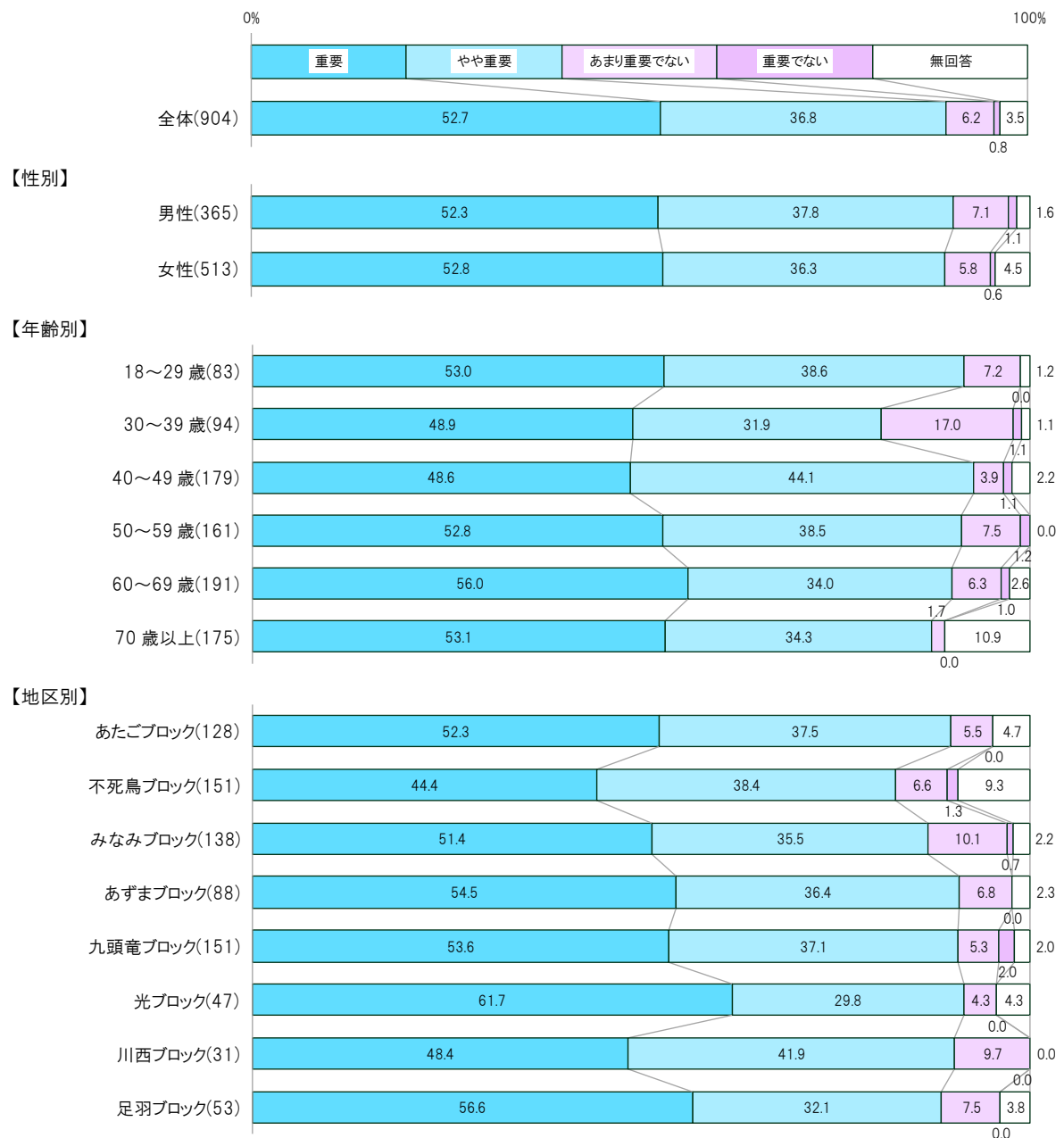
I 快適に暮らすまち 「重要である」 3 位

7 市道の整備・維持管理

全体的に高い重要度

「重要である」は 89.5%、「重要でない」は 7.0%と、「重要である」が「重要でない」より 82.5 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、30～39 歳（80.8%）が他の年代より 6.6～11.9 ポイント低くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



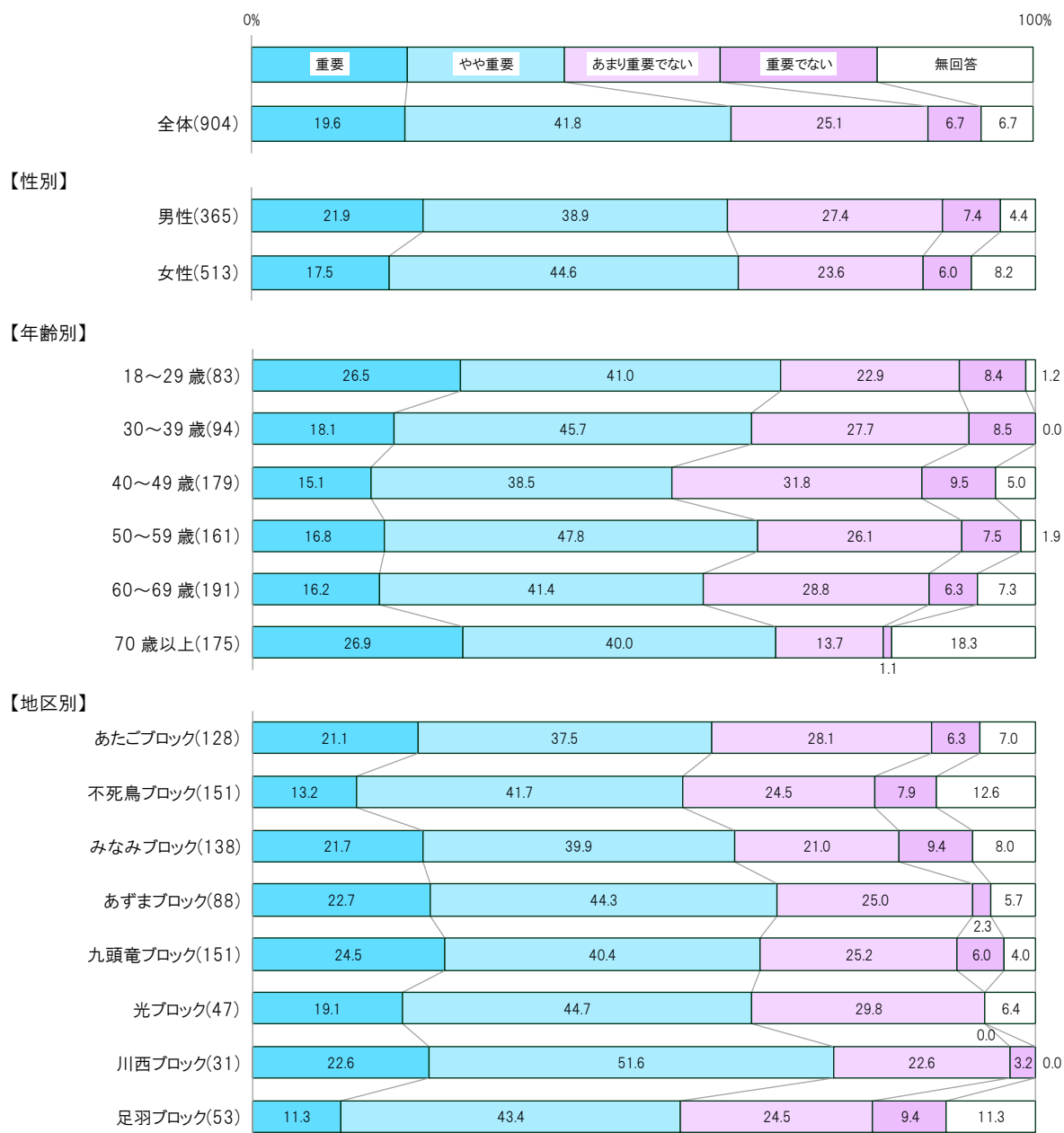
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 1位

8 建築物の安全性向上と住環境の整備

「40～49 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 61.4%、「重要でない」は 31.8%と、「重要である」が「重要でない」より 29.6 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要でない」は、40～49 歳（41.3%）が最も高く、70 歳以上（14.8%）は最も低くなっている。性別、地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



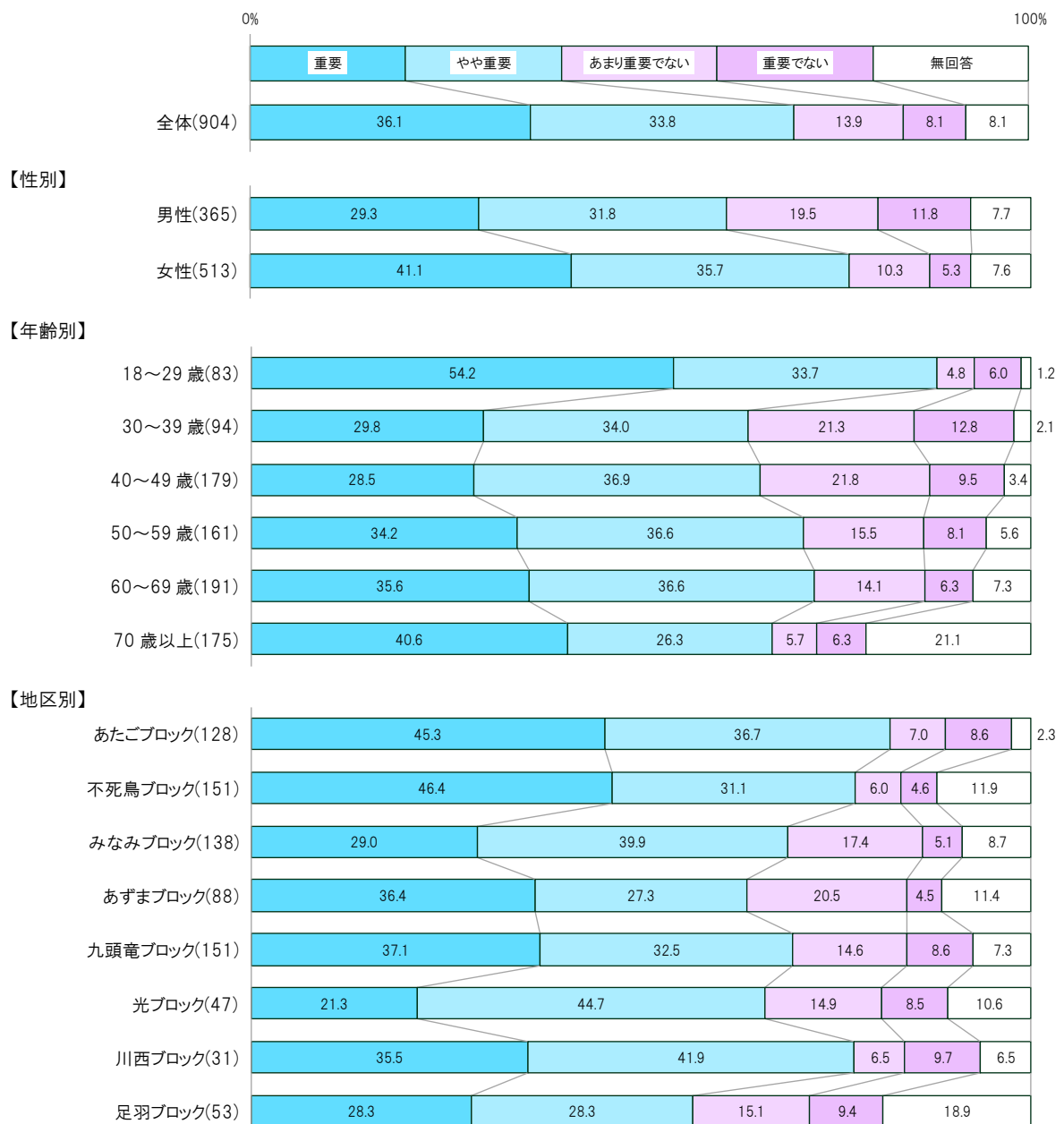
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 2 位

1 2 都市ガスの安定供給

「男性」と「30～39 歳」「40～49 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 69.9%、「重要でない」は 22.0%と、「重要である」が「重要でない」より 47.9 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（31.3%）が女性（15.6%）より 15.7 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、30～39 歳（34.1%）と 40～49 歳（31.3%）が高く、18～29 歳（10.8%）と 70 歳以上（12.0%）が低くなっている。地区別では、「重要でない」は不死鳥ブロック（10.6%）が他の地区より 5.0～14.4 ポイント低い。



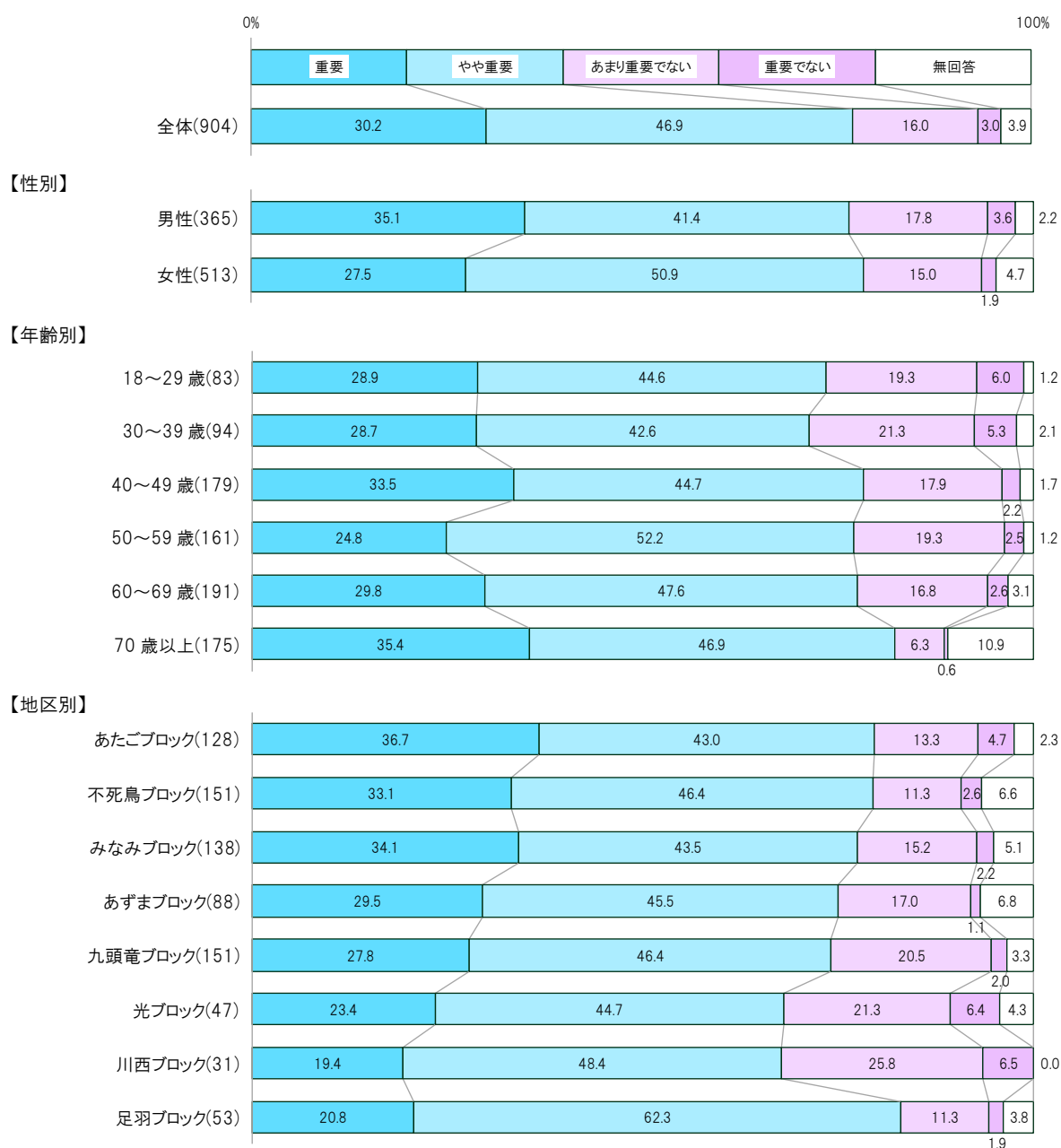
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 3 位

1 県都の顔にふさわしい都市空間形成

「70 歳以上」を除く年代で「重要でない」が高い

「重要である」は 77.1%、「重要でない」は 19.0%と、「重要である」が「重要でない」より 58.1 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要でない」は、30～39 歳（26.6%）が最も高く、70 歳以上（6.9%）は最も低くなっている。性別、地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



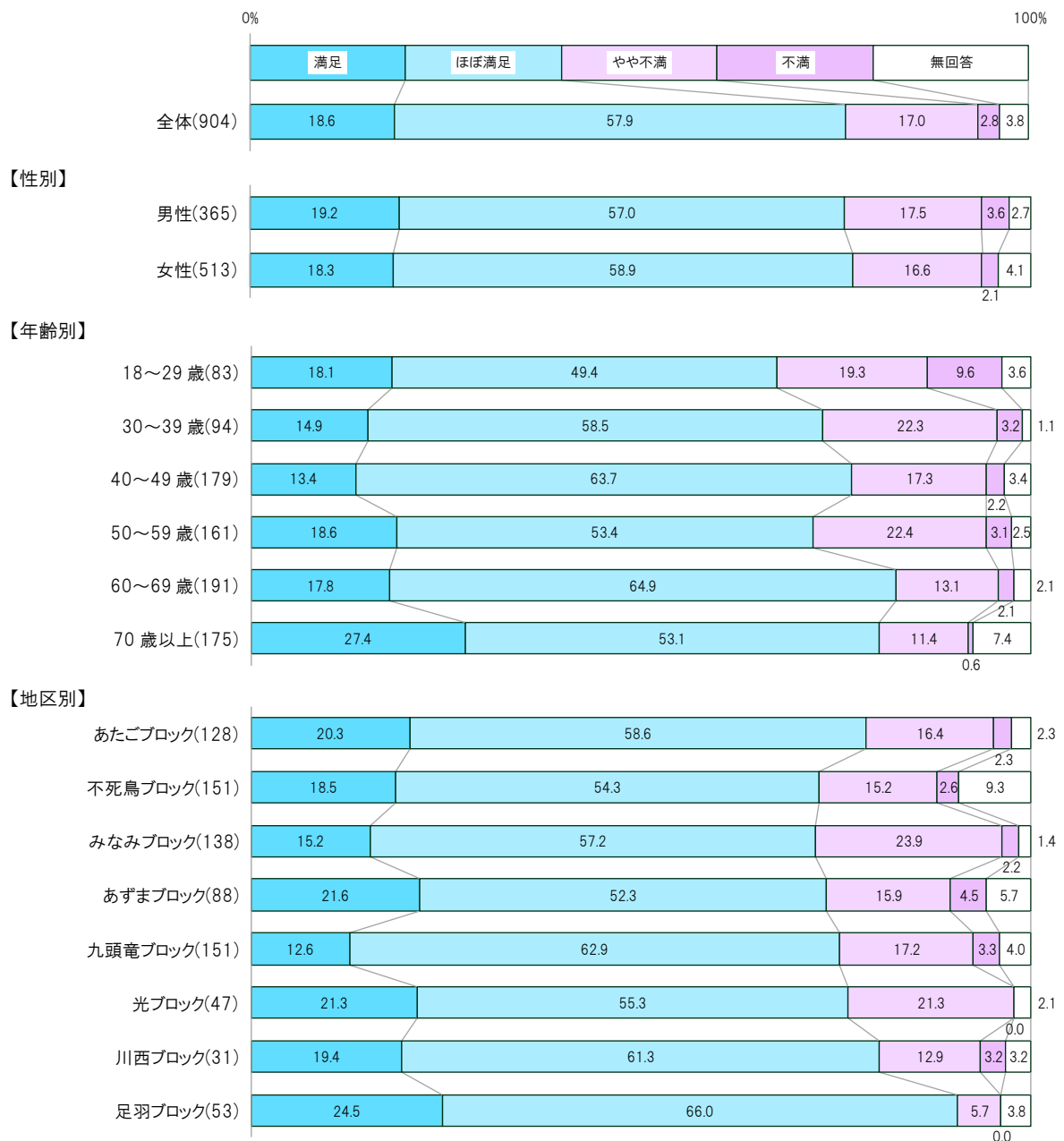
Ⅱ 住みよいまち 満足度 1 位

2 2 ごみの適正な処理

「年齢の高い世代」の満足度が高い

満足度は 76.5%、不満度は 19.8%と、満足度が不満度より 56.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、60～69 歳（82.7%）と 70 歳以上（80.5%）の年齢の高い世代でその割合が高くなっている。地区別では、満足度は足羽ブロック（90.5%）が最も高い。性別では、満足度に有意差は見られない。



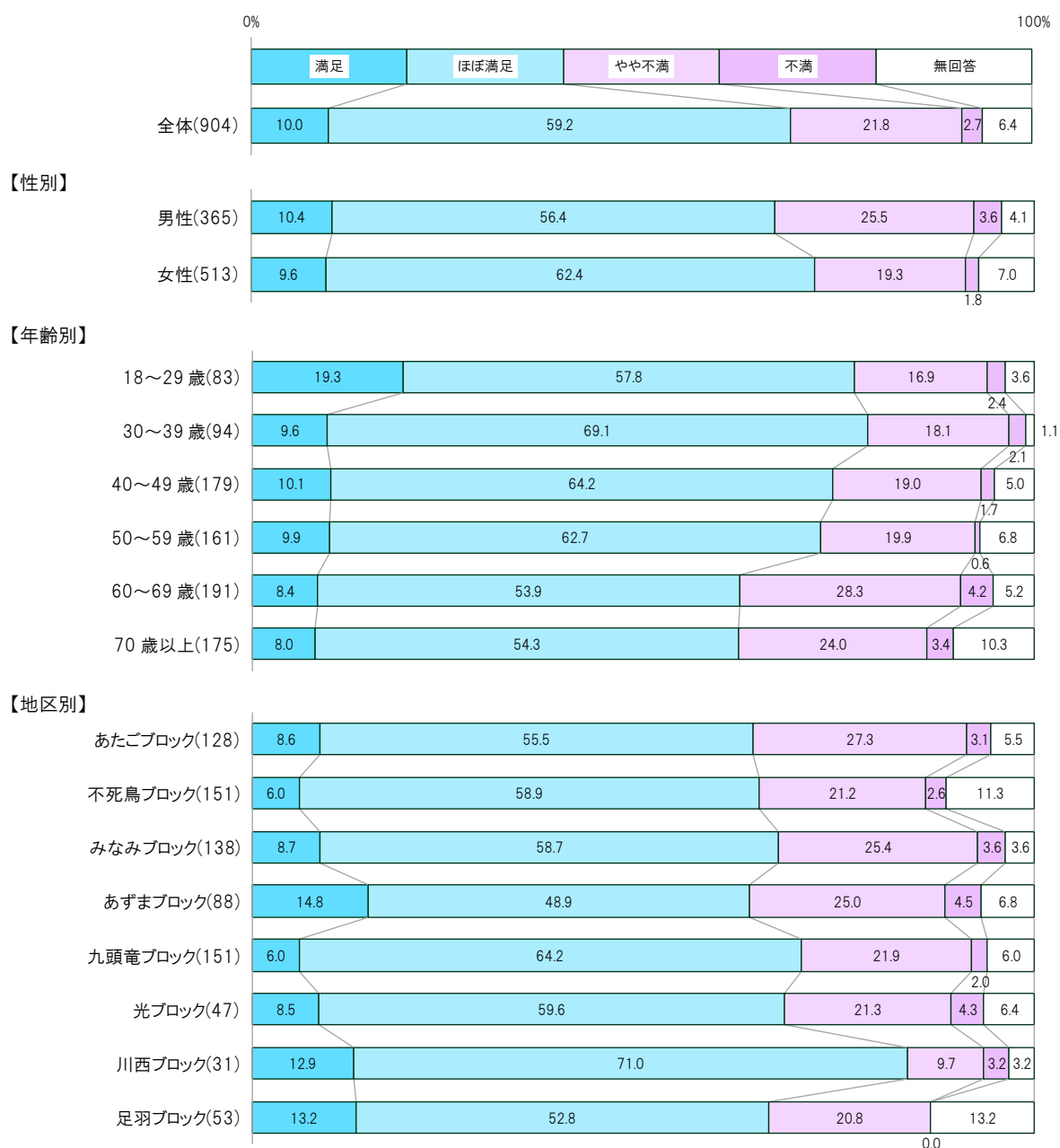
Ⅱ 住みよいまち 満足度 2 位

2 4 消防・救急体制の強化

「女性」と「若い世代」と「川西ブロック」の満足度が高い

満足度は 69.2%、不満度は 24.5%と、満足度が不満度より 44.7 ポイント高くなっている。

性別では、満足度は、女性（72.0%）が男性（66.8%）より 5.2 ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、30～39 歳（78.7%）を中心とした若い世代でその割合が高くなっている。地区別では、満足度は、川西ブロック（83.9%）が他の地区より 13.7～20.2 ポイント高い。



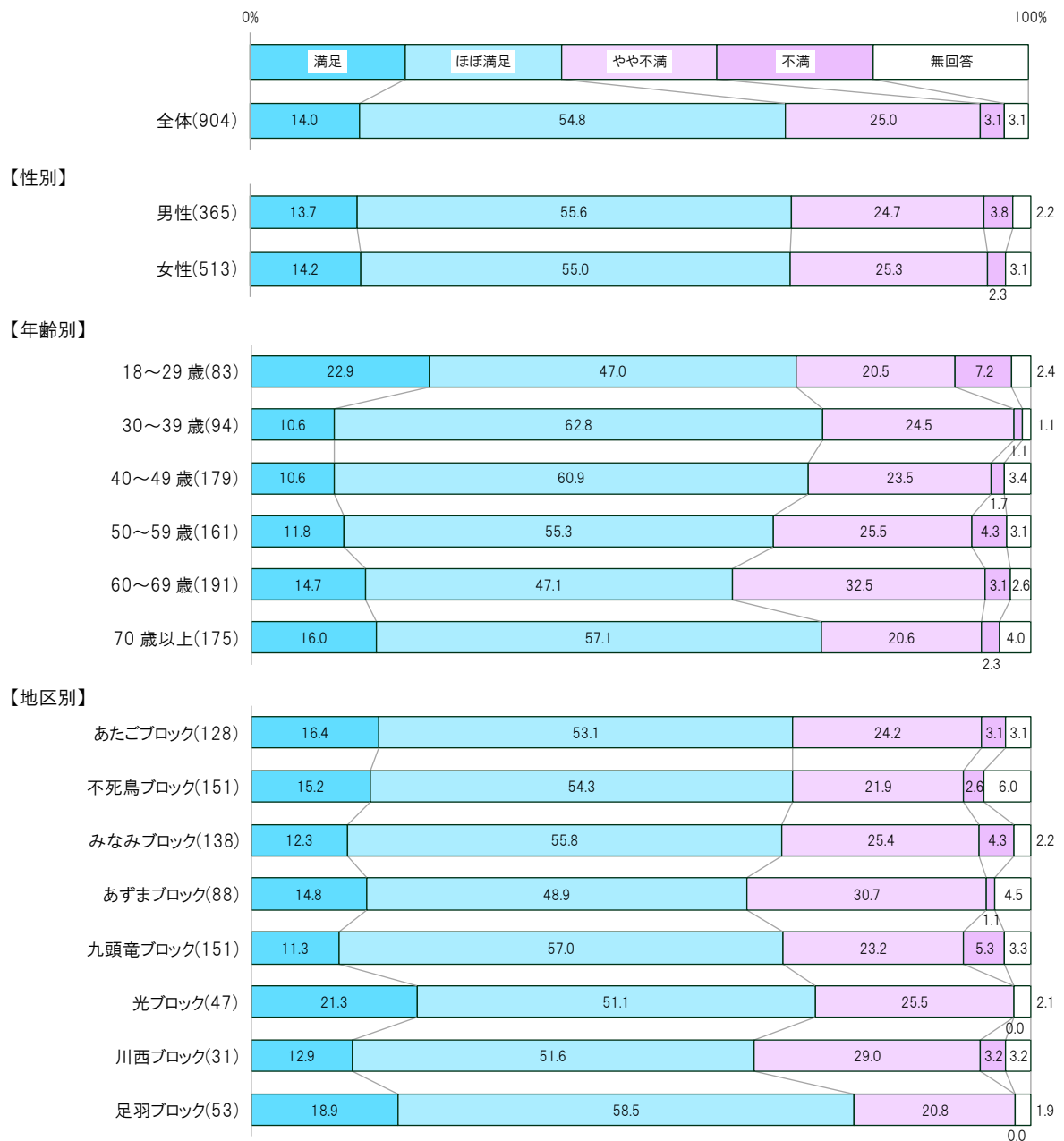
Ⅱ 住みよいまち 満足度 3 位

1 7 健康づくり支援

「60～69 歳」の満足度が低い

満足度は 68.8%、不満度は 28.1%と、満足度が不満度より 40.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、60～69 歳（61.8%）が他の年代より 5.3～11.6 ポイント低くなっている。性別、地区別では、満足度に有意差は見られない。



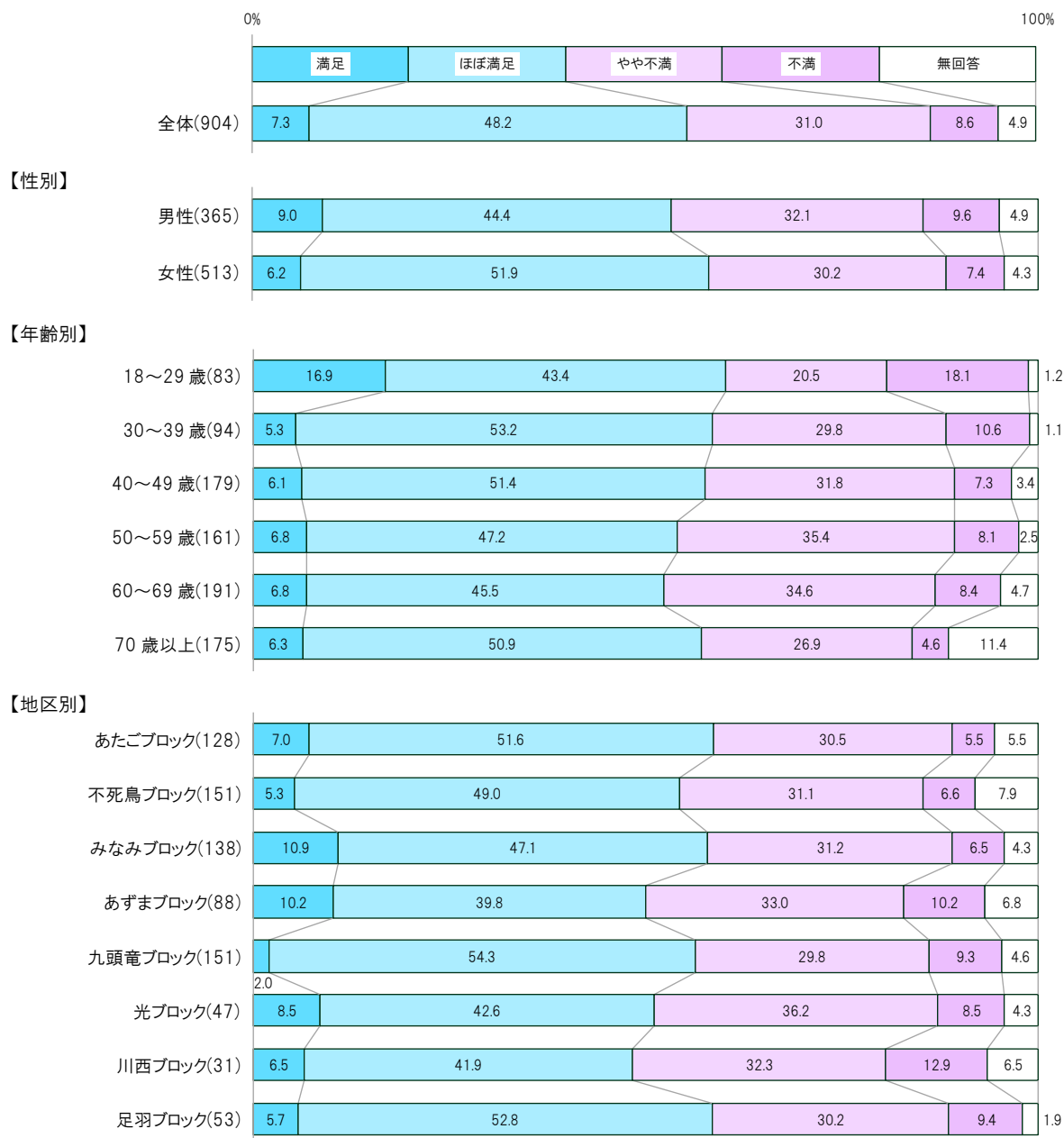
Ⅱ 住みよいまち 不満度 1 位

1 3 女性が活躍できる環境づくり

「18～29 歳」の“不満”と回答した割合が高い

満足度は 55.5%、不満度は 39.6%と、満足度が不満度より 15.9 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、“不満”と回答した割合は、18～29 歳（18.1%）が他の年代より 7.5～13.5 ポイント高くなっている。性別、地区別では、不満度に有意差は見られない。



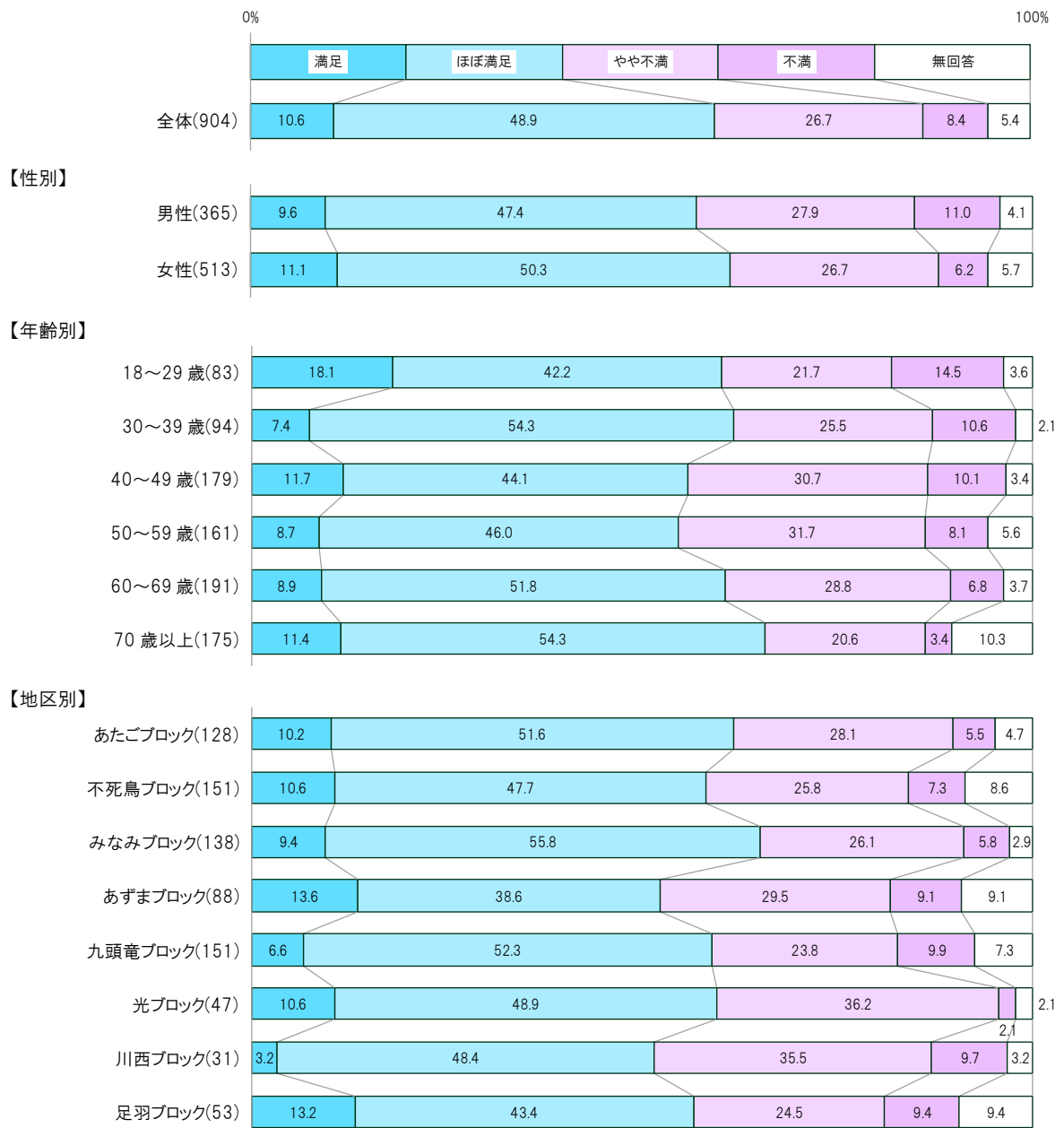
Ⅱ 住みよいまち 不満度 2 位

2 6 交通安全の推進

「40～49 歳」「50～59 歳」の不満度が高い

満足度は 59.5%、不満度は 35.1%と、満足度が不満度より 24.4 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、40～49 歳 (40.8%) と 50～59 歳 (39.8%) が高く、70 歳以上 (24.0%) が最も低くなっている。性別、地区別では、不満度に有意差は見られない。



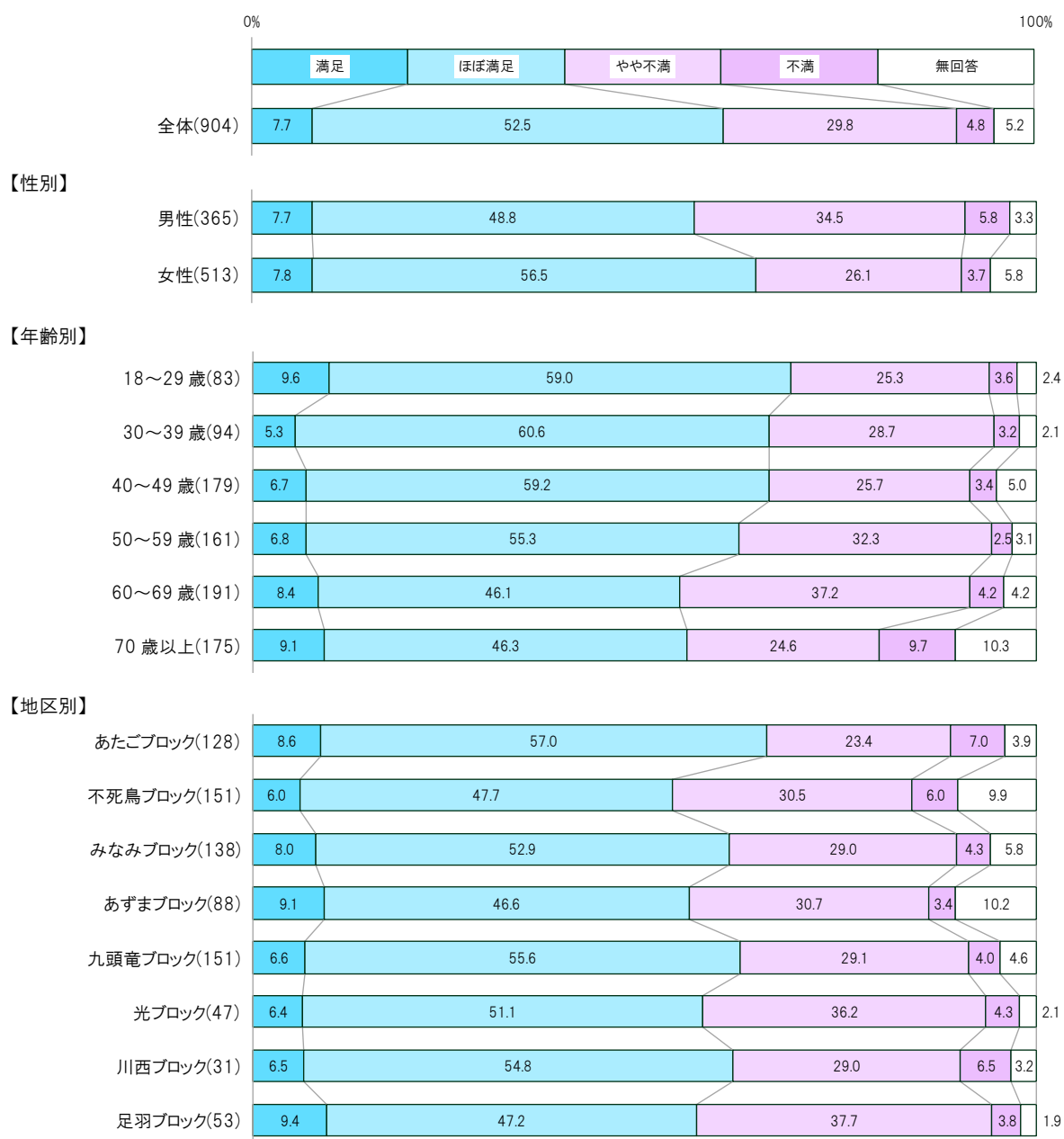
Ⅱ 住みよいまち 不満度3位

16 地域コミュニティの活性化

「男性」と「60～69歳」の不満度が高い

満足度は60.2%、不満度は34.6%と、満足度が不満度より25.6ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（40.3%）が女性（29.8%）より10.5ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、60～69歳（41.4%）が他の年代より6.6～12.5ポイント高くなっている。地区別では、不満度に有意差は見られない。



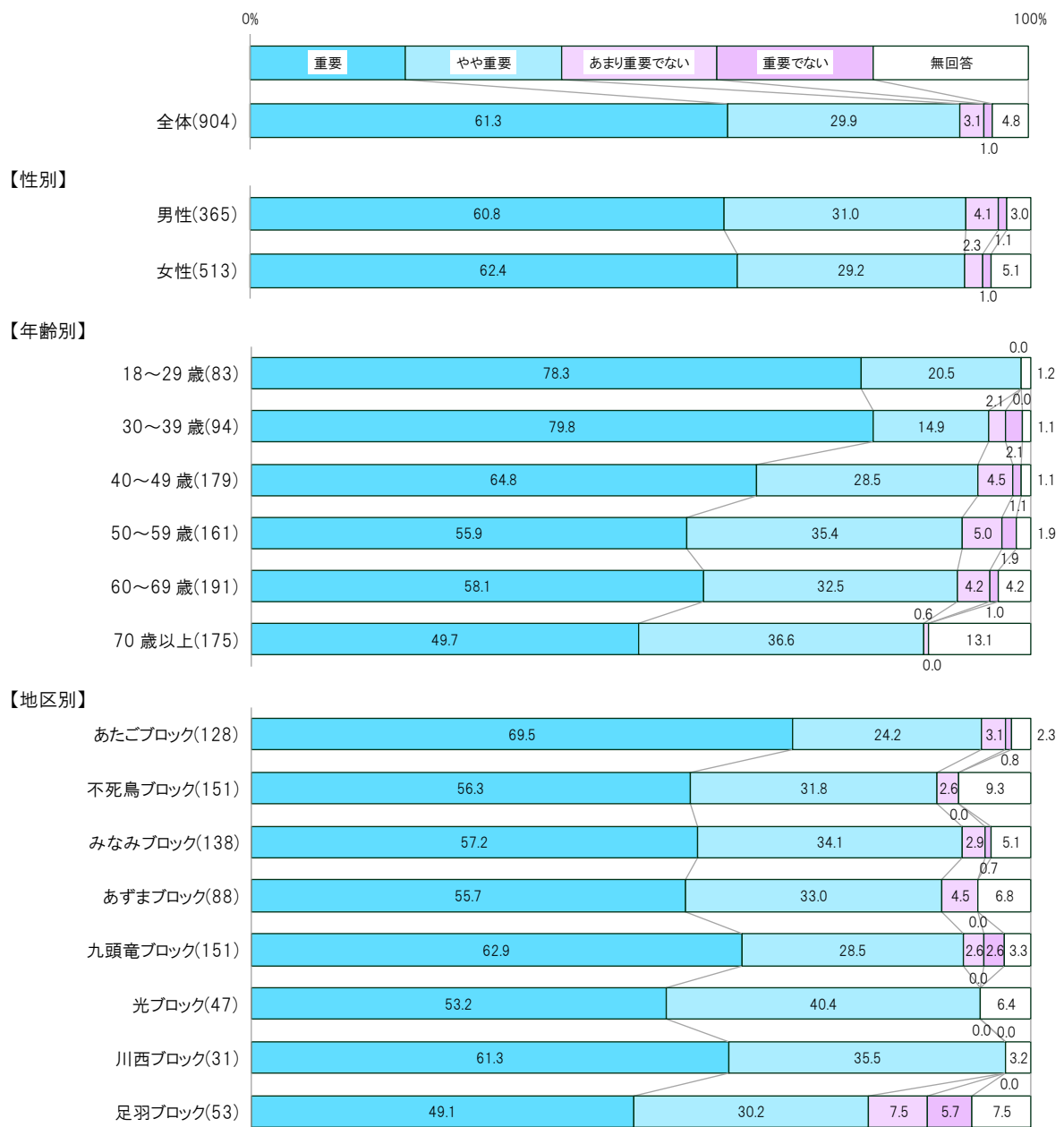
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」 1 位

1 8 子育て環境の充実

「若い世代」ほど「重要である」が高い

「重要である」は 91.2%、「重要でない」は 4.1%と、「重要である」が「重要でない」より 87.1 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、18～29 歳(98.8%)が最も高く、若い世代ほどその割合が高い傾向が見られる。地区別では、「重要である」は、足羽ブロック（79.3%）が他の地区より 8.8～17.5 ポイント低い。性別では、「重要である」に有意差は見られない。



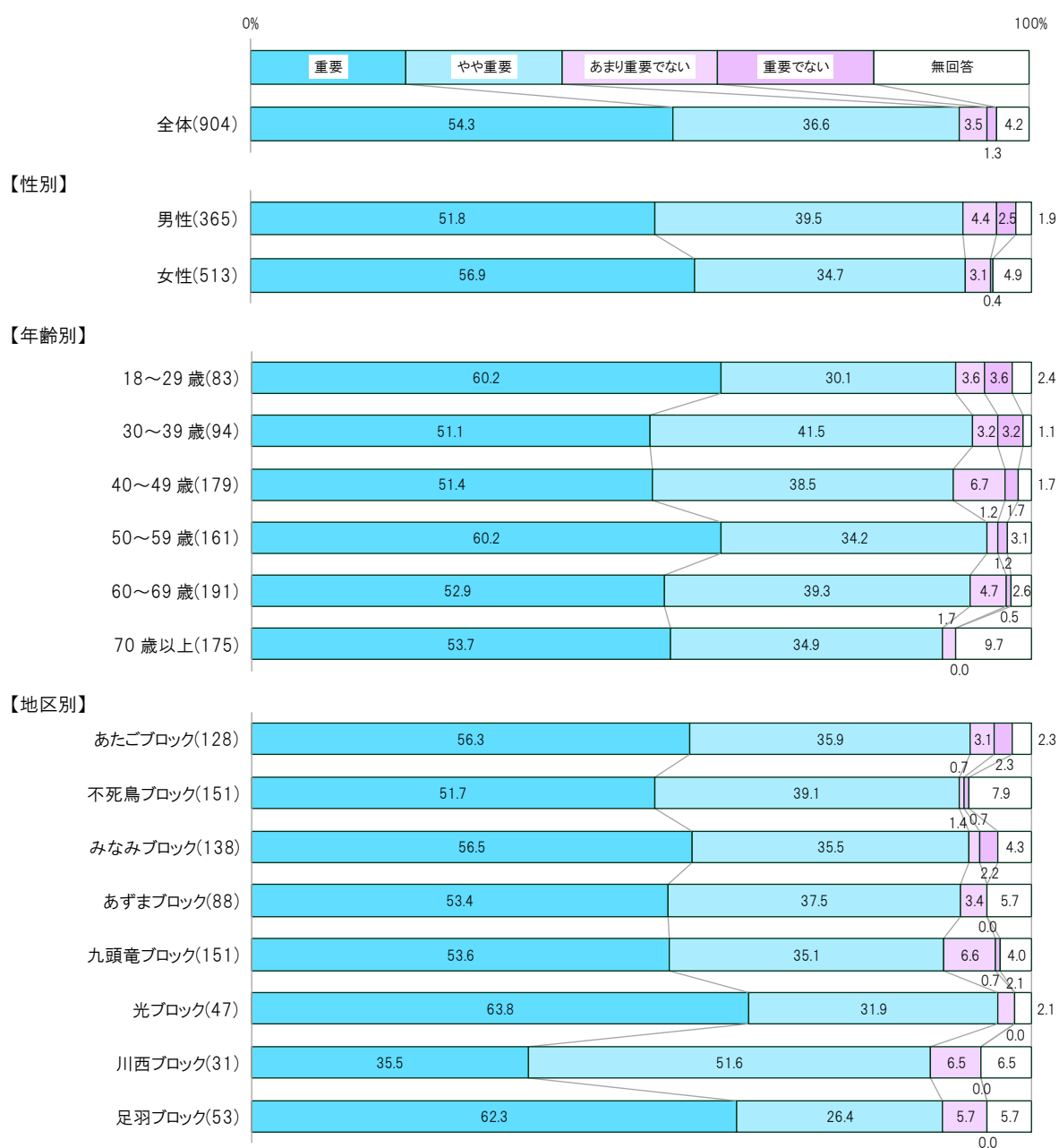
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」 2 位

19 高齢者の活躍支援

全体的に高い重要度

「重要である」は90.9%、「重要でない」は4.8%と、「重要である」が「重要でない」より86.1ポイント高くなっている。

性別では、「重要である」に有意差は見られないが、“重要”と回答した割合は、女性（56.9%）が男性（51.8%）より5.1ポイント高い。年齢別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



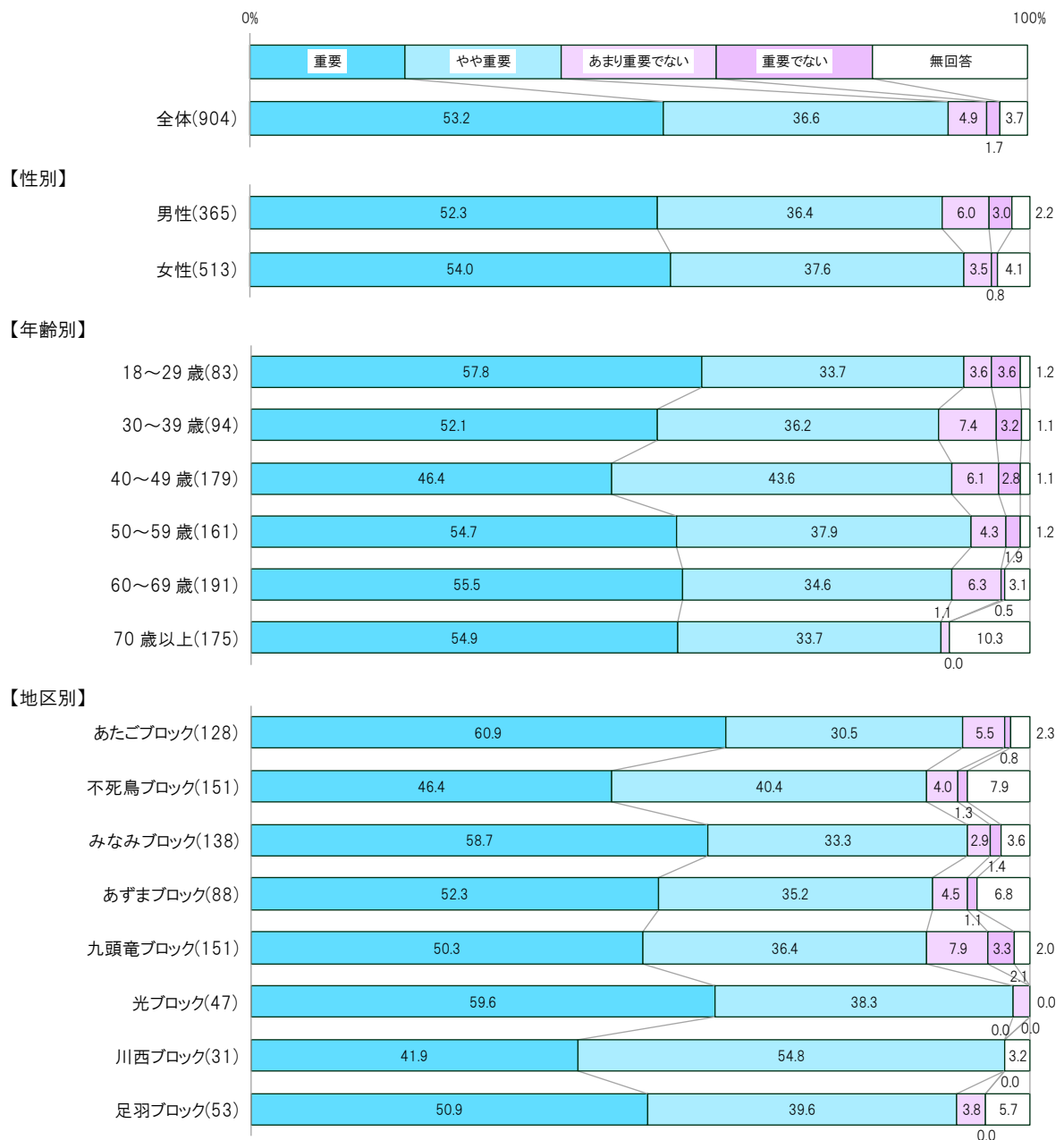
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」 3 位

17 健康づくり支援

全体的に高い重要度

「重要である」は 89.8%、「重要でない」は 6.6%と、「重要である」が「重要でない」より 83.2 ポイント高くなっている。

性別、年齢別、地区別のいずれも「重要である」に有意差は見られず、全体的に「重要である」の割合は高くなっている。



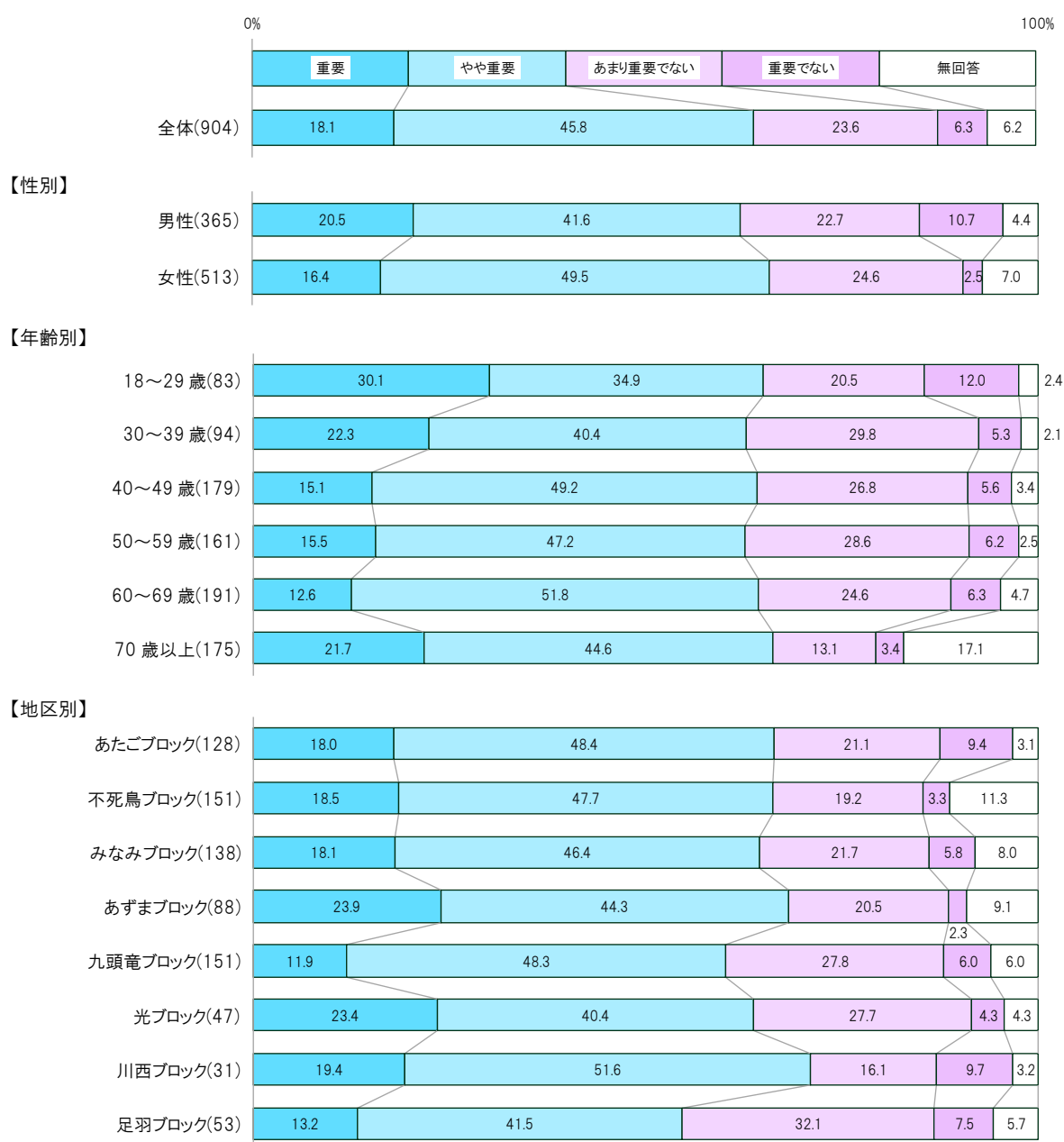
Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 1 位

1 4 多文化共生と国際交流の推進

「男性」と「70 歳以上」の「重要でない」が低い

「重要である」は 63.9%、「重要でない」は 29.9%と、「重要である」が「重要でない」より 34.0 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（33.4%）が女性（27.1%）より 6.3 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、70 歳以上（16.5%）が他の年代より 14.4～18.6 ポイント低い。地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



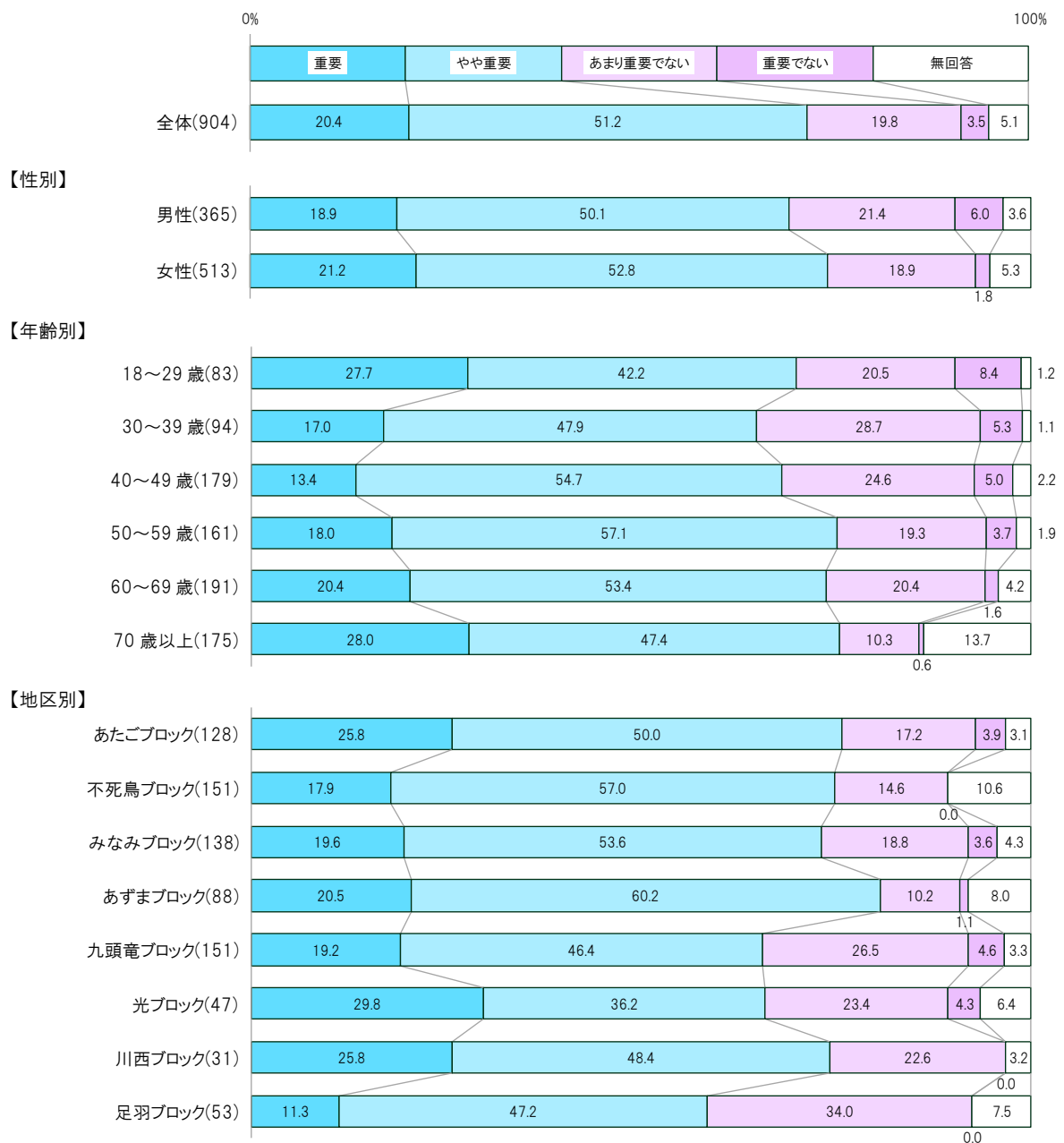
Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 2 位

1 5 協働のまちづくり

「男性」と「30～39 歳」「40～49 歳」と「足羽ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 71.6%、「重要でない」は 23.3%と、「重要である」が「重要でない」より 48.3 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（27.4%）が女性（20.7%）より 6.7 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、30～39 歳（34.0%）と 40～49 歳（29.6%）が高く、70 歳以上（10.9%）は最も低くなっている。地区別では、「重要でない」は、足羽ブロック（34.0%）が最も高い。



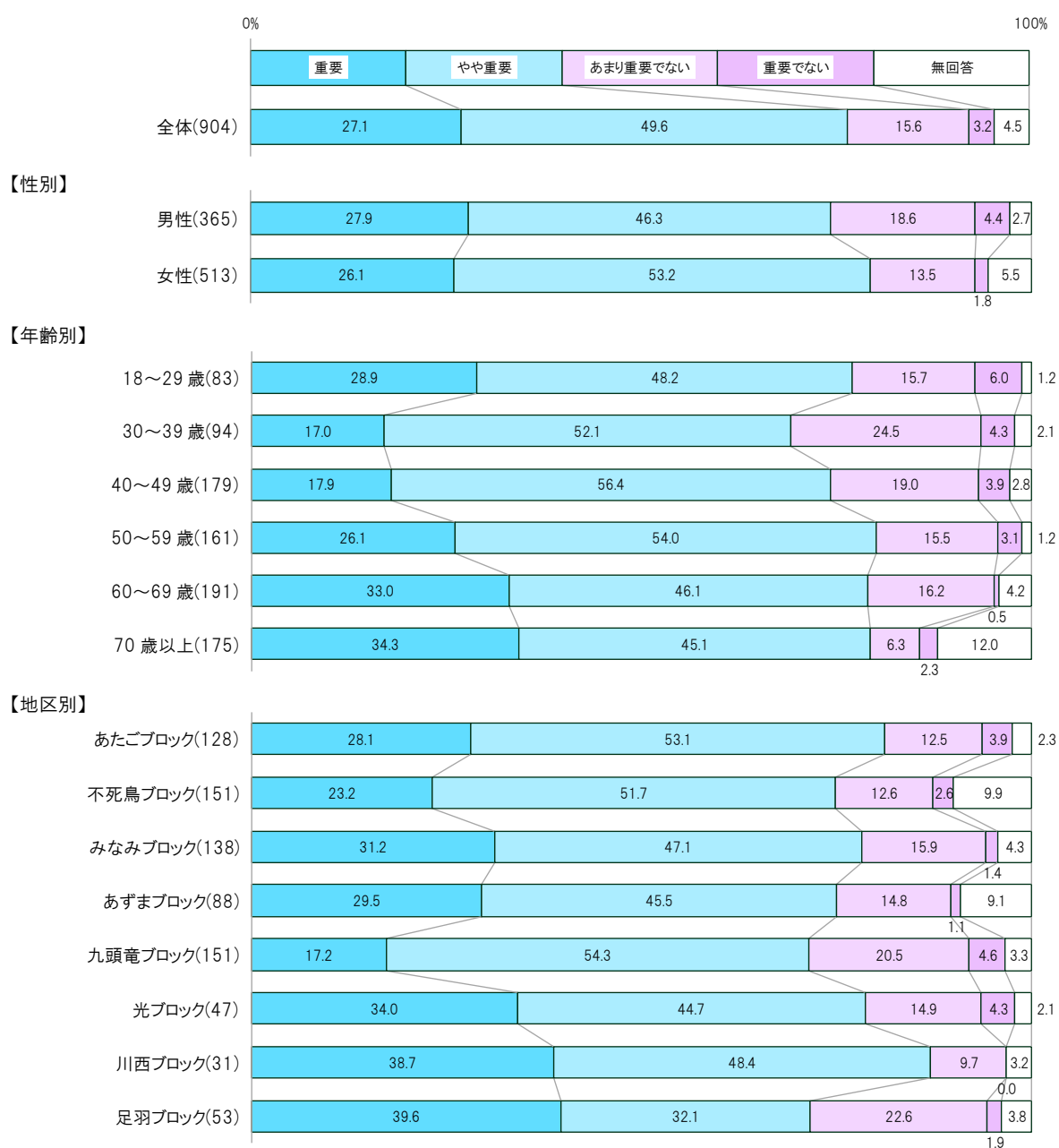
Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 3 位

1 6 地域コミュニティの活性化

「男性」と「30～39 歳」と「九頭竜ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 76.7%、「重要でない」は 18.8%と、「重要である」が「重要でない」より 57.9 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（23.0%）が女性（15.3%）より 7.7 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、30～39 歳（28.8%）が最も高く、70 歳以上（8.6%）は最も低くなっている。地区別では、「重要でない」は、九頭竜ブロック（25.1%）が最も高い。



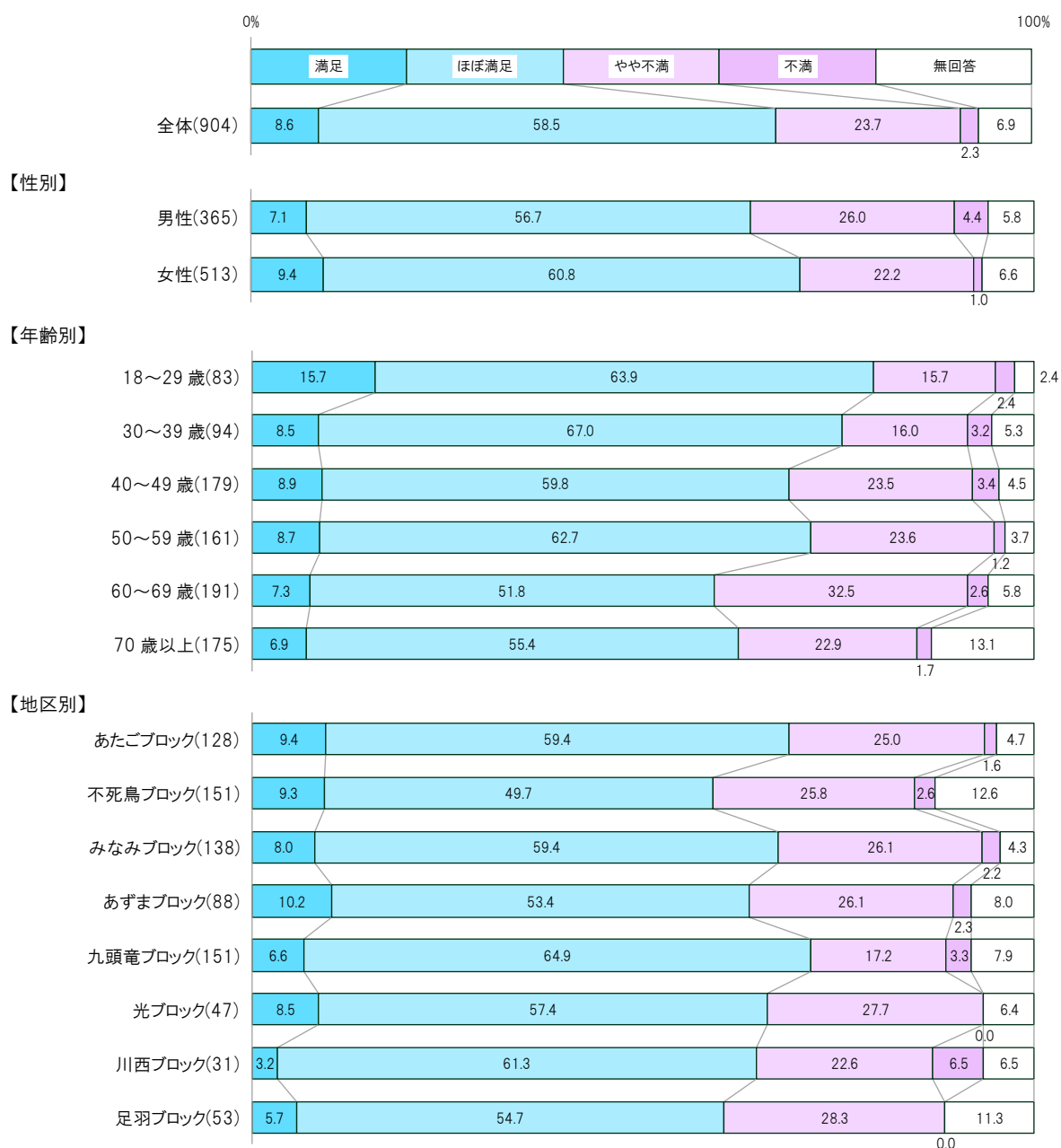
Ⅲ 活き活きと働くまち 満足度 1 位

28 農産物の需要拡大

「女性」と「若い世代」の満足度が高い

満足度は 67.1%、不満度は 26.0%と、満足度が不満度より 41.1 ポイント高くなっている。

性別では、満足度は、女性（70.2%）が男性（63.8%）より 6.4 ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（79.6%）が最も高く、若い世代の割合が高くなっている。地区別では、満足度に有意差は見られない。



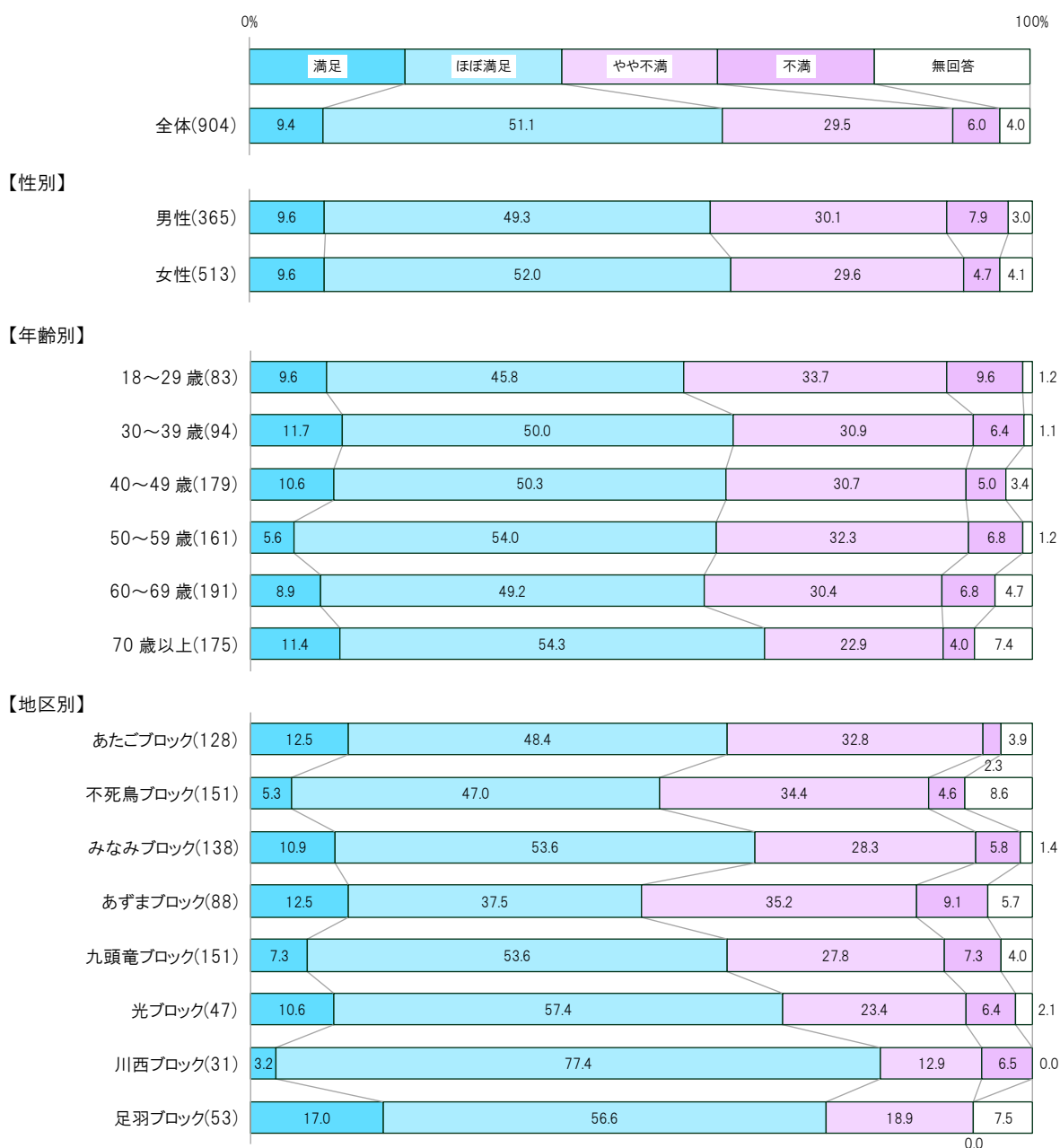
Ⅲ 活き活きと働くまち 満足度2位

3 2 観光の振興とおもてなしの充実

「川西ブロック」「足羽ブロック」の満足度が高い

満足度は60.5%、不満度は35.5%と、満足度が不満度より25.0ポイント高くなっている。

地区別では、満足度は、川西ブロック（80.6%）と足羽ブロック（73.6%）が高く、あずまブロック（50.0%）と不死鳥ブロック（52.3%）は低い。性別、年齢別では、満足度に有意差は見られない。



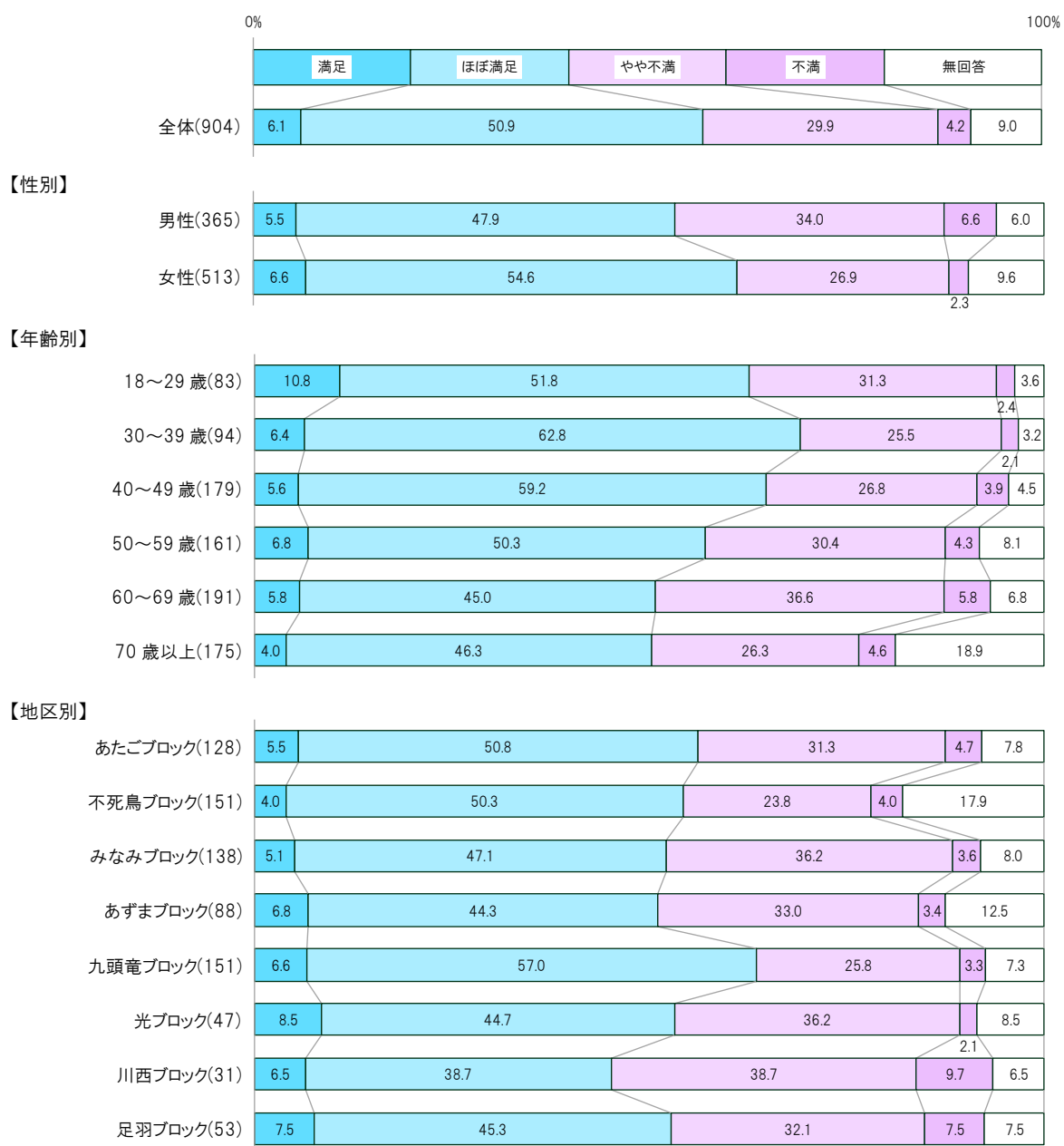
Ⅲ 活き活きと働くまち 満足度 3 位

2 7 農林水産業の推進

「女性」と「若い世代」と「九頭竜ブロック」の満足度が高い

満足度は 57.0%、不満度は 34.1%と、満足度が不満度より 22.9 ポイント高くなっている。

性別では、満足度は、女性（61.2%）が男性（53.4%）より 7.8 ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、30～39 歳（69.2%）を中心とした若い世代の割合が高くなっている。地区別では、満足度は、九頭竜ブロック（63.6%）が他の地区より 7.3～18.4 ポイント高い。



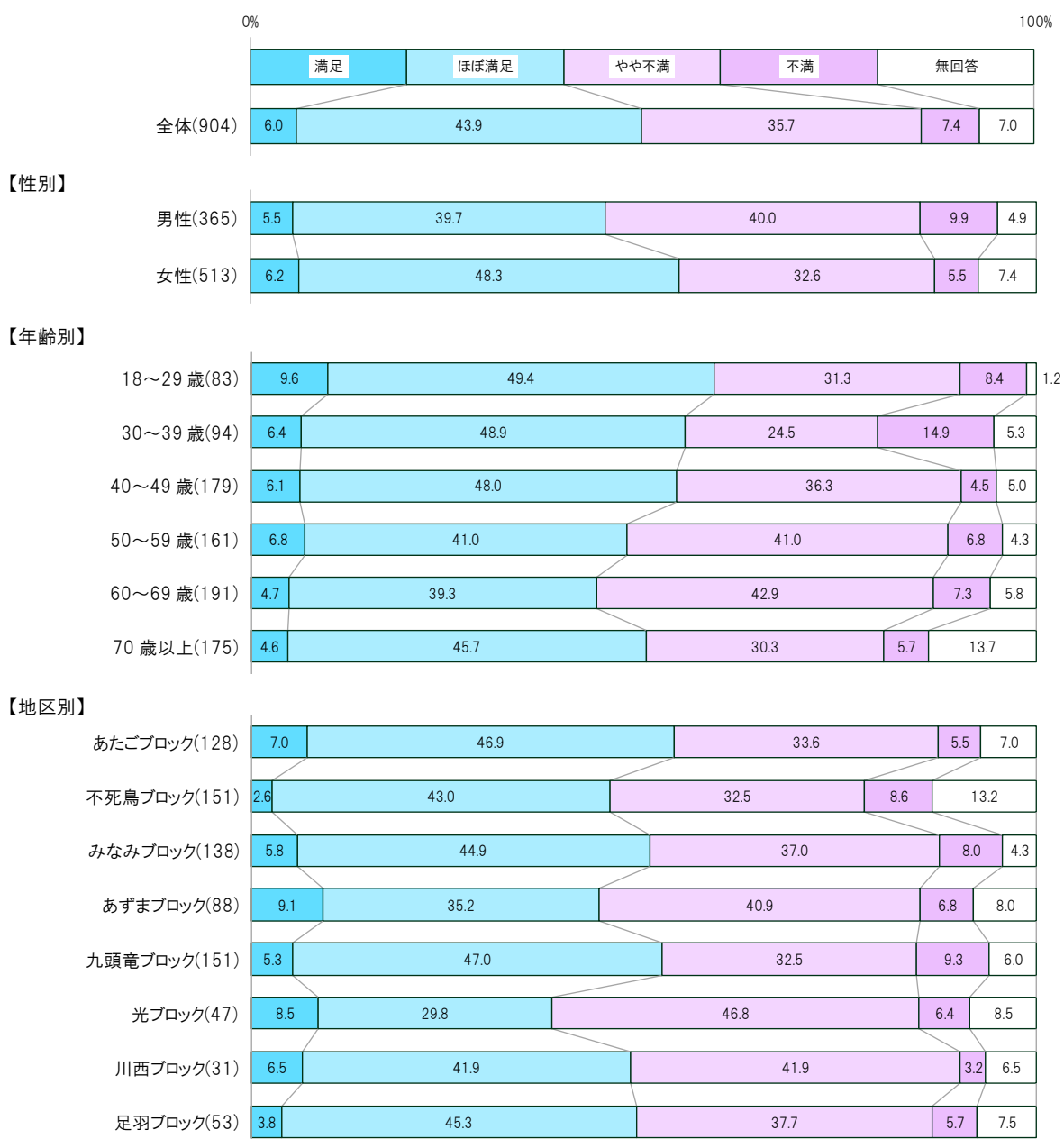
Ⅲ 生き生きと働くまち 不満度 1 位

3 1 福井で働くことを応援する

「男性」と「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 49.9%、不満度は 43.1%と、満足度が不満度より 6.8 ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（49.9%）が女性（38.1%）より 11.8 ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（50.2%）が最も高くなっている。地区別では、不満度に有意差は見られない。



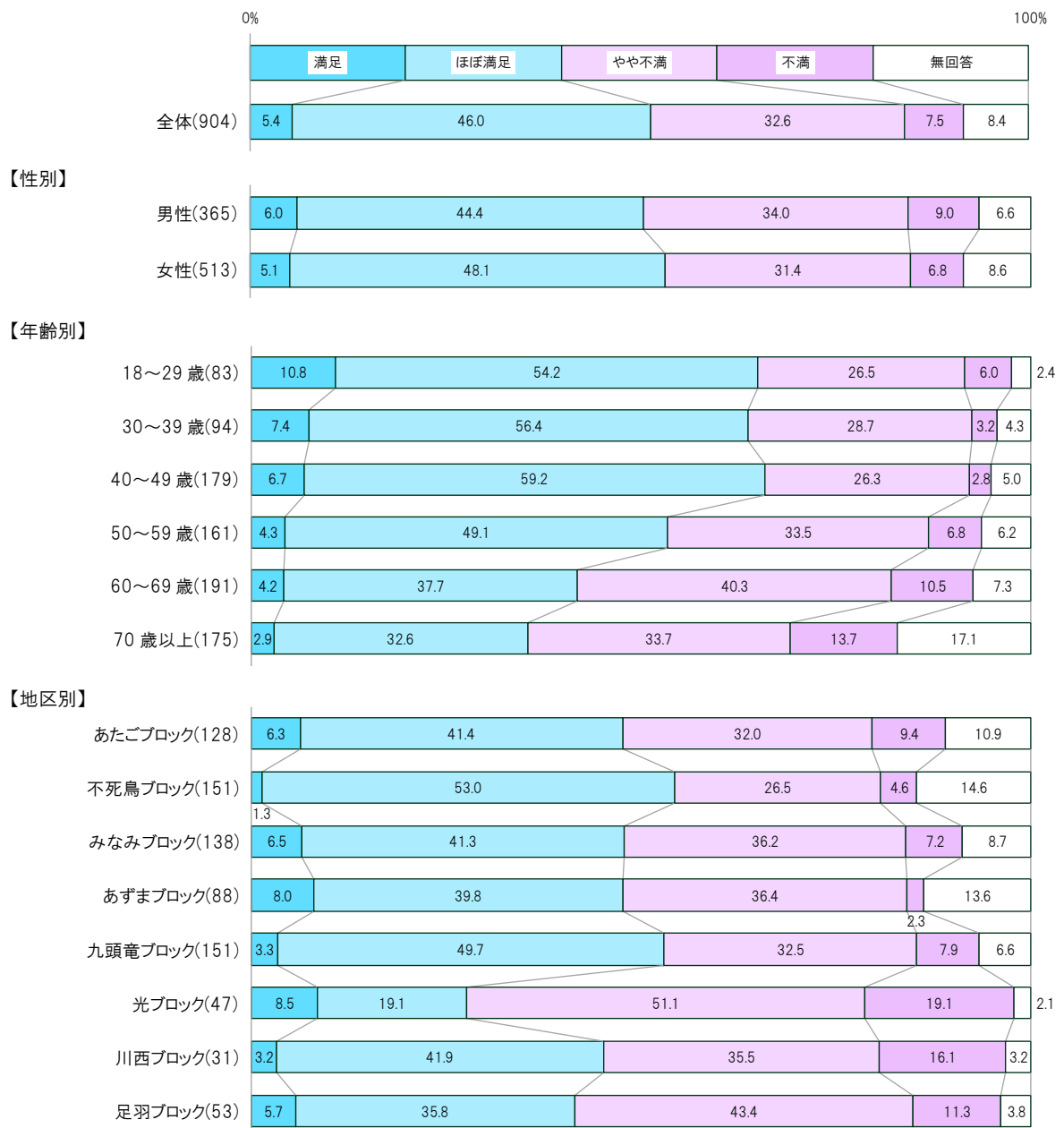
Ⅲ 生き活きと働くまち 不満度 2 位

29 農山漁村の生活環境を守る

「年齢の高い世代」と「光ブロック」の不満度が高い

満足度は 51.4%、不満度は 40.1%と、満足度が不満度より 11.3 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（50.8%）と 70 歳以上（47.4%）の年齢の高い世代でその割合が高くなっている。地区別では、不満度は、光ブロック（70.2%）が他の地区より 15.5～39.1 ポイント高い。性別では、不満度に有意差は見られない。



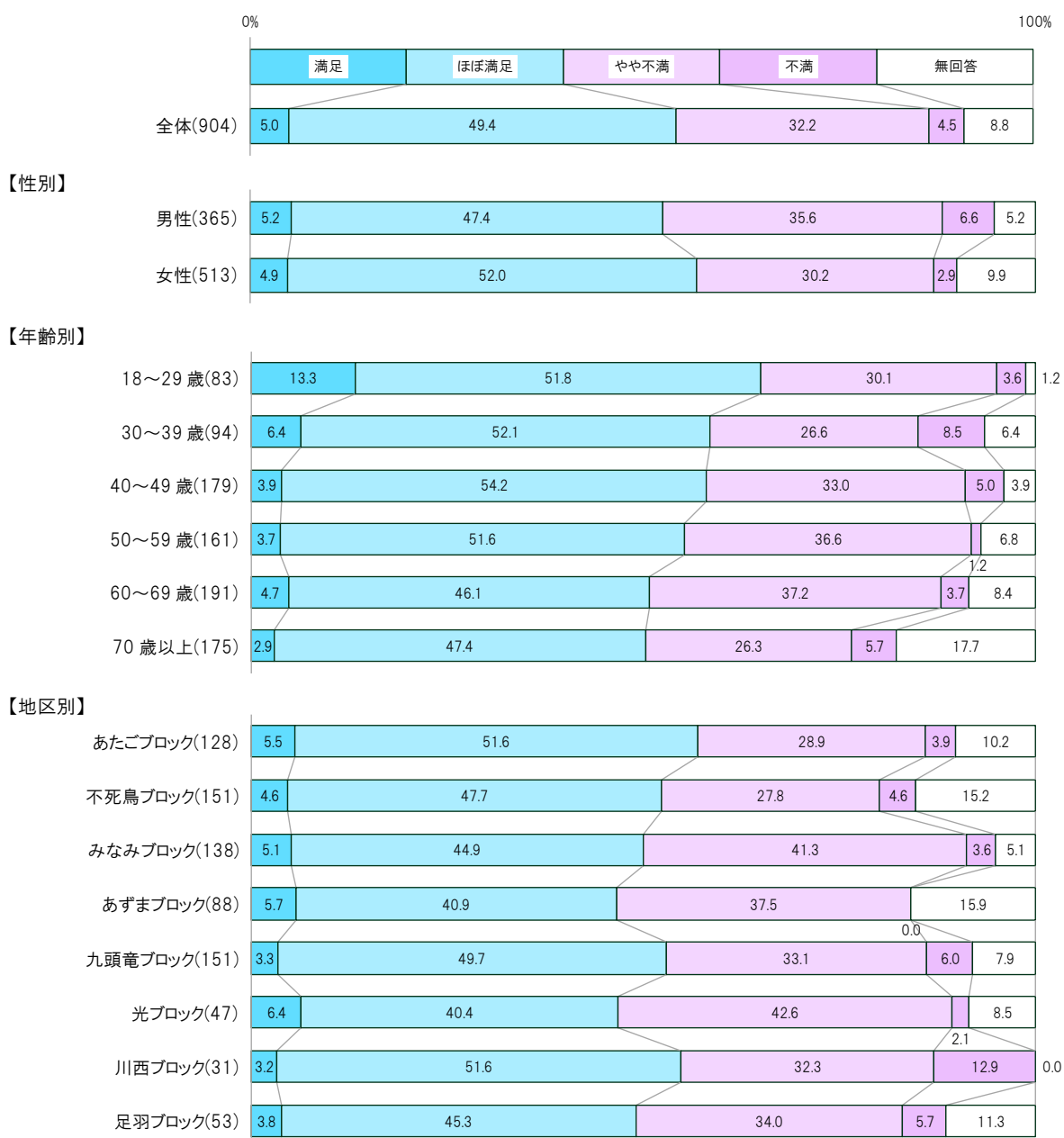
Ⅲ 生き生きと働くまち 不満度3位

30 商工業の振興

「男性」の不満度が高い

満足度は54.4%、不満度は36.7%と、満足度が不満度より17.7ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（42.2%）が女性（33.1%）より9.1ポイント高い。年齢別に見ると、不満度に有意差は見られないが、満足度は、若い世代ほど高い傾向が見られる。地区別では、不満度に有意差は見られない。



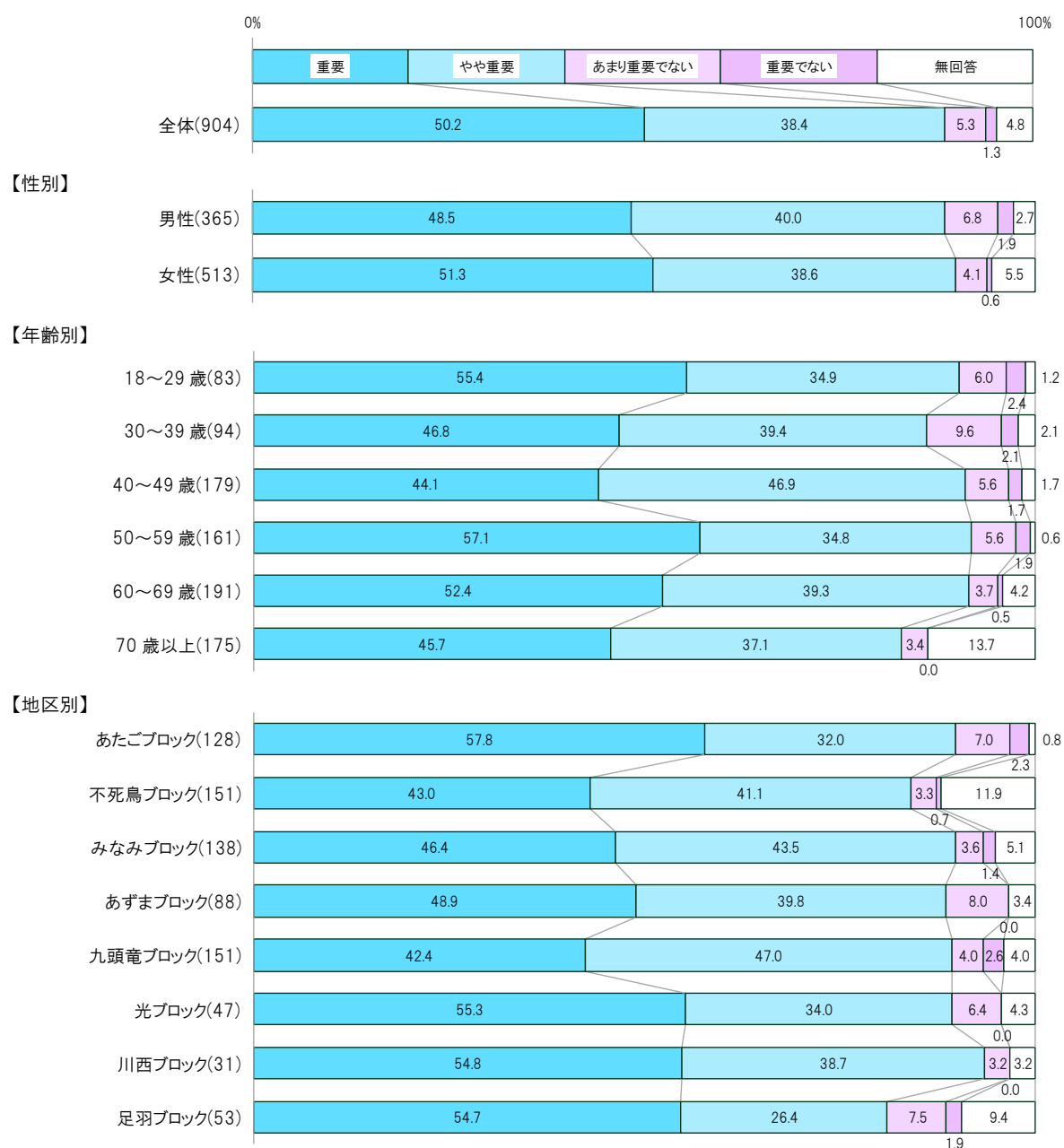
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要である」1位

3.1 福井で働くことを応援する

全体的に高い重要度

「重要である」は88.6%、「重要でない」は6.6%と、「重要である」が「重要でない」より82.0ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、70歳以上（82.8%）が最も低くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



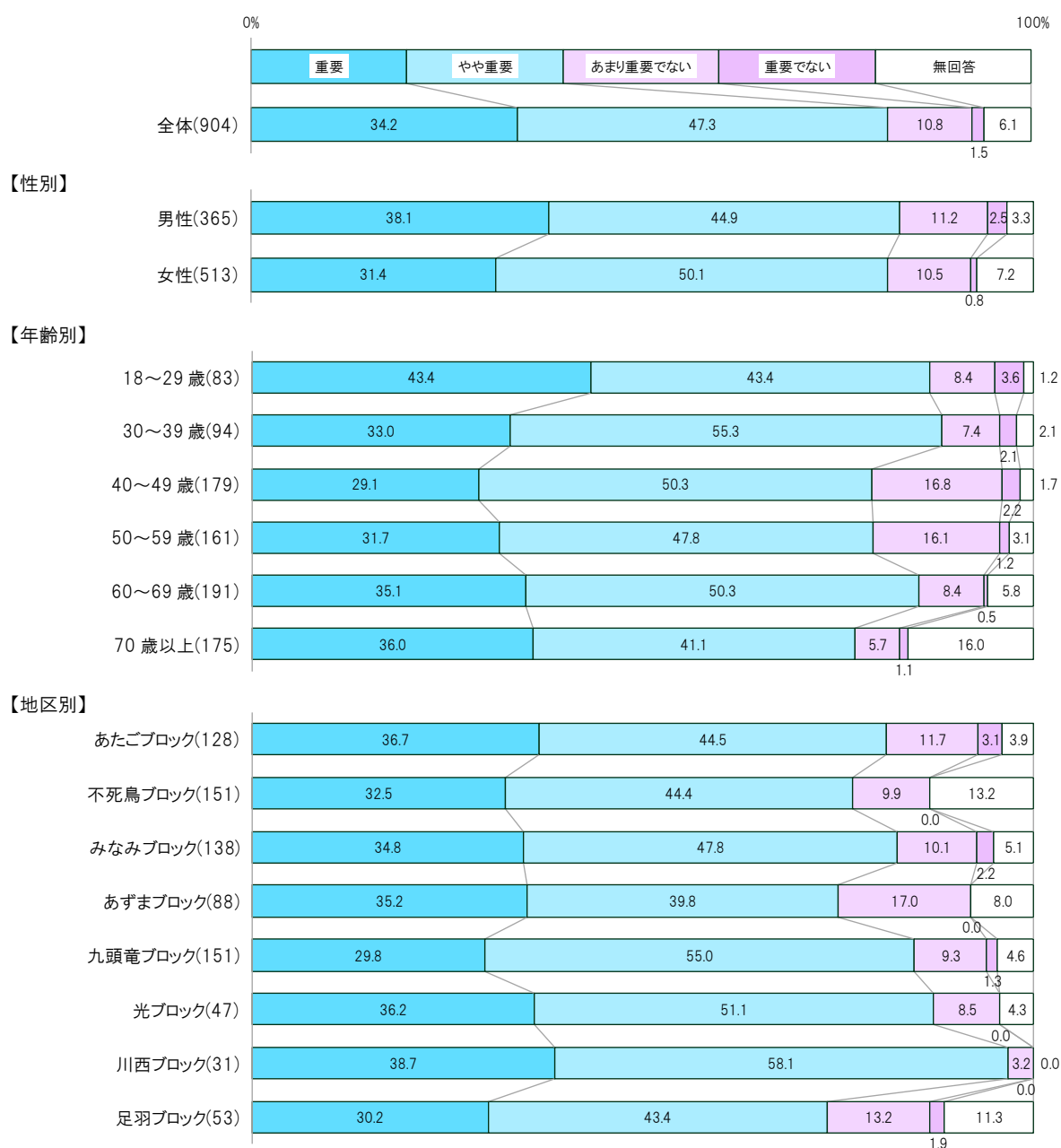
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要である」2位

30 商工業の振興

全体的に高い重要度

「重要である」は 81.5%、「重要でない」は 12.3%と、「重要である」が「重要でない」より 69.2 ポイント高くなっている。

地区別では、「重要である」は、川西ブロック（96.8%）が他の地区より 9.5～23.2 ポイント高い。性別、年齢別では、「重要である」に有意差は見られない。



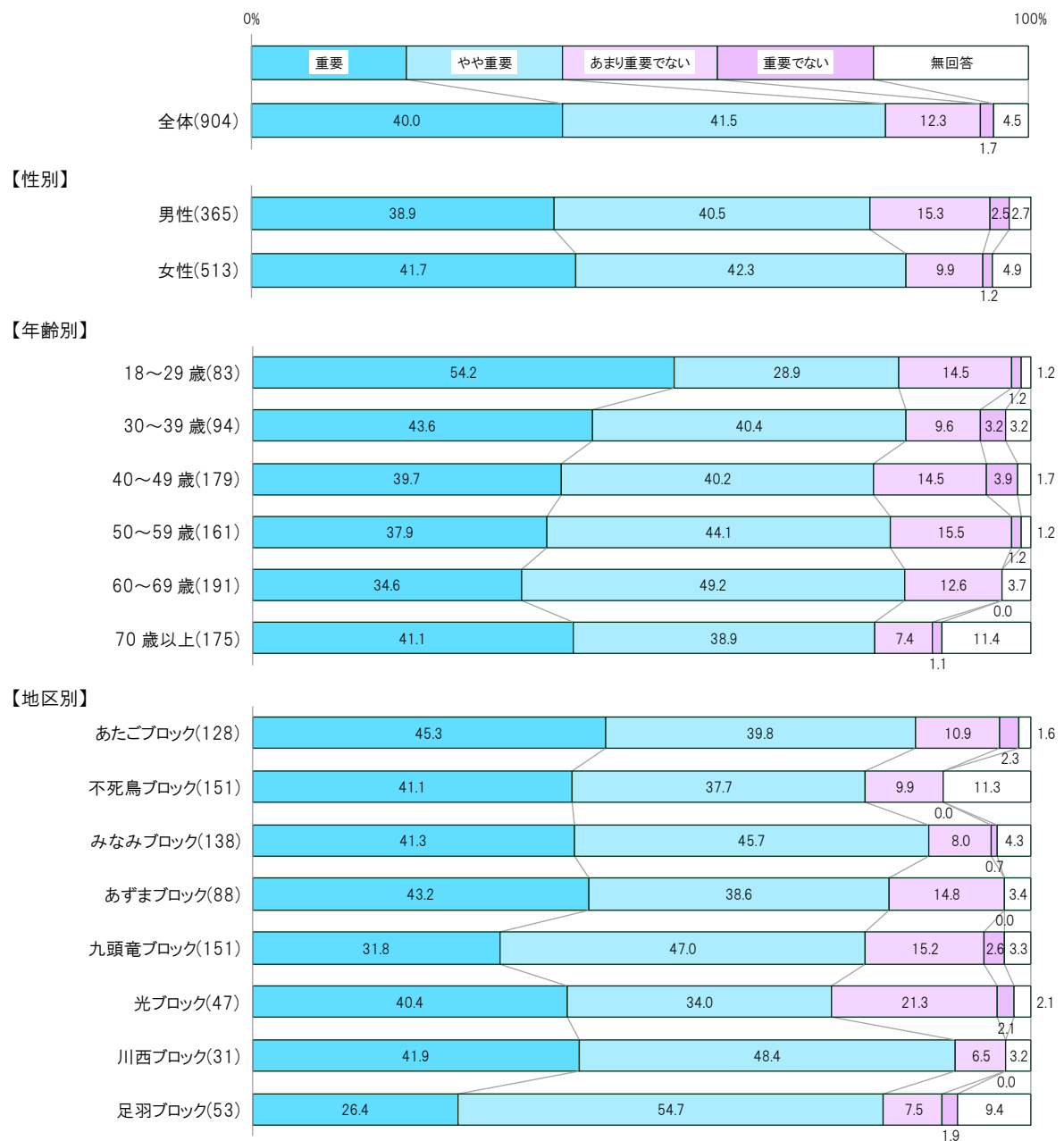
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要である」2位

3 2 観光の振興とおもてなしの充実

「18～29 歳」の“重要”と回答した割合が高い

「重要である」は 81.5%、「重要でない」は 14.0%と、「重要である」が「重要でない」より 67.5 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」に有意差は見られないが、“重要”と回答した割合は、18～29 歳（54.2%）が他の年代より 10.6～19.6 ポイント高くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



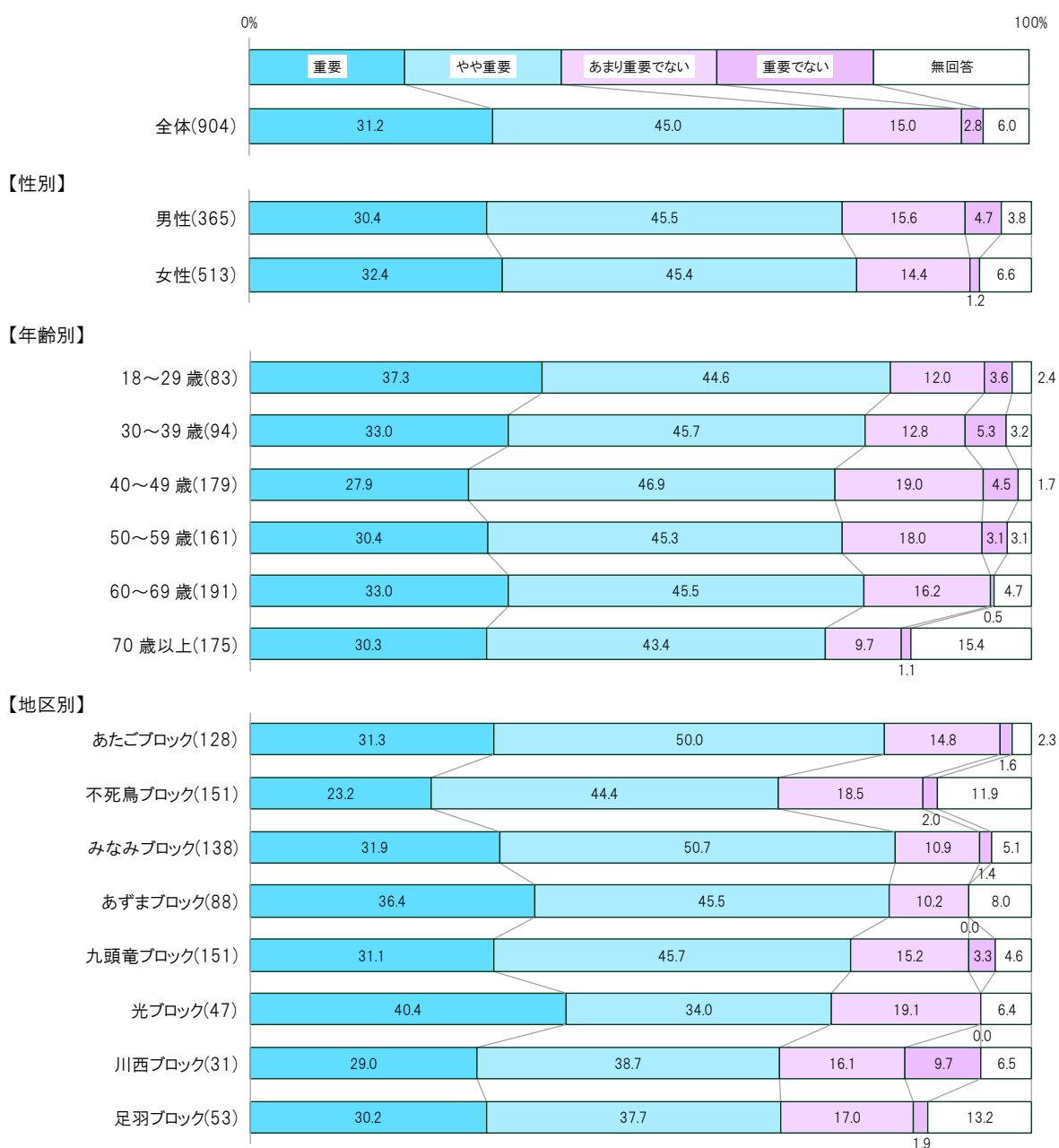
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要でない」 1 位

2 8 農産物の需要拡大

「40～49 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 76.2%、「重要でない」は 17.8%と、「重要である」が「重要でない」より 58.4 ポイント高くなっている。

年齢別では、「重要でない」は、40～49 歳（23.5%）が最も高くなっている。性別、地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



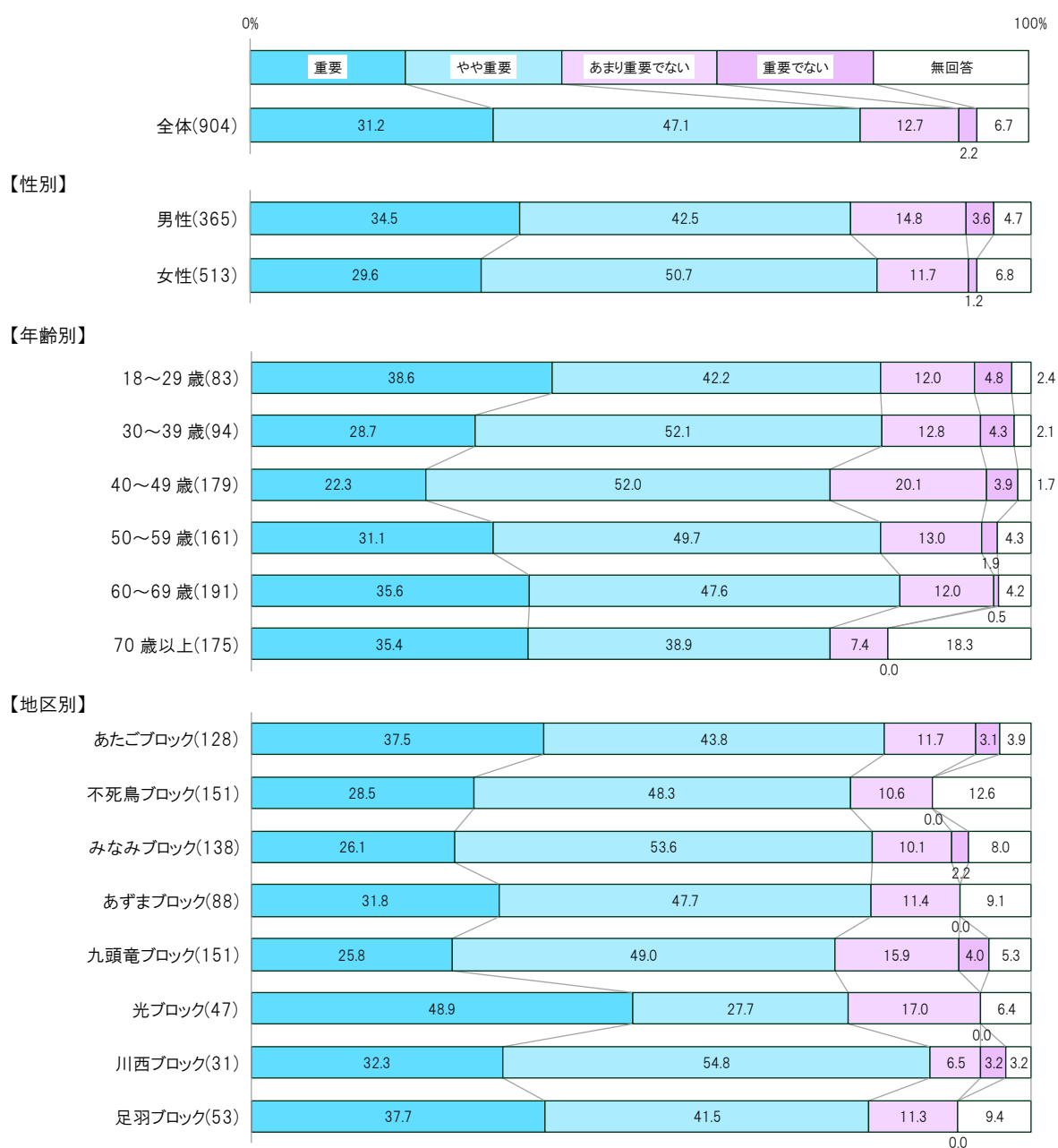
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要でない」 2 位

2 7 農林水産業の推進

「男性」と「40～49 歳」と「九頭竜ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 78.3%、「重要でない」は 14.9%と、「重要である」が「重要でない」より 63.4 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（18.4%）が女性（12.9%）より 5.5 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、40～49 歳（24.0%）が最も高くなっている。地区別では、「重要でない」は九頭竜ブロック（19.9%）が最も高い。



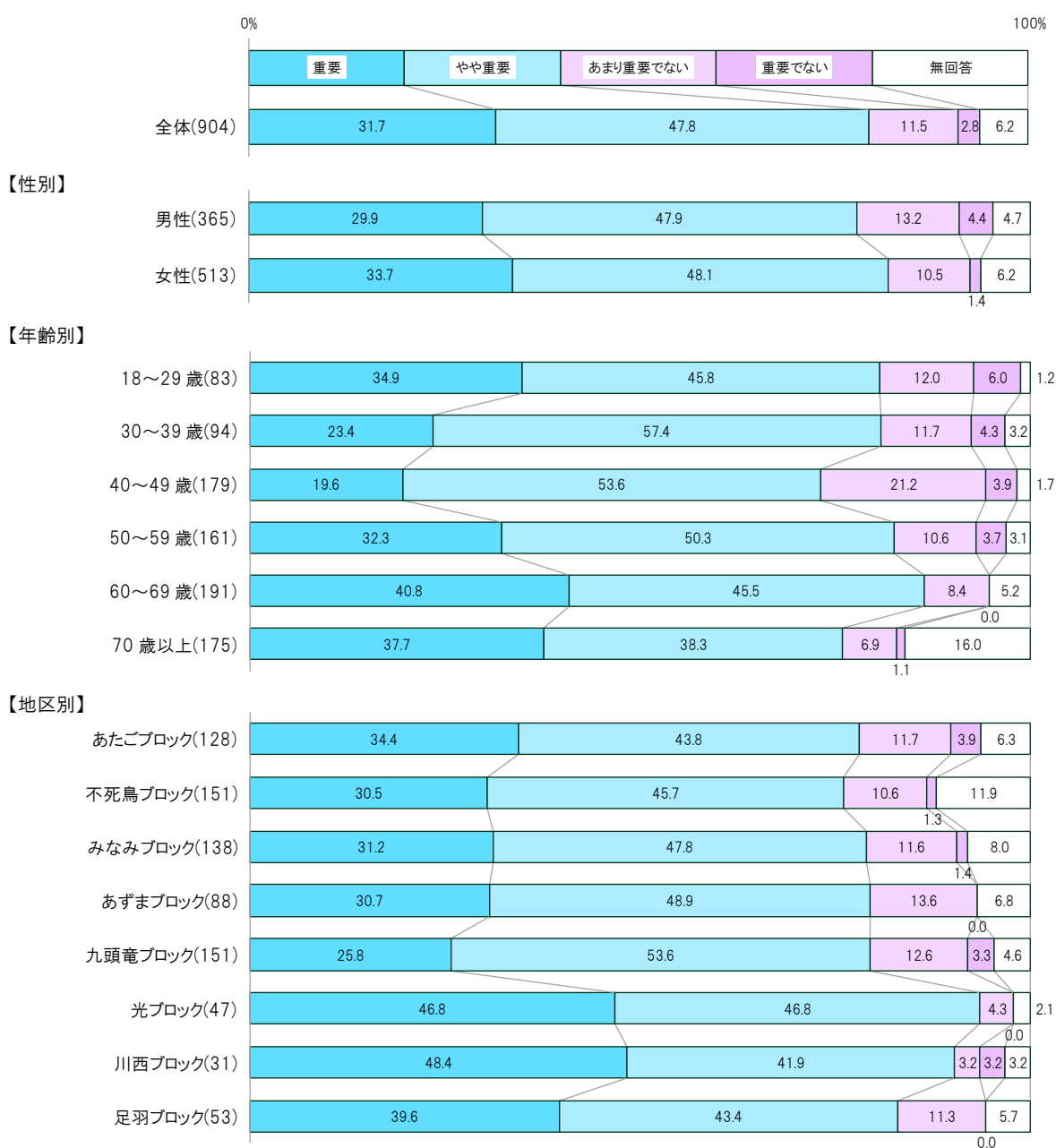
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要でない」 3 位

29 農山漁村の生活環境を守る

「男性」と「40～39 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 79.5%、「重要でない」は 14.3%と、「重要である」が「重要でない」より 65.2 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（17.6%）が女性（11.9%）より 5.7 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、40～49 歳（25.1%）が最も高くなっている。地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。

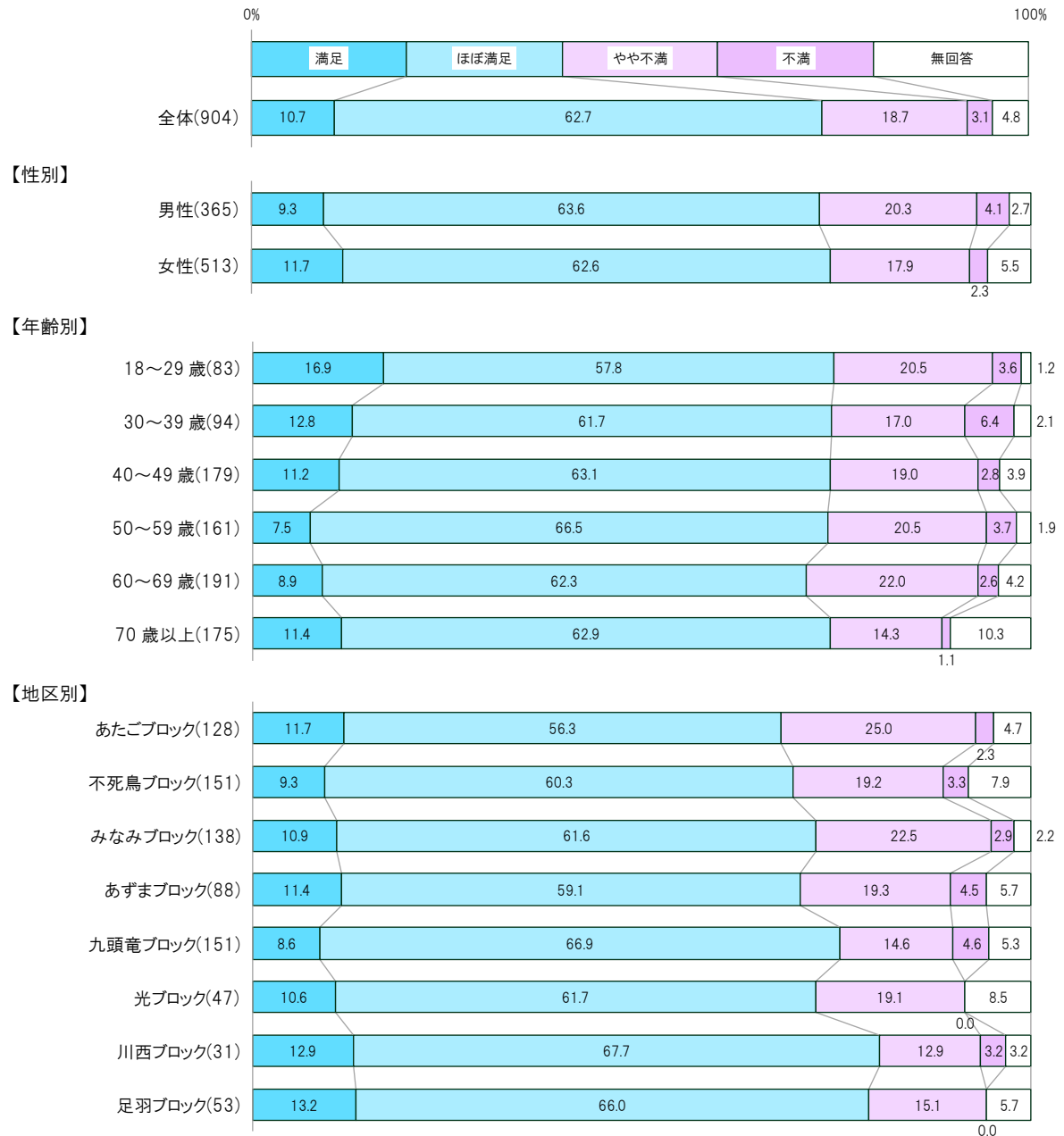


IV 学び成長するまち 満足度 1 位

3 4 歴史・文化遺産の保存・活用

全体的に高い満足度

満足度は 73.4%、不満度は 21.8%と、満足度が不満度より 51.6 ポイント高くなっている。
性別、年齢別、地区別のいずれも満足度に有意差は見られず、全体的に満足度は高い。



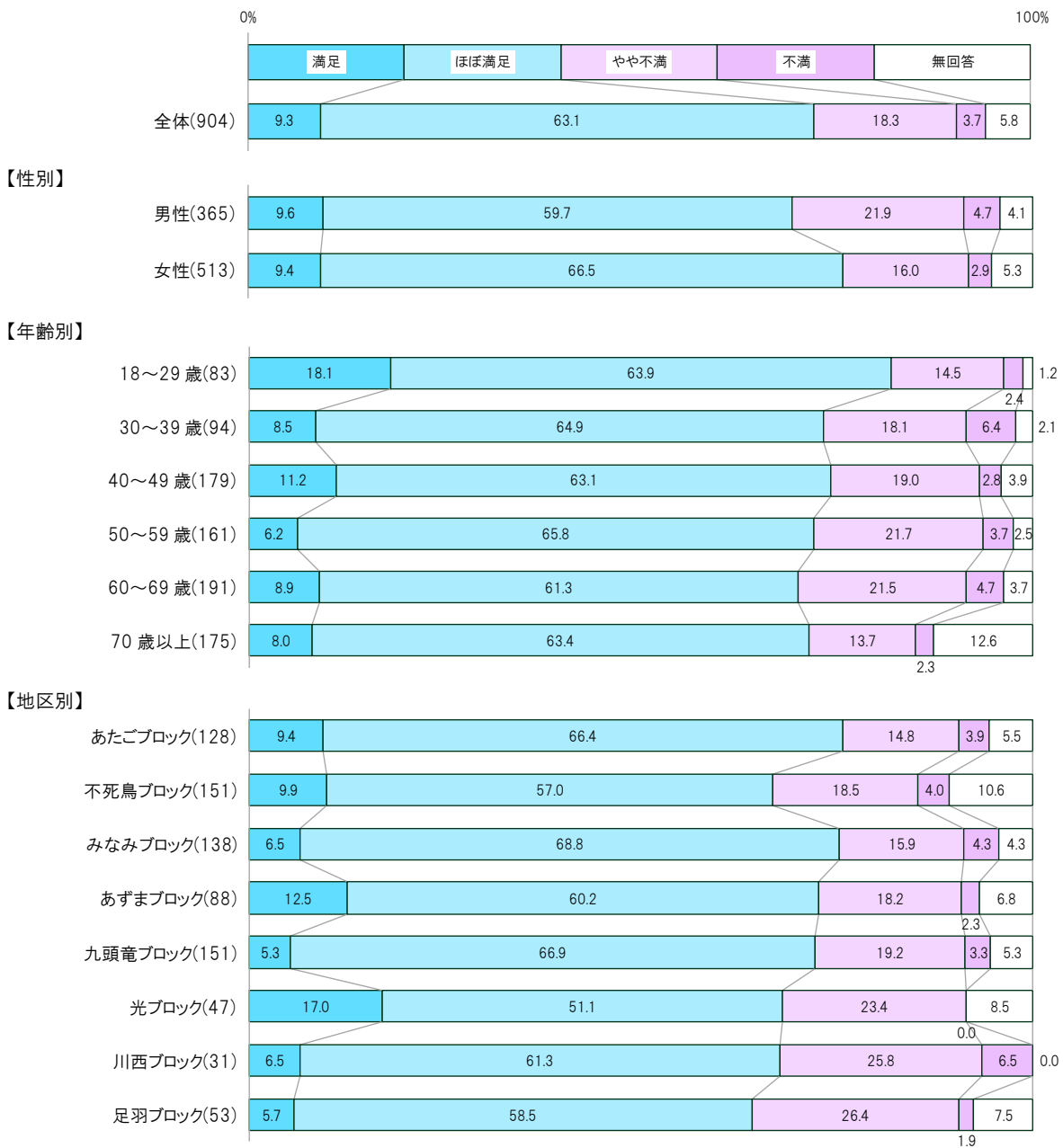
IV 学び成長するまち 満足度 2 位

3 9 生涯学習の支援

「女性」の満足度が高い

満足度は 72.4%、不満度は 22.0%と、満足度が不満度より 50.4 ポイント高くなっている。

性別では、満足度は、女性（75.9%）が男性（69.3%）より 6.6 ポイント高い。年齢別、地区別では、満足度に有意差は見られない。



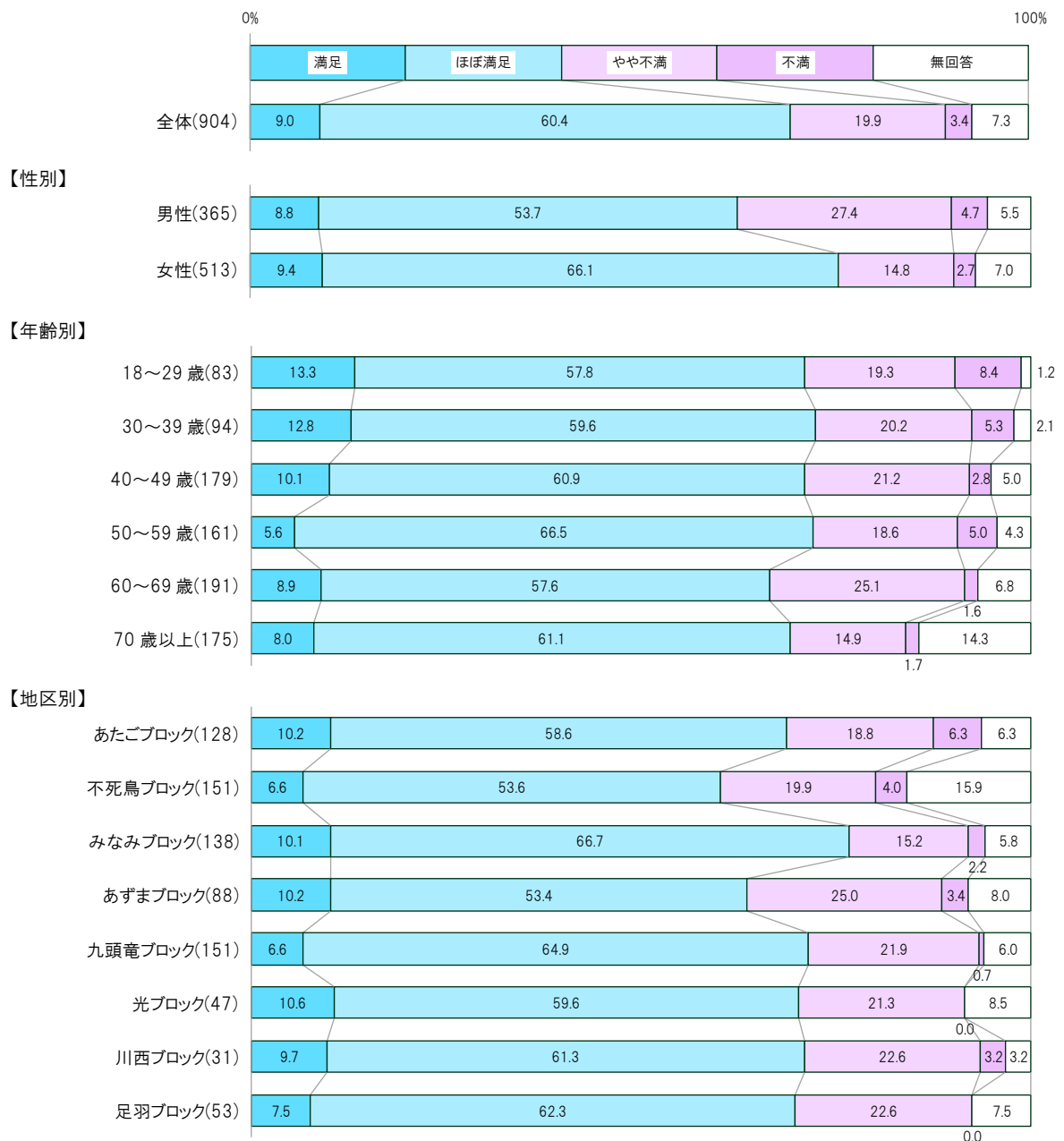
IV 学び成長するまち 満足度3位

40 生涯スポーツの支援

「女性」と「みなみブロック」の満足度が高い

満足度は69.4%、不満度は23.3%と、満足度が不満度より46.1ポイント高くなっている。

性別では、満足度は女性（75.5%）が男性（62.5%）より13.0ポイント高い。地区別では、満足度は、みなみブロック（76.8%）が最も高く、不死鳥ブロック（60.2%）は最も低い。年齢別では、満足度に有意差は見られない。



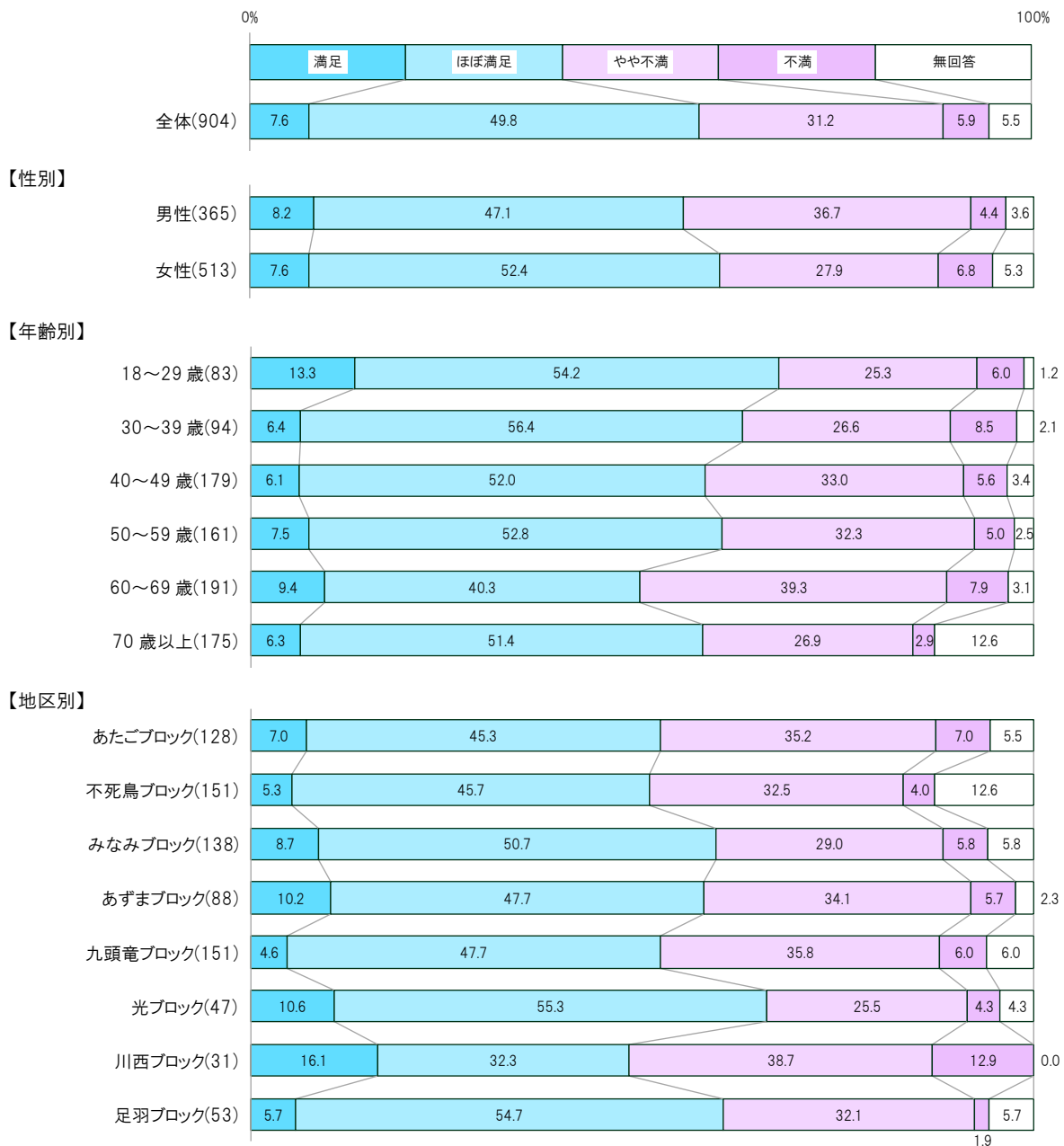
IV 学び成長するまち 不満度 1 位

3 8 学校環境の整備

「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 57.4%、不満度は 37.1%と、満足度が不満度より 20.3 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（47.2%）が他の年代より 8.6～17.4 ポイント高くなっている。性別、地区別では、不満度に有意差は見られない。



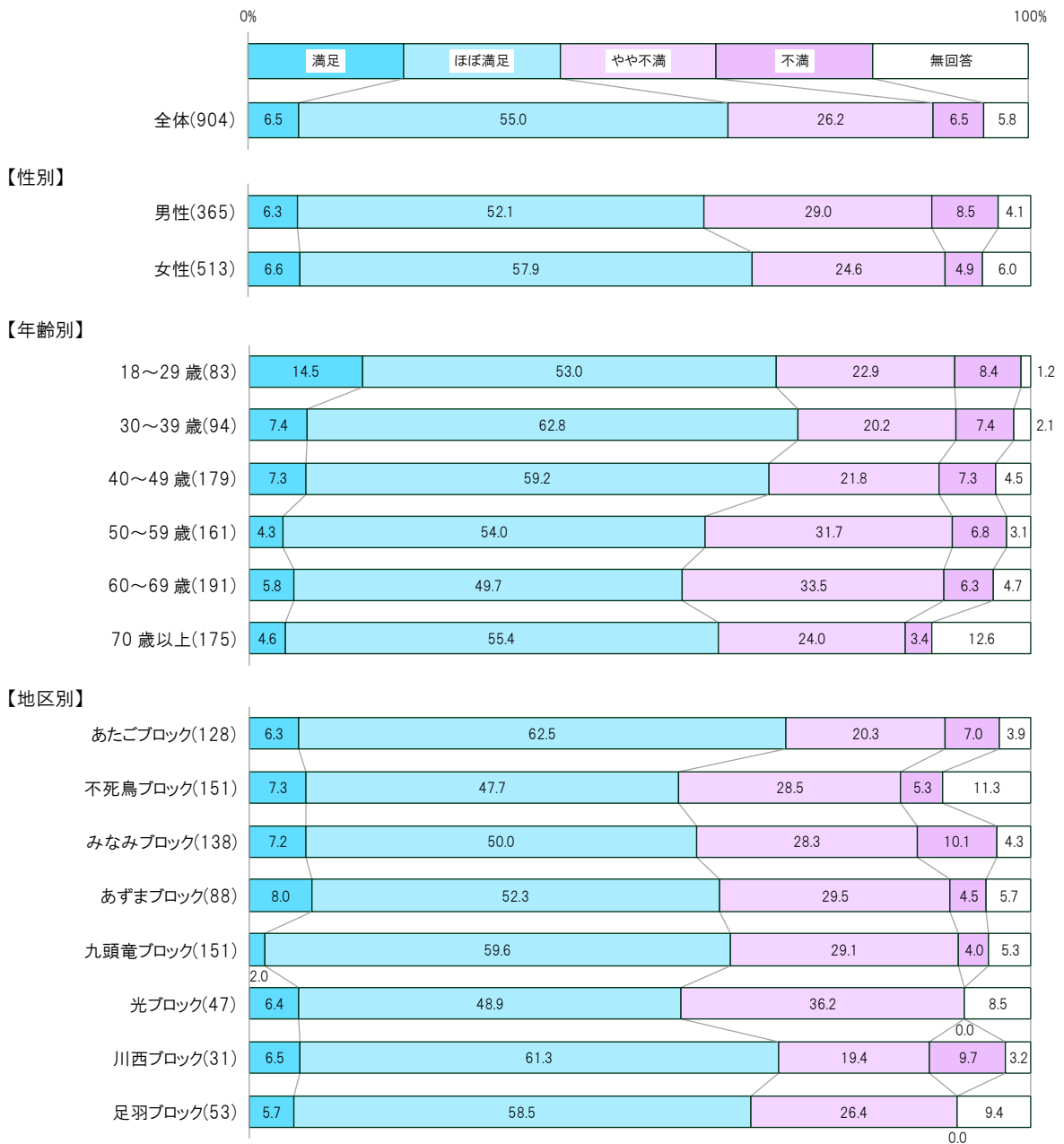
Ⅳ 学び成長するまち 不満度 2 位

3 3 文化芸術の振興

「男性」と「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 61.5%、不満度は 32.7%と、満足度が不満度より 28.8 ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（37.5%）が女性（29.5%）より 8.0 ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（39.8%）が最も高くなっている。地区別では、不満度に有意差は見られない。



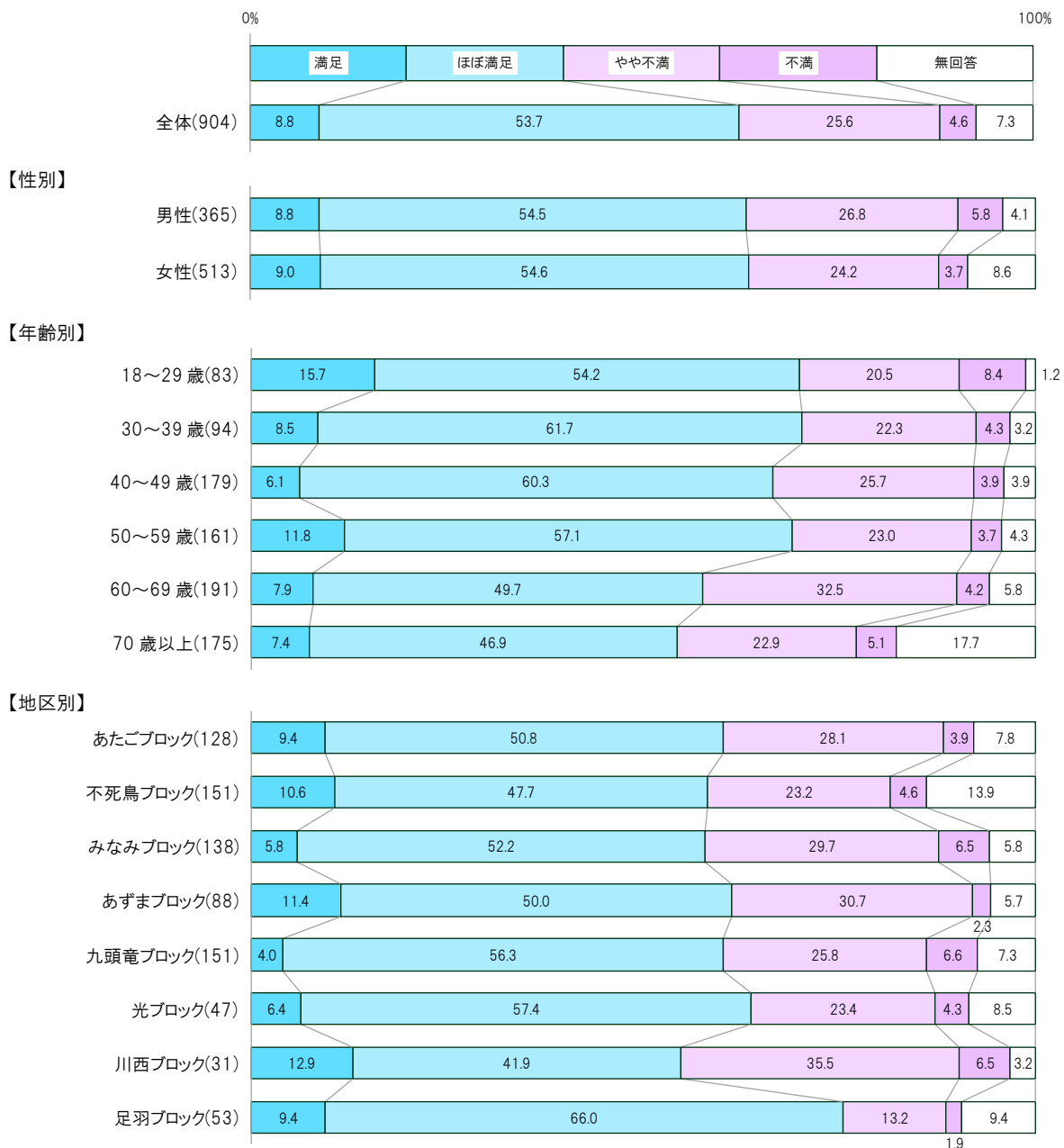
IV 学び成長するまち 不満度3位

3 6 学校教育の充実

「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は62.5%、不満度は30.2%と、満足度が不満度より32.3ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（36.7%）が最も高くなっている。地区別では、不満度は足羽ブロック（15.1%）が他の地区より12.6～26.9ポイント低い。性別では、不満度に有意差は見られない。



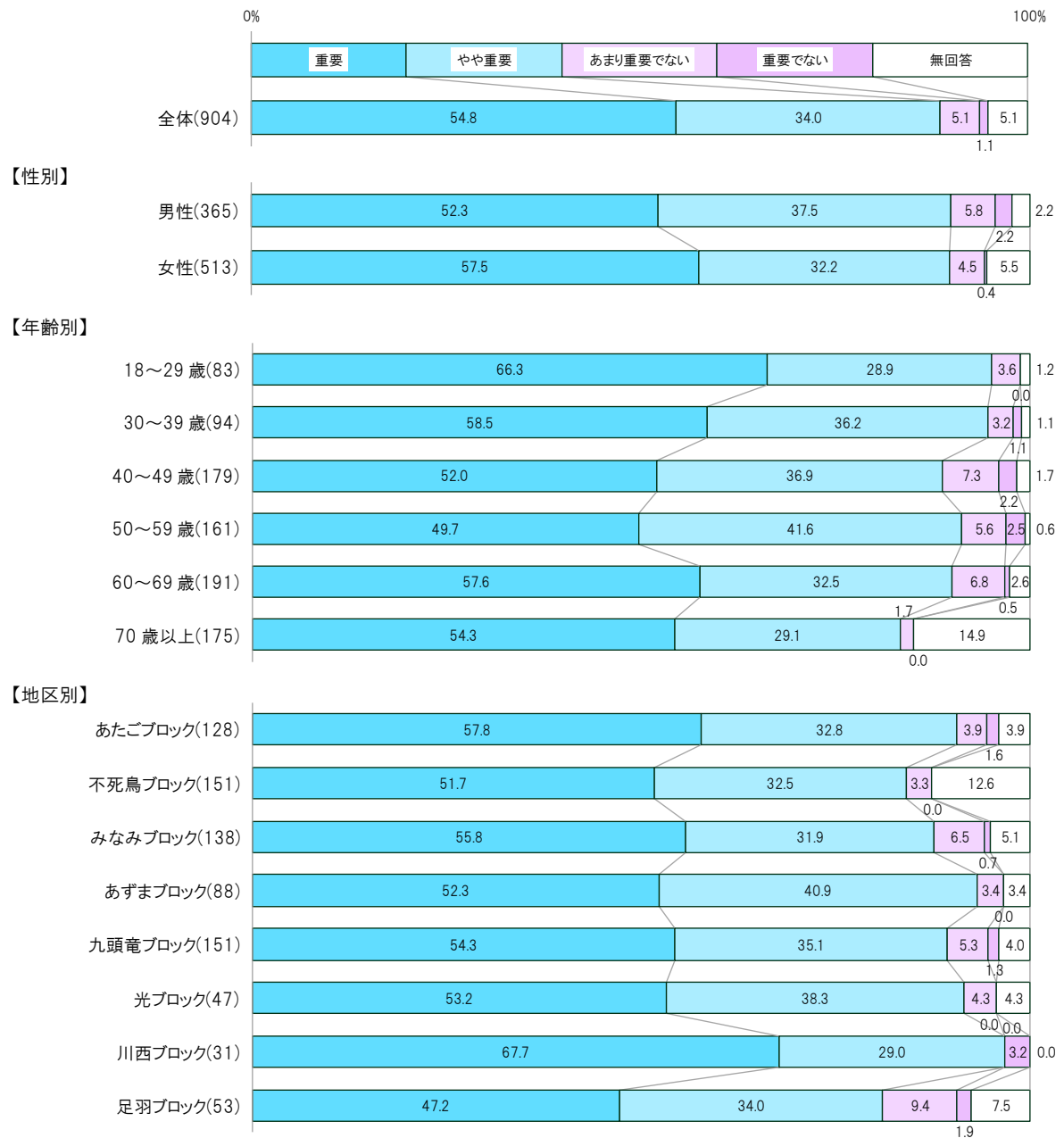
IV 学び成長するまち 「重要である」 1 位

3 8 学校環境の整備

全体的に高い重要度

「重要である」は88.8%、「重要でない」は6.2%と、「重要である」が「重要でない」より82.6ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、70歳以上（83.4%）が他の年代より5.5～11.8ポイント低くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



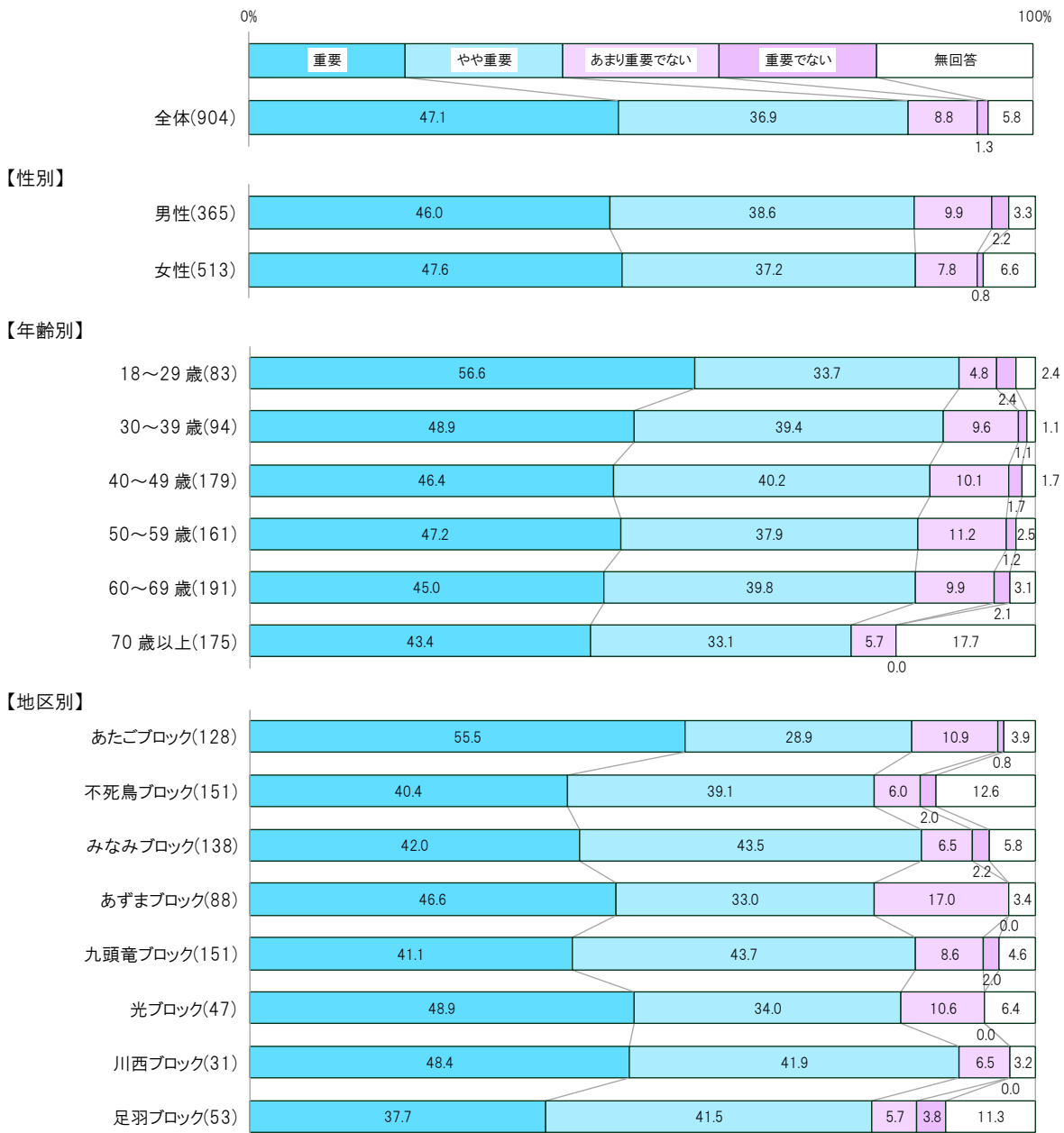
IV 学び成長するまち 「重要である」 2 位

3 6 学校教育の充実

「若い世代」ほど「重要である」が高い

「重要である」は 84.0%、「重要でない」は 10.1%と、「重要である」が「重要でない」より 73.9 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



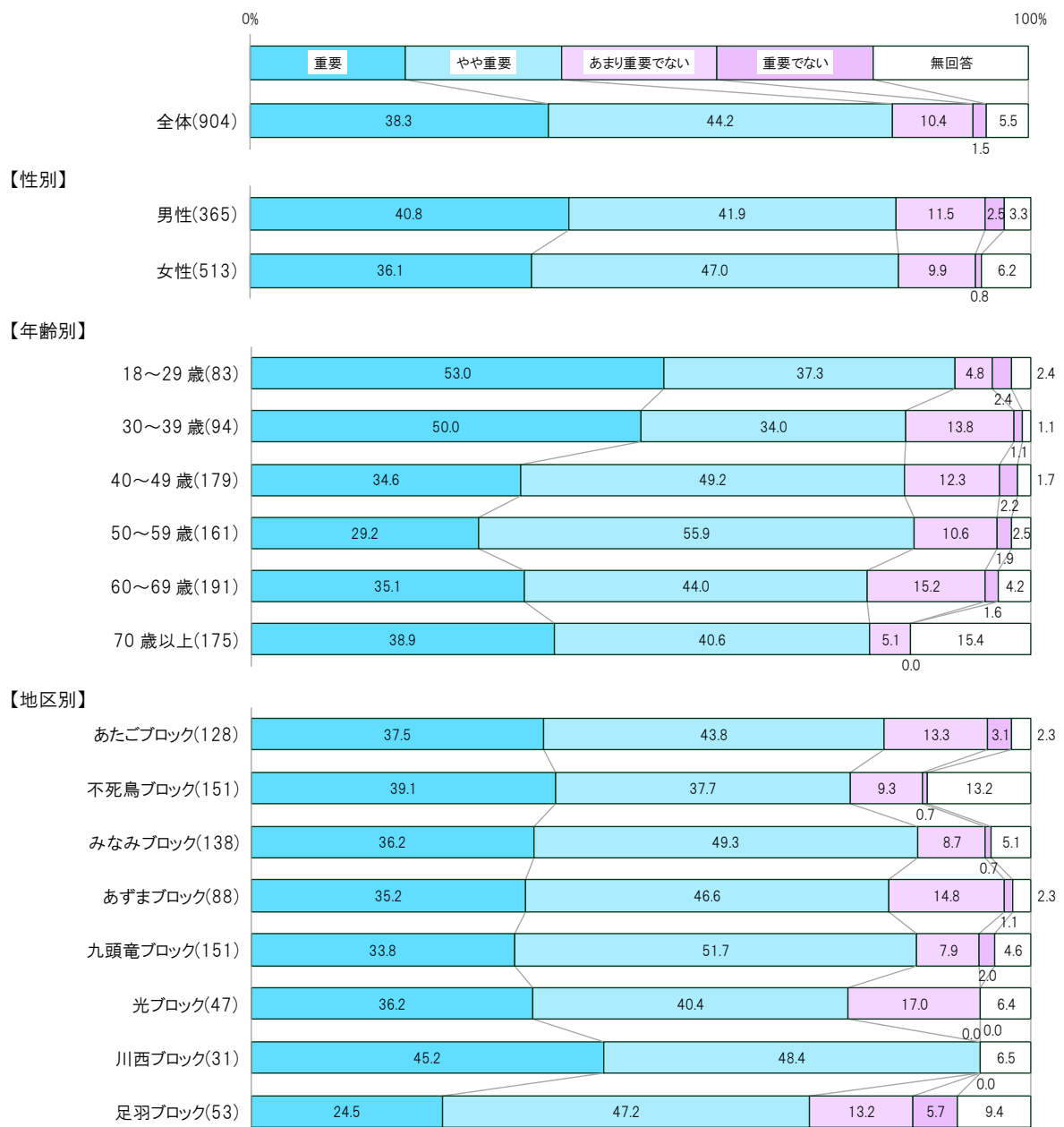
IV 学び成長するまち 「重要である」 3 位

3 7 子どもの健全育成

「若い世代」の“重要”と回答した割合が高い

「重要である」は 82.5%、「重要でない」は 11.9%と、「重要である」が「重要でない」より 70.6 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」に有意差は見られないが、“重要”と回答した割合は、18～29 歳（53.0%）と 30～39 歳（50.0%）が高く、若い世代においてその割合が高くなっている。性別、地区別では、「重要である」に有意差は見られない。



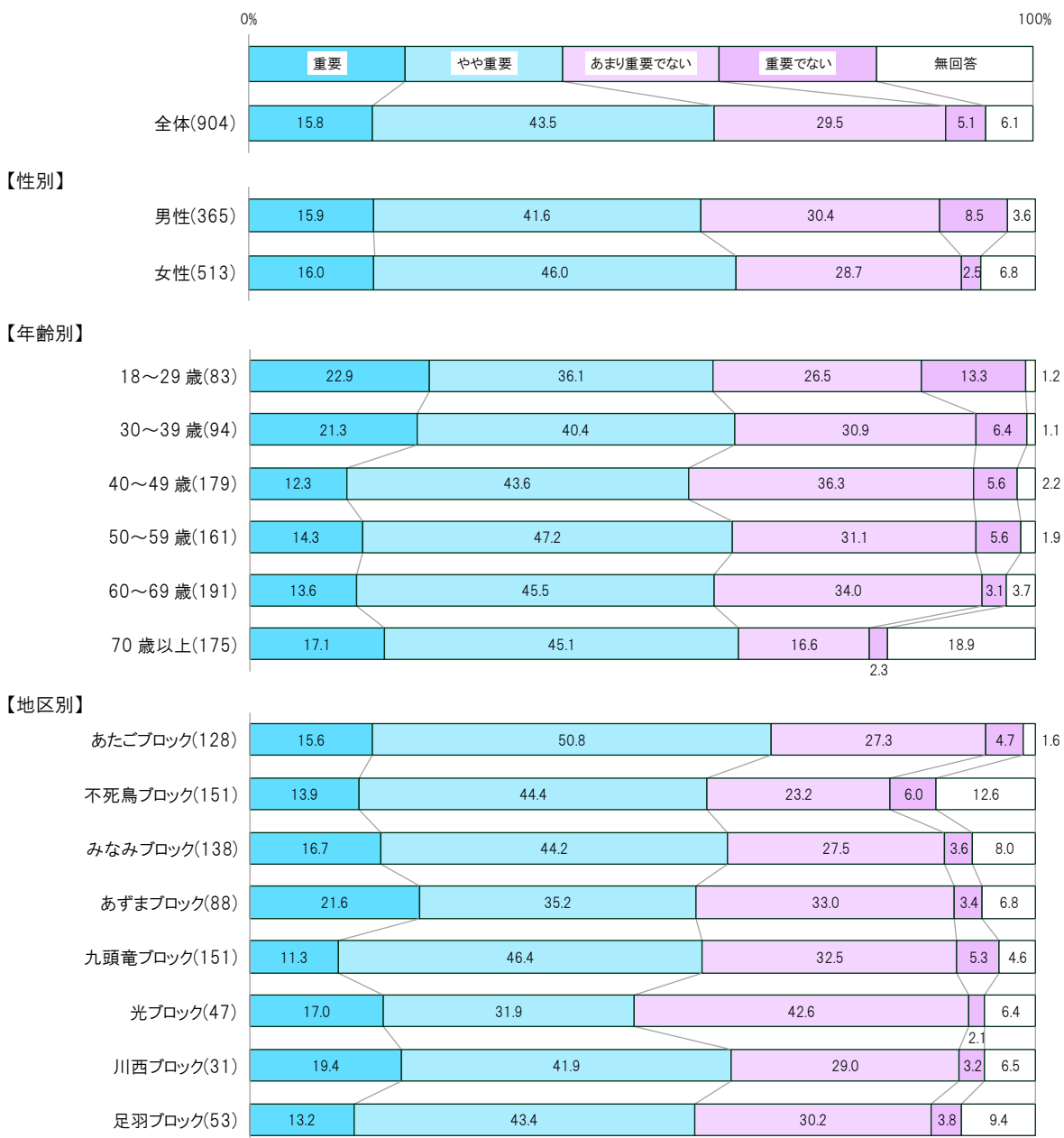
IV 学び成長するまち 「重要でない」 1位

3 5 自然科学教育の充実

「男性」と「40～49 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 59.3%、「重要でない」は 34.6%と、「重要である」が「重要でない」より 24.7 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（38.9%）が女性（31.2%）より 7.7 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、40～49 歳（41.9%）が最も高く、70 歳以上（18.9%）は最も低くなっている。地区別では、「重要でない」に有意差は見られない。



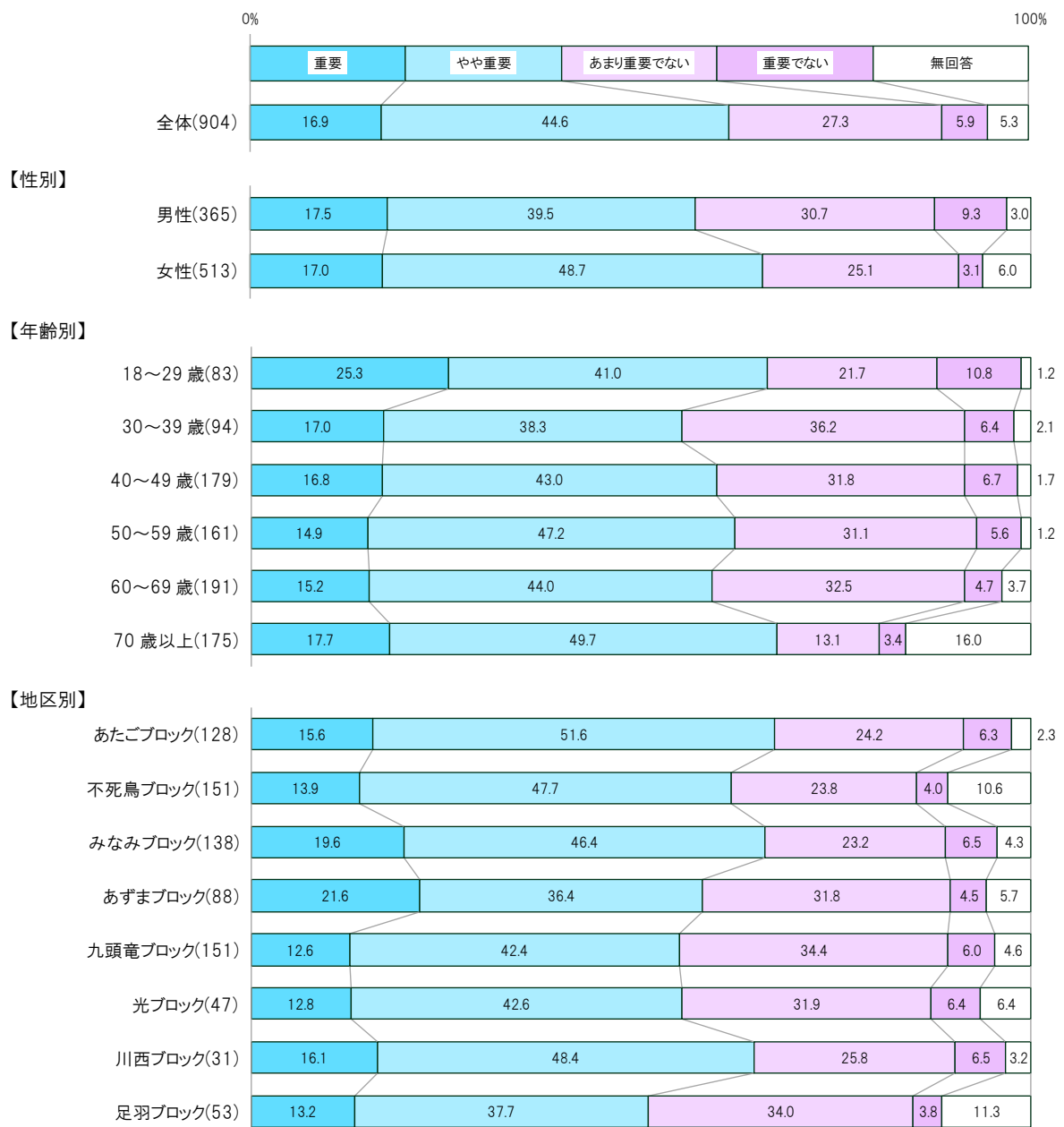
Ⅳ 学び成長するまち 「重要でない」 2 位

3 3 文化芸術の振興

「男性」と「30～39 歳」と「九頭竜ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 61.5%、「重要でない」は 33.2%と、「重要である」が「重要でない」より 28.3 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（40.0%）が女性（28.2%）より 11.8 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、30～39 歳（42.6%）が最も高く、70 歳以上（16.5%）は最も低くなっている。地区別では、「重要でない」は、九頭竜ブロック（40.4%）が最も高い。



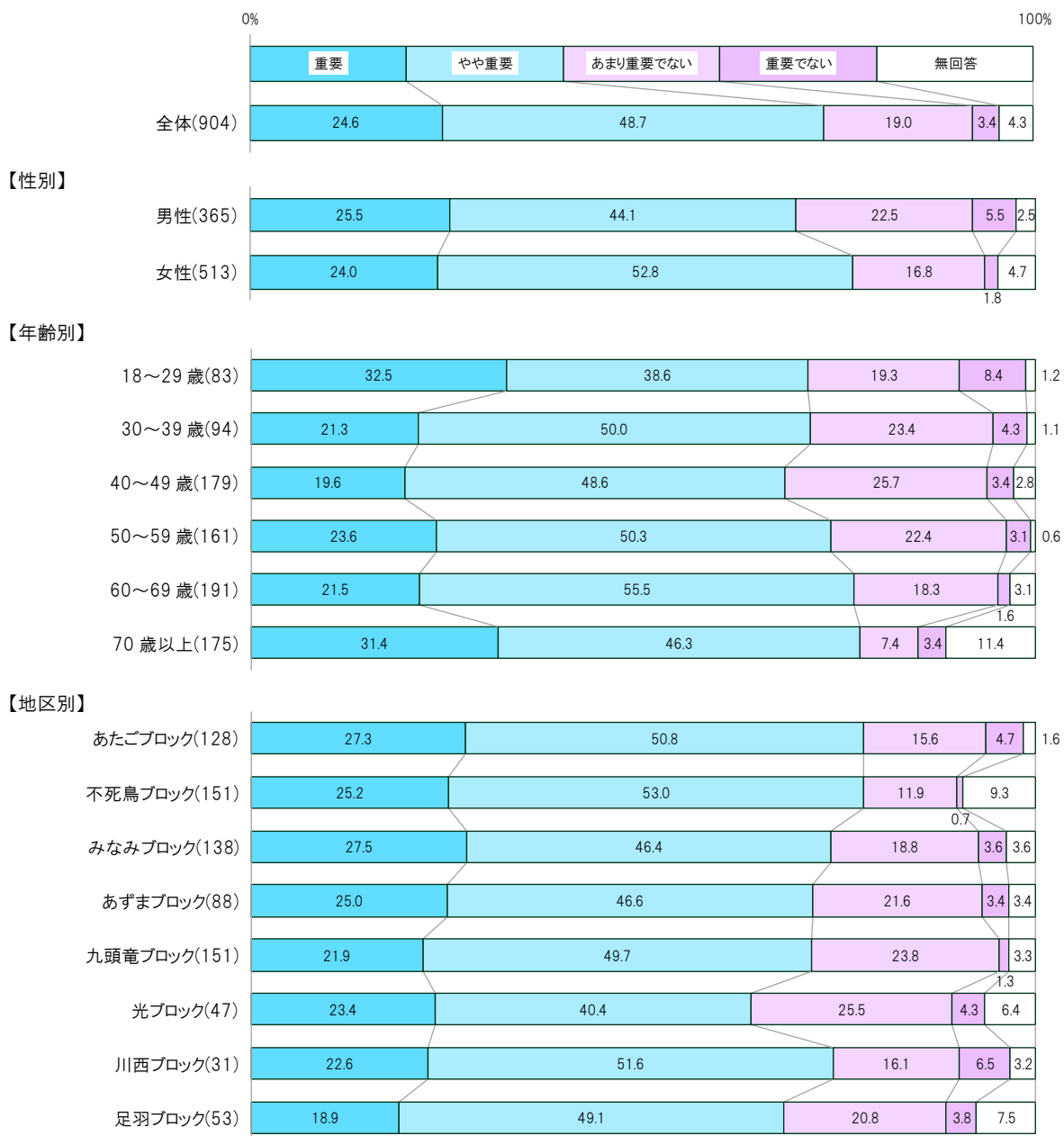
IV 学び成長するまち 「重要でない」 3位

3 4 歴史・文化遺産の保存・活用

「男性」と「40～49 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 73.3%、「重要でない」は 22.4%と、「重要である」が「重要でない」より 50.9 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（28.0%）が女性（18.6%）より 9.4 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、40～49 歳（29.1%）が最も高く、70 歳以上（10.8%）は最も低くなっている。地区別では、「重要でない」は、不死鳥ブロック（12.6%）が最も低い。

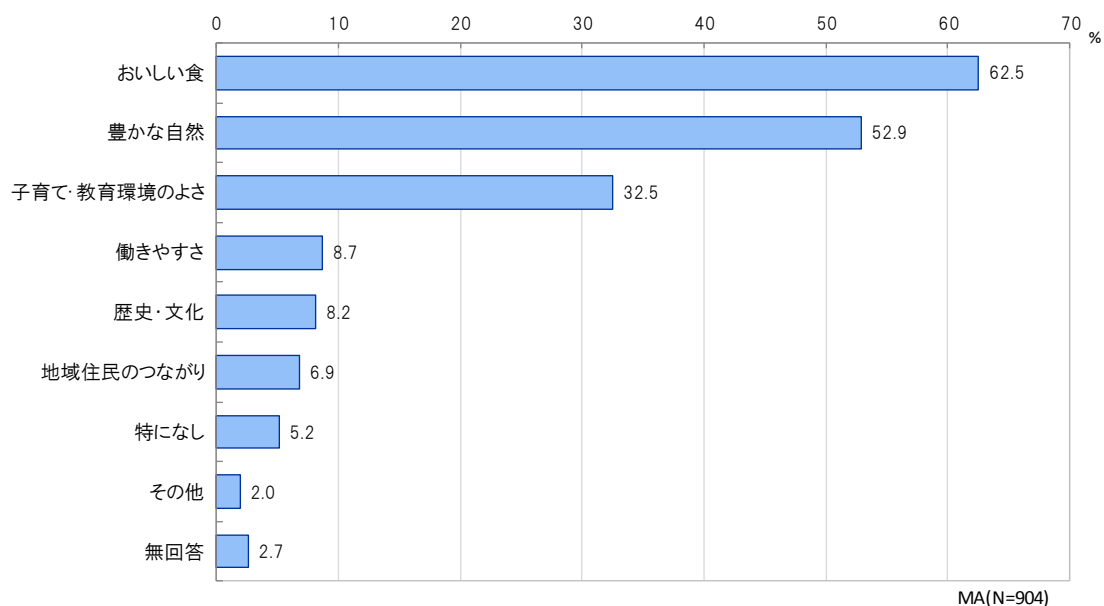


◆福井市に対する意識について

問1 あなたにとって、福井市が全国に誇れると思うものは何ですか。(2つ)

全体の5割以上が「おいしい食」、「豊かな自然」を回答

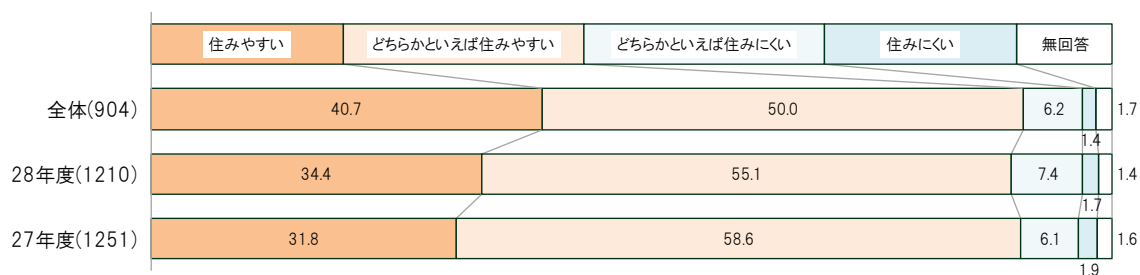
割合の高い順に、「おいしい食」(62.5%)、「豊かな自然」(52.9%)、「子育て・教育環境のよさ」(32.6%)となっている。



問2 あなたは、福井市は住みやすいまちだと思いますか。(1つ)

「福井市は住みやすい」は全体の9割

「福井市は住みやすい」(「住みやすい」(40.7%)及び「どちらかといえば住みやすい」(50.0%)の合計)は、全体の90.7%となっている。また、「住みやすい」は、平成27年度調査(以下「27年度」という。「28年度」も同様)以降、毎年度割合が高くなる傾向が見られる。

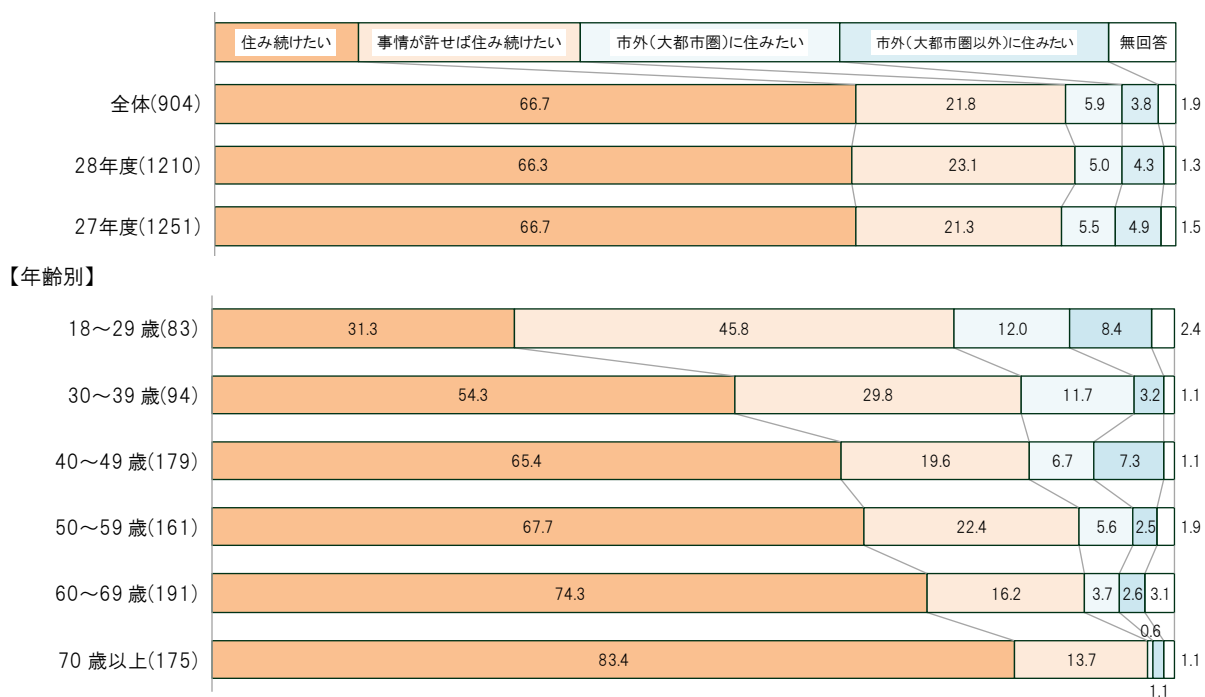


問3 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

「福井市に住み続けたい」は全体の約9割

「福井市に住み続けたい」(「住み続けたい」(66.7%)及び「事情が許せば住み続けたい」(21.8%)の合計)は、全体の88.5%となっている。「福井市に住み続けたい」は、28年度(89.4%)と比べて有意差は見られない。

年齢別に見ると、「福井市に住み続けたい」は、70歳以上(97.1%)が最も高く、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。



Ⅳ 調査結果（所属調査）

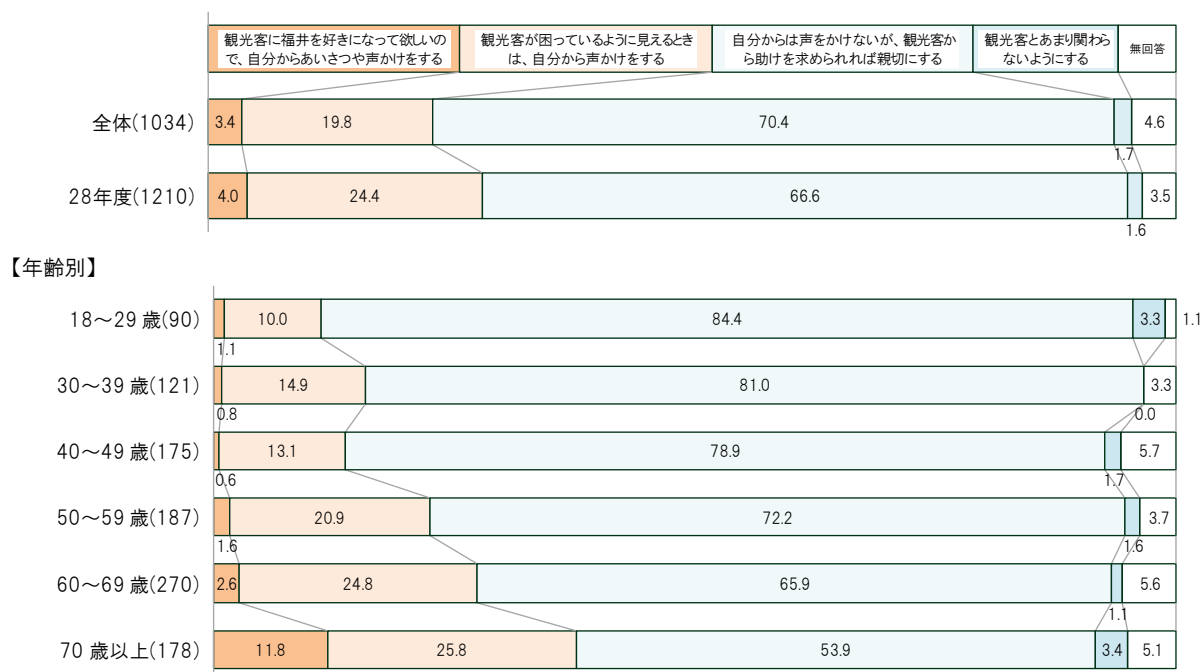
◆観光客受け入れについて

問1 観光客へのおもてなしや声かけについて、あなたの日頃の行動または心がけていることはどれですか。（1つ）

「観光客に自分から声かけをする」は全体の2割

「観光客に声かけをする、親切にする」（「自分からあいさつや声かけをする」（3.4%）、「困っているように見えるときは、自分から声かけをする」（19.8%）及び「助けを求められれば親切にする」（70.4%）の合計）は全体の93.6%であるが、「観光客に自分から声かけをする」（「自分から声かけをする」及び「困っているように見えるときは、自分から声かけをする」の合計）は、全体の23.2%となっている。「観光客に自分から声かけをする」は、28年度（28.4%）と比べて5.2ポイント低い。

年齢別に見ると、「観光客に自分から声かけをする」は、70歳以上（37.6%）が最も高く、年齢の高い世代ほど、その割合は高くなる傾向が見られる。

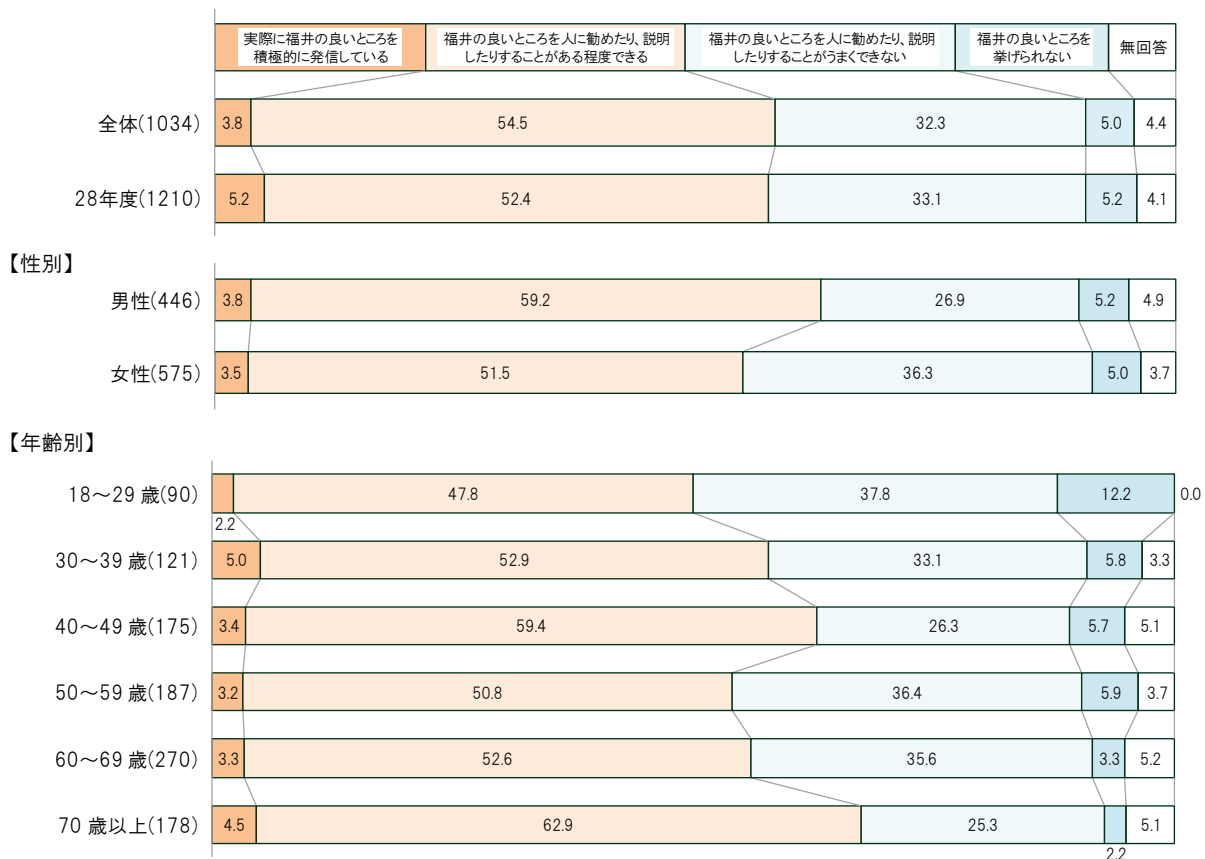


問2 あなたは、福井の良いところ（自慢できるところ、観光地や食の魅力など）を人に勧めたり、説明したりすることができますか。（1つ）

「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる」は全体の約6割

「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる」（「実際に福井の良いところを積極的に発信している」（3.8%）及び「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることがある程度できる」（54.5%）の合計）は、全体の58.3%となっている。「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる」は、28年度（57.6%）と比べて有意差は見られない。

性別では、「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる」は、男性（63.0%）が女性（55.0%）より8.0ポイント高い。年齢別に見ると、「福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることができる」は、70歳以上（67.4%）が最も高くなっている。



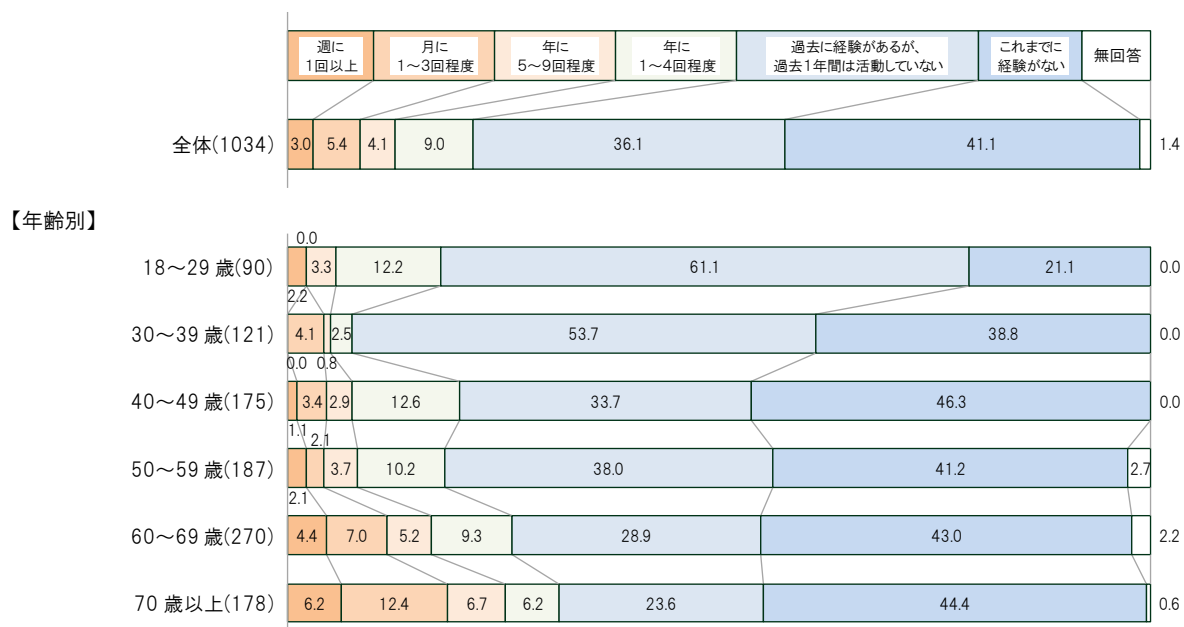
◆ボランティア活動について

問1 あなたは、ボランティア活動にどの程度取り組んでいますか。(1つ)

「ここ1年間に活動経験がある」は全体の2割

「ここ1年間に活動経験がある」(「週1回以上(3.0%)」、「月に1～3回程度」(5.4%)、「年に5～9回程度」(4.1%)及び「年に1～4回程度」(9.0%)の合計)は、全体の21.5%となっている。

年齢別に見ると、「ここ1年間に活動経験がある」は、70歳以上(31.5%)が最も高く、30～39歳(7.4%)は最も低くなっている。

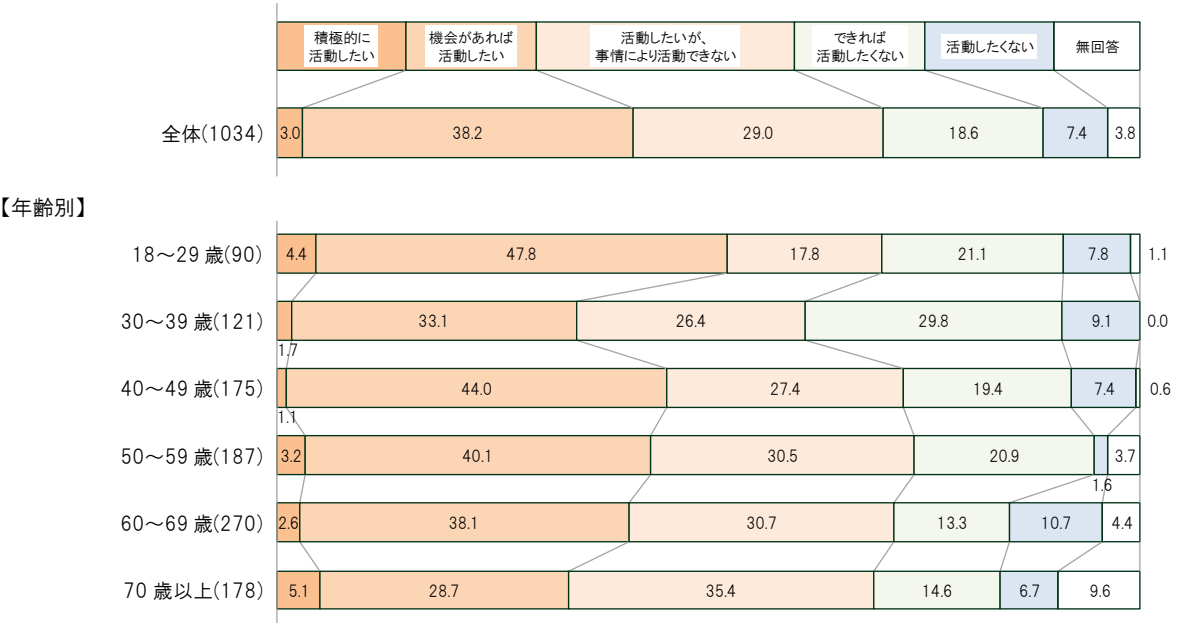


問2 あなたは、今後ボランティア活動にどの程度取り組みたいですか。(1つ)

「活動したい」は全体の4割

「活動したい」(「積極的に活動したい」(3.0%)及び「機会があれば活動したい」(38.2%)の合計)は、全体の41.2%となっている。

年齢別に見ると、「活動したい」は、18～29歳(52.2%)が最も高い。



(問2で「積極的に活動したい」または「機会があれば活動したい」と答えた方にお聞きします)

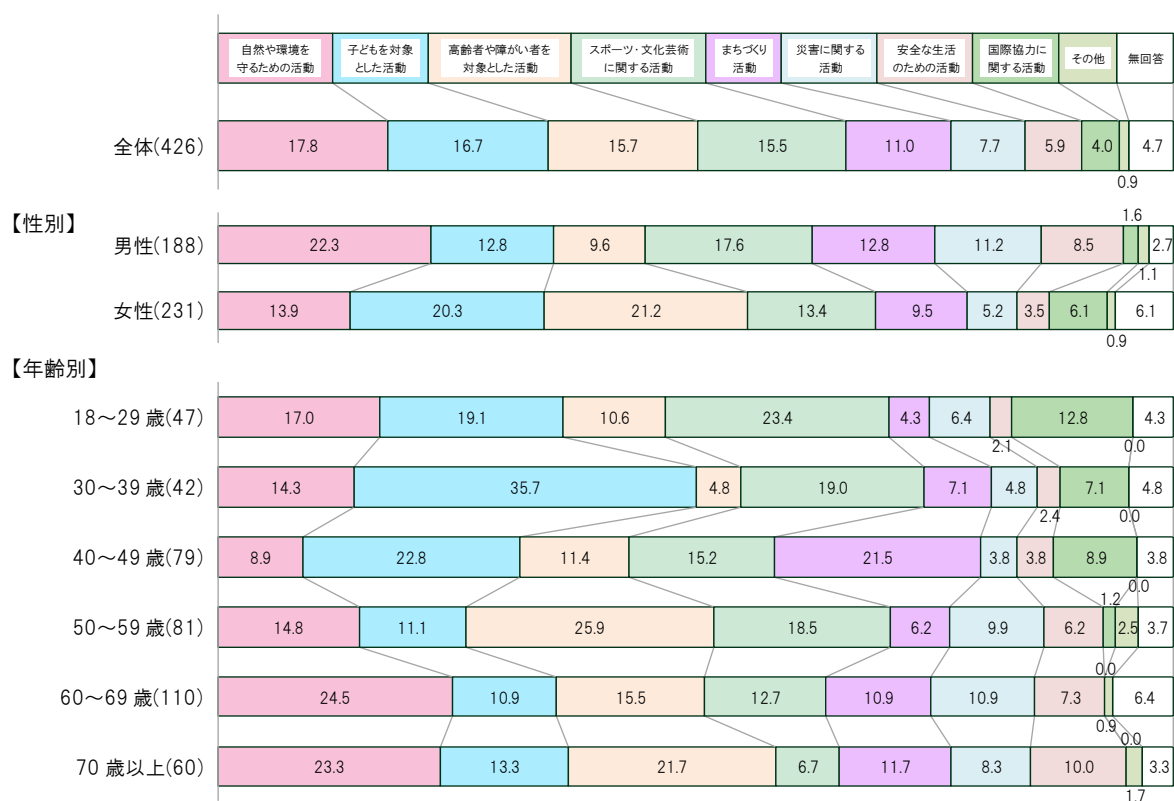
問2-2 あなたは、今後、どんなボランティア活動に参加したいですか。(1つ)

「自然・環境」「子ども」「高齢者・障がい者」に関する活動の割合が高い

割合の高い順に、「自然や環境を守るための活動」(17.8%)、「子どもを対象とした活動」(16.7%)、「高齢者や障がい者を対象とした活動」(15.7%)となっている。

性別では、男性は、「自然や環境を守るための活動」(22.3%)、「スポーツ・文化芸術に関する活動」(17.6%)が高く、女性は、「高齢者や障がい者を対象とした活動」(21.2%)、「子供を対象とした活動」(20.3%)が高くなっている。

年齢別に見ると、18～29歳は「スポーツ・文化芸術に関する活動」(23.4%)、30～39歳は「子どもを対象とした活動」(35.7%)、40～49歳は「子どもを対象とした活動」(22.8%)、50～59歳は「高齢者や障がい者を対象とした活動」(25.9%)、60～69歳は「自然や環境を守るための活動」(24.5%)、70歳以上は「自然や環境を守るための活動」(23.3%)がそれぞれ最も高い。



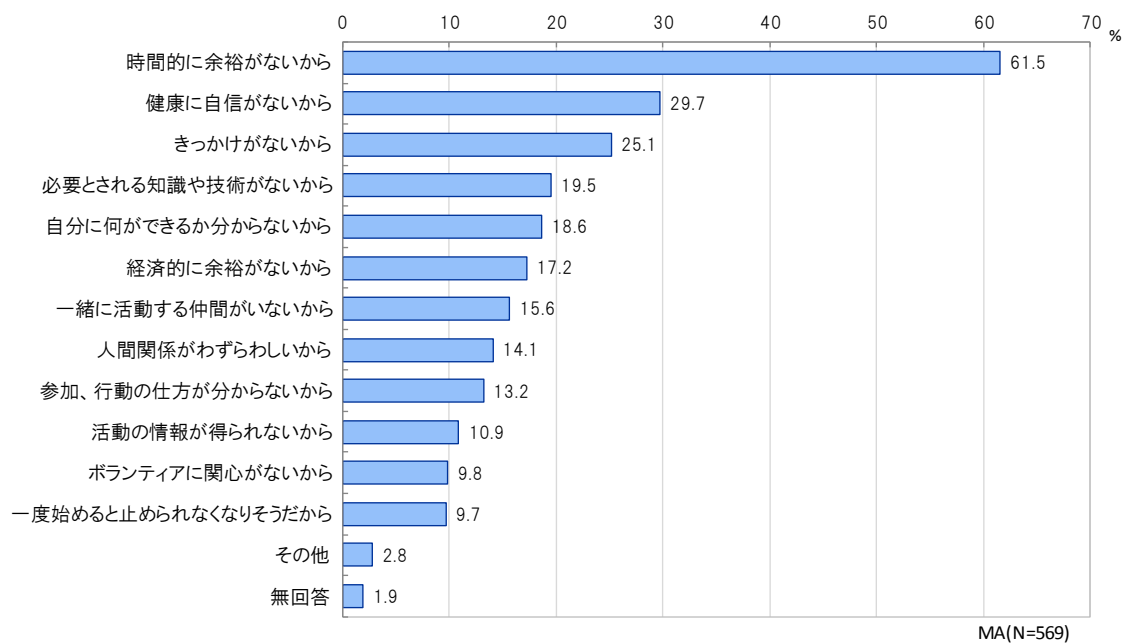
(問2で「活動したいが、事情により活動できない」、「できれば活動したくない」または「活動したくない」と答えた方にお聞きします)

問2-3 「活動できない」、「活動したくない」理由は何ですか。(5つまで)

理由の6割は「時間的に余裕がないから」

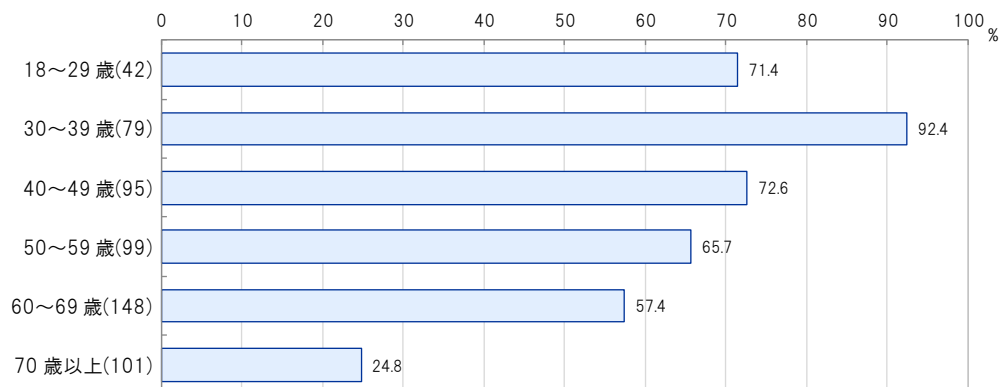
「時間的に余裕がないから」(61.5%)が最も高い。

年齢別に見ると、「時間的に余裕がないから」は、30～39歳(92.4%)が最も高くなっている。



【年齢別】

時間的に余裕がないから



◆食育及び福井市農産物のブランド化について

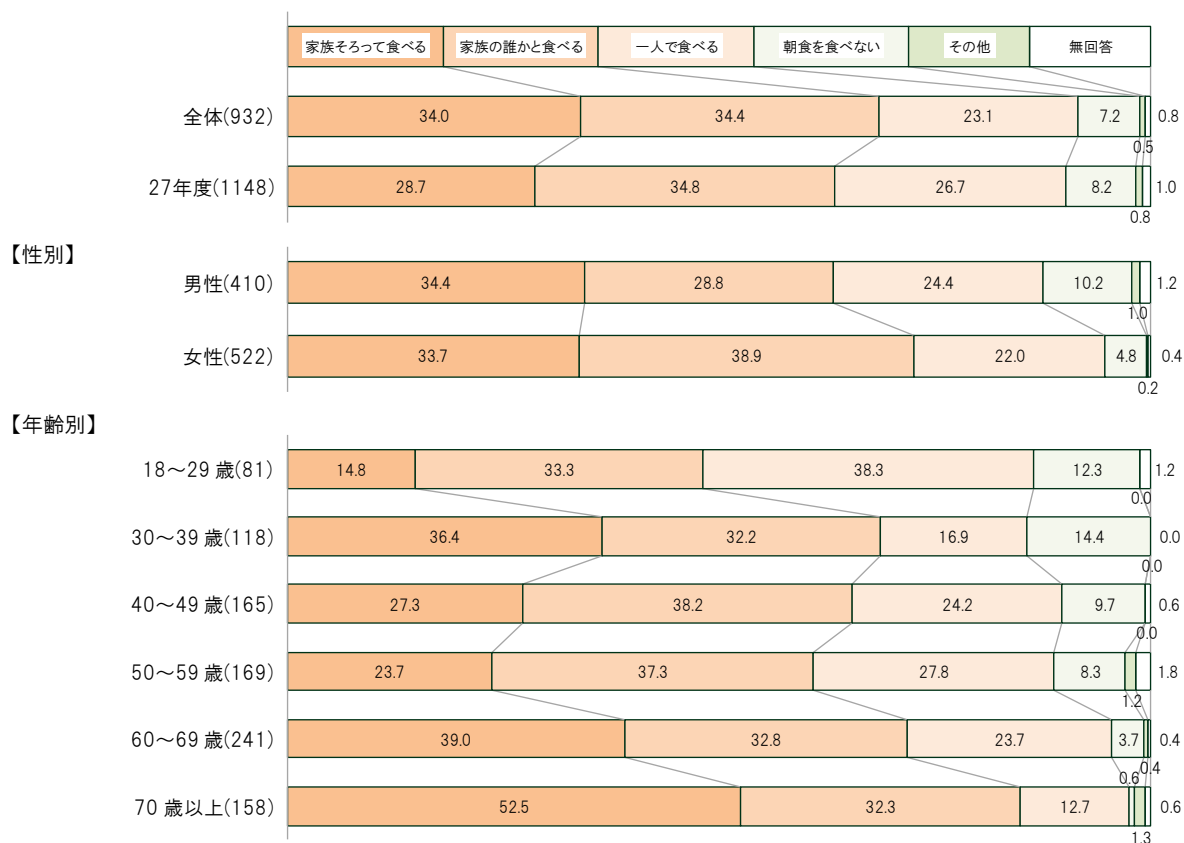
問1 あなたは、普段朝食を誰と食べていますか。(1つ)

「家族と食べる」は約7割

「家族と食べる」(「家族そろって食べる」(34.0%)及び「家族の誰かと食べる」(34.4%)の合計)は68.4%で、「家族と食べる」は、27年度(63.5%)と比べて4.9ポイント高くなっている。

性別では、「家族と食べる」は、女性(72.6%)が男性(63.2%)より9.4ポイント高い。年齢別に見ると、「家族と食べる」は、70歳以上(84.8%)が最も高く、18～29歳(48.1%)は最も低くなっている。

「朝食を食べない」は、30～39歳(14.4%)、18～29歳(12.3%)が高くなっている。



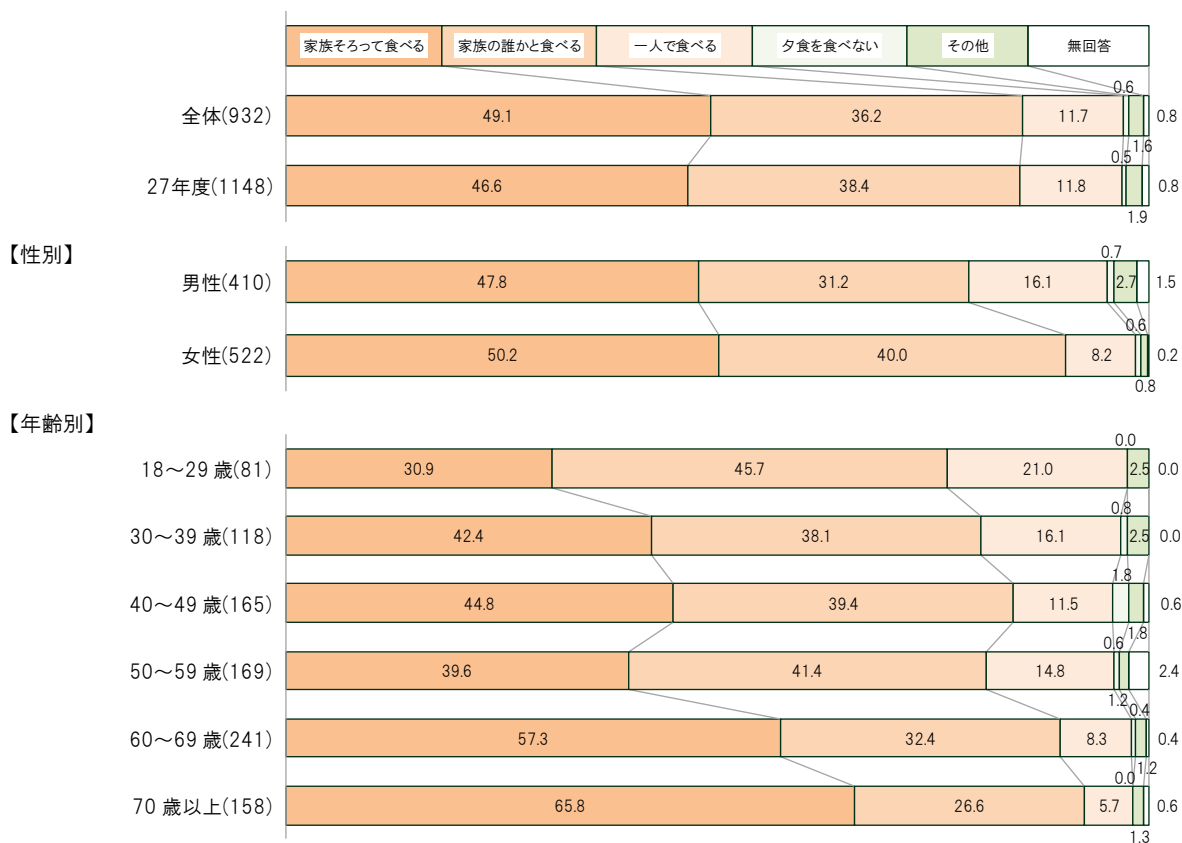
※問1と次の問2では、全回答者(1,034)から調査票内(F5)の家族構成で「一人暮らし」及び「無回答」と回答した数等(102)を除いて集計している。

問2 あなたは、普段夕食を誰と食べていますか。(1つ)

「家族と食べる」は8割以上

「家族と食べる」(「家族そろって食べる」(49.1%)と「家族の誰かと食べる」(36.2%)の合計)は、85.3%となっている。「家族と食べる」は、27年度(85.0%)と比べて有意差は見られない。

性別では、「家族と食べる」は、女性(90.2%)が男性(79.0%)より11.2ポイント高い。年齢別に見ると、「家族と食べる」は、70歳以上(92.4%)が最も高く、18～29歳(76.6%)は最も低くなっている。

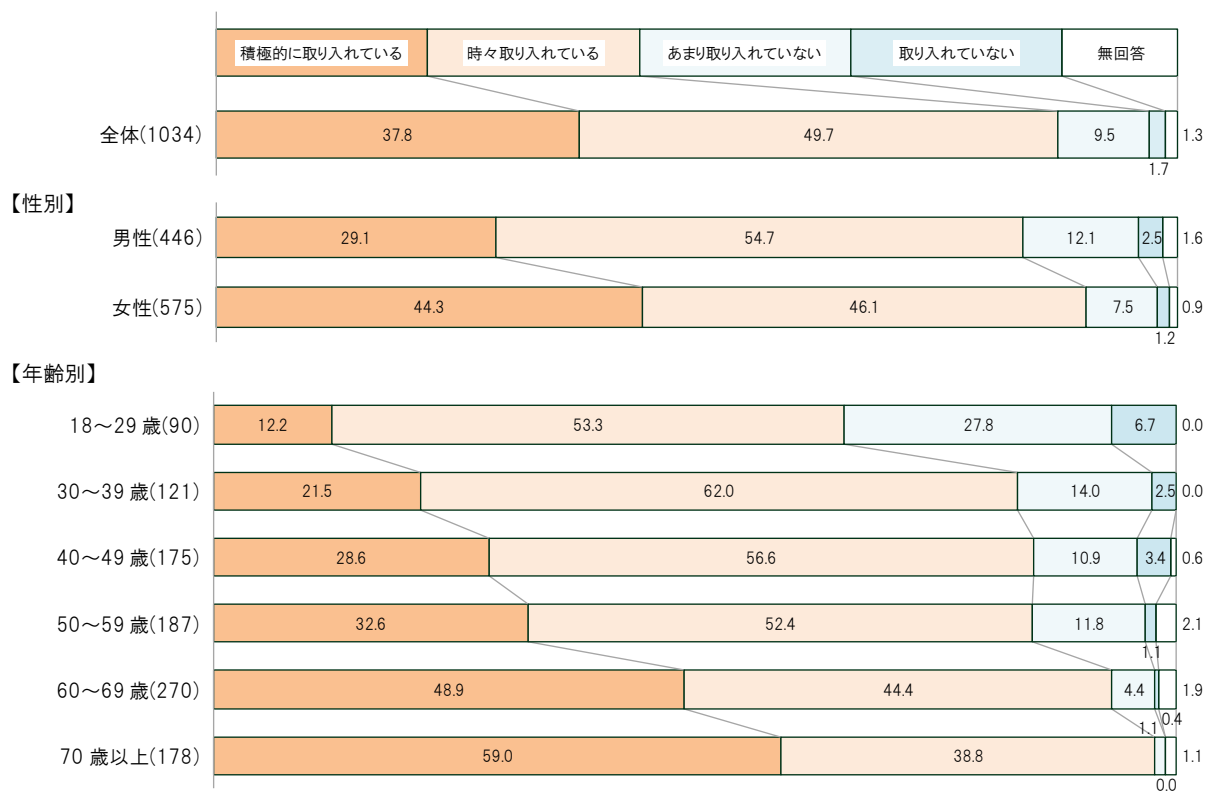


問3 あなたは、普段の食生活において、地元の食材、食品をどの程度取り入れていますか。
(1つ)

「取り入れている」は全体の約9割

「取り入れている」(「積極的に取り入れている」(37.8%) 及び「時々取り入れている」(49.7%) の合計) は、全体の 87.5% となっている。

性別では、「取り入れている」は、女性(90.4%) が男性(83.8%) より 6.6 ポイント高い。年齢別に見ると、「取り入れている」は、70 歳以上(97.8%) が最も高く、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。

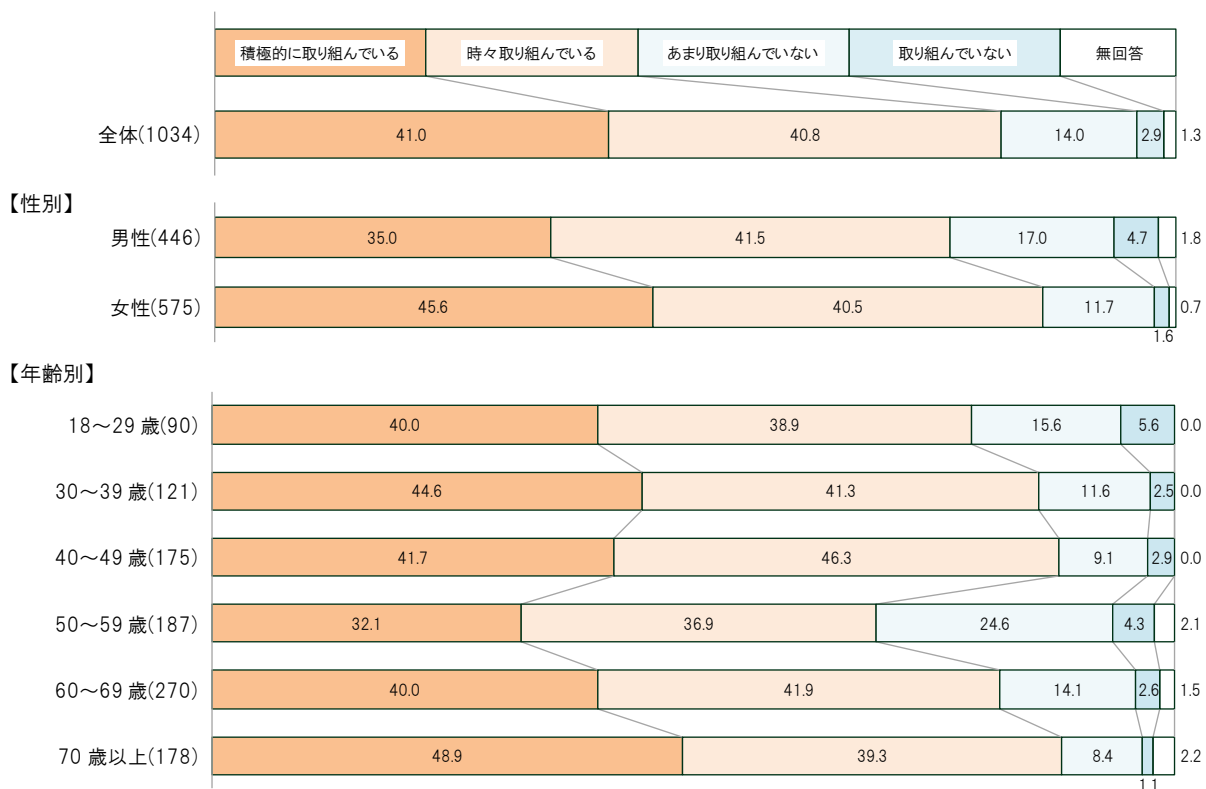


問4 あなたは、普段から「買いすぎない」「使い切る」「食べきる」など、食品ロス削減につながる行動に取り組んでいますか。(1つ)

「取り組んでいる」は全体の8割

「取り組んでいる」(「積極的に取り組んでいる」(41.0%)及び「時々取り組んでいる」(40.8%)の合計)は、全体の81.8%となっている。

性別では、「取り組んでいる」は、女性(86.1%)が男性(76.5%)より9.6ポイント高い。年齢別に見ると、「取り組んでいる」は、50～59歳(69.0%)が他の年代より9.9～19.2ポイント低くなっている。

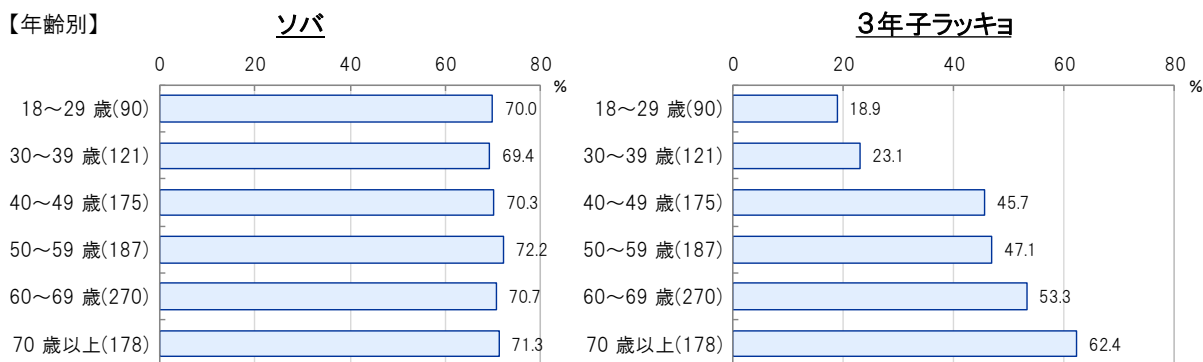
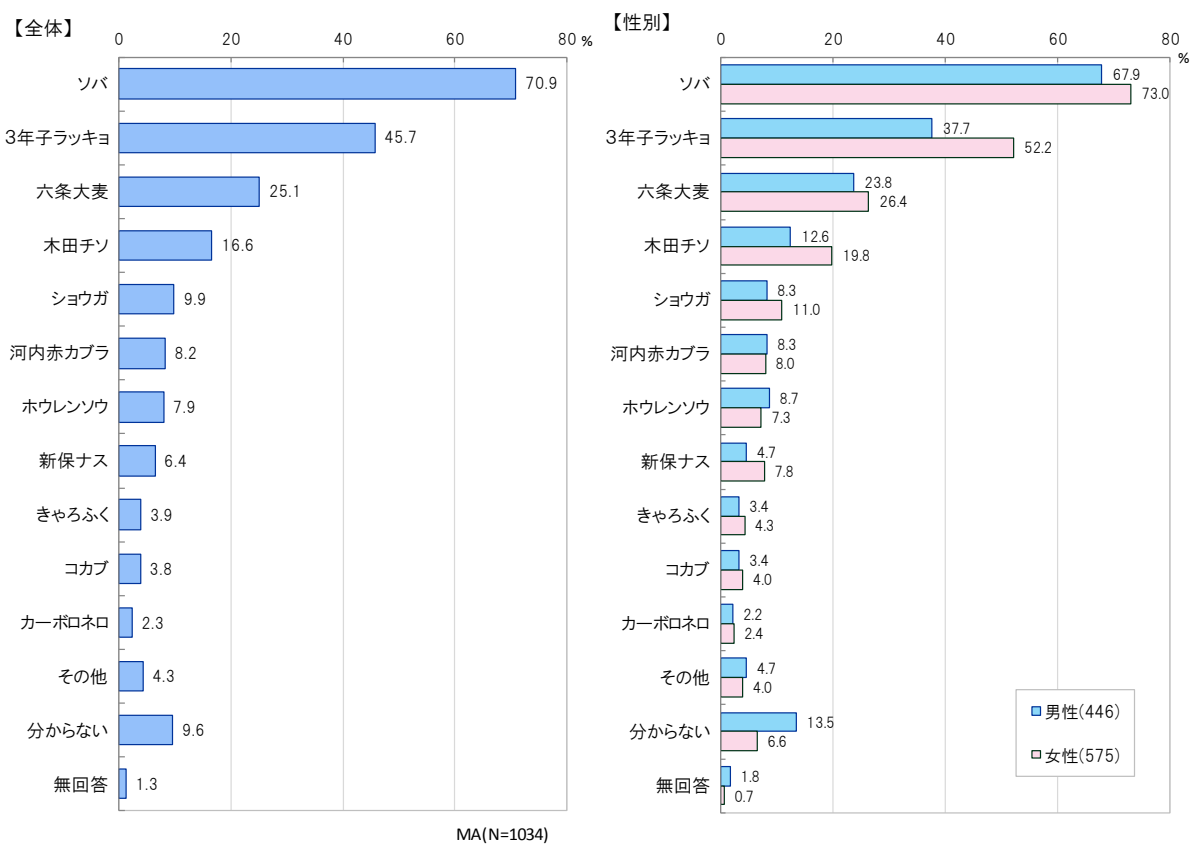


問5 あなたが、福井市産の農産物として県外にPRするとよいと思うものは何ですか。
(3つまで)

PRするとよいと思う農産物は「ソバ」が7割

割合の高い順に、「ソバ」(70.9%)、「3年子ラッキョ」(45.7%)、「六条大麦」(25.1%)となっている。

性別では、「ソバ」には有意差は見られないが、「3年子ラッキョ」は、女性(52.2%)が男性(37.7%)より14.5ポイント高い。年齢別に見ると、「3年子ラッキョ」は、70歳以上(62.4%)が最も高く、年齢の高い世代ほど割合が高くなる傾向が見られる。

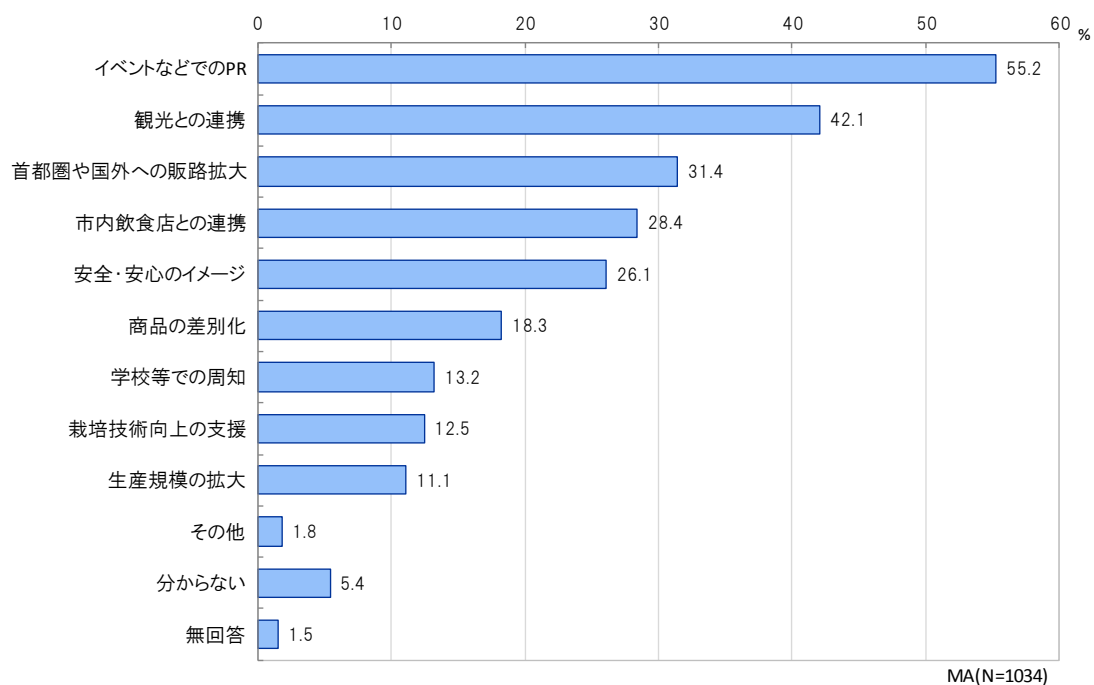


問6 あなたは、農産物をブランド化するためにどのような取組が必要だと思いますか。
(3つまで)

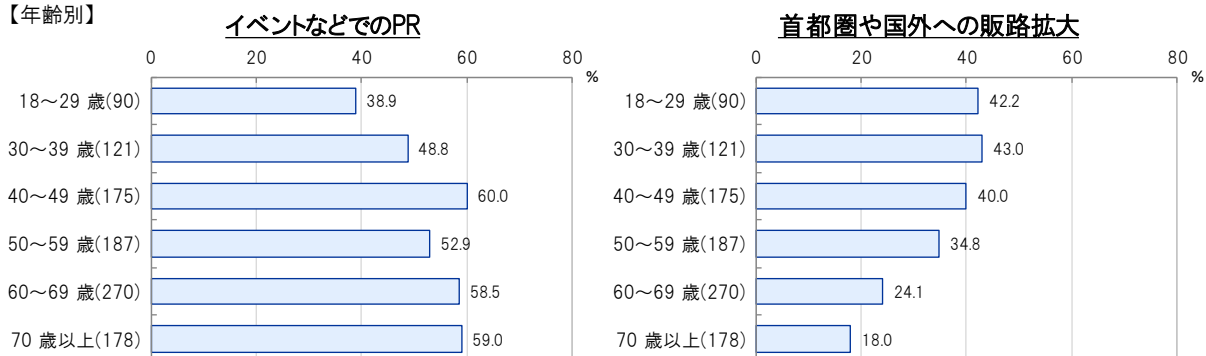
「イベントなどでのPR」は5割以上

割合の高い順に、「イベントなどでのPR」(55.2%)、「観光との連携」(42.1%)、「首都圏や国外への販路拡大」(31.4%)となっている。

年齢別に見ると、「イベントなどでのPR」は、40～49歳(60.0%)から70歳以上(59.0%)までの年代で高く、「首都圏や国外への販路拡大」は、18～29歳(42.2%)から40～49歳(40.0%)までの年代で高くなっている。



【年齢別】

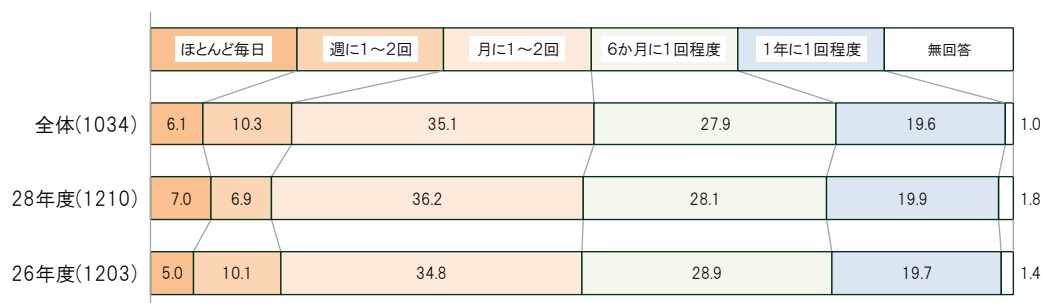


◆交通に対する意識について

問1 あなたは、JR 福井駅を中心とした中心市街地には、どのくらいの割合で訪れますか。
(1つ)

「月に1回以上」は全体の5割

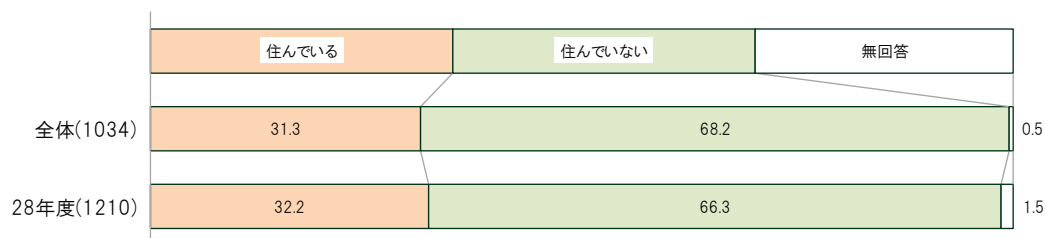
「月に1回以上」(「ほとんど毎日」(6.1%)、「週に1～2回」(10.3%)及び「月に1～2回」(35.1%)の合計)は、全体の51.5%となっている。「月に1回以上」は、28年度(50.1%)、26年度(49.9%)と比べて有意差は見られない。



問2 あなたは、駅の近くや鉄道沿線など、鉄道の利用しやすい場所に住んでいますか。(1つ)

「住んでいる」は全体の3割

「住んでいる」は、全体の31.3%となっている。「住んでいる」は、28年度(32.2%)と比べて有意差は見られない。



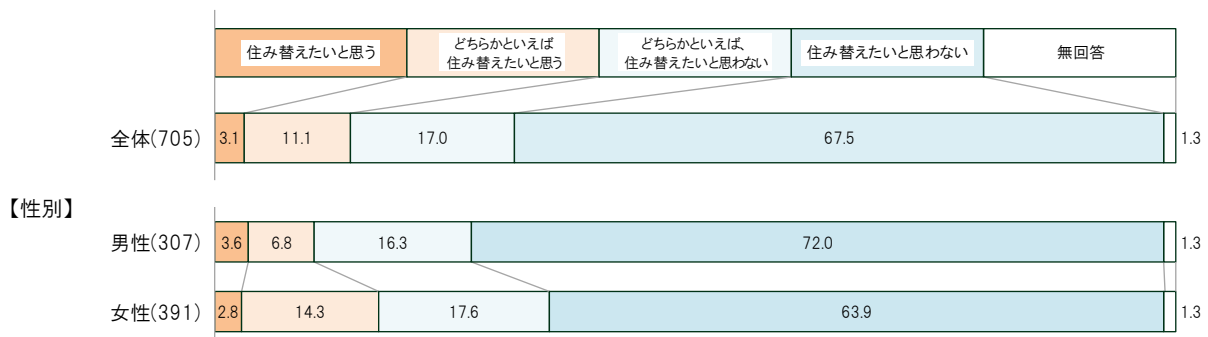
(問2で「住んでいない」と答えた方にお聞きします)

問2-2 あなたは、現在お住まいの場所から、駅の近くや鉄道沿線など、鉄道の利用しやすい場所に住み替えたいと思いますか。(1つ)

「住み替えたくない」は8割以上

「住み替えたくない」(「どちらかといえば住み替えたいと思わない」(17.0%)及び「住み替えたいと思わない」(67.5%)の合計)は84.5%で、「住み替えたい」(「住み替えたいと思う」(3.1%)及び「どちらかといえば住み替えたいと思う」(11.1%)の合計)は14.2%となっている。

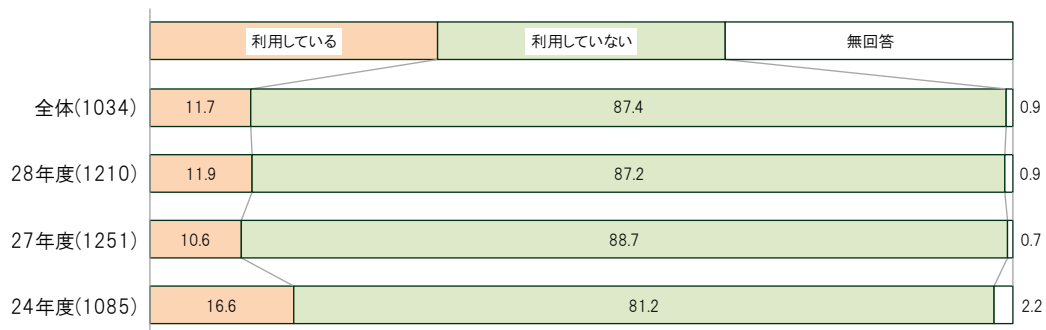
性別では、「住み替えたい」は、女性(17.1%)が男性(10.4%)より6.7ポイント高い。



問3 あなたは、通勤・通学や買い物・通院など、日常生活でバス・鉄道を利用していますか。(1つ)

「利用していない」は全体の約9割

「利用している」は11.7%、「利用していない」は87.4%となっている。

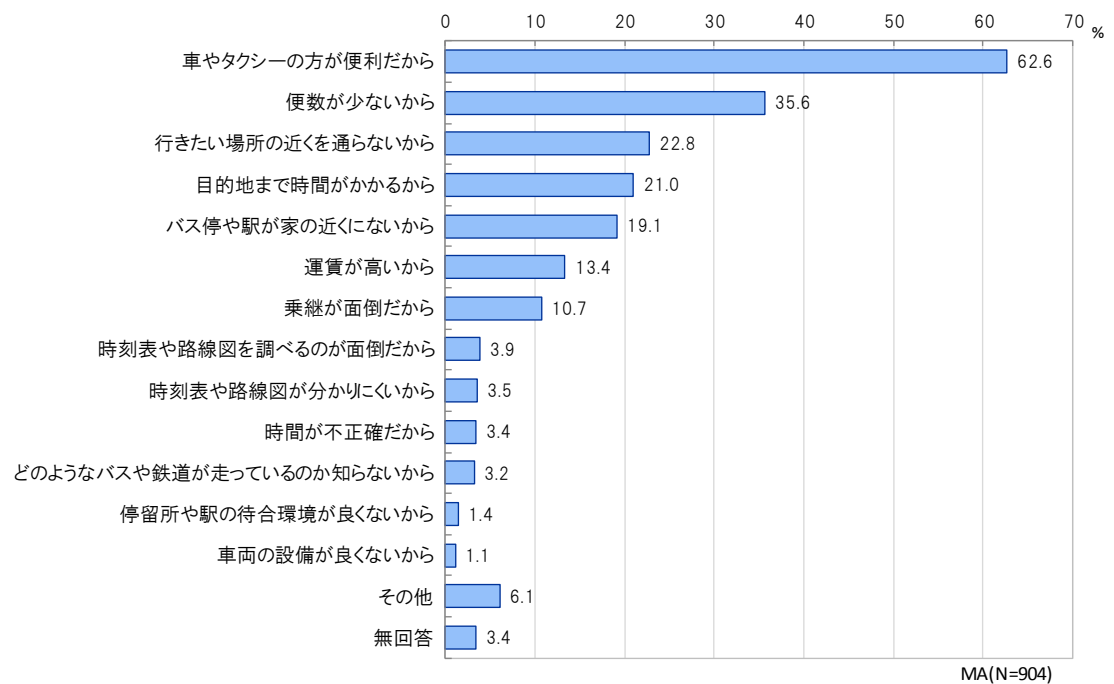


(問3で「利用していない」と答えた方にお聞きします)

問3-2 あなたが、日常生活でバス・鉄道を利用しない理由をお答えください。(3つまで)

「車やタクシーの方が便利だから」は6割

「車やタクシーの方が便利だから」(62.6%)が最も高く、次いで「便数が少ないから」(35.6%)が高くなっている。



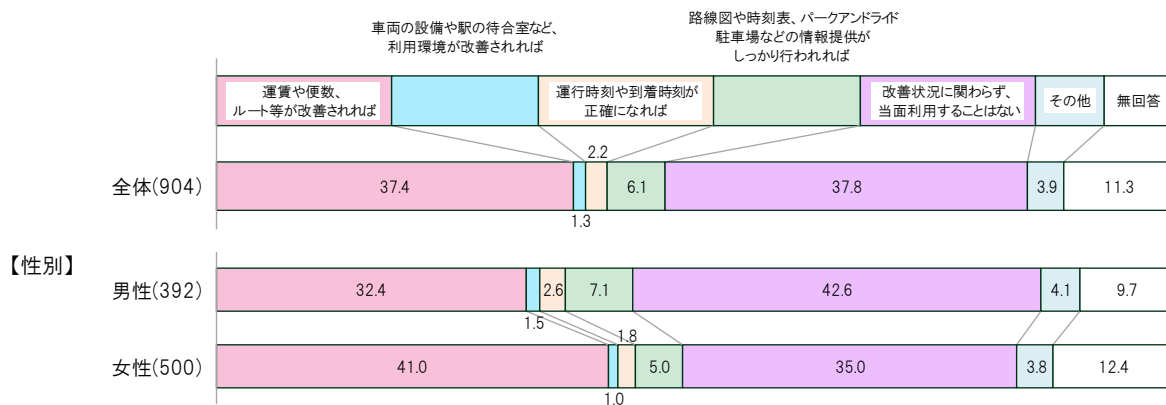
(問3で「利用していない」と答えた方にお聞きします)

問3-3 あなたは、どのようになると公共交通を利用するようになりますか。(1つ)

「当面利用することはない」は約4割

「改善状況に関わらず、当面利用することはない」(37.8%)、「運賃や便数、ルート等が改善されれば」(37.4%)が高くなっている。

性別では、「改善状況に関わらず、当面利用することはない」は、男性(42.6%)が女性(35.0%)より7.6ポイント高く、「運賃や便数、ルート等が改善されれば」は、女性(41.0%)が男性(32.4%)より8.6ポイント高くなっている。

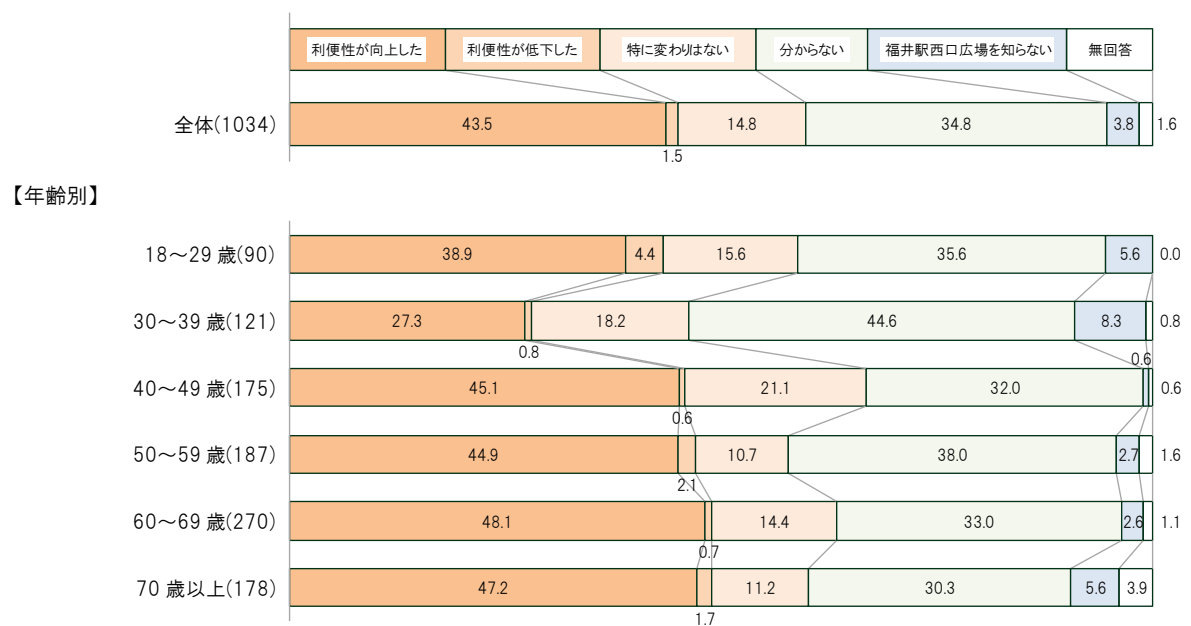


問4 平成28年3月より、福井駅西口広場が開業しました。これによって公共交通の利便性が向上したと思いますか。(1つ)

「利便性が向上した」は全体の4割

「利便性が向上した」は、全体の43.5%となっている。

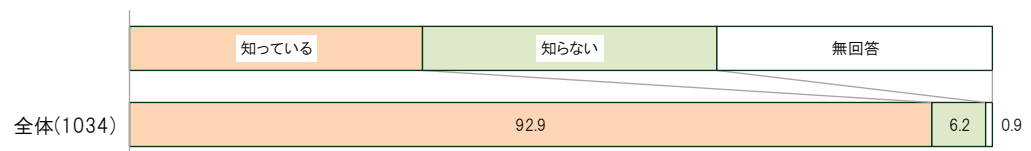
年齢別に見ると、「利便性が向上した」は、30～39歳(27.3%)が他の年代より11.6～20.8ポイント低い。



問5 あなたは、歩道では自転車よりも歩行者が優先されることを知っていますか。(1つ)

「知っている」は全体の9割

「知っている」は、全体の92.9%となっている。

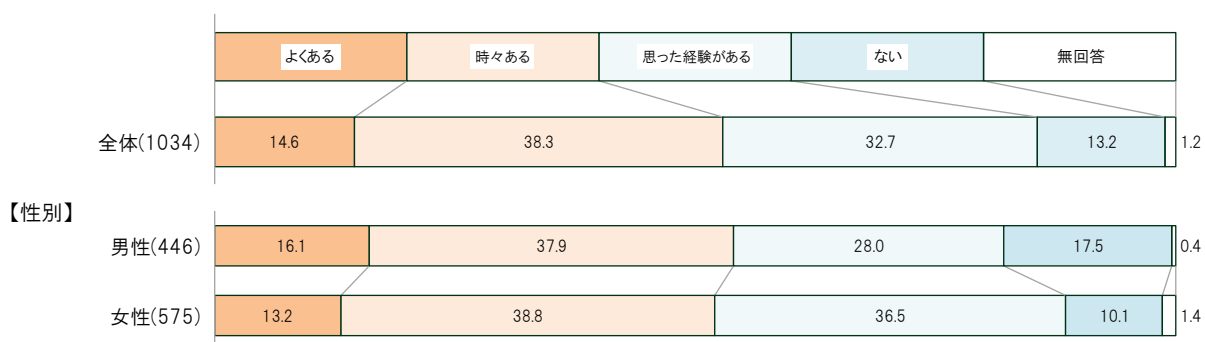


問6 あなたは、歩道を歩いている時に、自転車を「危ない」「怖い」と思ったことがありますか。(1つ)

「思ったことがある」は全体の8割以上

「思ったことがある」(「よくある」(14.6%)、「時々ある」(38.3%)及び「思った経験がある」(32.7%)の合計)は、全体の85.6%となっている。

性別では、「思ったことがある」は、女性(88.5%)が男性(82.0%)より6.5ポイント高い。

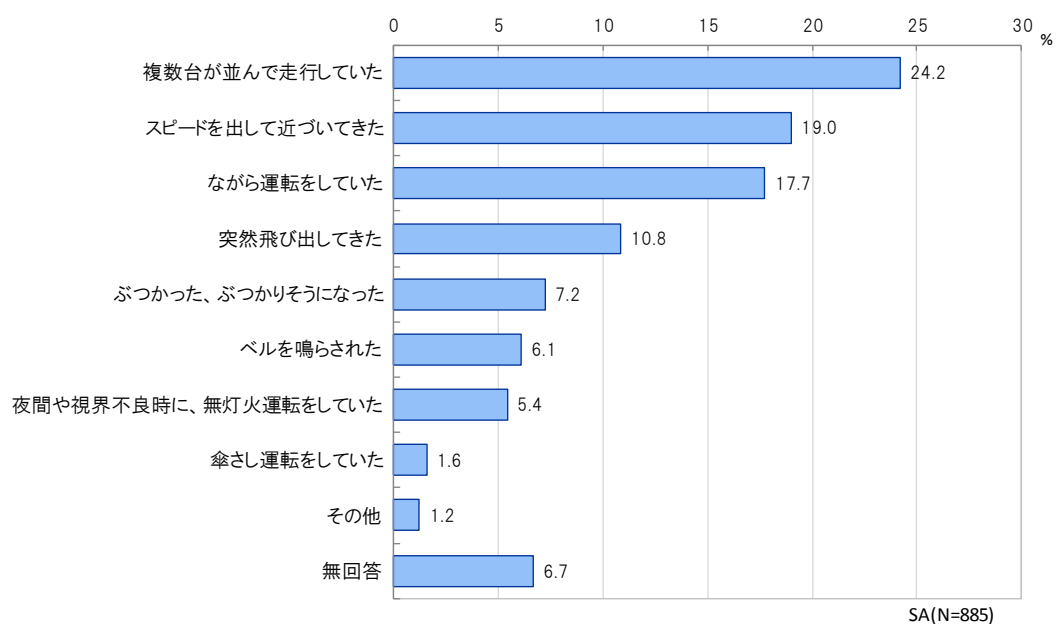


(問6で「よくある」、「時々ある」または「思った経験がある」と答えた方にお聞きます)

問6-2 あなたが自転車を「危ない」「怖い」と思ったのは、どんな時ですか。(1つ)

「複数台が並んで走行」「スピードを出していた」「ながら運転」の割合が高い

割合の高い順に、「複数台が並んで走行していた」(24.2%)、「スピードを出して近づいてきた」(19.0%)、「ながら運転をしていた」(17.7%)となっている。



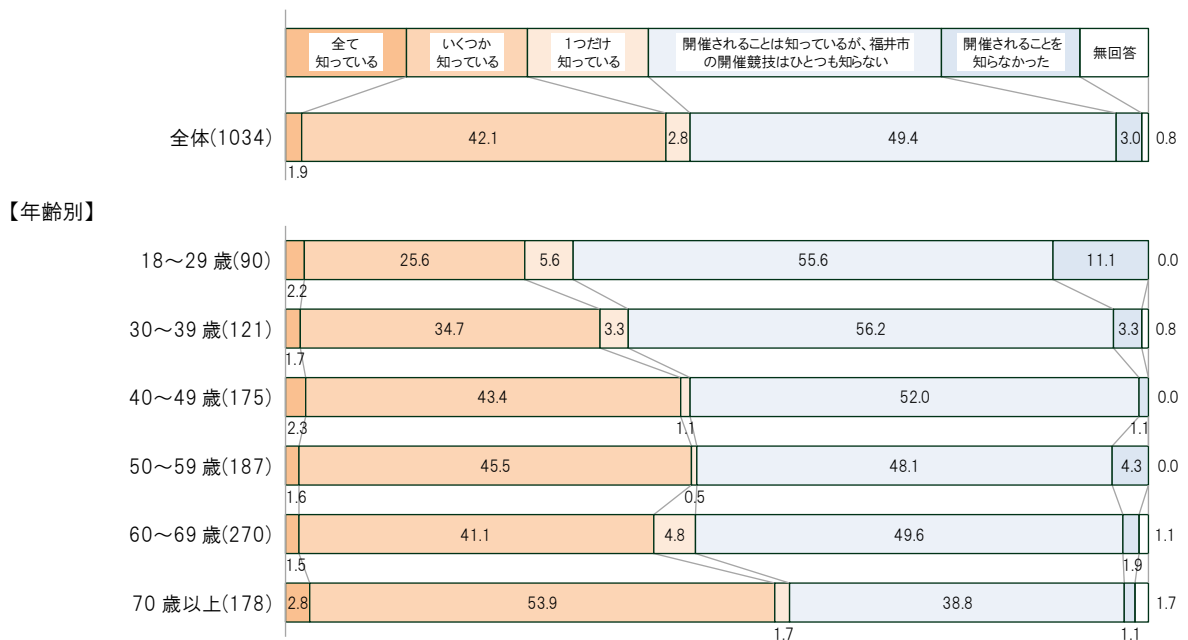
◆「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について

問1 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会が平成30年に福井県で開催されますが、あなたは、福井市で開催される競技についてご存知ですか。(1つ)

「知っている」は全体の4割以上

「知っている」(「全て知っている」(1.9%)、「いくつか知っている」(42.1%)及び「1つだけ知っている」(2.8%)の合計)は、全体の46.8%となっている。

年齢別に見ると、「知っている」は、70歳以上(58.4%)が最も高く、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。



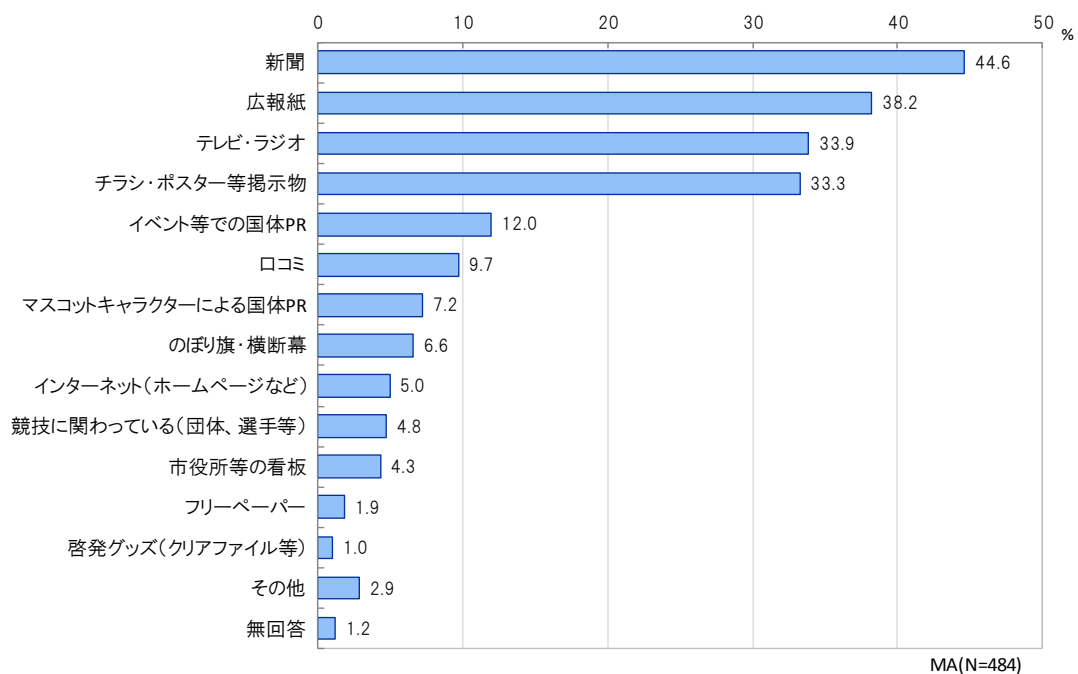
(問1で「全て知っている」、「いくつか知っている」または「1つだけ知っている」と答えた方にお聞きします)

問1-2 あなたは、どのような方法で福井市の開催競技について知りましたか。(3つまで)

「新聞」、「広報紙」の割合が高い

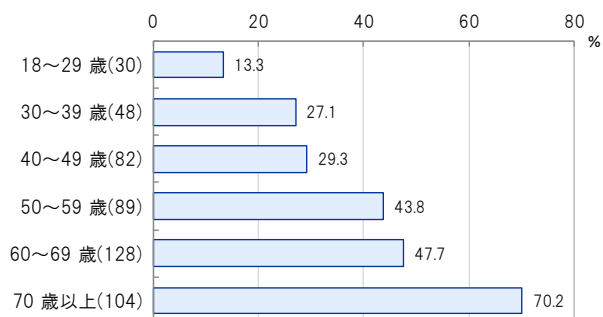
割合の高い順に、「新聞」(44.6%)、「広報紙」(38.2%)、「テレビ・ラジオ」(33.9%)、「チラシ・ポスター等掲示物」(33.3%)となっている。

年齢別に見ると、「新聞」、「広報紙」ともに70歳以上が最も高く、いずれも年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。

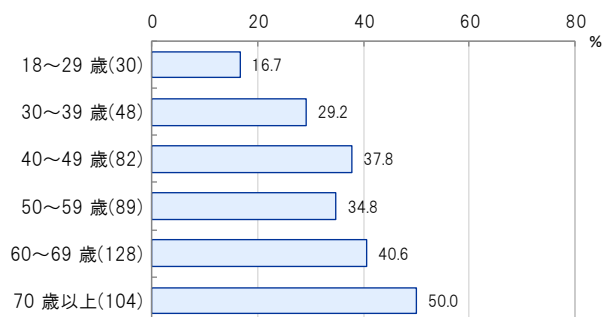


【年齢別】

新聞



広報紙

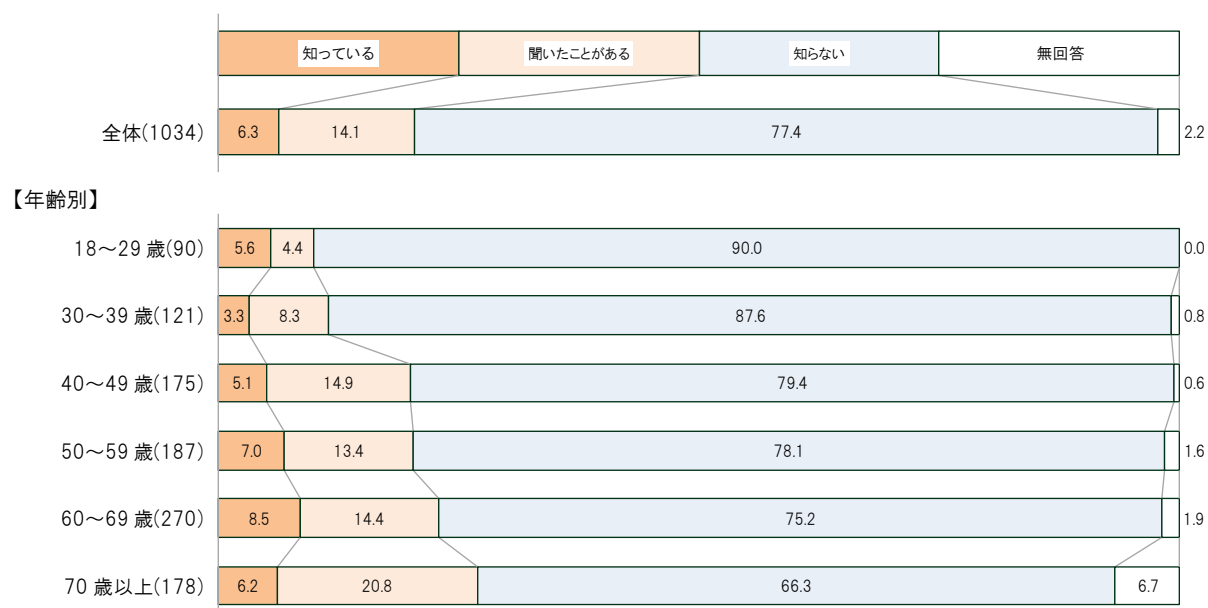


問2 福井市では、「する・みる・支える」をモットーに1市民1参加を呼びかけていますが、あなたは、国体・障スポにどのように参加できるかご存知ですか。(1つ)

「知らない」は全体の約8割

「知らない」は全体の77.4%で、「知っている」(6.3%)を71.1ポイント上回っている。

年齢別に見ると、「知らない」は、18～29歳(90.0%)が最も高く、若い世代ほどその割合が高くなっている。

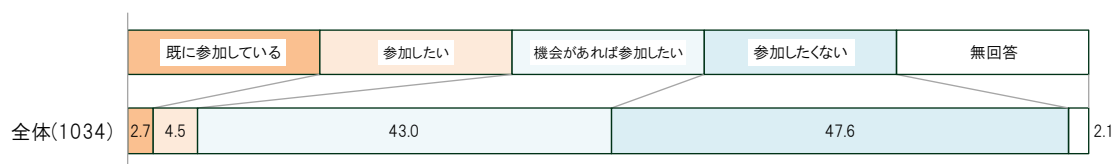


問3 あなたは、国体・障スポに参加してみたいですか。(1つ)

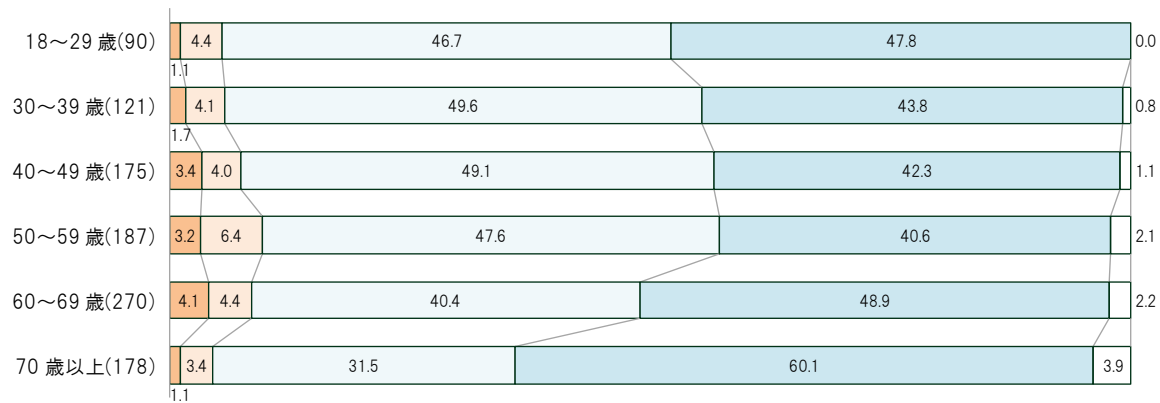
「参加してみたい」は全体の5割

「参加してみたい」(「既に参加している」(2.7%)、「参加したい」(4.5%)及び「機会があれば参加したい」(43.0%)の合計)は、全体の50.2%となっている。

年齢別に見ると、「参加してみたい」は、70歳以上(36.0%)が最も低い。



【年齢別】



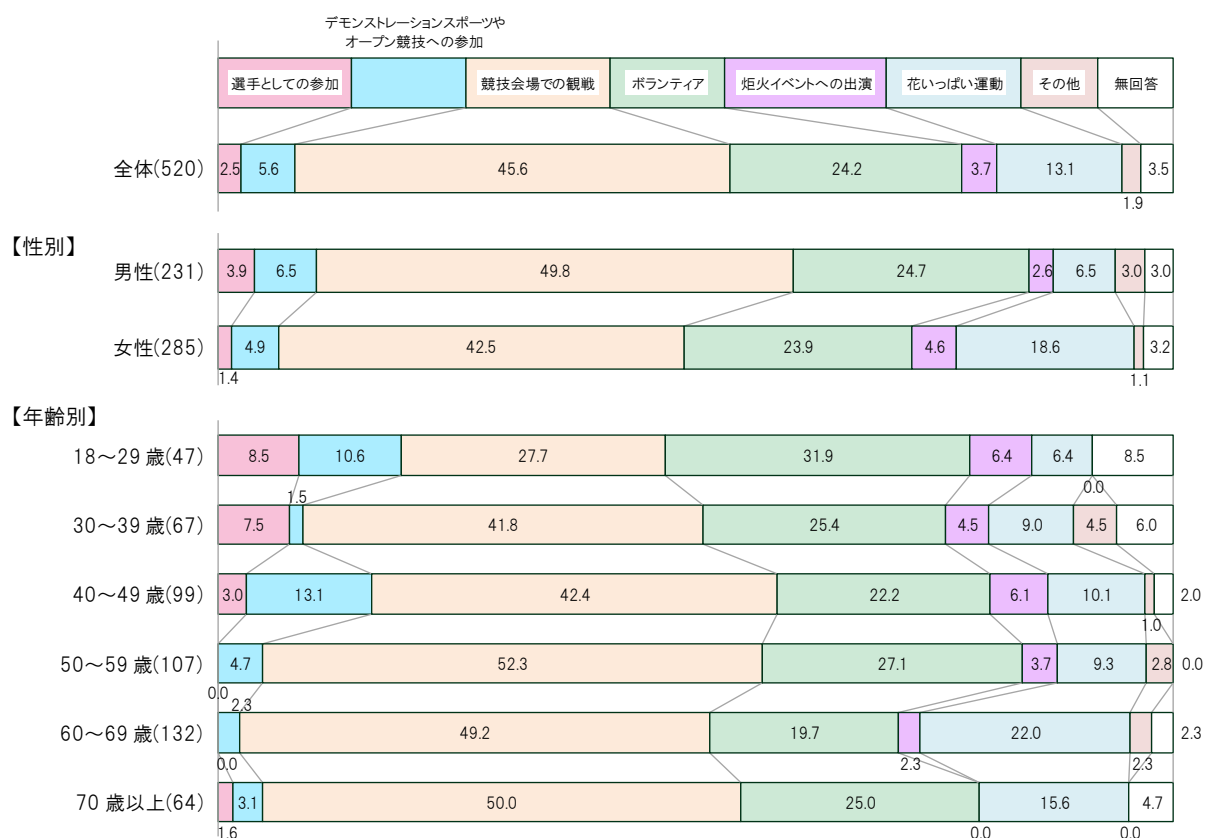
(問3で「既に参加している」、「参加したい」または「機会があれば参加したい」と答えた方にお聞きします)

問3-2 あなたは、どのような方法で参加している、または参加したいと思いますか。(1つ)

「競技会場での観戦」は4割以上

「競技会場での観戦」(45.6%)が最も高く、次いで「ボランティア」(24.2%)が高くなっている。

性別では、「競技会場での観戦」は、男性(49.8%)が女性(42.5%)より7.3ポイント高い。年齢別に見ると、「競技会場での観戦」は、50～59歳(52.3%)から70歳以上(50.0%)までの年代で高くなっている。

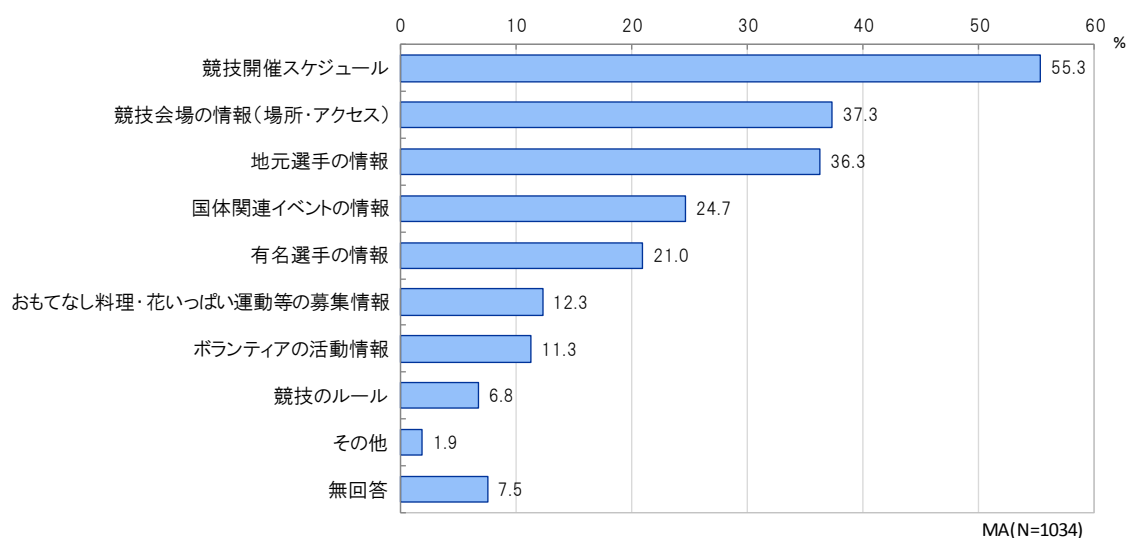


問4 国体・障スポに関連する情報の中で、知りたいものを教えてください。(3つまで)

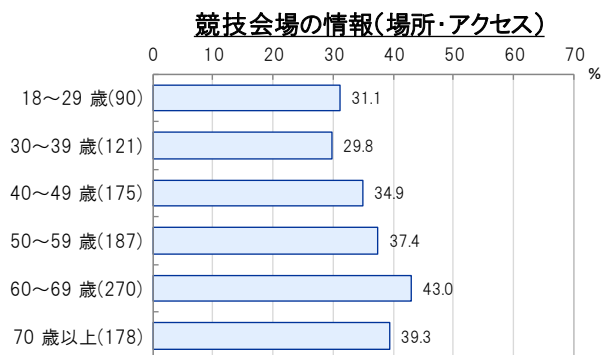
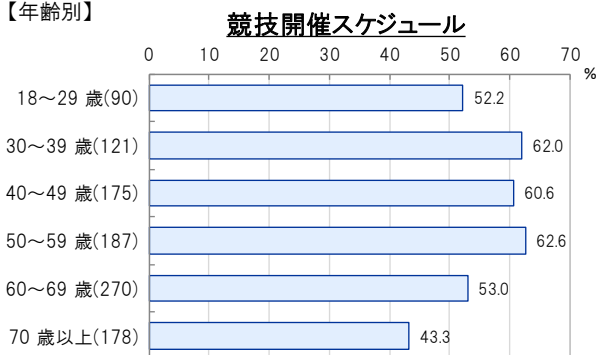
「競技開催スケジュール」は5割以上

「競技開催スケジュール」(55.3%)が最も高く、次いで「競技会場の情報(場所・アクセス)」(37.3%)、「地元選手の情報」(36.3%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「競技開催スケジュール」は、30～39歳(62.0%)から50～59歳(62.6%)までの年代で割合が高く、「競技会場の情報(場所・アクセス)」は、60～69歳(43.0%)が最も高くなっている。



【年齢別】



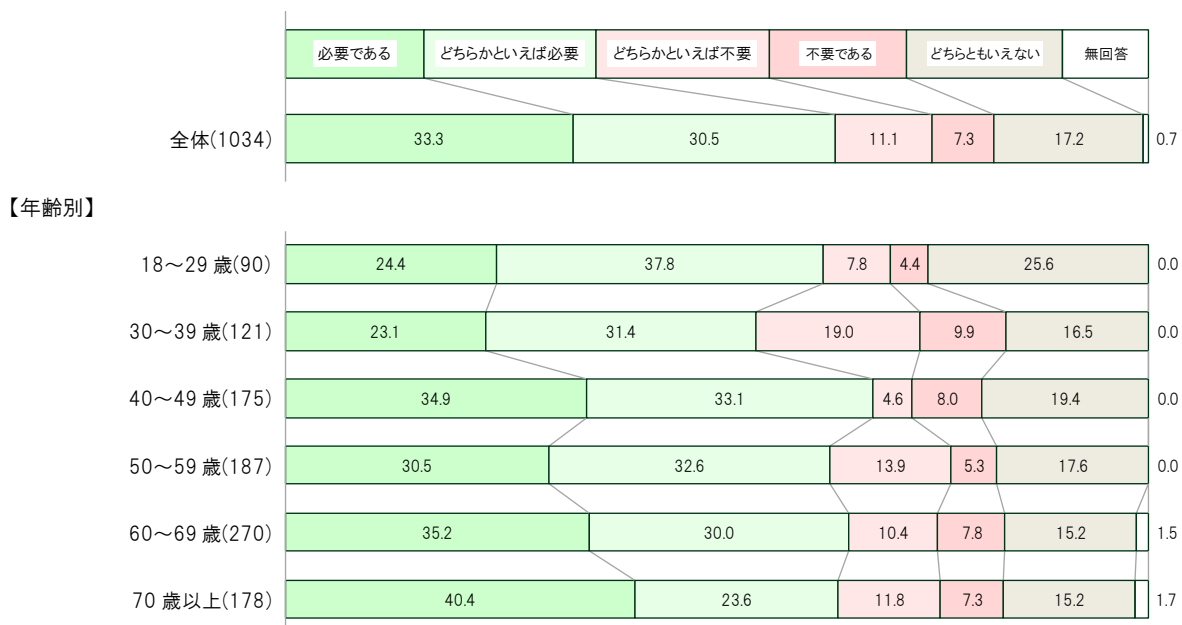
◆ごみ収集車によるアナウンスについて

問1 あなたは、ごみ収集車によるアナウンスは必要だと思いますか。(1つ)

「必要」は全体の6割

「必要」(「必要である」(33.3%)及び「どちらかといえば必要」(30.5%)の合計)は全体の63.8%で、「不要」(18.4%)(「どちらかといえば不要」(11.1%)及び「不要である」(7.3%)の合計)を45.4ポイント上回っている。

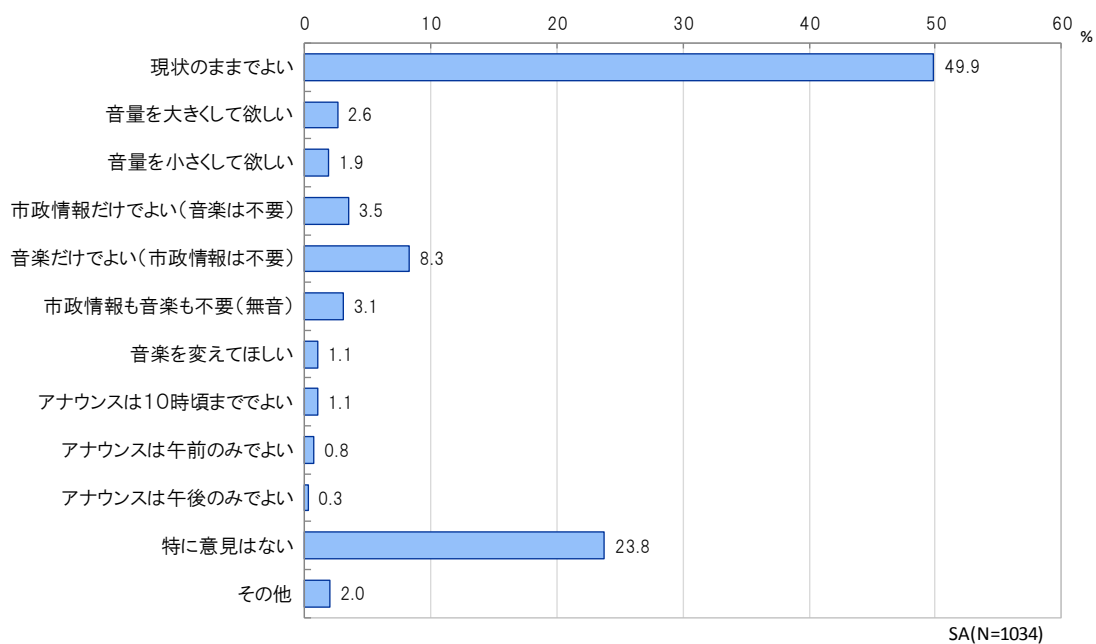
年齢別に見ると、「必要」は、30～39歳(54.5%)が他の年代より7.7～13.5ポイント低くなっている。



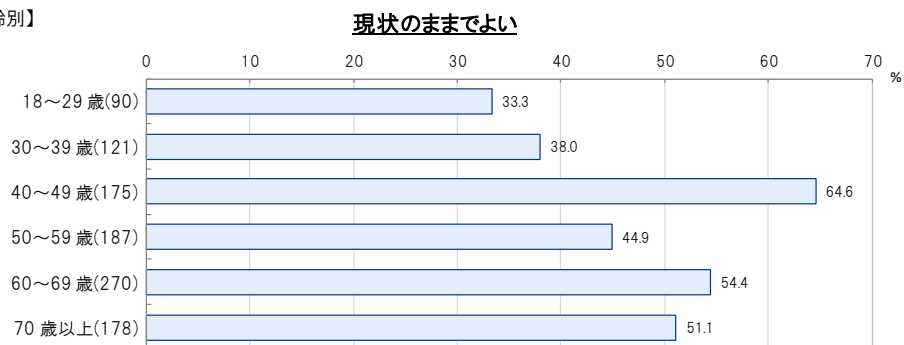
問2 あなたは、ごみ収集車によるアナウンスは、どのような状況が望ましいと思いますか。
(1つ)

「現状のままでよい」は全体の約5割

「現状のままでよい」(49.9%)が最も高く、「特に意見はない」は23.8%となっている。
年齢別に見ると、「現状のままでよい」は、40 から 49 歳 (64.6%) が最も高くなっている。



【年齢別】



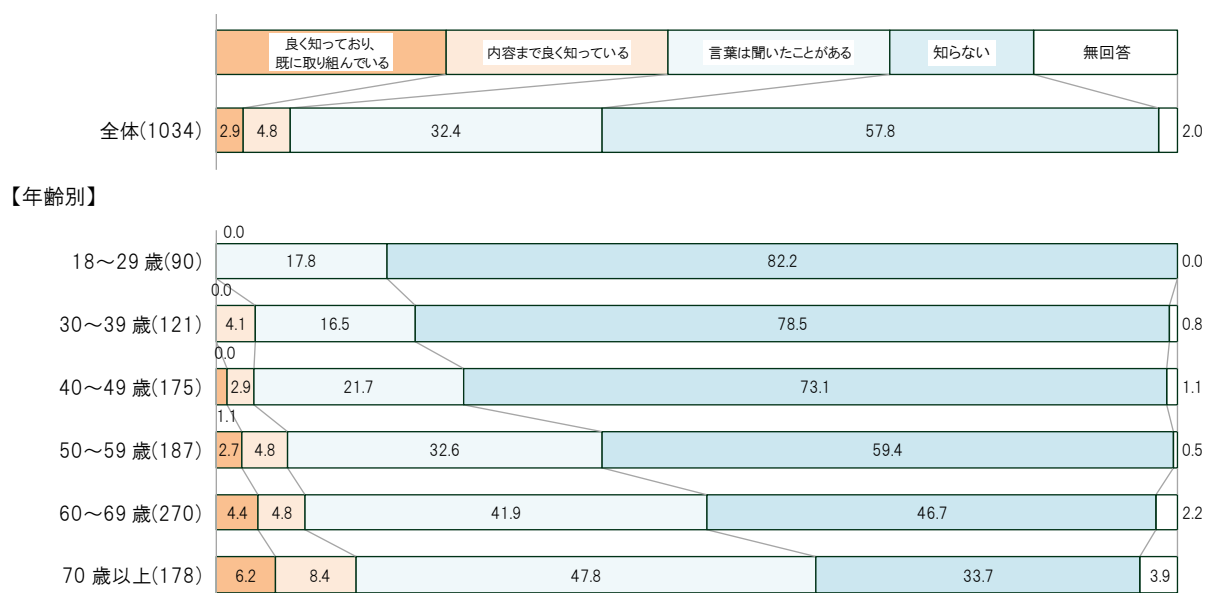
◆福井市の環境について

問1 あなたは、地球温暖化対策のための「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」を知っていますか。（1つ）

「知らない」は全体の約6割

「知らない」は全体の57.8%で、「知っている」（「よく知っており、既に取り組んでいる」（2.9%）及び「内容までよく知っている」（4.8%）の合計）は7.7%となっている。

年齢別に見ると、「知らない」は、18～29歳（82.2%）が最も高く、若い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。

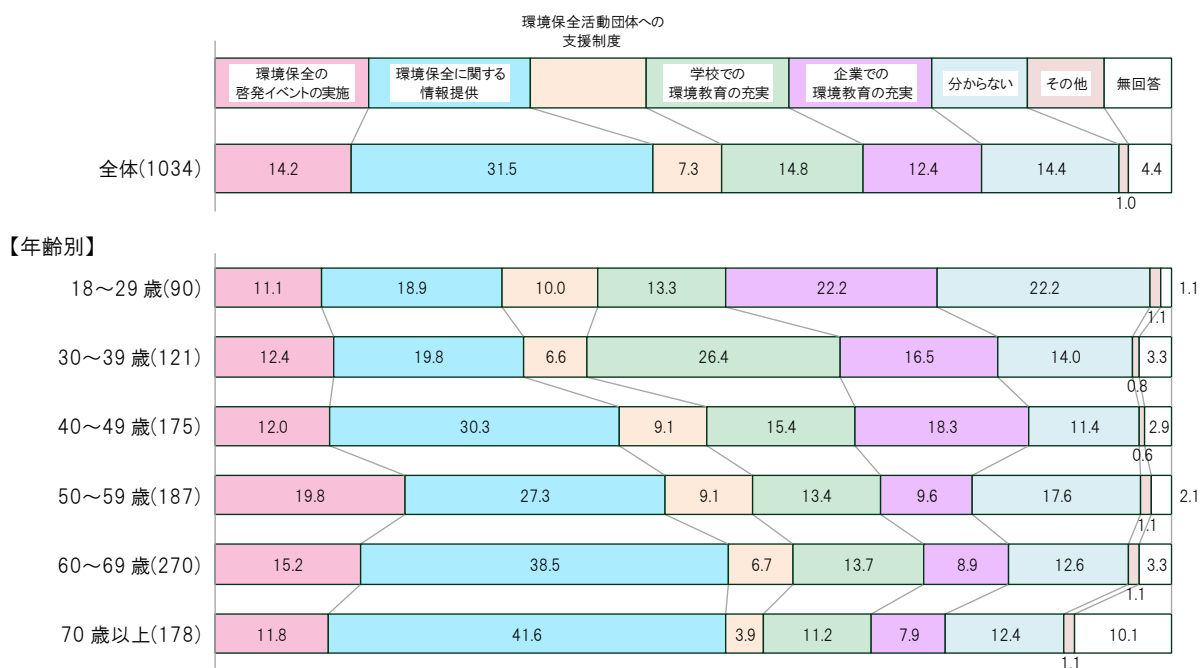


問2 環境を保全するために、あなたが行政に望むことは何ですか。(1つ)

「環境保全に関する情報提供」は全体の3割

「環境保全に関する情報提供」(31.5%)が最も高く、次いで「学校での環境教育の充実」(14.8%)、「分からない」(14.4%)が高くなっている。

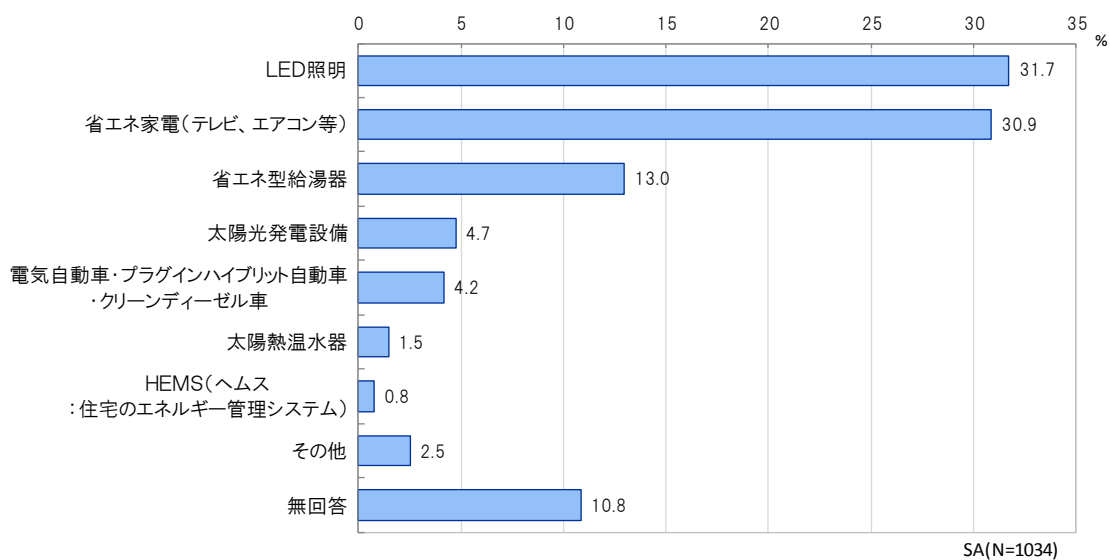
年齢別に見ると、「環境保全に関する情報提供」は、70歳以上(41.6%)が最も高く、「学校での環境教育の充実」は、30～39歳(26.4%)が最も高くなっている。



問3 あなたのご家庭で取り入れている、環境に配慮した製品、設備は何ですか。(1つ)

「LED照明」、「省エネ家電」の割合が高い

「LED照明」(31.7%)、「省エネ家電」(テレビ、エアコン等)(30.9%)の割合が高くなっている。

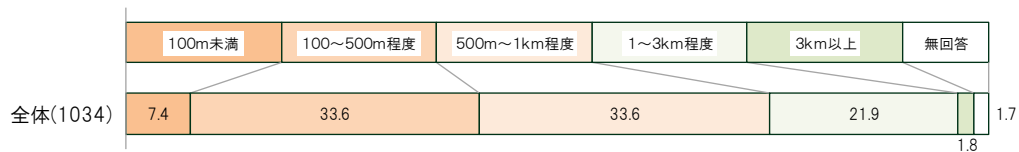


◆選挙当日の移動手段について

問1 あなたの自宅から当日の投票所まで、どのくらいの距離がありますか。(1つ)

「1km まで」は全体の7割以上

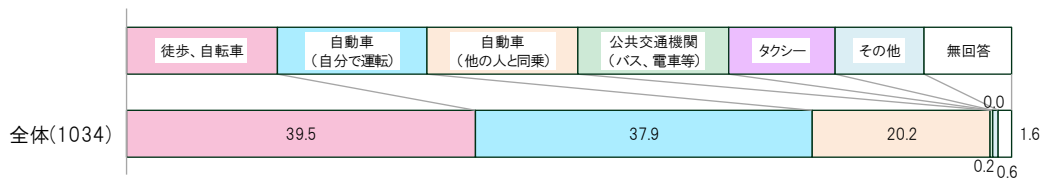
「1km まで」(「100m 未満」(7.4%)、「100～500m 程度」(33.6%) 及び「500m～1km 程度」(33.6%) の合計) は、全体の74.6%となっている。



問2 あなたは、投票日当日に投票所へ行くときは、どの移動手段を使いますか。(1つ)

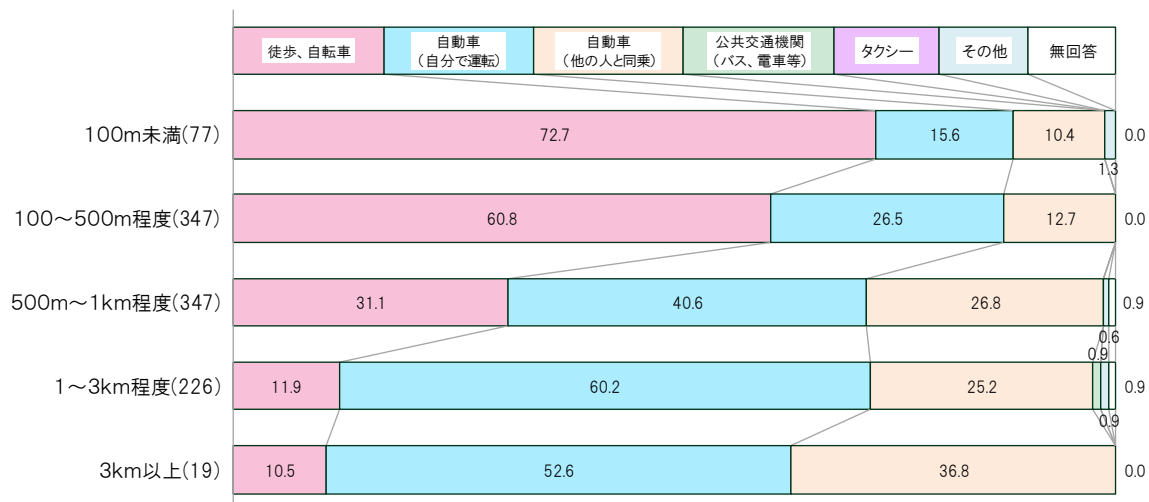
「自動車」は約6割、「徒歩、自転車」は約4割

「自動車」(「自動車(自分で運転)」(37.9%) 及び「自動車(他の人と同乗)」(20.2%) の合計) は58.1%で、「徒歩、自転車」は39.5%となっている。



投票所までの距離と移動手段との関係を見ると、投票所までの距離が500m 未満の場合は「徒歩、自転車」で移動する割合(60.8%～72.7%)が高く、投票所までの距離が500m 以上になる場合は「自動車」を利用する割合(67.4%～89.4%)が高くなる傾向が見られる。

【問1×問2】

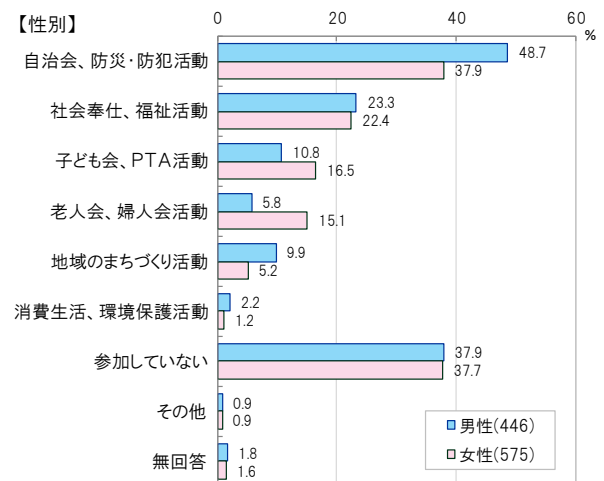
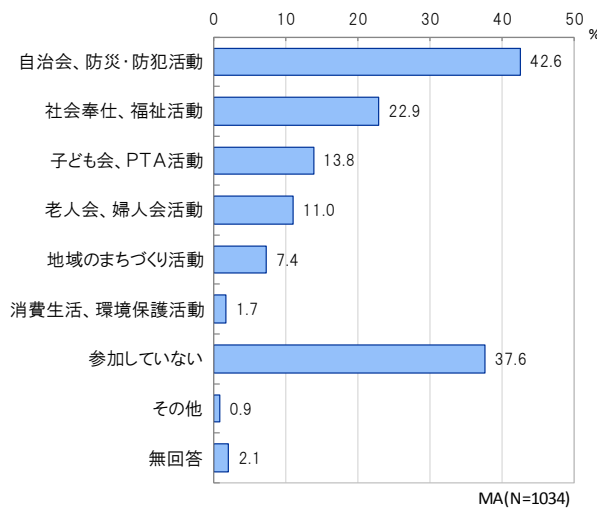


◆男女共同参画について

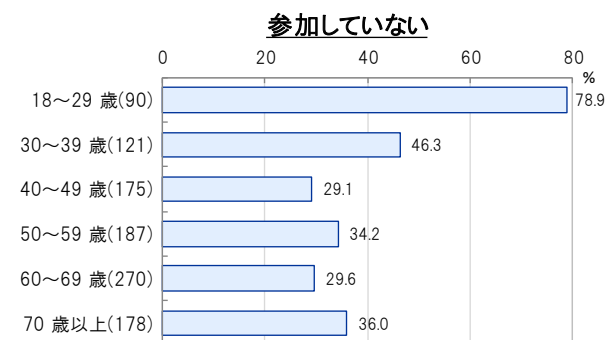
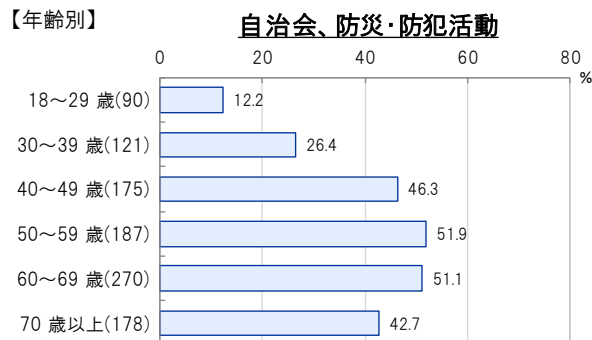
問1 次の地域活動や社会活動のうち、あなたが参加しているものをお答えください。(すべて)

「自治会、防災・防犯活動」は全体の4割

「自治会、防災・防犯活動」(42.6%)が最も高く、「参加していない」は37.6%となっている。
性別では、「自治会、防災・防犯活動」は、男性(48.7%)が女性(37.9%)より10.8ポイント高い。年齢別に見ると、「自治会、防災・防犯活動」は、40～49歳(46.3%)から70歳以上(42.7%)までの年代が高く、「参加していない」は、18～29歳(78.9%)が最も高くなっている。



【年齢別】

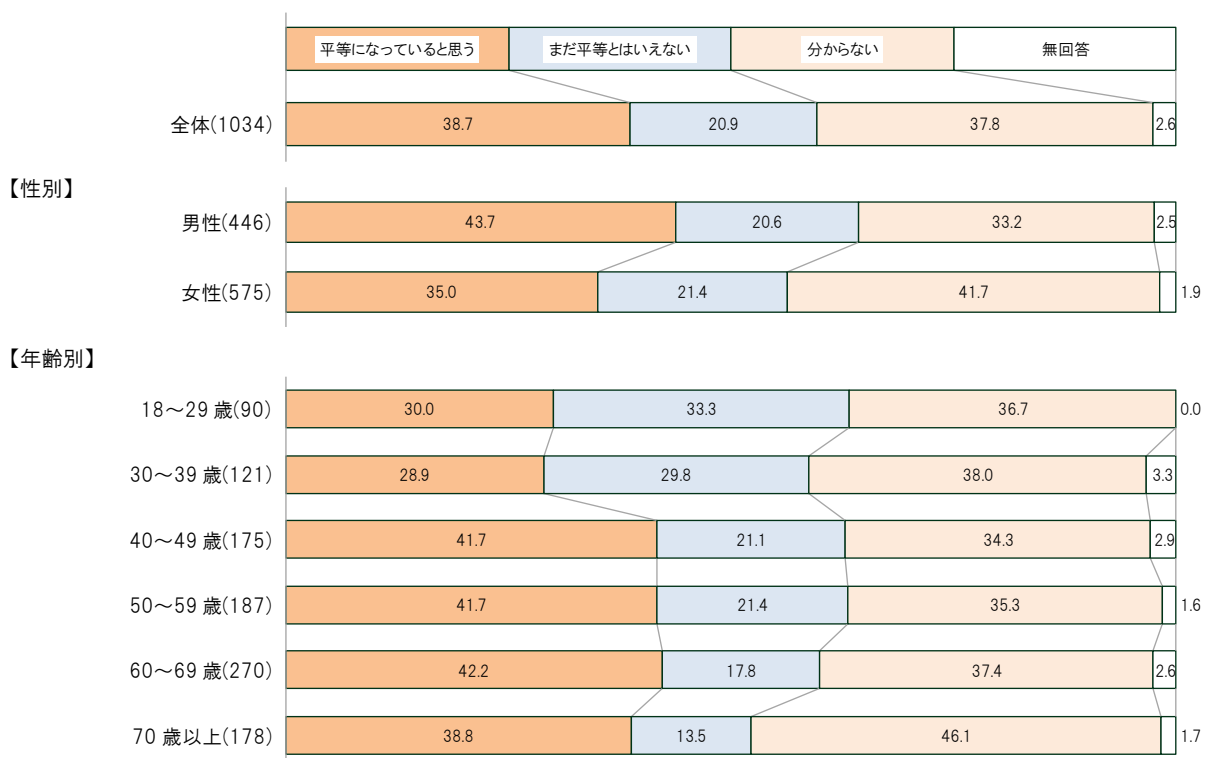


問2 あなたは、現在の学校教育の場において、男女平等になっていると思いますか。(1つ)

「平等になっていると思う」は全体の約4割

「平等になっていると思う」は全体の38.7%で、「まだ平等とはいえない」(20.9%)を17.8ポイント上回っている。

性別では、「平等になっていると思う」は、男性(43.7%)が女性(35.0%)より8.7ポイント高い。年齢別に見ると、「平等になっていると思う」は、18～29歳(30.0%)、30～39歳(28.9%)がその他の年代より低くなっている。

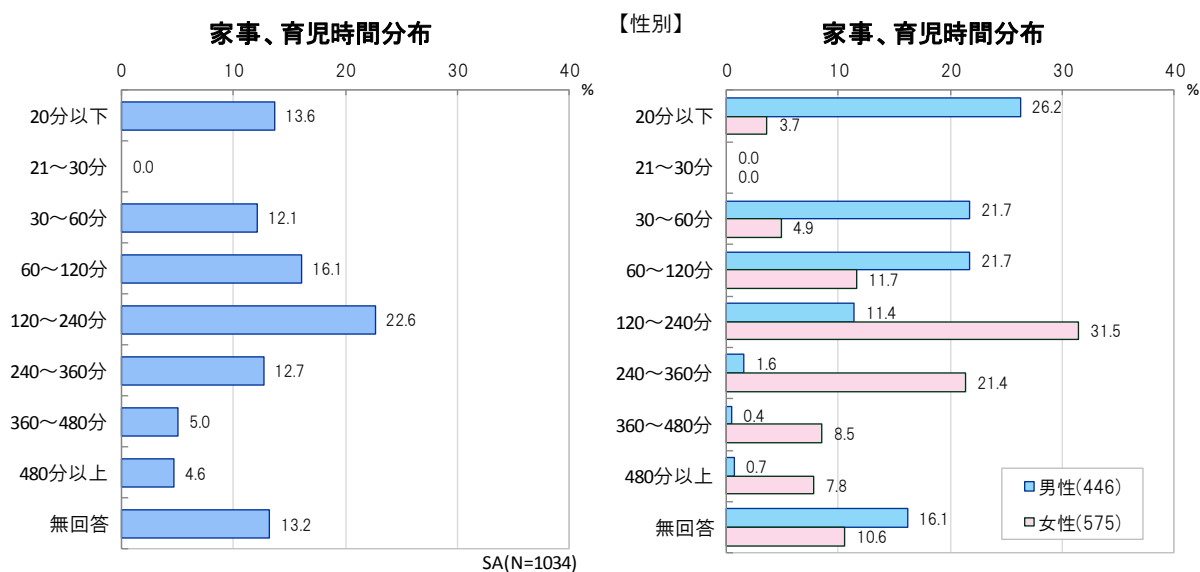


問3 あなたは、平日に1日平均すると、どのくらいの家事、育児をしていますか。

女性は「120～240分」、男性は「20分以下」の割合が高い

「120～240分」（22.6%）が最も高く、「20分以下」は13.6%となっている。

性別では、女性は「120～240分」（31.5%）が最も高いのに対し、男性は「20分以下」（26.2%）が最も高くなっている。



※分単位の回答を8水準に区分して集計

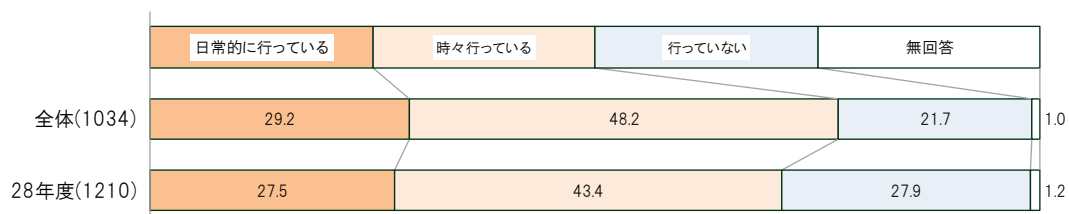
◆健康づくりに対する意識について

問1 あなたは、日常生活の中で運動を行っていますか。(1つ)

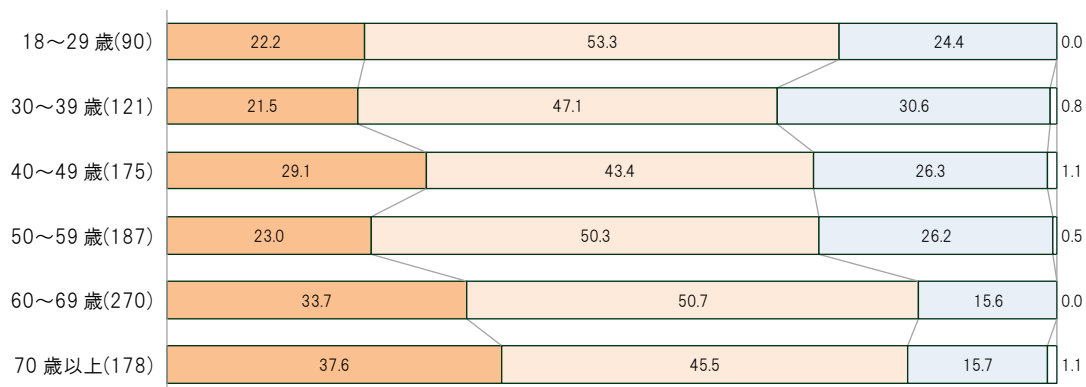
「行っている」は全体の約8割

「行っている」(「日常的に行っている」(29.2%) 及び「時々行っている」(48.2%) の合計) は、全体の77.4%となっている。「行っている」は、28年度(70.9%)より6.5ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「行っている」は、「60～69歳」(84.4%)、「70歳以上」(83.1%)が高くなっている。



【年齢別】

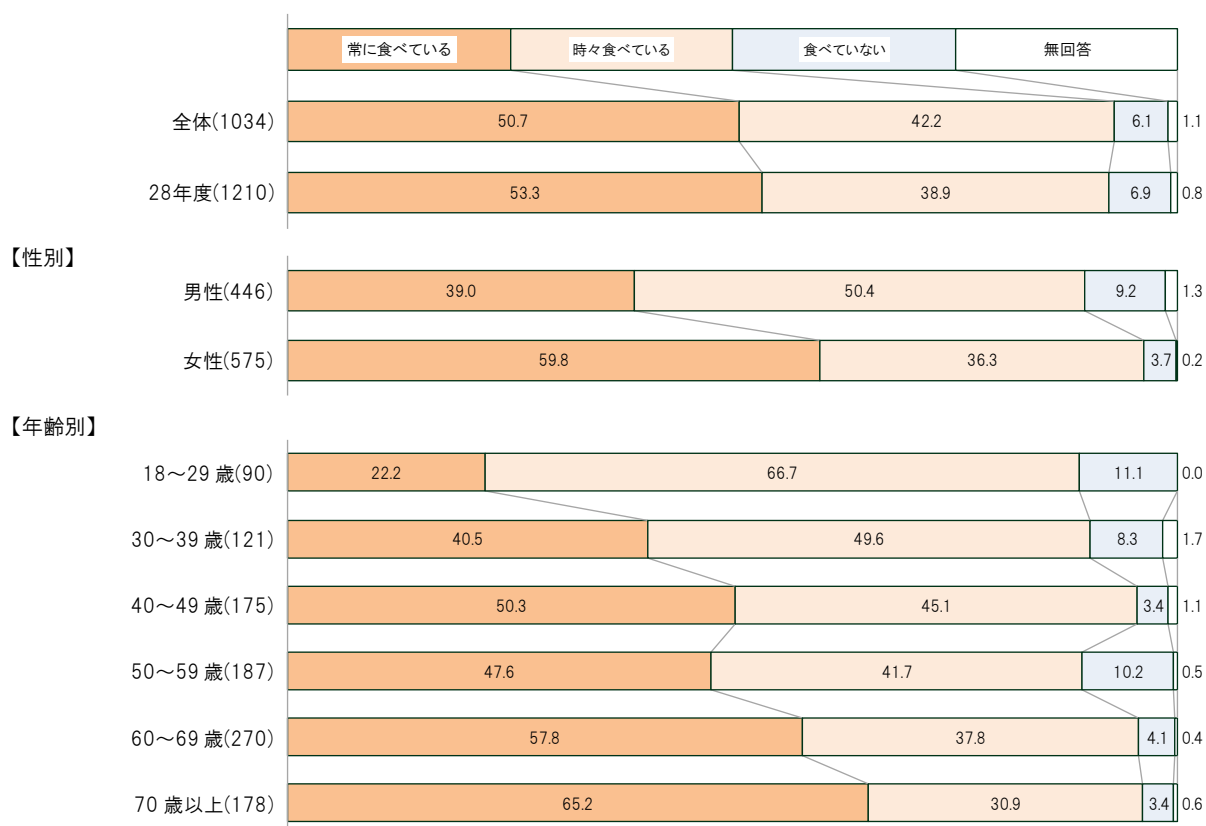


問2 あなたは日常の食事の中で、積極的に野菜を食べていますか。(1つ)

「食べている」は全体の9割

「食べている」(「常に食べている」(50.7%) 及び「時々食べている」(42.2%) の合計) は、全体の92.9%となっている。「食べている」は、28年度(92.2%)と比べて有意差は見られない。

性別では、「食べている」は、女性(96.1%)が男性(89.4%)より6.7ポイント高い。年齢別に見ると、「常に食べている」は、「70歳以上」(65.2%)が最も高く、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。

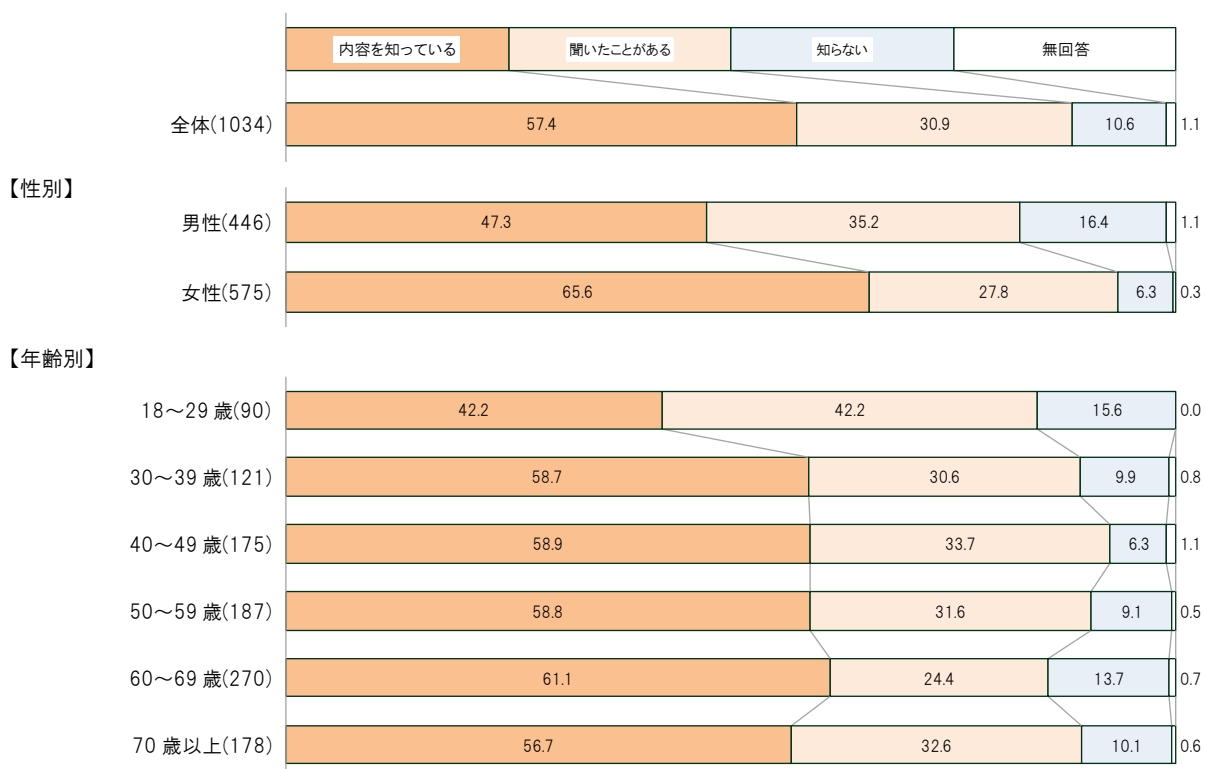


問3 あなたは「ベジ・ファースト（食事の最初に野菜から食べる）」という言葉を知っていますか。（1つ）

「知っている」は全体の約9割

「知っている」（「内容を知っている」（57.4%）及び「聞いたことがある」（30.9%）の合計）は、全体の88.3%となっている。

性別では、「知っている」は、女性（93.4%）が男性（82.5%）より10.9ポイント高い。年齢別に見ると、“内容を知っている”は、18～29歳（42.2%）が他の年代より14.5～18.9ポイント低くなっている。



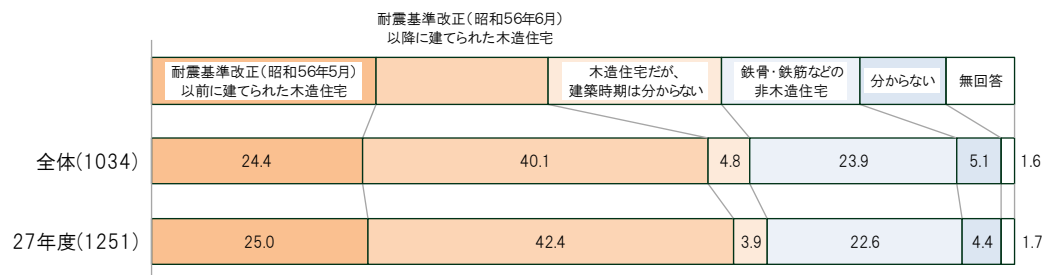
◆耐震について

問1 あなたのお住まいは、いつごろ建てられた、どのような建築構造の住宅ですか。（1つ）

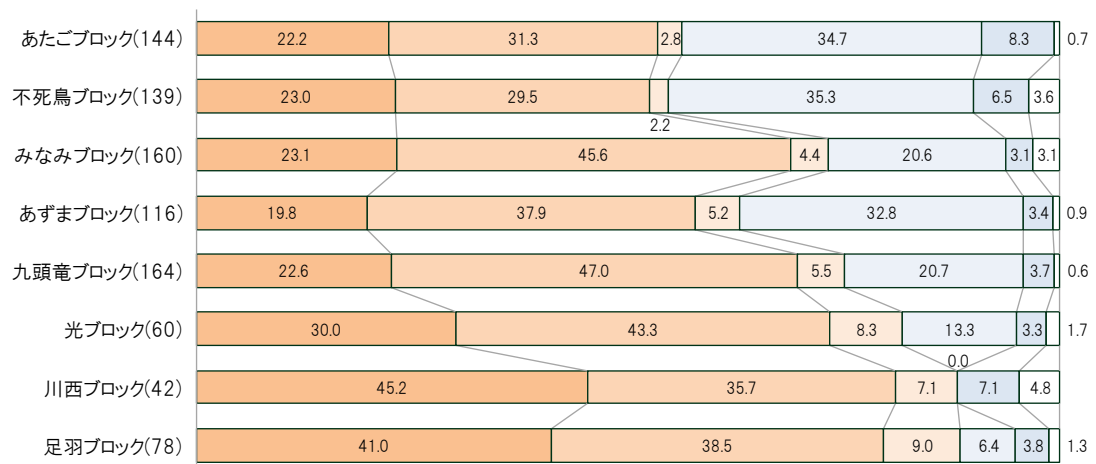
「耐震基準改正以降に建てられた木造住宅」は全体の4割

「耐震基準改正（昭和56年6月）以降に建てられた木造住宅」（40.1%）が最も高く、次いで「耐震基準改正（昭和56年5月）以前に建てられた木造住宅」（24.4%）、「鉄骨・鉄筋などの非木造住宅」（23.9%）が高くなっている。

地区別では、「耐震基準改正（昭和56年5月）以前に建てられた木造住宅」は、川西ブロック（45.2%）、足羽ブロック（41.0%）が高く、「鉄骨・鉄筋などの非木造住宅」は、不死鳥ブロック（35.3%）、あたごブロック（34.7%）、あずまブロック（32.8%）が高くなっている。



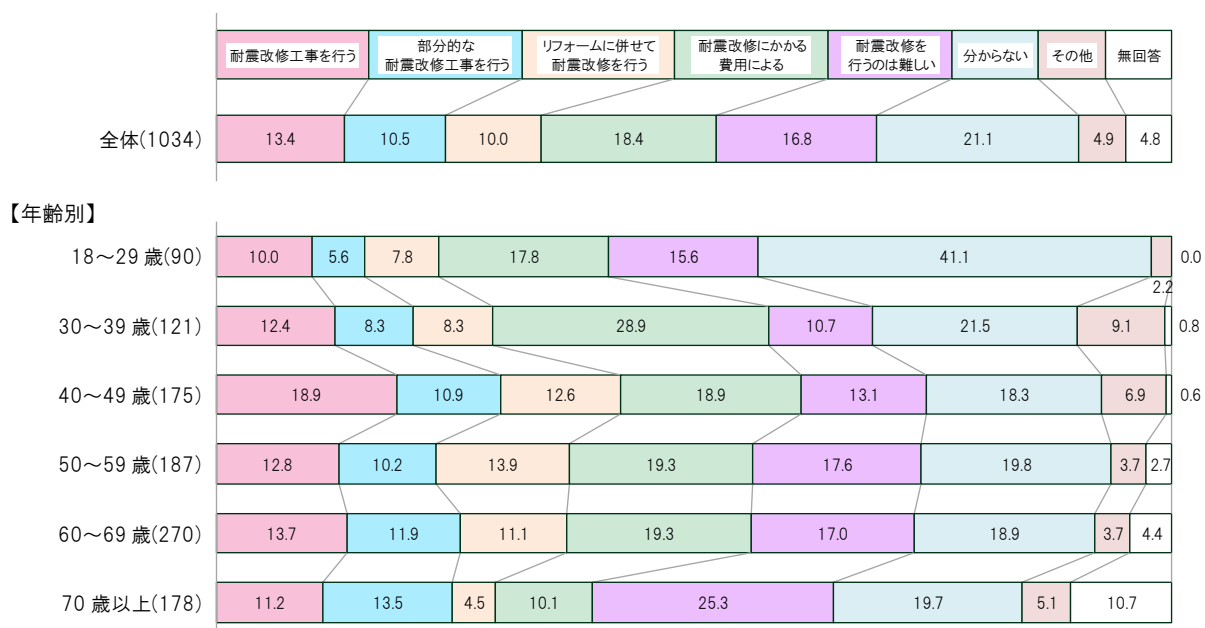
【地区別】



問2 耐震診断を行った結果、あなたのお住まいの耐震性が低く、「倒壊する可能性が高い」と分かった場合、あなたは、耐震改修工事を行いますか。(1つ)

「工事を行う」は全体の3割

「工事を行う」(「耐震改修工事を行う」(13.4%)、「部分的な耐震改修工事を行う」(10.5%)及び「リフォームに併せて耐震改修を行う」(10.0%)の合計)は、全体の33.9%となっている。年齢別に見ると、「工事を行う」は、40～49歳(42.4%)が最も高い。

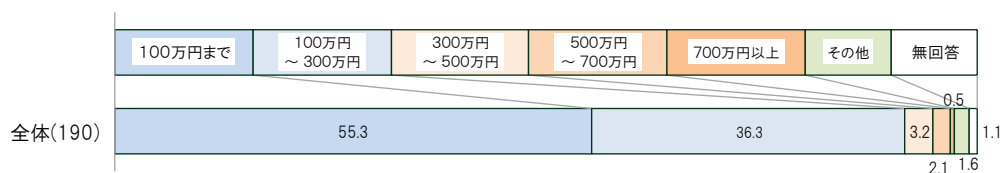


(問2で「耐震改修にかかる費用による」と答えた方にお聞きします)

問2-2 工事費用がいくらまでなら耐震改修工事を行いたいですか。(1つ)

「100万円まで」は5割以上

「100万円まで」(55.3%)が最も高く、次いで「100万円～300万円」(36.3%)が高くなっている。

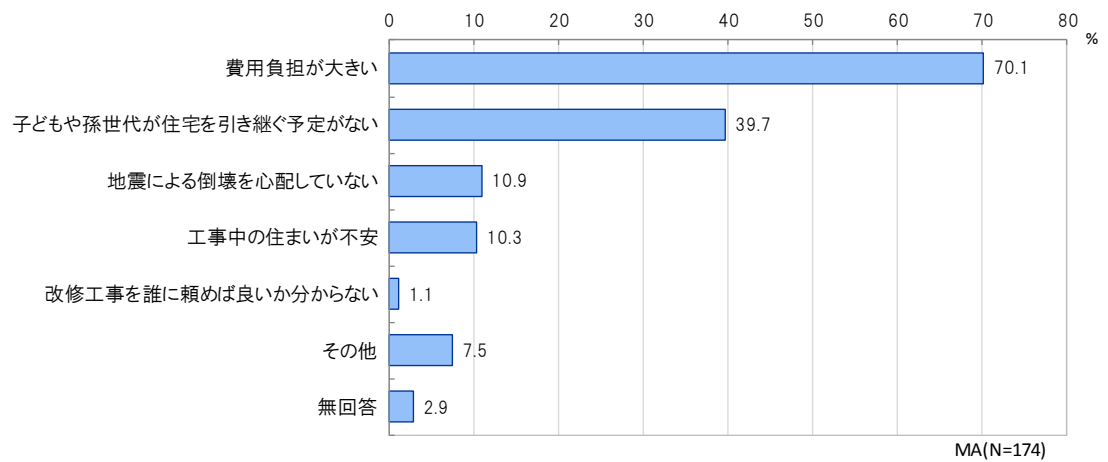


(問2で「耐震改修を行うのは難しい」と答えた方にお聞きします)

問2-3 耐震改修工事を行うのが難しい理由をお答えください。(2つ)

「費用負担が大きい」は7割

「費用負担が大きい」(70.1)が最も高く、次いで「子どもや孫世代が住宅を引き継ぐ予定がない」(39.7%)が高くなっている。



IV 自由意見

福井市に対する意見・提案について、自由意見は次のとおりである。

本報告書では、市民意識調査に寄せられた意見・提案を第七次福井市総合計画の政策に基づいて、「Ⅰ 快適に暮らすまち」、「Ⅱ 住みよいまち」、「Ⅲ 生き活きと働くまち」、「Ⅳ 学び成長するまち」に分類し、それぞれ主な意見・提案内容を掲載している。

※自由意見の取扱い

市民意識調査は無記名で、回答者を特定し個別に回答することができないため、寄せられた自由意見の原文については、今後の行政の取組の参考とするよう担当課に送付している。

Ⅰ 快適に暮らすまち
県庁、県議会、県警の移築と福井城の整備。(40代 女性)
アオッサもハピリンも出来たときは新しいもの見たさに行くけど、駅前まで行くのが大変だからあまり行かなくなる。ショッピングはほとんどエルパで事足りてしまう。図書館を利用する人は多いから、図書館を大きくして勉強したり本を読む場所を増やしたほうが人がたくさん来そう。都会の真似をするより福井らしく、自然を駅前に増やして“癒し”のあるまちにしてほしい。 (50代 女性)
北陸新幹線が本当の新幹線でないのなら、今までどおりでよいと思ってます。並行在来線の分離により、その維持に多額の出資があり続けることが怖いです。新幹線の利用客も通り過ぎることになればいいと思ってます。(50代 女性)
福井の産業が少なく、UI ターンする場合の就職先がない。これが解決できると、移住定住施策が活きてくると思う。多世帯同居の利点も、もっと広めていけると良い。(30代 女性)
高齢者ドライバーの免許証の自主返納を促進するうえで、交通機関がもう少し充実していればなあと思います。(60代 男性)
手入れの行き届いていない公園は、防犯上良くないし、利用もしにくいと思います。数、面積、設備内容も人口比で見直すべき時が来ていると思います。(70歳以上 男性)
私は自転車で通勤していますが、市道は穴だらけのところがあって怖いときがあります。子供たちの為にもすこしずつでも直してってください。(50代 女性)
空家対策と防災対策をしてほしいです。(30代 男性)
豪雨時の浸水被害を十分検証しながら治水整備の優先順位を考えてほしいと思います。 (50代 女性)
人口減少地区に、必要以上に下水設備を増やさないでほしい。維持管理費用の負担が、将来の子供たちに重くのしかかるのではないか。(70歳以上 男性)
安全な水とは何かを真剣に考えてほしい。日本の水道水は塩素を多用しすぎる。本当の意味でのおいしい水をのみたい。塩素をへらしてほしい。(40代 女性)

税金を使ってガス事業を行う必要はあるのですか？ガスだけでなく電気事業も担わないのですか？（60代 男性）
街中より1歩入った市道が、アスファルトがはがれて穴があいた道がある。そして排水がうまくできていない。雨が降ると道路が水浸しになる。もっと排水をうまくしてほしい。歩道をもっと歩きやすくしてほしい。おえらいさんは車を使うが、1度歩道を歩いてみて下さい。不便さが沢山あります。もっと歩きやすい道をお願いします。（70歳以上 女性）
郊外にある公園などの施設は、子供たちを連れて遊びに行きやすい。駅前には連れて行っても、のびのび走ったりする場所が全くなく、ほぼ行かなくなった。行きたいと思うが、子連れではなかなか不便を感じる。（70歳以上 男性）
中央公園は何も無さすぎて魅力が無く面白みも無いので、例えば食に関するレストランや食市場（ファーマーズマーケット）、カフェがあると人が集まると思います。景観が良いのに、そこへわざわざ行きたくなるものがないともったいない。（富山環水公園にあるスターバックスのようなスポット）新たな都市のオアシスとしての発展を希望する。福井の人はブランドに弱いと思うので、都市で人気の店があると絶対集まります。それが無理なら、逆にすごくレトロな街並みにするとか？（50代 女性）

Ⅱ 住みよいまち
男女共同参画について、フェミニズム思想。全国的に女性の失業者数は増し、生活水準の低下をきたし、婚期が遅れ、出生率の低下に繋がる。いい加減、人口削減策の一つであることに気付いてほしい。（50代 女性）
外国人が少ないから外国人向けのサービスレベルが低いのか、あるいはその逆なのか？姉妹友好都市との交流については、市民レベルでは全く認識がないと思います。（60代 女性）
市民協働について、労働には対価を。ボランティア活動は善意であり、善意を期待して予算を組むべきではない。ボランティアに参加しやすいよう情報をまとめるのは大事だが。（29歳以下 男性）
中心部では少子高齢化が進み、役員の引き受け手が減っています。地域コミュニティの集約を行っては。（40代 男性）
認知症初期段階がわからないし、わかろうともしないケースが多いので、一般の健康診断項目の中にとり入れてしまってはどうか（認知症検査）。（30代 男性）
他県から引っ越してきましたが、こども医療費は中3まで無料の県が多いので、福井もそうしてほしい。また、先払いであとから振込む制度ではなく、医療機関で支出しなくてもいいようにしてほしい。（乳幼児無料制度のことです）（40代 女性）
人との関わりが少なくなった高齢者の学校を作ってはどうか。（30代 女性）
障害者用の駐車場に車を停める人を見つけることがある。（70歳以上 男性）
環境保全が自治会の仕事になるとやはり問題がある。自治会によっては数軒しかない小さな自治会もあるので、できない場合もある。（30代 男性）
ごみ収集等に対しては適正に対応していただいておりますが、道路へのポイ捨て等に注意喚起を促がす対策を。又、指導をお願いしたい。（60代 男性）

有事の時こそ地方公共団体、自治体の本質的な実力が評価、試される機会である。(40代 女性)
自治会で防災担当者を決めるようにいわれていますが、時間のある人は年寄りで、若い人は仕事でいざという時出られません。消防署の人を増やしてほしいと思います。ちなみに15軒ほどで町内の役員を決めると、いつも全員が何かをしなければならない。75歳もすぎると足もフラフラ、ボランティアどころではないです。(50代 女性)
特殊詐欺がのさばっているのが不安。(30代 女性)
運転免許証を返納した後の交通手段の確保を考えてほしい。(70歳以上 女性)
他県から来ましたが、自然と都市機能がコンパクトにまとまっていて、住みやすく気に入っています。大都市にはないコンパクトな所が、福井市の良さだと思うのですが。(30代 男性)

Ⅲ 生き活きと働くまち
農業は保護ではなく自立支援策を！！農業をやる気のある農家に金を使うべき。(40代 男性)
農産物は、ブランド化よりも安心安全なものを求める人が多くなっていると思います。固定種の農産物をアピールしてほしい。地産地消は重要だと思います。それができれば農家もうるおうでしょう。(50代 男性)
農山村地域では、何を作ってもイノシシ等にやられ、その被害額が大変で、どうしても田畑をしない人が多い。(30代 女性)
企業誘致や起業家の支援は、大いに結構なこと。雇用の拡大がUターンを促進できる。(60代 女性)
福井は働く場所（勤務先）が少ない。地元に戻りたくても、学生の時に学んだ事を生かせる所がない。(50代 女性)
福井は観光地が分散しているのがネックだと思う。移動時間を楽しんでもらう施策を求む。(60代 女性)
福井は共働きが当然で、祖父母からの支援を受けて、家事・育児をすることができてはいるが、職場や学校にその理解があるとは感じにくい。格差も地方であっても、どんどん広がっていると感じる。様々分野に施策を拡げるのではなく、“子育て”、“高齢者”などポイントを絞って集中的に対策をすべきと感じる。どれをとっても魅力的な所とは思えない。(29歳以下 女性)
福井市が金沢や京都に行く為の単なる通過道にならないように、観光の面や他の事業の面でも重要なポイントとなる必要がある。金沢よりも京阪神や中京に近いこともメリットになる。(30代 男性)
子どもの途中入園の難しさに不安を感じます。第一子だと厳しいと言われ……。女性が社会で活躍出来るように目指すには保育園、こども園の見直しは必要なのではないかと思います。(50代 女性)
自然エネルギーの積極的活用、世界に通じるスキマ産業の開発、教育や福祉への投資など賢い都市作り（例えばデンマークなど）を目指すべきだと思います。その一翼を荷いたいと思います。ふるさと福井は愛すべきエリアです。(29歳以下 男性)
保育園の件ですが、子供が熱が上がったると仕事場に電話をかけて来られるのですが、会社にも迷惑をかけるし、大変（少々の事でも）働きづらい時も多々あります。多少の熱などがあつた

場合、その日の仕事終了まで預かっていただきたいし、病児でも診ていただける様なシステムがあると働きやすいです。(例) 2日程熱が出て休ませ何日も休む事も出来ず、下がったと思いい園に出すと昼過ぎには電話あり早退せざるを得ない。とても辛いと聞きました。若いお母さんの意見でした。(県外から来た人は、病気の時子供の面倒を見て下さる方がいないと…)(40代 女性)
過疎化の対策をもっと力を入れてとりくんでほしい。もっと国民の声を聞いて仕事をしてほしい。税金の無駄遣いが多すぎるのでは?農家のイノシシ・シカなどに困っている事に力を入れてほしい。(29歳以下 男性)
美山町時代と比較して、行政サービスは総合支所でそれほど不便とは思えない。また、公民館活動は充実していると感じる。地域の住民が参画できる方策を考えなければと思う。特に森林管理については、補助金ありきの活動であり、継続的な管理を目指すには自伐林家の育成が緊急の課題と思える。(40代 女性)
住みよいまちづくりを今後も手を抜かず行って下さい。人口が少なくなっていくのは、仕事場がないことだと思います。(29歳以下 女性)
求人倍率が全国2位(福井県)と言われていますが、福井市は越前市と比べ中小企業の求人ばかりで高学歴者がもどって来る気になるような職場が少ない。地元に残る高校生は職系高校生ばかりであり、この現状を変えないと福井市の将来はないと考えます。税の優遇や特区制度を使ってでも、企業の誘致をはかるべきだと思います。(40代 女性)

Ⅳ 学び成長するまち
文化会館は民間に売却し、市はフェニックスプラザを最大限活用すべき。市営球場でのライブ誘致など。(50代 女性)
郷土歴史博物館の仏像展おもしろかったです。街中に養浩館のようなすばらしい空間があるのが魅力的です。(30代 女性)
自然史博物館分館が十分活用されていないと思います。子どもと大人がともに楽しんで行きたいと思える場所を作るのが重要と思います。(30代 男性)
学力全国トップのことばかり目立つから充実させているが、不登校や発達障害児へのサポートの方は充実していない。不登校児は年々増加しているが、施設は充実していないし、人材も十分に確保しようとしていない。(40代 女性)
近年、残虐な事件、子供への虐待が多い。生まれたときから温かい家庭、思いやりのある環境で育てば、そんなひどいことができる人間にならないと思う。赤ちゃんの時から、社会の宝である子供たちを健全に育成していける環境を整えてほしい。(70歳以上 男性)
学校トイレの洋式化は、早急にしてほしい。通学路も、街灯が無い道がある。(29歳以下 男性)
公民館で子ども(児童)の学習会のための使用を許可していない所があり驚いた。児童に貸せないとは何故?保護者同伴でもダメと。(29歳以下 女性)
初回の国体ほどの盛り上がりには欠け、国体の意義が疑問。有力アスリートを集めてポイントをかせぐ意味はある?!(60代 女性)
学校の給食を変えてほしいです。長野県の真田町で給食を白米から玄米を混ぜたものにして(パンはなし)おかずは肉ではなく、野菜中心、食材は全て地産地消、無農薬、低農薬に変更しました。

すると、アトピーの生徒は治り、非行・暴力・不登校がなくなり、優秀校になったそうです。給食を変えてほしいです。パンや牛乳は不要です。アメリカ食でなく、安全で日本食にするべき。農業も石川の羽咋市のように取り組んで頂きたい。鯖江市も自然栽培をとり入れるようになりました！ (50代 男性)
高齢者より子供にもっと優遇した政策を講じて頂きたい。今は高齢者にお金をかけすぎて子育てしにくい環境にあります。子供を増やしていける安心、安全な市政を願っています。それには、子育てにもっとお金をかけて高齢者から未来ある子供にシフトしていくべきではないでしょうか。早く種まきしていかないと手遅れになります。活力ある福井市にしてください。(30代 男性)
小中学校周辺の通学路の安全確保のため、整備をしてほしい(街灯の設置、道幅の拡大、30kmゾーンに指定など) 今日、ほとんどの家庭のトイレは様式になり、子どもたちも和式には慣れていない。和式が多く、トイレを我慢せざるを得ない子供もいると聞く。洋式化をすすめてほしい。 冷房を学校教室に整備してほしい。近年は5月中でも30度を越えている。暑い中では授業にも集中できない。熱中症などの体調不良を防ぐためにも適宜冷房が使えるようにすべき。(70歳以上 男性)
行政のための行政でなく、市民のための行政をお願いしたい。たとえば、スポーツ公園の使用時間、西エリアは近くに住宅があり、しかたないが、東エリアは住宅は遠い。なのに同じように9時～17時の使用時間、気候に合せ、臨機応変に対応してほしい。(60代 男性)
運動公園について、前回の国体で植えた木が大きく育っていたのに、今回の国体で処分されたのは何とも皮肉で残念です。(29歳以下 女性)
・由利公正像、橋本左内像周辺の観光回遊を整備してほしいです。その近くの足羽川河川敷でのイベントを増やしてほしいです。 ・若者が楽しめるような音楽、フェスイベント、芸能イベントを企画してほしい。(60代 女性)
給食に、鹿猪の肉は出さないでください。小学生は、英語より国語に重点を置き、美しい日本語を学ばせてほしいと思います。(70歳以上 男性)

V 調査票

調査にあたってのお願い

- ◆ ご回答は、**あて名のご本人様**にお願いします。(代筆でもかまいません。)
- ◆ ご回答は、あてはまる番号に直接○をつけてください。
- ◆ ご回答が『その他 ()』にあてはまる場合は () の中に、なるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ◆ ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。(切手は不要です。)



<お問合せ>

福井市 市民生活部 市民サービス推進課
TEL 0776-20-5303
FAX 0776-20-5753
E-mail shiservice@city.fukui.lg.jp

地区コード

以下の設問について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

◆福井市に対する意識について

問 1 あなたにとって、福井市が全国に誇れると思うものは何ですか。(2つ)

1. 豊かな自然
3. 子育て・教育環境のよさ
5. 働きやすさ
7. 特になし
8. その他 ()
2. おいしい食
4. 地域住民のつながり
6. 歴史・文化

問 2 あなたは、福井市は住みやすいと思いますか。(1つ)

1. 住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
2. どちらかといえば住みやすい
4. 住みにくい

問 3 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

1. 住み続けたい
3. 市外(大都市圏)に住みたい
2. 事情が許せば住み続けたい
4. 市外(大都市圏以外)に住みたい

◆市のまちづくりについて

問 1 福井市が取り組んでいる施策について、あなたの満足度と重要度をお聞きます。表中の「施策のポイント」を参考にしてください。施策全体としての満足度と重要度について、あなたのお考えに最も近い番号に○を付けてください。(それぞれ1つ)
また、それぞれの施策についてご意見があればご記入ください。

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
1	県都の顔にふさわしい都市空間形成 ・足羽山公園遊園地のリニューアル、園路やサイン、眺望スポットの整備 ・中央公園と周辺の再整備による、福井城址との一体性の向上 ・えちぜん鉄道の高架化にあわせた福井駅周辺の道路整備	1	2	3	4	1	2	3	4
《この施策についてご意見があればご記入ください》									
2	中心市街地の活性化 ・ハピリンを拠点とした賑わい創出や、まちなかのイベント実施 ・まちなかのリノベーションと、出店や開業、創業支援 ・電動アシスト自転車「ふくチャリ」のレンタルなど、回遊性の向上	1	2	3	4	1	2	3	4
《この施策についてご意見があればご記入ください》									
3	北陸新幹線の福井開業準備 ・北陸新幹線福井開業に向けた整備 ・並行在来線の開業準備	1	2	3	4	1	2	3	4
《この施策についてご意見があればご記入ください》									
4	移住定住の促進 ・本市の魅力をもPRすることによる、都市圏からのU1ターンの促進 ・空き家の購入や、住宅リフォームへの補助 ・多世帯同居や近居、若年夫婦世帯への住宅支援	1	2	3	4	1	2	3	4
《この施策についてご意見があればご記入ください》									

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
5	公共交通機関の利便性向上 ・公共交通空白地域におけるバス運行支援 ・新たなバス利用者の掘り起こし ・えちぜん鉄道、福井鉄道の運営支援 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4
6	公園の整備・維持管理 ・市内公園の広場や遊具、トイレ等のリニューアル ・国体に向けた総合運動公園の駐車場等の施設の整備 ・団体が行う草花や樹木の育成活動への支援 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4
7	市道の整備・維持管理 ・市道の整備と維持管理 ・橋りょうの補修や耐震補強 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4
8	建築物の安全性向上と住環境の整備 ・木造住宅の耐震診断及び工事に要する費用の支援 ・森田北東部における土地区画整理事業 ・市営住宅東安居団地の建替え 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4
9	治水環境の整備 ・河川や水路の整備と維持管理 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
10	生活排水の適切な処理 ・公共下水道の普及 ・浄化槽維持管理への補助 ・下水管路施設の点検及び改築、汚水処理場設備の更新 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4
11	おいしい水の安定供給 ・安全でおいしい水の安定供給 ・水道事業の健全経営 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4
12	都市ガスの安定供給 ・都市ガスの安定供給と保安の確保 ・ガス事業の健全経営 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4
13	女性が活躍できる環境づくり ・幅広い年代の市民や企業への意識啓蒙による、女性が輝く環境整備 ・地域における男女共同参画意識の啓蒙 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4
14	多文化共生と国際交流の推進 ・在住外国人への分かりやすい行政サービスの提供 ・姉妹友好都市との相互交流 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
15	協働のまちづくり ・市民のボランティアへの関心や意欲を高める啓発や情報提供 ・市民と行政の協働に向けた取組の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							
16	地域コミュニティの活性化 ・自治会及び地区自治会連合会等が行う地域活動への支援 ・中山間地域の活性化を図る地域おこし協力隊の活動への支援 ・地域が取り組む地域課題の解決や魅力発信事業への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							
17	健康づくり支援 ・認知症初期段階での支援チーム（医療や福祉の専門職）による集中支援 ・健康診査の実施 ・運動や食を通じた健康づくりの普及啓発	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							
18	子育て環境の充実 ・子どもの医療費助成や、一時保育及び家事代行などの生活支援 ・老朽化した保育園の改修、認定こども園への移行のための増改築 ・放課後児童会及び放課後児童クラブの運営	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
19	高齢者の活躍支援 ・ひとり暮らし高齢者への必要なサービスの提供や見守り支援 ・地域包括支援センターの運営 ・地区が実施する敬老会や生きがい事業への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							
20	障がい者の活躍支援 ・障がい福祉サービスの実施 ・障がい者への就労支援	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							
21	環境保全の推進 ・地域住民や市民団体等が行う自然保護及び再生事業への支援 ・環境汚染や水質汚濁等に係る環境監視や調査指導 ・環境問題に関心と理解を深めるための講座やイベントによる啓発	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							
22	ごみの適正な処理 ・市民団体が実施する雑がみの分別、古紙回収への支援 ・ごみ収集、資源ごみの有効利用の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							
23	地域の防災力・防犯力を高める ・備蓄倉庫の非常食の入れ替えや災害時マンホールトイレの整備 ・自主防災組織の活動支援や災害時に支援が必要な人への支援体制づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
		《この施策についてご意見があればご記入ください》							

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度					重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満		1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
24	消防・救急体制の強化 ・女性消防団員の養成 ・防火水槽の整備 ・自治会等を対象とした防火教室の実施 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4
25	消費者保護の推進 ・消費者相談や消費生活に関する情報提供 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4					
26	交通安全の推進 ・交通安全の指導及び啓発、運転免許証の自主返納の推進 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4					
27	農林水産業の推進 ・農地集積、集落農業の組織化や法人化の促進 ・農業生産基盤の整備や人材確保、大都市圏への販路開拓 ・Uターン者の農林水産業への就業支援と定住の促進 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4					
28	農産物の需要拡大 ・金指すいか、きょうろふく（サラダ人参）に続く農産物のブランド化 ・農林漁業者による加工及び販売の取組への支援 ・地産地消の拡大による食育の推進 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4					

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度					重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満		1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
29	農山漁村の生活環境を守る ・地域が行う農地の維持活動や土地改良事業への支援 ・集落排水施設の整備 ・イノシシやシカ等の有害鳥獣による農作物被害の防止 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4
30	商工業の振興 ・企業の新技術や新製品開発等への支援と繊維産業の活性化 ・企業立地や雇用に対する支援 ・起業家の育成や事業承継の支援 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4					
31	福井で働くことを応援する ・学生や社会人へのUターン就職や正規雇用促進への支援 ・ワークライフバランスの推進に取り組む企業への支援 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4					
32	観光の振興とおもてなしの充実 ・一乗谷朝倉氏遺跡の更なるイメージアップ ・ふくい春まつりや福井フェニックス祭りの開催 ・まちなかへの観光誘客 ・越前海岸ならではの食や体験を活かした観光活性化 ・市民総ぐるみの「観光おもてなし市民運動」の推進 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4					

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度					重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満		1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
33	文化芸術の振興 ・市美術館や魅力ある企画展の開催 ・文化会館の整備 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4
34	歴史・文化遺産の保存・活用 ・一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園など、郷土の文化財の保存と活用 ・郷土歴史博物館の企画展の開催 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4
35	自然科学教育の充実 ・自然史博物館の企画展の開催 ・自然史博物館分館（セーレンブラネット）の管理運営 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4
36	学校教育の充実 ・A L T等を活用した小学校の英語活動の推進 ・学校と地域や企業をつなぐキャリアコディネーターの配置 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4
37	子どもの健全育成 ・指導者の部活動への派遣やトップアスリートの実技講習会の実施 ・国内の姉妹友好都市との交流体験の実施 ・少年自然の家での様々な体験活動の実施 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度					重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満		1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
38	学校環境の整備 ・小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策や学校トイレの洋式化 ・通学路の点検や安全対策の実施 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4
39	生涯学習の支援 ・公民館の建設及び改修と活動支援 ・市立図書館の大規模改修 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4
40	生涯スポーツの支援 ・各種スポーツ事業への助成 ・「福井しあわせ元気」国体、障がい者スポーツ大会に向けた機運醸成と大会の円滑な開催 《この施策についてご意見があればご記入ください》	1	2	3	4		1	2	3	4

◆あなた自身のことについて

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)

 1. 18～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳
 4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上

F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)

1. 自営業者	2. 会社員・公務員	3. アルバイト・パート
4. 主婦・主夫	5. 学生	6. 無職
7. その他 ()		

F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)

1. 2年未満	2. 2年以上5年未満
3. 5年以上 10 年未満	4. 10 年以上 20 年未満
5. 20 年以上 30 年未満	6. 30 年以上

F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

1. 一人暮らし	2. 1世代 (夫婦だけ 等)
3. 2世代 (親子 等)	4. 3世代 (親と子と孫 等)
5. その他 ()	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

◆自由意見

福井市に対するご意見やご提案などありましたら、ぜひお聞かせください。

※記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
6月27日 (火) までに、郵便ポストに投函してください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

調査結果は10月末に福井市ホームページ等で公表いたします。
過去に実施した調査についても併せてご覧ください。

福井市 市民意識調査

検 索



朝倉ゆめまる

朝倉ゆめまるは日本のボンベイと言われる一乗谷朝倉氏遺跡に住む妖精で、
姿は一乗谷朝倉氏遺跡の象徴である唐門を兜とした武将の姿をしています。
平成25年9月からは、福井市宣伝隊長を務めています。
「越前ふくいを諸国に広めるための宣伝隊長としてがんばるぞ！」

『朝倉ゆめまる公式 facebook ページ』
<https://ja-jp.facebook.com/AsakuraYumemaru>

調査にあたってのお願い

- ◆ ご回答は、あて名のご本人様にお願いします。(代筆でもかまいません。)
- ◆ ご回答は、あてはまる番号に直接○をつけてください。
なお、質問によって、回答数が「(2つまで)」「(いくつでも)」などと
指定してありますのでご注意ください。
- ◆ ご回答が「その他()」にあてはまる場合は
()の中に、なるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ◆ ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。(切手は不要です。)



<お問合せ>

福井市民生活部 市民サービス推進課
TEL 0776-20-5303
FAX 0776-20-5753
E-mail shiservice@city.fukui.lg.jp

地区コード

◆ボランティア活動について

問1 あなたは、ボランティア活動にどの程度取り組んでいますか。(1つ)

1. 週に1回以上
2. 月に1～3回程度
3. 年に5～9回程度
4. 年に1～4回程度
5. 過去に経験があるが、過去1年間は活動していない
6. これまでに経験がない

問2 あなたは、今後ボランティア活動にどの程度取り組みたいですか。(1つ)

1. 積極的に活動したい
2. 機会があれば活動したい
3. 活動したいが、事情により活動できない
4. できれば活動したくない
5. 活動したくない

1または2と答えた方は
問2-2へお進みください

3、4または5と答えた方は
問2-3へお進みください

(問2で1または2と答えた方にお聞きます)

問2-2 あなたは、今後、どんなボランティア活動に参加したいですか。(1つ)

1. 高齢者や障がい者を対象とした活動
2. 子どもを対象とした活動
3. スポーツ・文化芸術に関する活動
4. まちづくり活動
5. 安全な生活のための活動
6. 自然や環境を守るための活動
7. 災害に関する活動
8. 国際協力に関する活動
9. その他()

(問2で3、4または5と答えた方にお聞きます)

問2-3 「活動できない」、「活動したくない」理由は何ですか。(5つまで)

1. 時間的に余裕がないから
2. 経済的に余裕がないから
3. 健康に自信がないから
4. 参加、行動の仕方が分からないから
5. 活動の情報が得られないから
6. きっかけがないから
7. 人間関係がわずらわしいから
8. 自分に何ができるか分からないから
9. 必要とされる知識や技術がないから
10. ボランティアに関心がないから
11. 一緒に活動する仲間がないから
12. 一度始めると、止められなくなりそうだから
13. その他()

◆観光客受け入れについて

以下の設問について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

問1 観光客へのおもてなしや声かけについて、あなたの日頃の行動または心がけていることはどれですか。(1つ)

1. 観光客に福井を好きになって欲しいので、自分からあいさつや声かけをする
2. 観光客が困っているように見えるときは、自分から声かけをする
3. 自分からは声をかけないが、観光客から助けを求められれば親切にする
4. 観光客とあまり関わらないようにする

問2 あなたは、福井の良いところ(自慢できるところ、観光地や食の魅力など)を人に勧めたり、説明したりすることができますか。(1つ)

1. 実際に福井の良いところを積極的に発信している
2. 福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることがある程度できる
3. 福井の良いところを人に勧めたり、説明したりすることがうまくできない
4. 福井の良いところを挙げられない

◆食育及び福井市農産物のブランド化について

問1 あなたは、普段朝食を誰と食べていますか (1つ)

1. 家族そろって食べる
2. 家族の誰かと食べる
3. 一人で食べる
4. 朝食を食べない
5. その他 ()

問2 あなたは、普段夕食を誰と食べていますか (1つ)

1. 家族そろって食べる
2. 家族の誰かと食べる
3. 一人で食べる
4. 夕食を食べない
5. その他 ()

問3 あなたは、普段の食生活において、地元の食材、食品をどの程度取り入れていますか (1つ)

1. 積極的に取り入れている
2. 時々取り入れている
3. あまり取り入れていない
4. 取り入れていない

問4 あなたは、普段から「買いたくない」「使いたくない」「食べない」など、食品ロス削減につながる行動に取り組んでいますか (1つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. 時々取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいない

問5 あなたは、福井市産の農産物として県外にPRするとよいと思うものは何ですか (3つまで)

1. コカブ
2. ショウガ
3. ホウレンソウ
4. ソバ
5. 六条大麦
6. 3年子ラッキョ
7. 河内赤カブラ
8. 木田チソ
9. 新保ナス
10. きゃろぶく (園芸センター開発のカラフルなサラダニンジン)
11. カーボノロ (園芸センターで栽培普及しているイタリア原産の結球しない葉キャベツ)
12. 分からない
13. その他 ()

問6 あなたは、農産物をブランド化するためにどのような取組が必要だと思いますか (3つまで)

1. 観光との連携
2. イベントなどでのPR
3. 学校等での周知
4. 市内飲食店との連携
5. 首都圏や国外への販路拡大
6. 生産規模の拡大
7. 栽培技術向上の支援
8. 安全・安心のイメージ
9. 商品の差別化
10. 分からない
11. その他 ()

◆交通に対する意識について

問1 あなたは、JR 福井駅を中心とした中心市街地には、どのくらいの割合で訪れますか。 (1つ)

1. ほとんど毎日
2. 週に1～2回
3. 月に1～2回
4. 6か月に1回程度
5. 1年に1回程度

問2 あなたは、駅の近くや鉄道沿線など、鉄道の利用しやすい場所 (駅等から半径500メートル、あるいは徒歩5分～10分程度の範囲内) に住んでいますか。 (1つ)

1. 住んでいる
 2. 住んでいない
- 2と答えた方は 問2-2へお進みください

問2-2 (問2で2と答えた方にお聞きします)

あなたは、現在お住まいの場所から、駅の近くや鉄道沿線など、鉄道の利用しやすい場所 (駅等から半径500メートル、あるいは徒歩5分～10分程度の場所) に住み替えたいと思いますか。 (1つ)

1. 住み替えたいと思う
2. どちらかといえば住み替えたいと思う。
3. どちらかといえば、住み替えたいと思わない。
4. 住み替えたいと思わない。

問3 あなたは、通勤・通学や買い物・通院など、日常生活でバス・鉄道を利用していますか。 (1つ)

1. 利用している
 2. 利用していない
- 2と答えた方は 問3-2、3-3へお進みください

問3-2 (問3で2と答えた方にお聞きします)

あなたが、日常生活でバス・鉄道を利用しない理由をお答えください。 (3つまで)

1. 運賃が高いから
2. 便数が少ないから
3. バス停や駅が家の近くにないから
4. 行きたい場所の近くを通らないから
5. 時刻表や路線図が分かりにくいから
6. 時刻表や路線図を調べるのが面倒だから
7. どのようなバスや鉄道が走っているのか知らないから
8. 車両の設備が良くないから
9. 停留所や駅の待合環境が良くないから
10. 目的地まで時間がかかるから
11. 乗継が面倒だから
12. 時間が不正確だから
13. 車やタクシーの方が便利だから
14. その他 ()

問3-3 (問3で2と答えた方にお聞きます)

あなたは、どのようにになると公共交通を利用するようになりますか。(1つ)

1. 運賃や便数、ルート等が改善されれば
2. 車両の設備や駅の待合室など、利用環境が改善されれば
3. 運行時刻や到着時刻が正確になれば
4. 路線図や時刻表、パークアンドライド駐車場などの情報提供がしっかり行われれば
5. 改善状況に関わらず、当面利用することはない
6. その他 ()

問4 平成28年3月より、福井駅西口広場（バス乗り場と福井鉄道の電車乗り場）が開業しました。
これによって公共交通の利便性が向上したと思いますか。(1つ)

1. 利便性が向上した
2. 利便性が低下した
3. 特に変わりはない
4. 分からない
5. 福井駅西口広場を知らない

問5 あなたは、歩道では自転車よりも歩行者が優先されることを知っていますか。(1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問6 あなたは、歩道を歩いている時に、自転車を「危ない」「怖い」と思ったことがありますか。(1つ)

1. よくある
2. 時々ある
3. 思った経験がある
4. ない

問6-2 (問6で1から3と答えた方にお聞きます)

あなたが自転車を「危ない」「怖い」と思ったのは、どんな時ですか。(1つ)

1. スピードを出して近づいてきた
2. 複数台が並んで走行していた
3. 突然飛び出してきた
4. ベルを鳴らされた
5. ながら運転（携帯、イヤホンなど）をしていた
6. 傘さし運転をしていた
7. 夜間や視界不良時に、無灯火運転をしていた
8. ぶつかった、ぶつかりそうになった
9. その他 ()

◆「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について

問1 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会（以後「国体・障スポ」という）が平成30年に福井県で開催されますが、あなたは、福井市で開催される競技についてご存知ですか。(1つ)

1. 全て知っている
2. いくつかが知っている
3. 1つだけ知っている
4. 開催されることは知っているが、福井市の開催競技はひとつも知らない
5. 開催されることを知らなかった

問1-2 (問1で1から3と答えた方にお聞きます)

あなたは、どのような方法で福井市の開催競技について知りましたか。(3つまで)

1. チラシ・ポスター等掲示物
2. のぼり旗・横断幕
3. 市役所等の看板
4. 広報紙
5. インターネット（ホームページなど）
6. テレビ・ラジオ
7. 新聞
8. フリーペーパー
9. イベント等での国体PR
10. 啓発グッズ（クリアファイル等）
11. マスコットキャラクターによる国体PR
12. 競技に関わっている（団体、選手等）
13. 口コミ
14. その他 ()

問2 福井市では、「する・みる・支える」をモットーに1市民1参加を呼びかけていますが、あなたは、国体・障スポにどのように参加できるかご存知ですか。(1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問3 あなたは、国体・障スポに参加してみたいですか。(1つ)

1. 既に参加している
2. 参加したい
3. 機会があれば参加したい
4. 参加したくない

問3-2 (問3で1から3と答えた方にお聞きます)

あなたは、どのような方法で参加している、または参加したいと思いますか。(1つ)

1. 選手としての参加
2. デモンストレーションスポーツ(※1)やオープン競技への参加
3. 競技会場での観戦
4. ボランティア
5. 炬火イベントへの出演(※2)
6. 花いっぱい運動
7. その他()

※1「デモンストレーションスポーツ」は、幅広い年代が参加できるレクリエーションスポーツのことです。団体会場1か月前から閉会式までの間に行われます。

※2「炬火(きょか)」は、団体・障スポにおいて会期中に選手に選手の活躍を見守る火として掲げられます。オリンピック・パラリンピックという、聖火にあたります。

問4 団体・障スポに関連する情報の中で、知りたいものを教えてください。(3つまで)

1. 地元選手の情報
2. 有名選手の情報
3. 競技開催スケジュール
4. 競技会場の情報(場所・アクセス)
5. 競技のルール
6. 団体関連イベントの情報
7. ボランティアの活動情報
8. おもてなし料理・花いっぱい運動等の募集情報
9. その他()

◆ごみ収集車によるアナウンスについて

問1 ごみ収集作業時は、音楽とともに収集内容や市政情報等をアナウンスしています。あなたは、この、ごみ収集車によるアナウンスは必要だと思いますか。(1つ)

1. 必要である
2. どちらかといえば必要
3. どちらかといえば不要
4. 不要である
5. どちらともいえない

問2 あなたは、ごみ収集車によるアナウンスは、どのような状況が望ましいと思いますか。(1つ)

1. 現状のままでよい
2. 音量を大きくして欲しい
3. 音量を小さくして欲しい
4. 市政情報だけでよい(音楽は不要)
5. 音楽だけでよい(市政情報は不要)
6. 市政情報も音楽も不要(無音)
7. 音楽を変えてほしい
8. アナウンスは10時頃まででよい
9. アナウンスは午前のみでよい
10. アナウンスは午後のみでよい
11. 特に意見はない
12. その他()

◆福井市の環境について

問1 あなたは、二酸化炭素の排出が少ない低炭素型の製品やサービス、行動など、地球温暖化対策のための「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」を知っていますか。(1つ)

1. 良く知っており、既に取り組んでいる
2. 内容まで良く知っている
3. 言葉は聞いたことがある
4. 知らない

問2 環境を保全するために、あなたが行政に望むことは何ですか。(1つ)

1. 環境保全の啓発イベントの実施
2. 環境保全に関する情報提供
3. 環境保全活動団体への支援制度
4. 学校での環境教育の充実
5. 企業での環境教育の充実
6. 分からない
7. その他()

問3 あなたのご家庭で取り入れている、環境に配慮した製品、設備は何ですか。(1つ)

1. 太陽光発電設備
2. 太陽熱温水器
3. 省エネ型給湯器
4. HEMS(ホームズ:住宅のエネルギー管理システム)
5. LED照明
6. 省エネ家電(テレビ、エアコン等)
7. 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・クリーンディーゼル車
8. その他()

◆選挙当日の移動手段について

問1 あなたの自宅から当日の投票所(入場券で指定された、地域の投票所)まで、どのくらいの距離がありますか。(1つ)

1. 100m未満
2. 100～500m程度
3. 500m～1km程度
4. 1～3km程度
5. 3km以上

問2 あなたは、投票日当日に投票所へ行くときは、どの移動手段を使いますか。(1つ)

1. 徒歩、自転車
2. 自動車(自分で運転)
3. 自動車(他の人と同乗)
4. 公共交通機関(バス、電車等)
5. タクシー
6. その他()

◆男女共同参画について

問1 次の地域活動や社会活動のうち、あなたが参加しているものをお答えください。(すべて)

1. 子ども会、PTA活動
2. 自治会、防災・防犯活動
3. 老人会、婦人会活動
4. 社会奉仕、福祉活動
5. 消費生活、環境保護活動
6. 地域のまちづくり活動
7. 参加していない
8. その他 ()

問2 あなたは、現在の学校教育の場において、男女平等になっていると思いますか (1つ)

1. 平等になっていると思う
2. まだ平等とはいえない
3. 分からない

問3 あなたは、平日に1日平均すると、どのくらいの家事、育児をしていますか。枠中に数字で記入ください。(自由記載)

平日に1日平均 () 分)

◆健康づくりに対する意識について

問1 あなたは、「少しの距離であれば自転車や徒歩で移動する」「少しの時間を見つけてストレッチをする」など、日常生活の中で運動を行っていますか。(1つ)

1. 日常的に行っている
2. 時々行っている
3. 行っていない

問2 あなたは日常の食事の中で、「味噌汁を野菜たっぷりにする」「外食でも野菜の多いメニューを選ぶ」など、積極的に野菜を食べていますか。(1つ)

1. 常にご飯に食べている
2. 時々食べている
3. 食べていない

問3 あなたは「ベジ・ファースト（食事の最初に野菜から食べる）」という言葉を知っていますか。(1つ)

1. 内容を知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

◆耐震について

問1 あなたのお住まいは、いつごろ建てられた、どのような建築構造の住宅ですか。(1つ)

1. 耐震基準改正（昭和56年5月）以前に建てられた木造住宅
2. 耐震基準改正（昭和56年6月）以降に建てられた木造住宅
3. 木造住宅だが、建築時期は分からない
4. 鉄骨・鉄筋などの非木造住宅
5. 分からない

問2 耐震診断を行った結果、あなたのお住まいの耐震性が低く、「倒壊する可能性が高い」と分かっただけの場合、あなたは、耐震改修を行いますか。(1つ)

1. 耐震改修工事を行う
2. 部分的な耐震改修工事を行う
3. リフォームに併せて耐震改修を行う
4. 耐震改修にかかる費用による → 4と答えた方は問2-2へお進みください
5. 耐震改修を行うのは難しい → 5と答えた方は問2-3へお進みください
6. 分からない
7. その他 ()

問2-2 (問2で4と答えた方にお聞きます)

工事費用がいくらかまでなら耐震改修工事を行いたいと思いますか。(1つ)

1. 100万円まで
2. 100万円 ～ 300万円
3. 300万円 ～ 500万円
4. 500万円 ～ 700万円
5. 700万円以上
6. その他 ()

問2-3 (問2で5と答えた方にお聞きます)

耐震改修工事を行うのが難しい理由をお答えください。(2つ)

1. 費用負担が大きい
2. 子どもや孫世代が住宅を引き継ぐ予定がない
3. 改修工事を誰に頼めば良いか分からない
4. 工事中の住まいが不安
5. 地震による倒壊を心配していない
6. その他 ()

◆あなた自身のことについて

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)

1. 18～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳
4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上

F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)

1. 自営業者 2. 会社員・公務員 3. アルバイト・パート
4. 主婦・主夫 5. 学生 6. 無職
7. その他 ()

F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)

1. 2 年未満 2. 2 年以上 5 年未満
3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満
5. 20 年以上 30 年未満 6. 30 年以上

F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

1. 一人暮らし 2. 1 世代 (夫婦だけ 等)
3. 2 世代 (親子 等) 4. 3 世代 (親と子と孫 等)
5. その他 ()

◆自由意見

福井市に対するご意見やご提案などありましたら、ぜひお聞かせください。

※記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
6月27日 (火) までに、郵便ポストに投函してください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

調査結果は10月末に福井市ホームページ等で公表いたします。
過去に実施した調査についても併せてご覧ください。

福井市 市民意識調査

検 索





平成 29 年度

福井市民意識調査報告書

平成 29 年 10 月発行

福井市市民生活部
市民サービス推進課

〒910-8511 福井市大手 3 丁目 10 番 1 号

TEL (0776) 20-5303
